

三菱電機空調冷熱総合管理システム [業務用]

形名

AE-200J

AE-50J

EW-50J

取扱説明書 初期設定編

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	4
1. ご使用の前に	6
2. 使用部品	14
3. 設定前の準備	17
4. 液晶画面の設定方法	39
5. 初期設定ツールを使った設定	151
6. 統合管理ブラウザの設定方法	212
7. メンテナンス	256
8. トラブルシューティング	261
9. 用語説明	265
添付. 追加機能について	270
付録. 空調発停試運転	274
商標、登録商標について	278

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では、据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contains in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

もくじ

	ページ		ページ
安全のために必ず守ること	4	4-3. 機能設定 2	128
1. ご使用の前に	6	4-3-1. 外気温連動制御	128
1-1. はじめに	6	4-3-2. 室外機スケジュール 2	130
1-2. 本書の表記について	6	4-3-3. ナイトセットバック制御	142
1-3. 初期設定と試運転の流れ	6	4-4. 換気設定	144
1-4. 設定可能な機能	11	4-4-1. 24 時間換気	144
2. 使用部品	14	4-4-2. ナイトパージ	145
2-1. 必要部品	14	4-5. ユーザー情報	148
2-2. 一般市販部品	15	4-5-1. 保守ユーザー	148
3. 設定前の準備	17	4-5-2. ビル管理者	149
3-1. パソコンの準備	17	5. 初期設定ツールを使った設定	151
3-1-1. .NET Framework のインストール	17	5-1. 初期設定ツールによる初期設定の流れ	151
3-1-2. 初期設定ツールのインストール	18	5-2. 初期設定ツールの概要	152
3-1-3. パソコンの IP アドレス設定	19	5-2-1. ツールの起動	152
3-1-4. Web ブラウザ設定	23	5-2-2. 画面構成・共通項目	153
3-2. 統合管理ブラウザへのログイン	25	5-2-3. ツールバーの操作一覧	154
3-3. IP アドレス設定	26	5-2-4. ユニットアドレス選択画面	158
3-3-1. AE-50J/EW-50J の IP アドレス設定	29	5-2-5. その他	159
3-3-2. AE-200J の IP アドレス設定	31	5-2-6. 初期設定ツールの準備と流れ	159
3-4. 時刻設定	34	5-3. 基本設定	160
3-5. アップデート	36	5-3-1. 接続構成設定	160
3-6. ライセンス登録	36	5-3-2. 基本システム設定	161
4. 液晶画面の設定方法	39	5-4. ユニット設定	169
4-1. 初期設定	39	5-4-1. グループ設定	169
4-1-1. 初期設定画面へのログイン	39	5-4-2. 冷媒系設定	171
4-1-2. 画面のロック	42	5-4-3. 連動ロスナイ設定	172
4-1-3. 現在日時設定	43	5-4-4. 操作ブロック設定	173
4-1-4. ユニット情報の設定	45	5-4-5. エネルギー管理ブロック設定	174
4-1-5. ネットワーク設定	50	5-4-6. 計量 MC 設定	176
4-1-6. グループ設定	61	5-4-7. 環境 MC 設定	177
4-1-7. 連動ロスナイ (ロスナイ・ 加熱加湿付ロスナイ) 設定	68	5-5. フロア設定	180
4-1-8. ブロック設定	69	5-5-1. フロア階層設定	180
4-1-9. EM ブロック設定	71	5-5-2. フロアレイアウト設定	183
4-1-10. フロアレイアウト	72	5-5-3. 統合管理 Web 用フロア階層設定	184
4-1-11. 冷媒系表示	79	5-5-4. 統合管理 Web 用フロアレイアウト 設定	188
4-1-12. 高度設定	80	5-5-5. 便利な使い方	189
4-2. 機能設定 1	82	5-6. 課金設定	191
4-2-1. 省エネ制御、 ピークカット制御の設定	82	5-7. 連動制御設定	192
4-2-2. ET 制御設定	97	5-8. 省エネ機能設定	202
4-2-3. 高顕熱制御設定	98	5-8-1. 高顕熱制御設定	202
4-2-4. アドバンストパワーセーブ設定	104	5-9. 機能設定	208
4-2-5. 室外機スケジュール 1	106	5-9-1. エネルギー管理設定	208
4-2-6. サーモ OFF 時送風設定	120	5-9-2. オートチェンジオーバー	210
4-2-7. 計測設定	122		
4-2-8. エネルギー管理設定	126		

	ページ
6. 統合管理ブラウザの設定方法	212
6-1. 機能設定	212
6-1-1. メール設定	213
6-1-2. ピークカット設定 (省エネ制御)	218
6-1-3. ET 制御設定	230
6-1-4. アドバンストパワーセーブ設定	231
6-1-5. サーモ OFF 時送風設定	232
6-1-6. 室外機スケジュール	233
6-1-7. 設定温度範囲制限	246
6-1-8. ナイトモード (低騒音運転) スケジュール	248
6-1-9. 外気温連動制御	249
6-1-10. ナイトセットバック制御	251
6-2. 換気設定	253
6-2-1. 24 時間換気設定	253
6-2-2. ナイトパージ設定	254
7. メンテナンス	256
7-1. AE-200J 液晶画面からの設定データ バックアップ	256
7-1-1. データバックアップ	257
7-1-2. データ読み込み	258
7-2. 統合管理ブラウザのからの設定データ バックアップ	259
8. トラブルシューティング	261

	ページ
9. 用語説明	265
9-1. 異常コード一覧	269
9-1-1. M-NET 異常コード (通信系)	269
9-1-2. AE-200J、AE-50J (EW-50J) 異常コード	269
9-1-3. その他関連機器 異常コード	269
添付. 追加機能について	270
付録. 空調発停試運転	274
商標、登録商標について	278

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項



警告

以下の特殊な環境ではコントローラを使用しないこと。

- ◆油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ
- ◆酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
- ◆性能低下・腐食による感電・故障・発煙・火災のおそれあり



使用禁止

改造はしないこと。

- ◆けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

コントローラの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。

- ◆工具などが落下すると、けがのおそれあり。



禁止

コントローラの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。

- ◆引火・火災・爆発のおそれあり。



禁止

コントローラを水・液体で洗わないこと。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、USBメモリ・タッチパネルを操作したりしないこと。

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

薬品を散布する前に運転を停止し、コントローラにカバーを掛けること。

- ◆薬品がコントローラにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。



指示を
実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を
実行

コントローラのカバーを取り付けること。

- ◆ ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を
実行

注意

ガラス部品に損傷するような力を加えないこと。

- ◆ ガラス損傷によるけがのおそれあり。



禁止

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- ◆ 感電・故障のおそれあり。



使用禁止

部品端面に触れないこと。

- ◆ けが・感電・故障のおそれあり。



接触禁止

コントローラの廃棄は販売店に依頼すること。

- ◆ 環境破壊のおそれあり。



指示を
実行

移設・修理をするときに

警告

分解・改造はしないこと。移設・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆ けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

1. ご使用の前に

1-1. はじめに

AE-200J/AE-50J/EW-50Jは、Web対応の空調冷熱統合管理システムです。AE-200J/AE-50Jの液晶画面からの直接操作、またはWebブラウザからAE-200J/AE-50J/EW-50Jの空調機を監視・操作することができます。AE-200J/AE-50J/EW-50Jそれぞれ1台につき、最大50台まで室内ユニットを接続可能です。AE-200J(親機)にAE-50J(子機)またはEW-50J(子機)を併設することで、AE-200Jの液晶画面から室内ユニットを最大200台まで管理することができます。

また、統合管理ブラウザでAE-200J/AE-50J/EW-50Jを統合して、室内ユニットを最大2000台まで管理することができます。

本書では、空調冷熱統合管理システムをご利用するにあたり、必要となる初期設定の方法について説明します。

お知らせ

- 統合ソフト(PAC-TG2000)、電力量カウントソフト(PAC-YG11,12,13ATM)、デマンド入力PLCソフト(PAC-YG41,42,43ATM, PAC-YG91,92,93ATM)は2016年に販売を終了していますので、新規の購入はできません。
- また、汎用制御PLCは、AE-200J/AE-50J/EW-50Jと直接接続できません。

1-2. 本書の表記について

正式名称の表記について、下表に記載します。

正式名称	本書での表記
集中コントローラAE-200J/AE-50J/EW-50J	集中コントローラ
拡張コントローラAE-50J/EW-50J	拡張コントローラ
外気処理ユニット(LGH-N**RDF*)	加熱加湿付ロスナイ
空冷ヒートポンプチラーDT-R(Ⅱ、Ⅲ)	DT-R
ブラインクーラ(BALV-EN40/50/60A, BAOV-EN40/50/60AS)	ブラインクーラ
業務用ヒートポンプ給湯機	給湯機

また、「業務用エコキュート」と「ホットウォーターヒートポンプ(CAHVの一部機種※¹)」に分類して表記します。

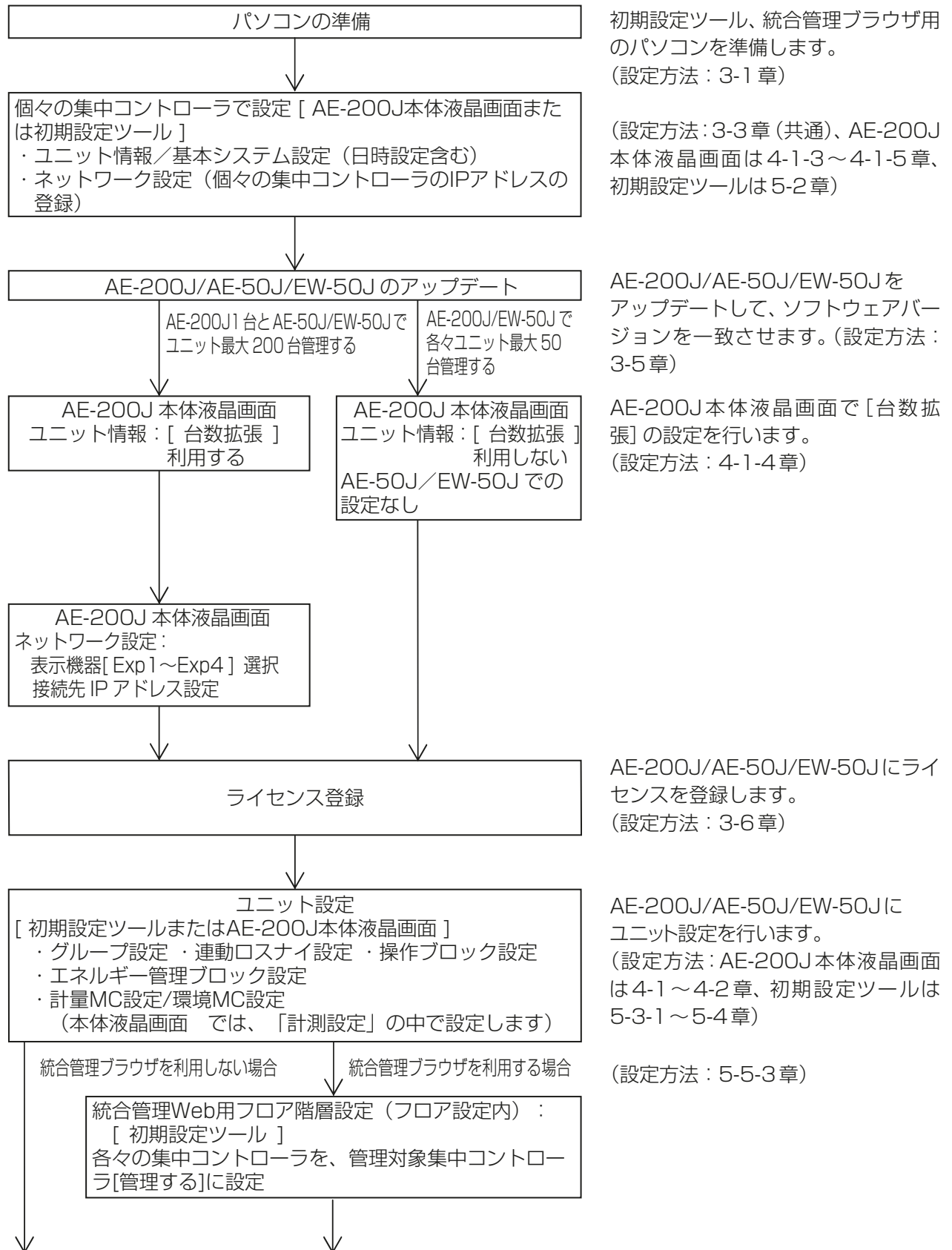
※¹ 「CAHVの一部機種」とは、次の機種になります。

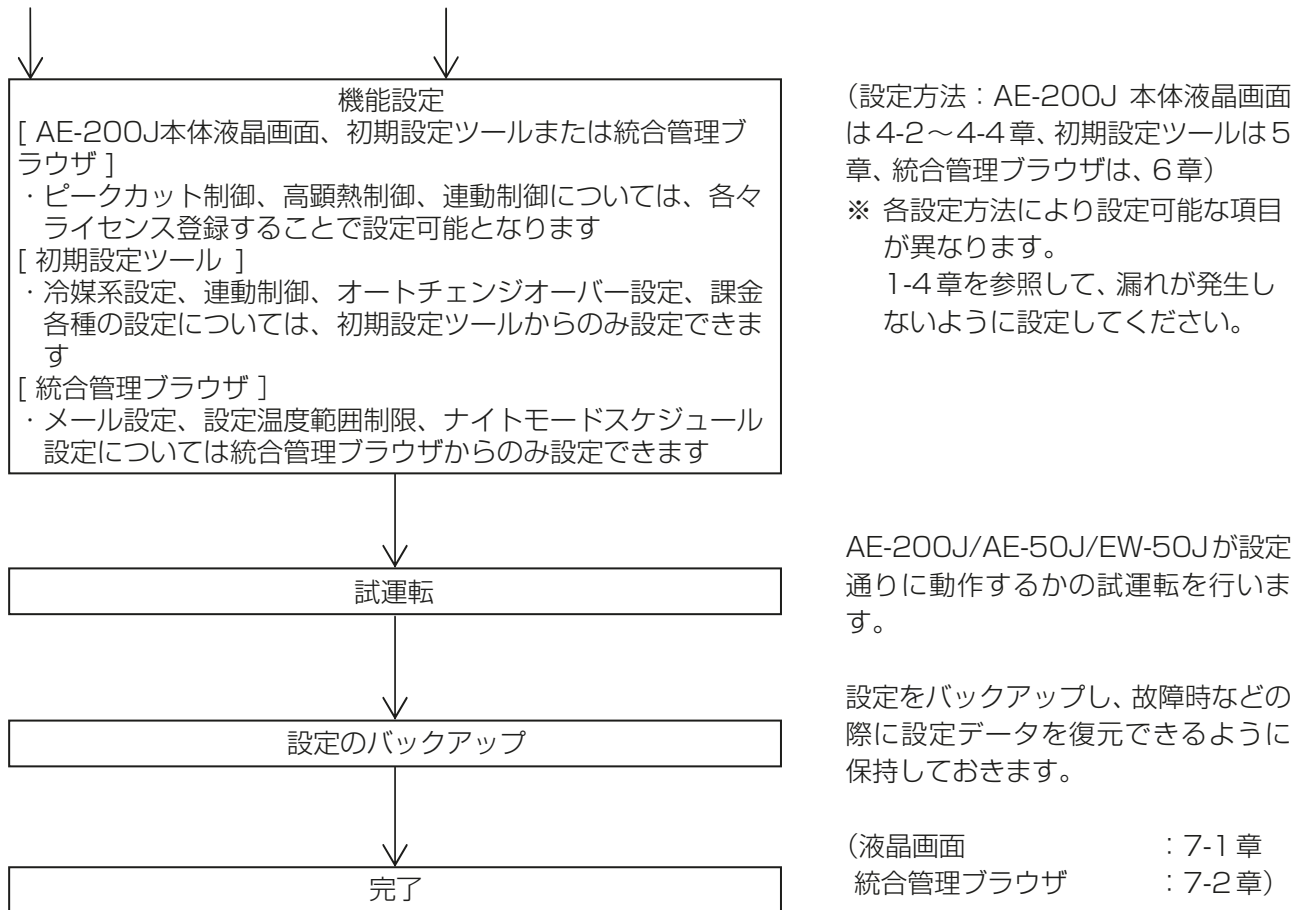
- CAHV-P500AK2-H(-BS/-BSG)
- CAHV-P500VAK2-H(-BS/-BSG)

1-3. 初期設定と試運転の流れ

初期設定と試運転の流れを次のページに示します。

初期設定と試運転の流れ
設定手順の一例を説明します。





※工事店・販売店の方へ

初期設定および試運転を実施し、設定の抜け、誤りが無いことを確認してください。

AE-200J/AE-50J/EW-50Jの初期設定は、液晶画面、初期設定ツール、統合管理ブラウザの3種類で行うことができます。

お知らせ

- ・ 統合管理ブラウザにログインしている状態で設定を変更した場合、一旦ログアウトした後、再度ログインが必要です。

それぞれ、以下の特徴があります。

- ・ 液晶画面（設定）

AE-200Jの液晶画面からAE-200J/AE-50J/EW-50Jの設定を行う方法です。

1つのAE-200Jのシステムに対し初期設定できます。

液晶画面からの設定方法は4章で説明します。

お知らせ

- ・ 拡張コントローラの接続設定はAE-200Jの液晶画面から行ってください。
- ・ EW-50Jは液晶画面がないため、初期設定ツール、もしくは統合管理ブラウザから設定が必要です。

- ・ 初期設定ツール

パソコンで初期設定ツールを用いて、設定を行う方法です。

複数のAE-200J/EW-50Jのシステムに対して初期設定が可能で、AE-200J/AE-50J/EW-50Jを合計40台分まで一括で初期設定できます。

試運転を行うためのチェックシートを出力できます。（空調機、DT-Rおよびブラインクーラが対象）

初期設定ツールで作成した設定データをパソコンからAE-200J/AE-50J/EW-50JにLAN経由で書き込みます。

また、設定データは事務所などで事前に作成することもできます。

初期設定ツールからの設定方法は5章で説明します。

お知らせ

- ・ 電力按分課金支援機能の初期設定と統合管理ブラウザ機能の初期設定は、初期設定ツールから設定が必要です。
- ・ BACnet[®] 接続機能の初期設定は、BACnet[®] 設定ツールからの設定が必要です。

- ・ 統合管理ブラウザ

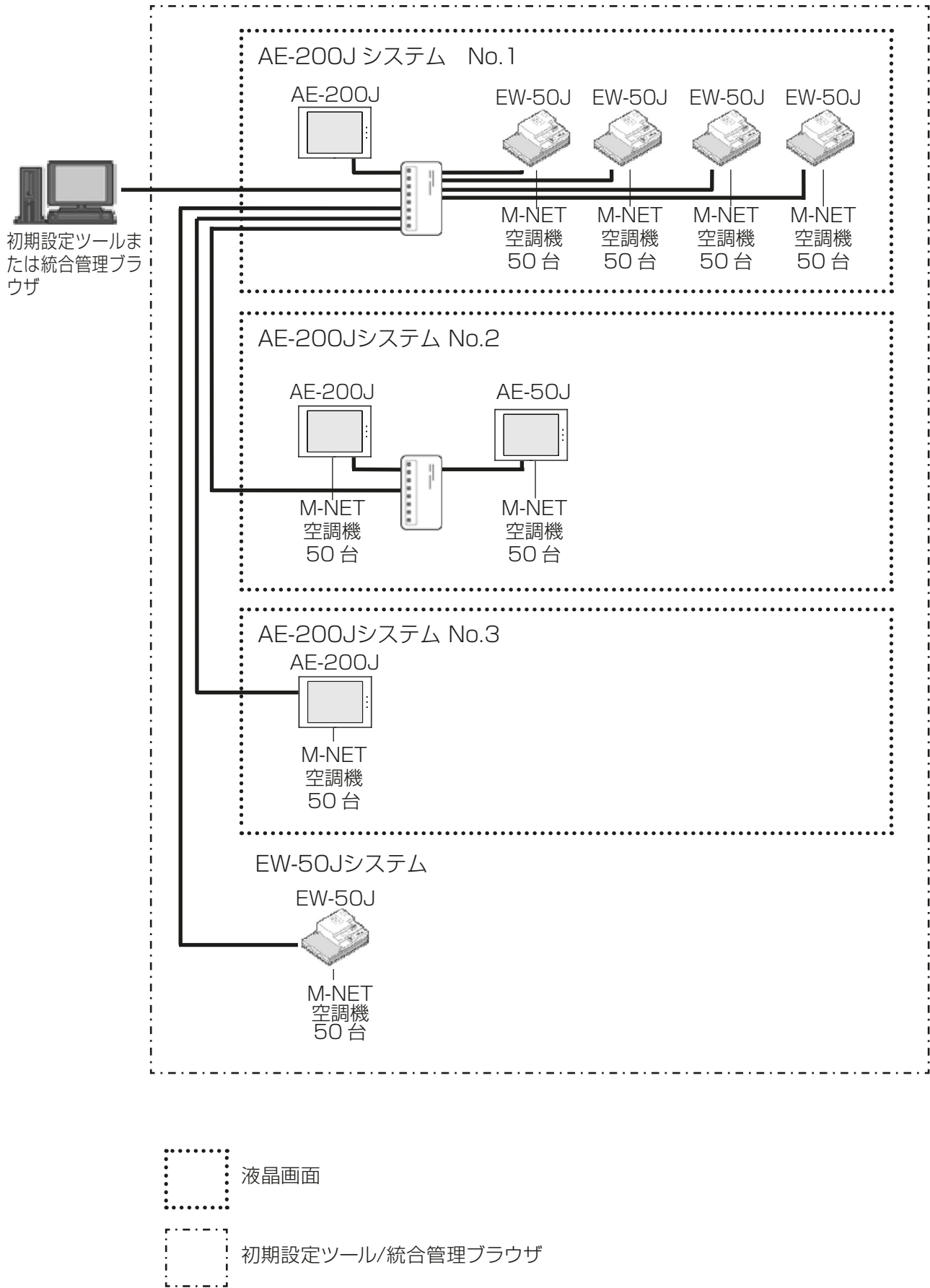
パソコンのWebブラウザで設定を行う方法です。

統合管理システム毎に対し個別にログインをして初期設定できます。

統合管理ブラウザからの設定方法は6章で説明します。

1. ご使用の前に

各設定方法の設定範囲は以下の通りです。



1-4. 設定可能な機能

液晶画面、初期設定ツール、統合管理ブラウザはそれぞれ設定可能な機能が異なります。

使用する機能を下表から確認し、初期設定方法を組み合わせて設定してください。

液晶画面、初期設定ツール、統合管理ブラウザの各機能が対応するバージョン情報については「添付. 追加機能について」を参照してください。

分類	設定機能名	備考	液晶画面	初期設定ツール	統合管理ブラウザ
基本設定	現在日時設定	現在日時の設定ができます。	○		○
	個別ライセンス登録	購入したライセンスの登録ができます。	○	○	○
	一括ライセンス登録	ライセンスCSV ファイルを用いて一括ライセンスの登録ができます。		○	
	ユニット情報の設定	基本設定ができます。	○	○	
	言語設定	液晶画面で表示する言語の設定ができます。	○		
	M-NET 利用有無の設定	AE-200J の M-NET を利用する / しないの設定ができます。	○		
	拡張コントローラ利用有無の設定	拡張コントローラ (AE-50J/EW-50J) を利用する / しないの設定ができます。	○		
	課金支援機能利用有無の設定	AE-200J の電力按分課金支援機能を利用する / しないの設定ができます。	○※1		
	高度設定	「時刻のマスタ / サブ」「スケジュール季節設定の有効 / 無効」「旧機種互換モード」の設定ができます。	○	○	
	ネットワーク設定	ネットワークに関する設定ができます。	○	○	
ユニット設定	本体 IP アドレスの設定	本体の IP アドレスの設定ができます。※9	○	○	
	拡張コントローラ IP アドレスの設定	拡張コントローラ (AE-50J/EW-50J) 接続先 IP アドレスの設定ができます。 (AE-200J で設定します)	○		
	空調	「室内ユニット」「ロスナイ」「加熱加湿付ロスナイ」「汎用機器」「リモコン」「下位システムコントローラ」をグループに登録します。	○	○	
	低温	「低温機器」「除湿機」をグループに登録します。	○※2		
	DT-R	「空冷ヒートポンプチャラー (DT-R)」をグループに登録します。	○	○	
	ブラインクーラ (BALV、BAOV)	「空冷式ブラインクーラ」をグループに登録します。	○	○	
	ホットウォーターヒートポンプ	「ホットウォーターヒートポンプ」をグループに登録します。	○※10	○	
	給湯機設定	「業務用エコキュート」に登録します。	○※10		
	冷媒系設定 (電力按分課金支援機能・高顕熱制御用・オートチェンジオーバー用)	電力按分課金支援機能、高顕熱制御、オートチェンジオーバー用に冷媒系接続情報を設定します。		○※1	
	連動ロスナイ設定	室内ユニットに連動させるロスナイに登録します。	○	○	
機能設定	ブロック (操作ブロック) 設定	設定したグループをブロックに登録します。	○	○	

1. ご使用の前に

分類	設定機能名	備考	液晶画面	初期設定ツール	統合管理ブラウザ
機能設定	エネルギー管理ブロック設定	設定したブロックをエネルギー管理ブロックに登録します。	○	○	
	計量MC設定	計量用計測コントローラまたは計量用パルス入力の「電力量計」「水道量計」などを設定できます。	○	○	
	環境MC設定	環境用計測コントローラの「温度センサ」「湿度センサ」を設定できます。	○	○	
	上下限通報メール設定	上下限通報メールの送信先・メールタイトルを設定できます。		○	
	メール設定	異常メール通報やメール通信の設定ができます。			○
	省エネ・ピークカット設定	ピークカット方式やデマンドレベルごとの制御内容を設定できます。	○※5		○※5
	ET制御設定	負荷に応じて蒸発温度を上昇させて運転効率を向上させる、ET制御機能を室外ユニットごとに設定できます。	○※6		○※6
	高顕熱制御設定	負荷に応じて蒸発温度を上昇させて運転効率を向上させる、高顕熱制御機能を室外ユニットごとに設定できます。	○※7	○※7	
	アドバンストパワーセーブ設定	室外ユニットごとに室外ユニットの使用電力量上限をセーブする設定ができます。	○※6		○※6
	室外機スケジュール1	室外ユニットの省エネ制御に関するスケジュールが設定できます。	○		○
	サーモOFF時送風設定	室内ユニットごとにサーモOFF時の送風設定ができます。	○※6		○※6
	エネルギー管理設定	エネルギー管理機能でグラフを表示するための設定ができます。	○	○	
	設定温度範囲制限設定	手元リモコンまたは一般ユーザー用Webブラウザの設定温度の範囲を制限する設定ができます。			○
	ナイトモードスケジュール設定※13	室外ユニットを特定の時間、低騒音運転に切り替える設定ができます。			○
	オートチェンジオーバー設定	室内ユニットの運転モード（冷房と暖房）を室温と設定温度に基づいて自動で切り替える設定ができます。		○	
	外気温度連動制御設定	設定温度と外気温度の温度差に連動して設定温度を自動調節する設定ができます。	○		○
	室外機スケジュール2※13	室外ユニットの霜取り運転やナイトモードに関するスケジュールが設定できます。	○		○
	ナイトセットバック設定	夜間、室温が一定の温度範囲から外れた場合に自動的に冷房または暖房を行う設定ができます。	○		○
	連動制御設定	条件を満たしたときに機器を連動動作させる連動制御の設定ができます。		○※8※11	
	24時間換気設定	ロスナイの24時間換気の設定ができます。	○		○
	ナイトパージ設定	外気温度の低い夜間に外気を取り入れるナイトパージの設定ができます。	○		○

分類	設定機能名	備考	液晶画面	初期設定ツール	統合管理ブラウザ
機能設定	BACnet® 設定※ ³	BACnet® のオブジェクト設定ができます。			
フロア設定	フロア設定	液晶画面でフロアレイアウト表示して監視するための設定ができます。	○	○	
	統合管理Web用フロア設定	統合管理ブラウザでフロアレイアウト表示して監視するための設定ができます。		○	
課金設定	課金設定	電力按分課金支援機能の設定ができます。		○※ ¹	
	室外機設定	電力量按分用の室外ユニットパラメータの設定ができます。		○※ ¹	
	室内機設定	電力量按分用の室内ユニットパラメータの設定ができます。		○※ ¹	
	計量設定	電力量按分用の計量計とユニットの接続関係を設定できます。		○※ ¹	
	料金設定	料金時間帯の設定ができます。		○※ ¹	
ユーザー設定	液晶画面用ユーザー設定	液晶画面での利用可能機能やパスワードの設定ができます。(保守ユーザー/ビル管理者)	○		○
	統合管理ブラウザ用ユーザー設定※ ⁴	統合管理ブラウザでの一般ユーザー、テナントユーザー、またはメンテナンスユーザーの設定ができます。			○
メンテナンス	設定データバックアップ/読み込み	設定データをUSBメモリに保存できます。また、USBメモリに保存した設定データをAE-200J/AE-50J/EW-50Jに読み込んで復元することができます。	○		○※ ¹²
	アップデート	AE-200J/AE-50J/EW-50Jのソフトウェアアップデートができます。	○		
その他	空調発停試運転チェックシート	空調機、DT-Rおよびブラインクーラの試運転に利用可能なチェックシートを出力することができます。		○	

※1 設定内容の詳細は、取扱説明書「電力按分課金支援機能編」を参照してください。

※2 設定内容の詳細は、取扱説明書「低温 MELTOUCH 機能編」を参照してください。

※3 BACnet® 設定ツールから設定します。取扱説明書「BACnet® 設定ツール編」を参照してください。

※4 統合管理ブラウザから設定します。取扱説明書「統合管理ブラウザ操作編」を参照してください。

※5 省エネ制御ライセンス・省エネ制御（ピークカット）ライセンスが必要です。

※6 Ver.7.4未満の場合、E制御ライセンスが必要です。最新版へのアップデートを推奨します。

※7 高顕熱制御ライセンスが必要です。

※8 連動制御ライセンスが必要です。Ver.7.5からは初期設定ツールで設定を行ってください。

※9 BACnet® 用のLAN2のIPアドレス (IPv4) の設定ができます。IPアドレス (IPv6) の設定は、BACnet® 設定ツールでのみ設定が可能です。

※10 設定内容の詳細は、取扱説明書「業務用ヒートポンプ給湯機編」を参照してください。

※11 Ver.7.5以降、集中コントローラをまたぐ連動制御が可能です。

※12 各々の集中コントローラごとに実施します。

※13 ナイトモードスケジュールと室外機スケジュール2のナイトモード制御の併用は禁止です。

毎日同じ時刻で使用したい場合は、ナイトモードスケジュール、日によって異なるスケジュールで制御したい場合または制御レベルを設定したい場合は、室外機スケジュール2のナイトモード制御をご使用ください。

2. 使用部品

本章では、初期設定に必要な部品について説明します。

AE-200J/AE-50J/EW-50Jの設置に必要な部品については、据付工事説明書を参照してください。

2-1. 必要部品

品名	個数	備考
ライセンス	必要数	ライセンスが必要な機能を動作させるために必要です。AE-200J/AE-50J/EW-50Jそれぞれに登録します。
AE-200J アップデートファイル ^{※1}	1	AE-200J/AE-50J/EW-50Jのソフトウェアをアップデートする際に利用します。
AE-50J/EW-50J アップデートファイル ^{※1}	1	AE-200J/AE-50J/EW-50Jのバージョンが不一致の場合、動作しません。
初期設定ツール ^{※2}	1	初期設定に使用します。 統合管理ブラウザ、電力按分課金支援機能を使用する場合は必要です。 AE-200J/AE-50J/EW-50Jのバージョンにより、使用可能な初期設定ツールのバージョンが異なります。

※1 アップデートファイルについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※2 初期設定ツールの入手方法、およびインストール手順は「3-1-2. 初期設定ツールのインストール」を参照してください。

ただし、電力按分課金支援機能を使用する場合は、電力按分課金支援機能に対応した初期設定ツールが必要です。お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※3 初期設定ツールを使用する場合は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jと初期設定ツールのバージョンを合わせる必要があります。可能な組合せは以下の通りです。

初期設定ツール のバージョン	AE-200J/AE-50J/EW-50J のバージョン	.NET Framework のバージョン
Ver.1.9/2.0	Ver.7.2～7.98	Ver.4.8以降
Ver.1.8	Ver.7.2～7.85	Ver.4.8以降
Ver.1.7	Ver.7.2～7.8	Ver.4.8以降
Ver.1.61	Ver.7.2～7.7	Ver.4.8以降
Ver.1.5	Ver.7.2～7.69	Ver.4.8以降
Ver.1.4	Ver.7.2～7.64	Ver.4.8以降
Ver.1.3	Ver.7.2～7.5	Ver.4.8以降
Ver.1.2	Ver.7.2～7.4	Ver.4.8以降
Ver.1.1	Ver.7.2～7.3	Ver.4.8以降
Ver.1.0	Ver.7.2	Ver.4.8以降
使用不可	Ver.7.1	—

2-2. 一般市販部品

使用する初期設定方法に応じて以下の一般市販部品をご準備ください。

品名	個数	備考
パソコン	1	初期設定ツール、統合管理ブラウザを使用するパソコンです。
USBメモリ	1	設定データのバックアップに必要です。
LAN ケーブル	必要数	AE-200J/AE-50J/EW-50J とパソコンの接続に必要です。
スイッチングHUB	必要数	

初期設定ツール、統合管理ブラウザ用のパソコンの動作環境は以下の通りです。(2022年2月時点)

項目	要件
CPU	1GHz以上(推奨2GHz以上)
メモリ	1GB(統合管理ブラウザの場合、2GB以上)
画面解像度	1024×768以上 (1366×768以上推奨)
対応OS	Microsoft® Windows® 11 (64bit) ※ ¹ Microsoft® Windows® 10 (64bit) ※ ¹ Microsoft® Windows® 8.1 (64bit) ※ ¹
動作環境	Windows® 8.1、Windows® 10、Windows® 11 の最低動作環境を満たしていること
動作環境 (初期設定ツールのみ必要)	.NET Framework4.8以上※ ² Microsoft® Excel 2013(32bit)/2016(32bit)/2019(32bit) (試運転チェックシートを利用する場合)
対応ブラウザ ※ ³ (統合管理ブラウザのみ必要)	Microsoft® Edge® 96 Google Chrome™ 96 Safari® 15
内蔵LANポートまたはLANカード	100BASE-TX以上
ポインティングデバイス	マウスなど
USB	1ポート以上

※¹ Proで動作確認しています。

※² .NET Framework 4.8 以上がインストールされていない場合、初期設定ツールインストール時にダウンロードサイトへ誘導されます。

※³ Microsoft® Internet Explorer® 11 は2022年6月にMicrosoft社のサポートが終了となります。そのため、他のブラウザをご使用ください。

OS、ブラウザは最新バージョンをご利用されることを推奨します。

お知らせ

- 下記条件を満たすUSBメモリを選定し、運用前に正常に動作することを確認してから使用してください。
- 1) USB2.0 対応していること (USB3.0以降の場合は、USB2.0 互換であること)。
 - 2) FAT32、または FAT (FAT16) 形式でフォーマットされていること。
 - 3) ソフトウェアを実行することでデータファイル等の書き込みを禁止するセキュリティ機能が有効となっていないもの。
 - 4) 指紋認証等でUSBメモリ自体に書き込み禁止等のセキュリティ機能を解除できるもの。

- 上記を満たすUSBメモリでも、正しく動作しない可能性があります。
- データ書き込み異常が発生した後、別のUSBメモリに変えても正常に書き込めないような場合は、AE-200Jを再起動 (電源切→入) してから最初に異常発生したもの以外のUSBメモリで改めて出力を行ってください。(パソコン等の別の機器でUSBメモリに書き込めるかを確認してください。)

- 下記の表のUSBメモリについて正常に動作することを確認しています。(2021年8月時点)

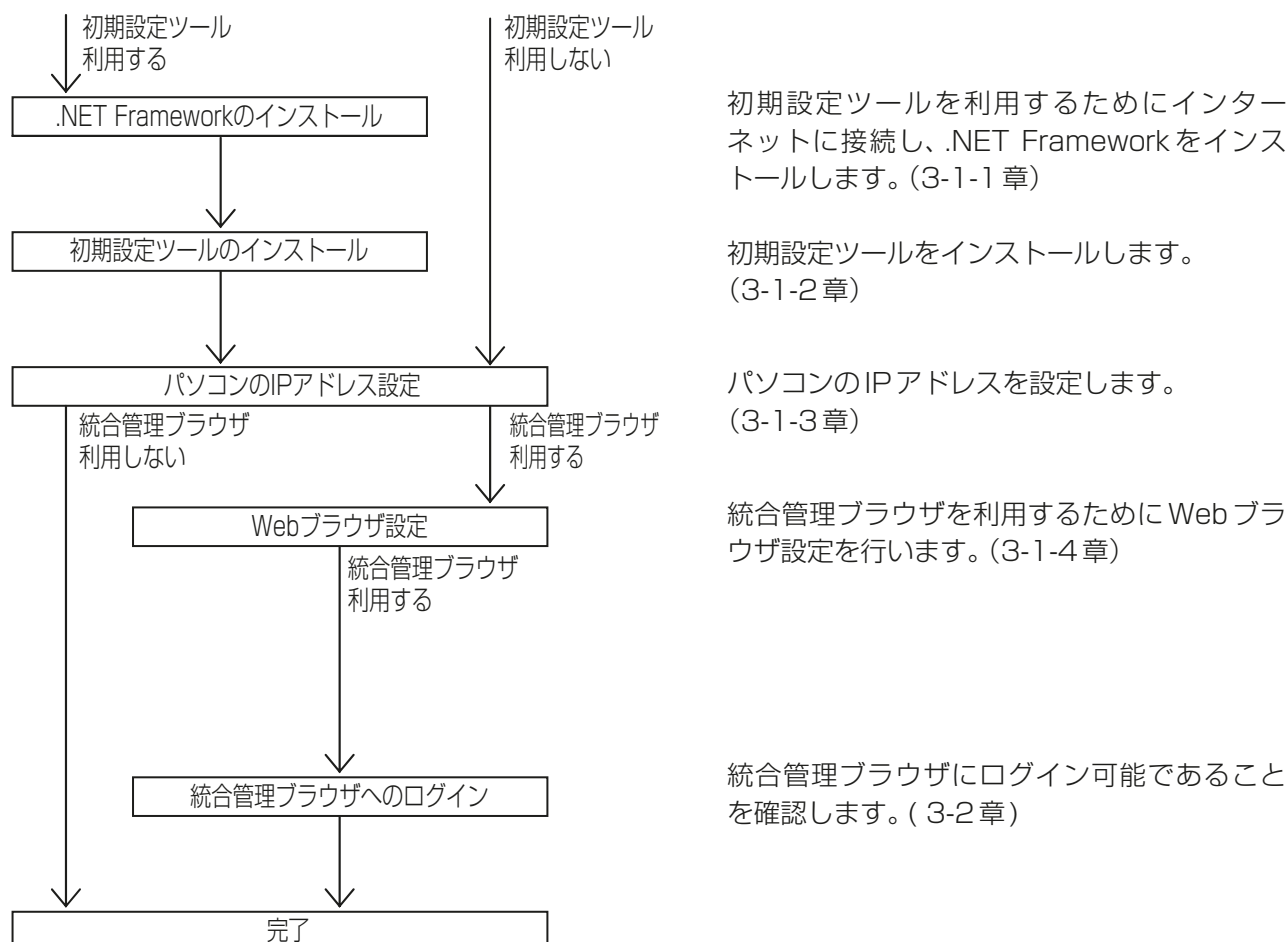
No.	メーカー	型名	容量
1	Transcend	TS16GJF590K	16GB
2	Transcend	TS32GJF700	32GB
3	Transcend	TS32GJF710S	32GB
4	Transcend	TS32GJF790KBE	32GB
5	Transcend	TS64GJF790KBE	64GB
6	Sony	USM16GRB	16GB
7	Sony	USM8X B	8GB
8	BUFFALO	RUF3-K8G	8GB
9	BUFFALO	RUF3-K8GA	8GB
10	BUFFALO	RUF3-KS32GA-BK.N	32GB
11	TOSHIBA	THN-U202W0160A4	16GB
12	M-Commerce	Biocryptodisk-ISPX	8GB
13	SanDisk	SDCZ33-016G-J57	15GB
14	Silicon Power	SP016GBUF2U02V1K	16GB
15	Silicon Power	SP032GBUF3802V1K	32GB
16	Silicon Power	SP032GBUF3180VITJ	32GB

3. 設定前の準備

3-1. パソコンの準備

初期設定ツール、統合管理ブラウザ用のパソコンを準備します。
液晶画面のみですべての設定を行う場合は、本準備は不要です。

以下の手順で準備を行います。



3-1-1. .NET Framework のインストール

初期設定ツールを使用する場合、.NET Framework4.8がインストールされている必要があります。
.NET Frameworkが必要なバージョン未満の場合は、初期設定ツールのインストールが中断し、.NET Frameworkのインストールが必要であることを示すメッセージが表示されます。インターネットに接続し、以下のURLから.NET Framework4.8のインストーラをダウンロードし、インストールしてください。

<https://dotnet.microsoft.com/ja-jp/download/dotnet-framework/net48>

3-1-2. 初期設定ツールのインストール

お知らせ

- 初期設定ツールの入手方法はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

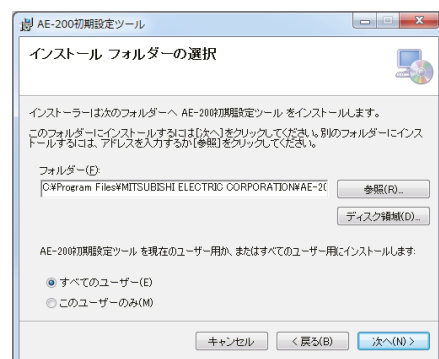
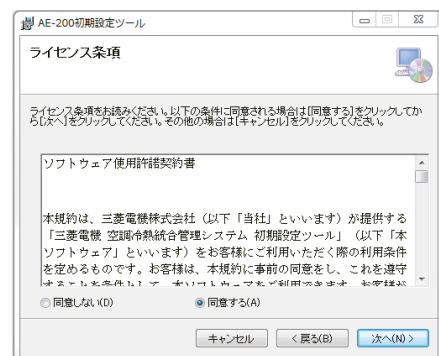
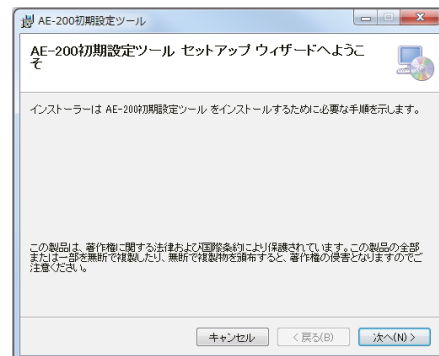
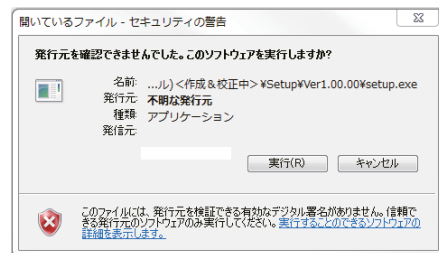
手順

- 初期設定ツールのインストールファイル
setuplSToolJ_lite_V***.msi をダブルクリックする。
(V***はバージョンを示します。V110の場合、
Ver.1.10です。)
- 「セキュリティ警告」が表示されるので、**[実行]**をクリックする。
- 「セットアップウィザード」画面が開くので、**[次へ]**をクリックする。
- 「ライセンス条項」画面が開くので、**[同意する]**に
チェックを入れて**[次へ]**をクリックする。

- 「インストール フォルダの選択」画面が開くので、
保存先のフォルダを選択して**[次へ]**をクリックする。

お知らせ

- PCにログインの設定をしていて、全てのユーザーが初期設定ツールを使用する場合は、**[すべてのユーザー]**にチェックが入った状態で**[次へ]**をクリックする。



3-1-3. パソコンのIPアドレス設定

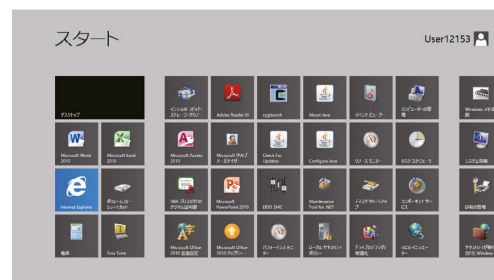
パソコンのIPアドレスを設定します。パソコンのIPアドレスは、AE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレスと同一系統のネットワークアドレスを設定します。

(例えば、AE-200JのIPアドレス：192.168.1.1、パソコンのIPアドレス：192.168.1.101)

[1] Windows8.1 の場合

手順

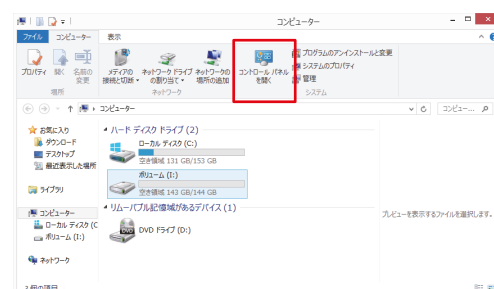
1. スタート画面の[デスクトップ]アイコンをクリックする。



2. デスクトップ画面の[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックする。



3. ツールバーの[コントロール パネルを開く]をクリックする。



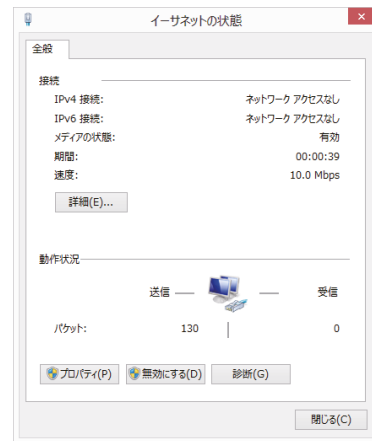
4. [ネットワークと共有センター]アイコンをクリックする。

5. [アダプターの設定の変更]をクリックする。

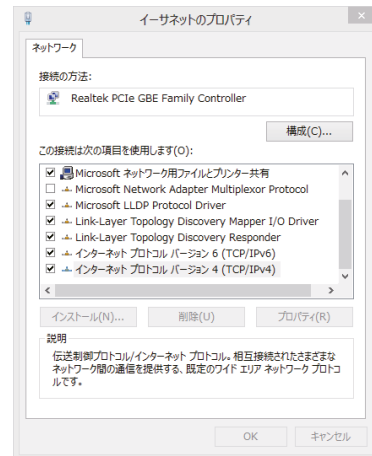


6. [イーサネット]アイコンをダブルクリックする。

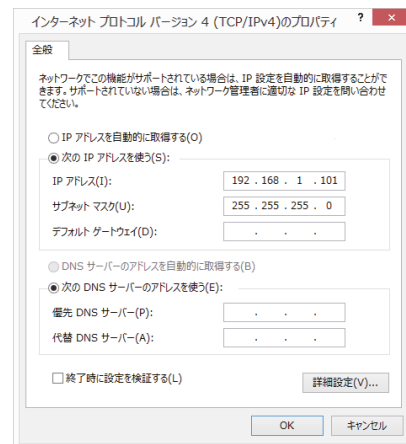
7. 「イーサネットの状態」画面で、[プロパティ]をクリックする。



8. [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IP)] をクリックして選択し、[プロパティ] をクリックする。



9. [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] のプロパティ画面で [次の IP アドレスを使う] を選択する。
10. 「IP アドレス」にパソコンの IP アドレス（例えば、192.168.1.101）を入力する。
11. 「サブネットマスク」欄に、通常 255.255.255.0 を入力する。
12. 「デフォルトゲートウェイ」欄に、必要に応じてゲートウェイアドレスを入力する。



お願い

- 設定する IP、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスは、システム管理者に確認してください。

13. [OK] または [閉じる] をクリックして、すべての画面を閉じてネットワークの設定を完了します。

[2] Windows 10、11 の場合

手順

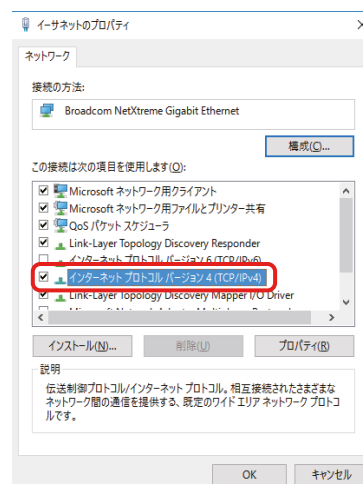
1. 検索ボックスで「コントロール パネル」を検索する。
コントロールパネルを開きます。
2. [ネットワークと共有センター] アイコンをクリックする。
3. [アダプターの設定の変更] をクリックする。



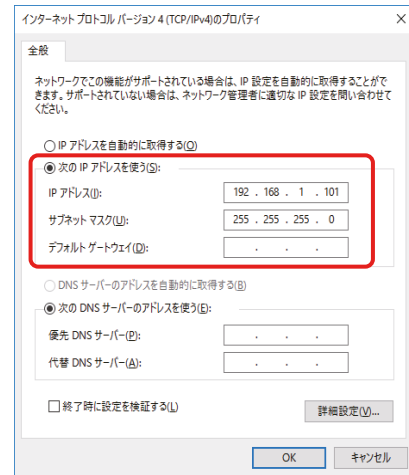
4. [イーサネット] アイコンをダブルクリックする。
5. 「イーサネットの状態」画面で、[プロパティ] をクリックする。



6. [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IP)] をクリックして選択し、[プロパティ] をクリックする。



7. [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)]のプロパティ画面で[次のIPアドレスを使う]を選択する。
8. 「IPアドレス」にパソコンのIPアドレス
(例：192.168.1.101)を入力する。
9. 「サブネットマスク」欄に、通常255.255.255.0を入力する。
10. 「デフォルトゲートウェイ」欄に、必要に応じてゲートウェイアドレスを入力する。



お願い

- 設定するIP、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスは、システム管理者に確認してください。

11. [OK] または [閉じる] をクリックして、すべての画面を閉じてネットワークの設定を完了します。

3-1-4. Webブラウザ設定

統合管理ブラウザを利用するためにWebブラウザ設定を行います。

Webブラウザ設定は、インターネット接続方法によって異なります。インターネット接続方法により下節を参照してWebブラウザの設定を行ってください。

お願い

- AE-200J/AE-50J/EW-50Jをインターネットに接続するときは、不正アクセスを防ぐため、VPNルーターなどのセキュリティ装置を使用してください。
- ネットワーク製品においては、悪意のある攻撃者にぜい弱性を悪用された場合、サービスの停止 (DoS)、情報の漏えい、情報の改ざん等の影響を受ける可能性があります。これら悪意を持った外部からの攻撃を回避するため、お客様のネットワーク環境にて、以下のぜい弱性軽減策を実施されることを推奨いたします。
 - AE-200J/AE-50J/EW-50Jへアクセス可能なパソコンにウイルス対策ソフトを搭載してください。
 - AE-200J/AE-50J/EW-50Jへのアクセスを信頼できるネットワークやホストからのアクセスに制限してください。

[1] インターネット接続しない場合

インターネット接続なしでパソコンから空調機を状態監視／操作するには、以下の手順に従ってWebブラウザの環境を設定します。

手順

1. 下記のようにインターネットオプションを開く。

Windows 8.1 の場合

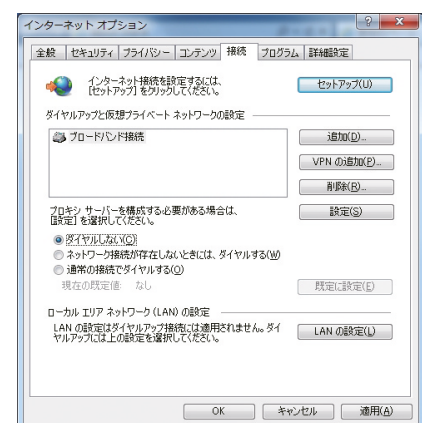
スタート画面→[デスクトップ]→[マイコンピュータ]→[コントロールパネルを開く]→[ネットワーク共有センター]→[インターネットオプション]

Windows 10、11 の場合

検索ボックスで「コントロールパネル」を検索→[ネットワーク共有センター]→[インターネットオプション]

2. インターネットオプション画面で、[接続] タブをクリックする。

3. 画面中央にある [ダイヤルしない] のラジオボタンをチェックし、[OK] をクリックする。
設定を完了します。



[2] 既設LANを利用したプロキシサーバー経由でインターネット接続する場合

社内LANなどの既設LANに接続し、プロキシサーバー経由でインターネットに接続したパソコンから空調機を状態監視／操作するには、以下の手順に従ってWebブラウザの環境を設定します。

手順

1. 下記のようにインターネットオプションを開く。

Windows 8.1 の場合

スタート画面→[デスクトップ]→[マイコンピュータ]→[コントロールパネルを開く]→[ネットワーク共有センター]→[インターネットオプション]

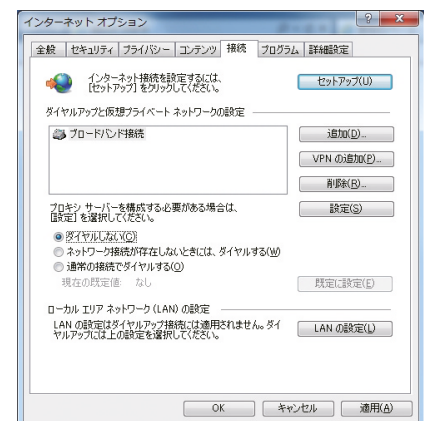
Windows 10、11 の場合

検索ボックスで「コントロール パネル」を検索→[ネットワーク共有センター]→[インターネットオプション]

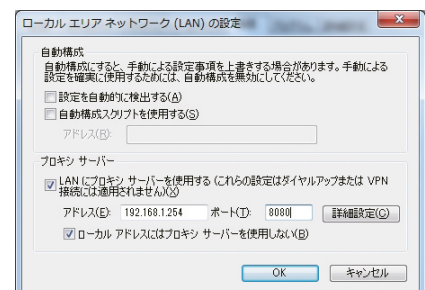
2. インターネットオプション画面で、[接続]タブをクリックする。

3. 画面中央にある[ダイヤルしない]のラジオボタンをチェックする。

4. 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」の[LANの設定]をクリックする。

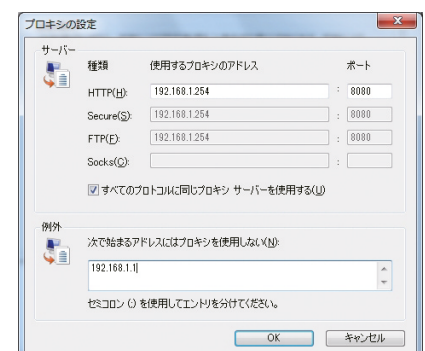


5. ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定画面で、[ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない]をチェックし、[詳細設定]をクリックする。



6. プロキシの設定画面で、「例外」にAE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレス（例えば、「192.168.1.1」）を入力し、[OK]または[閉じる]をクリックする。
すべての画面を閉じて設定を完了します。

なお、複数のAE-200J/AE-50J/EW-50Jを接続する場合は、「192.168.1.1; 192.168.1.2」のように複数のIPアドレスを入力します。また、ワイルドカードとしてアスタリスクを使用して「192.168.1.*」と指定することも可能です。



3-2. 統合管理ブラウザへのログイン

統合管理ブラウザにログイン可能であることを確認します。

手順

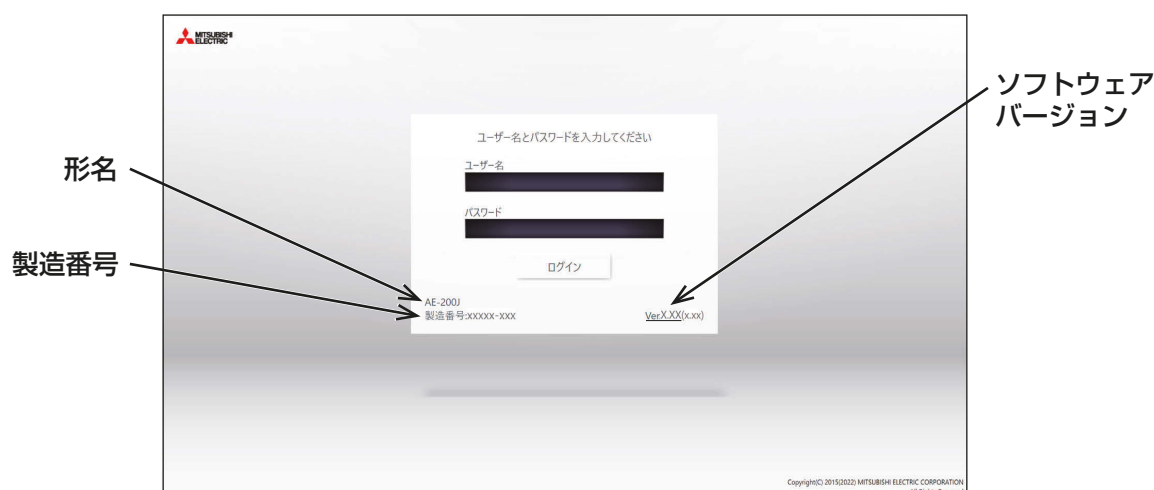
1. Web ブラウザのアドレス欄に以下の Web ページアドレス

http://(ログイン先の AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html

を入力する。

ログイン画面が表示されます。

Ver.7.98 から、ログイン先の AE-200J/EW-50J の形名と製造番号、ソフトウェアバージョン情報が表示されます。



お知らせ

- ログイン先の集中コントローラ AE-200J/EW-50J の IP アドレスが "192.168.1.1" の場合、Web ページアドレスは "http://192.168.1.1/control/index.html" となります。
- ログイン先の集中コントローラの設定は初期設定ツールを使用してください。
- Web ページは、パソコンの OS と同じ言語で表示されます。
以下のように Web ページアドレスを入力して他の言語でも表示できます。

中国語	http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?zh
英語	http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?en
フランス語	http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?fr
ドイツ語	http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?de
イタリア語	http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?it
日本語	http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?ja
ポルトガル語	http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?pt
ロシア語	http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?ru
スペイン語	http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?es
トルコ語	http://(AE-200J/EW-50J の IP アドレス)/control/index.html?tr

- Web ページアドレスをお気に入り追加すれば、今後容易にアクセスできます。
- お使いの PC のディスプレイによっては、操作画面の下部が切れて表示されることがあります。その場合、ブラウザを全画面表示に切り替えてお使いください。
- 統合管理ブラウザを常時起動させてお使いになる場合、ブラウザを定期的に再起動してお使いください。(目安：一週間)

2. ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力し、**[ログイン]** をクリックする。

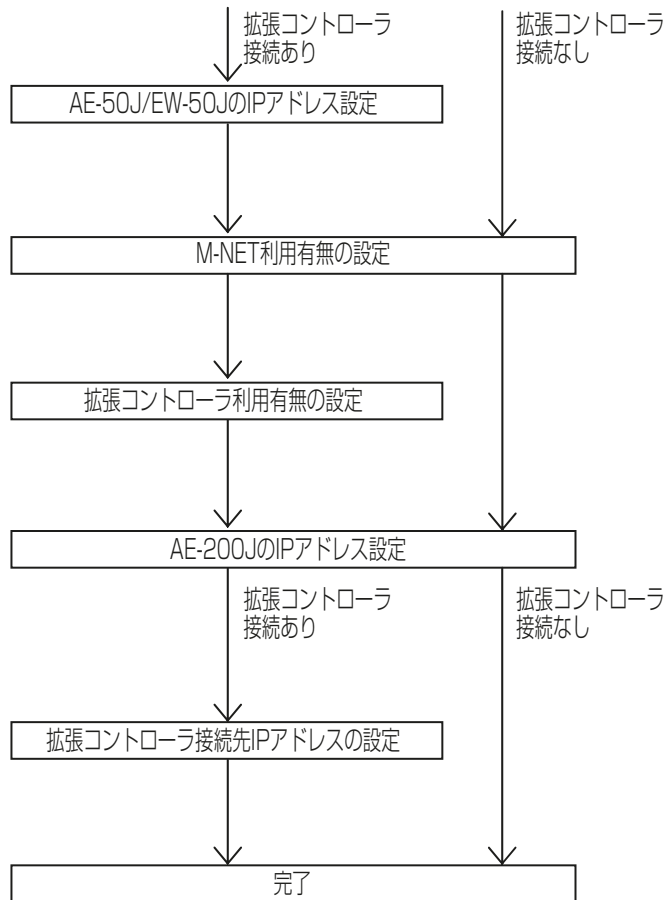
運転状態の監視画面が表示されます。下表に工場出荷時ユーザー名、工場出荷時パスワードを示します。

ユーザー	端末	工場出荷時ユーザー名	工場出荷時パスワード
管理者	PC	administrator	admin

3-3. IPアドレス設定

AE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレス設定と、AE-200Jでの拡張コントローラ接続を設定します。

AE-200Jのシステムの場合、以下の手順で設定を行います。



AE-50J/EW-50Jの液晶画面、初期設定ツールからAE-50J/EW-50JのIPアドレスを設定します。(3-3-1 章)

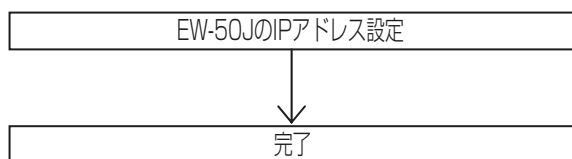
AE-200Jの液晶画面からAE-200JのM-NETを利用する / しないの設定をします。(3-3-2 章)

AE-200Jの液晶画面から拡張コントローラを利用する設定をします。(3-3-2 章)

AE-200Jの液晶画面、初期設定ツールからAE-200JのIPアドレスを設定します。(3-3-2 章)

AE-200Jの液晶画面から拡張コントローラのIPアドレスを設定します。(3-3-2 章)

EW-50Jのシステムの場合、以下の手順で設定を行います。



初期設定ツールからEW-50JのIPアドレスを設定します。(3-3-1 章)

お知らせ

- AE-200Jに拡張コントローラ(AE-50J/EW-50J)を接続した構成において、AE-200JのIPアドレスを変更した場合は、変更前のIPアドレスを【**検知しない**】に変更してください。変更しない場合、「6920」異常が検知されます。
(詳細は、4-1-5.[7] 通信異常検知設定を参照してください。)

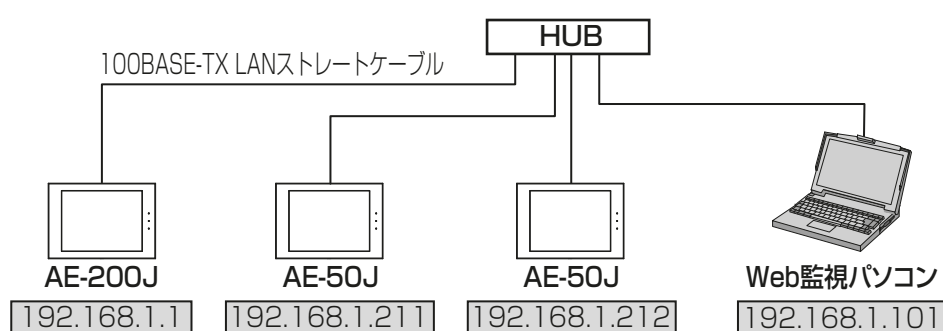
(1) AE-200J/AE-50J/EW-50Jを専用LANに接続する場合の設定

手順

1. 「IPアドレス」に各AE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレスを入力する。
LANを新設した場合は、AE-200JのIPアドレスを"192.168.1.1"から順に割り当てます。例えば、1台目のAE-200JのIPアドレスを"192.168.1.1"、2台目のAE-200Jは"192.168.1.2"などです。AE-50J/EW-50JのIPアドレスの設定は、"192.168.1.211"から順に割り当てます。

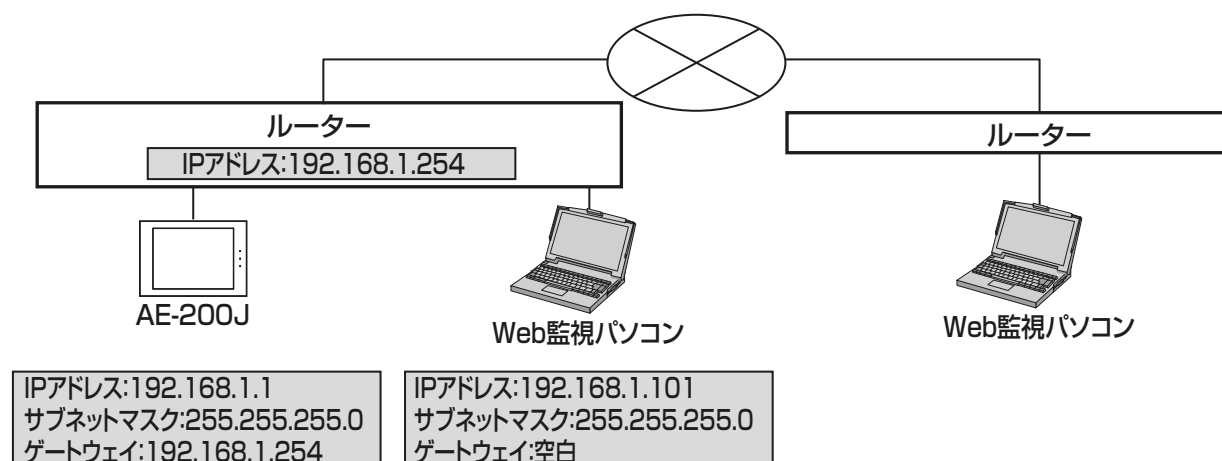
お知らせ

- 推奨するIPアドレス範囲は以下の通りです。
AE-200J : "192.168.1.1" ~ "192.168.1.40"
EW-50J (単独) : "192.168.1.1" ~ "192.168.1.40"
AE-50J/EW-50J (拡張) : "192.168.1.211" ~ "192.168.1.249"
パソコン : "192.168.1.101" ~ "192.168.1.150"

[IPアドレス設定例]**お知らせ**

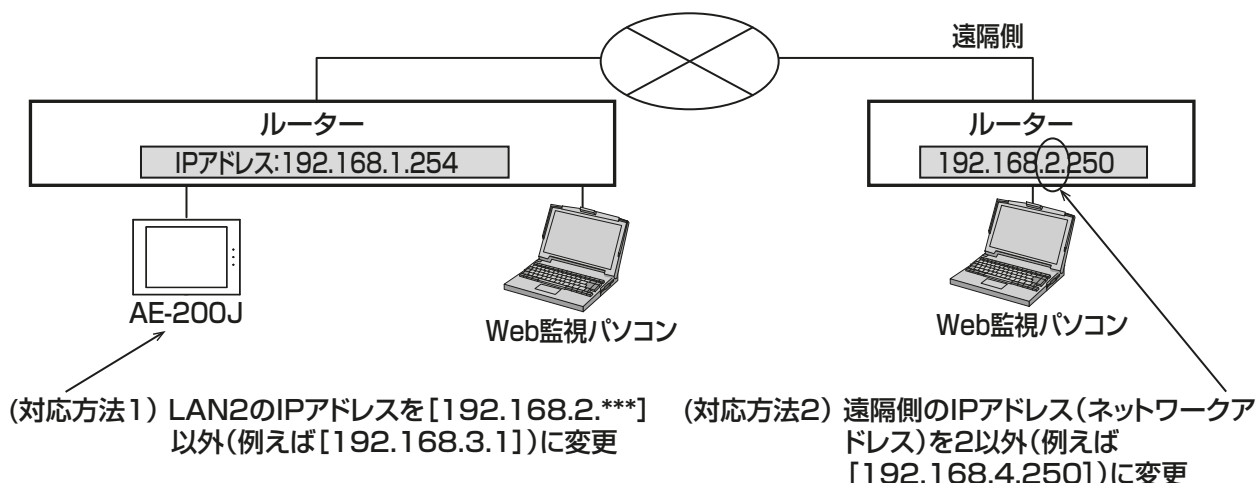
- HUBによっては、HUB同士を接続する専用ポートを備えています。
AE-200J/AE-50J/EW-50JとWeb監視パソコンは、通常ポートに接続してください。
- 複数のAE-200Jを接続する場合も同様に、IPアドレスが重複しないように設定してください。

2. 「サブネットマスク」に"255.255.255.0"を入力する。(特に指定がない場合)
3. ブロードバンドルーター経由でシステムを遠隔で監視する場合、またはメール機能を使用する場合は、「ゲートウェイ」にルーターのIPアドレスを入力する。
ブロードバンドルーターを接続しない場合は、「ゲートウェイ」を空白のままとしてください。

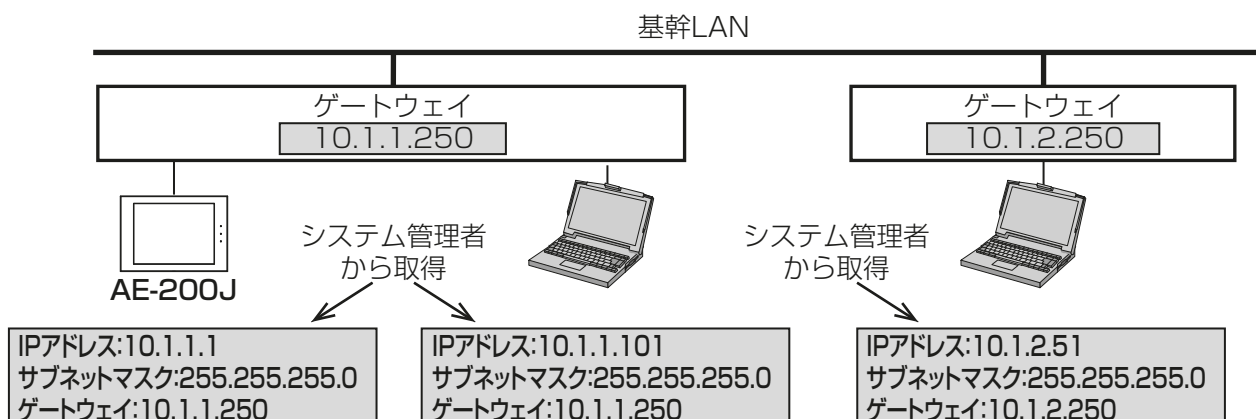
[遠隔監視システム例]

お知らせ

- ブロードバンドルーターのIPアドレスは"192.168.1.254"を設定することを推奨します。IPアドレスの設定方法は、ブロードバンドルーターの取扱説明書を参照してください。
- AE-200J/AE-50J/EW-50JのLAN2 (BACnet 専用) が未使用の場合、LAN2のIPアドレス初期値が[192.168.2.1]であるため、遠隔側ブロードバンドルーターのIPアドレスに[192.168.2.***]を使用すると、遠隔側からの接続に失敗します。遠隔側ブロードバンドルーターのIPアドレスに[192.168.2.***]のネットワークが存在する場合は、以下、対応方法1または2を実施ください。
 (対応方法1) 初期設定ツールでLAN2のIPアドレスを[192.168.2.***]以外のIPアドレスに変更してください。
 (対応方法2) 遠隔側ブロードバンドルーターの遠隔側のIPアドレス(ネットワークアドレス)を[192.168.2.***]以外に変更してください。

**(2) AE-200J/AE-50J/EW-50Jを既設LANに接続する場合の設定****手順**

1. AE-200J/AE-50J/EW-50Jを既設LANに接続する場合は、システム管理者と相談し、IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを設定する。

[既設LANシステム例]

3-3-1. AE-50J/EW-50JのIPアドレス設定

AE-50J/EW-50JのIPアドレスを設定します。設定する画面は機種により異なります。

AE-50J : AE-50Jの液晶画面
EW-50J : 初期設定ツール

お知らせ

- IPアドレスは「LAN1」に対して設定してください。
- 「LAN2」はBACnet[®]機能専用です。BACnet[®]機能を利用する場合、「LAN2」の設定はBACnet[®]設定ツールから行います。BACnet[®]機能の設定については、取扱説明書「BACnet[®]機能編」を参照してください。

[1] AE-50J液晶画面から設定する場合

手順

1. AE-50Jの電源投入後、言語選択画面が表示される。
表示に使用する言語を選択し、[OK]をタッチする。
現在日時設定画面が表示されます。

お知らせ

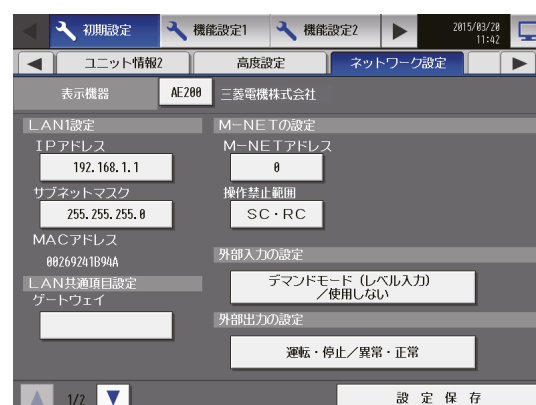
- 電源を入れてから画面が表示されるまでに約1分かかります。
- 初期設定を一度行っている場合は、電源投入後監視/操作画面が表示されます。

お願い

- 画面が表示されるまで、画面をタッチしないでください。



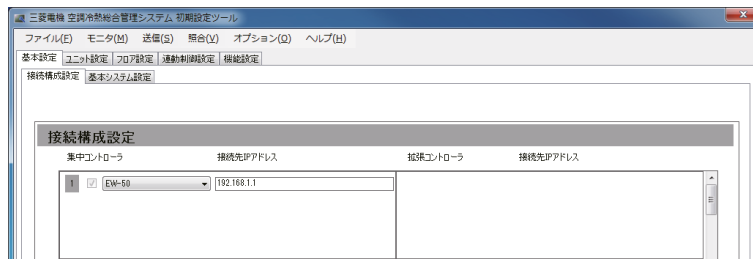
2. [▶]をタッチし、[ネットワーク設定]を表示させ、タッチする。
3. AE-50JのIPアドレスを設定し、[設定保存]をタッチする。
AE-50Jが再起動します。
設定画面の詳細は4-1-5章を参照してください。



[2] 初期設定ツールから設定する場合 (EW-50J)

手順

1. 初期設定ツールを起動し、**[新規作成]**をクリックする。
初期設定ツールが未設定で表示されます。
2. **[基本設定]**－**[接続構成設定]**をクリックして接続構成設定画面を開きます。
・NO.1にて設定を行います。集中コントローラ毎に設定する場合、NO.1にて設定してください。
3. 「機種選択」のプルダウン(▼)をクリックし、「EW-50J」を選択する。
4. 「接続先IPアドレス」にIPアドレス(初期値：192.168.1.1)を入力する。
5. 設定完了後、**[確定]**をクリックする。



6. ツールバーの**[モニタ]**－**[モニタ実行]**をクリックする。
EW-50Jの設定情報を初期設定ツールに読み込みます。
7. **[基本設定]**－**[基本システム設定]**をクリックする。
基本システム設定を開きます。
8. **[本体の設定]**の**[ネットワーク設定]**をクリックする。
ネットワーク設定画面を開きます。



9. **[取得]**をクリックする。
EW-50Jのネットワーク設定情報を読み込みます。
工場出荷時、IPアドレスは"192.168.1.1"サブネットマスクは"255.255.255.0"となっています。
10. LAN1 設定のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを変更し、**[設定]**をクリックする。ネットワークの設定をEW-50Jに反映します。

お知らせ

- ・LAN2 設定はBACnet[®] 機能専用です。
 - ・EW-50Jを初期設定ツールの設定値で動作させる場合は、ロータリスイッチ (SW1) を「0」に変更してください。
 - ・設定を反映するため、EW-50Jは再起動します。
11. EW-50J再起動後、再度**[基本設定]**－**[基本システム設定]**をクリックする。
基本システム設定を開きます。(このとき**手順2.**で設定したIPアドレスを変更後のものに再設定してください)
 12. 「本体の設定」の**[ネットワーク設定]**をクリックする。
ネットワーク設定画面を開きます。

13. **[取得]** をクリックする。
 EW-50J のネットワーク設定情報を読み込みます。
 ネットワーク設定が変更されていることを確認します。

お知らせ

- 設定した EW-50J の IP アドレスは初期設定ツールには保存されませんので、メモをとるなどしてください。

3-3-2. AE-200J の IP アドレス設定

AE-200J の IP アドレスと、拡張コントローラの接続を設定します。

[1] AE-200J 単体で使用する場合

手順

1. 電源投入後、言語選択画面が表示される。
 表示に使用する言語を選択し、**[OK]** をタッチする。

お知らせ

- 電源を入れてから画面が表示されるまでに約 1 分かかります。
- 初期設定を一度行っている場合は、電源投入後、監視 / 操作画面が表示されます。



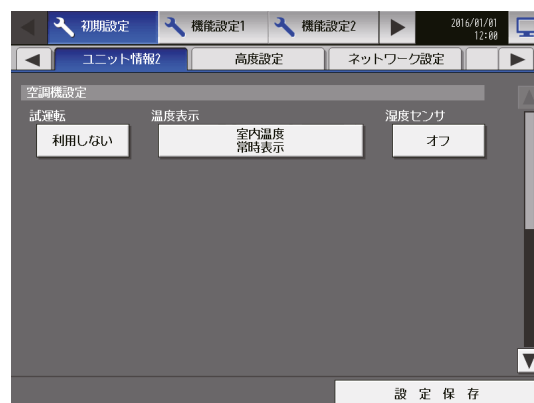
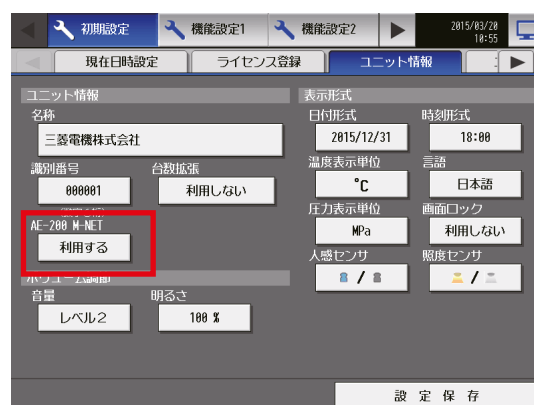
お願い

- 画面が表示されるまで、画面をタッチしないでください。

2. **[ユニット情報]** **[ユニット情報2]** をタッチする。
 3. 必要事項を設定し、**[設定保存]** をタッチする。
 設定が保存されます。
 設定画面の詳細は 4-1-4 章を参照してください。

お願い

- 「台数拡張」設定を **[利用しない]** に設定してください。
- 「AE-200 M-NET」設定を **[利用する]** に設定してください。



[2] AE-50J/EW-50Jを接続し、台数拡張する場合

手順

1. AE-200Jの電源投入後、言語選択画面が表示される。
表示に使用する言語を選択し、[OK] をタッチする。

お知らせ

- 電源を入れてから画面が表示されるまでに約 1 分かかります。
- 初期設定を一度行っている場合は、電源投入後監視 / 操作画面が表示されます。
- AE-50J/EW-50JでのIPアドレス設定完了後、AE-50J/EW-50Jと通信可能な状態で実施してください。通信できていない状態では正常に設定を行うことができません。

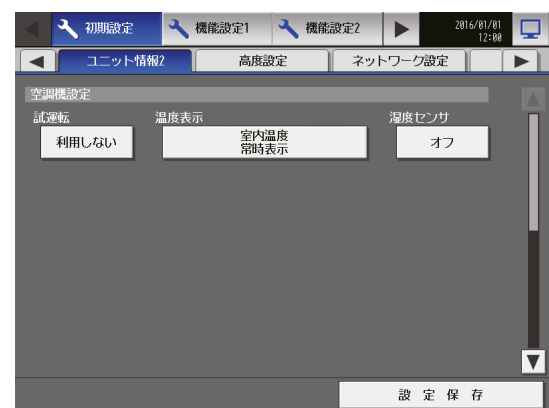
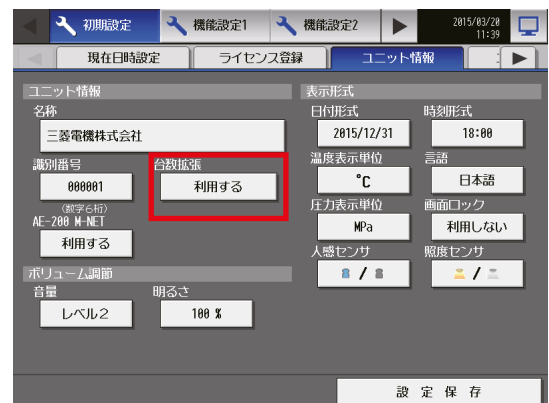
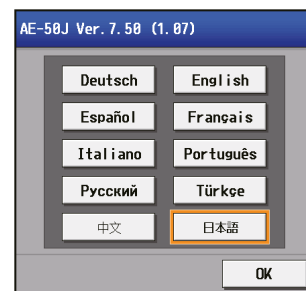
お願い

- 画面が表示されるまで、画面をタッチしないでください。

2. [ユニット情報]、[ユニット情報2] をタッチする。
3. 必要事項を設定し、[設定保存] をタッチする。
設定画面の詳細は 4-1-4 章を参照してください。

お願い

- AE-200Jの「台数拡張」設定を[利用する]に設定してください。
- AE-200J (M-NET なし) または AE-200J (課金) のシステムの場合は、「AE-200 M-NET」を[利用しない]に設定してください。



4. 下段の[▶]をタッチし、[ネットワーク設定]を表示させ、タッチする。
5. 「表示機器」で[AE200]が選択されていることを確認し、AE-200JのIPアドレスとサブネットマスクを設定し、[設定保存]をタッチする。
AE-200Jは再起動します。
設定画面の詳細は4-1-5章を参照してください。
6. 再起動後、初期設定画面へのログインを行う。
手順7へ進んでください。

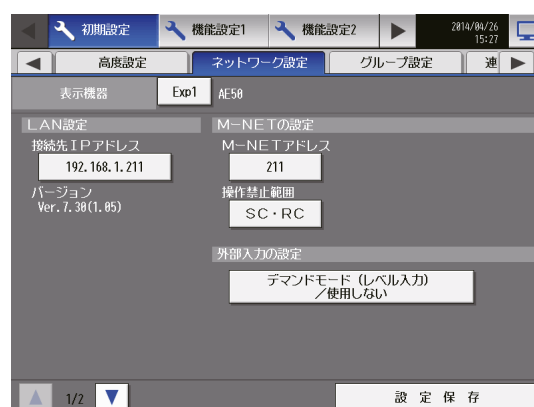
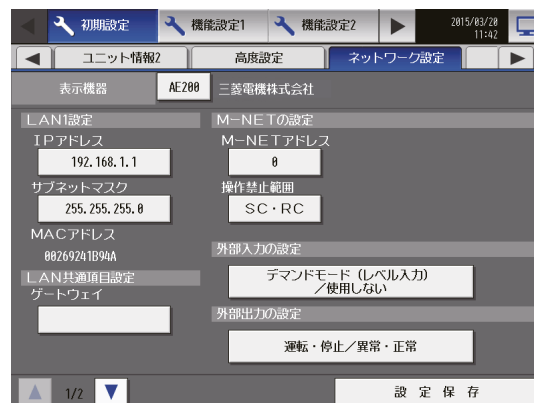
お知らせ

- ・ ログイン方法については4-1-1章を参照してください。

お願い

- ・ 画面起動中は画面をタッチしないでください。

7. 「表示機器」で[1]～[4]を選択し、各AE-50J/EW-50Jの設定を行う。
AE-200Jに接続する各AE-50J/EW-50JのIPアドレスとM-NETアドレスを設定し、[設定保存]をタッチする。
設定画面の詳細は4-1-5章を参照してください。
「接続機器の状態を収集しています。しばらくお待ちください...」が表示されます。



接続機器の状態を収集し終わると「正常に設定しました。」というメッセージが表示され、各AE-50J/EW-50Jのバージョンが表示されます。上記以外のメッセージが表示された場合は、IPアドレス設定、LAN配線の確認の他にAE-200J/AE-50J/EW-50Jのバージョンを確認し、一致していない場合はソフトウェアアップデートを実施してバージョンを合わせてから再度手順7を実施してください。

お知らせ

- ・ バージョン不一致の場合も「AE-50/EW-50が通信異常のため、送信できませんでした。」と表示されます。AE-200JとAE-50J/EW-50Jのバージョンが一致していることを確認してください。

8. 次章以降の各種初期設定に進む。

3-4. 時刻設定

AE-200J/AE-50J/EW-50Jの時刻合わせを行います。時刻合わせはAE-200Jの液晶画面から行う方法、統合管理ブラウザから行う方法の2種類があります。

拡張コントローラを接続したAE-200Jシステムの場合、AE-200Jと拡張コントローラをLANで接続したうえで、AE-200Jから時刻設定を行ってください。AE-200Jに時刻設定を行うと、AE-200Jから拡張コントローラに時刻が同期されますので、拡張コントローラでの時刻設定は不要です。

複数の集中コントローラに対し時刻設定を行う場合、AE-200Jの液晶画面ではなく、統合管理ブラウザから設定してください。

お知らせ

- ・時刻設定は定期的に実施してください。（3か月に1回。推奨1か月に1回）
- ・複数台の集中コントローラに時刻設定する場合、Web統合管理ライセンスが必要です。
- ・工場出荷後、初回の電源投入時は言語選択画面が表示されます。表示に使用する言語を選択してください。

[1] AE-200Jの液晶画面から時刻設定する場合

1. [現在日時設定] をタッチする。
2. 現在日時を設定し、[設定保存] をタッチする。
設定画面の詳細は4-1-3章を参照してください。

お知らせ

- ・[設定保存] すると、AE-200Jの現在時刻がAE-50J/EW-50Jやリモコン等へ同期されます。
- ・AE-50J/EW-50Jと時刻を同期させるために、日時時の設定を行ってください。
- ・[設定保存] をタッチするまでは、設定が保存されませんので、設定完了後、[設定保存] をタッチし、設定を保存してください。



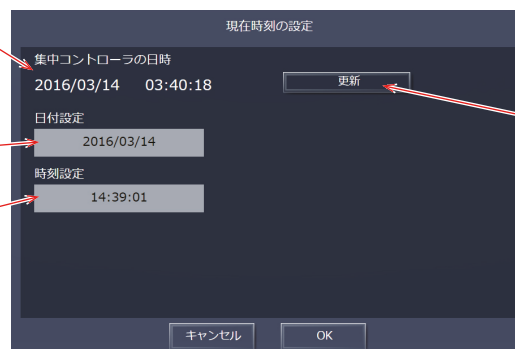
[2] 統合管理用ブラウザから時刻設定する場合

メニューの[設定]－[初期設定]－[現時刻の設定]では、ログイン先の集中コントローラが保持する現在日時の取得と、全集中コントローラの日時設定ができます。日付設定、時刻設定を入力後、[OK]をクリックして、設定を集中コントローラに保存します。

集中コントローラの日時
ログイン先集中コントローラの日時を表示します。

日付設定
現在の日付を入力します。

時刻設定
現在の時刻を入力します。



更新
ログイン先集中コントローラの日時を取得します。

キャンセル
設定内容をキャンセルして
現時刻の設定画面を閉じます。

OK
設定内容を保存します。

お知らせ

- 時刻設定ではPCの時刻は設定されません。先にPCの時刻を合わせてから時刻設定を行うようにしてください。
- 集中コントローラの日時に表示される日時は、ログイン先集中コントローラの日時が表示されます。
- この画面で設定された日付設定と時刻設定は、統合管理ブラウザで管理する全AE-200J/AE-50J/EW-50Jに送信され、それぞれが管理する全空調機に反映されます。
- 統合管理ブラウザのホーム画面には統合管理ブラウザを使用しているPCの日時が表示されます。
- スケジュールの実行時刻や異常などの各種履歴の日時は、集中コントローラが持つ日時で実行または、表示されます。
- スケジュールの設定、エネルギー管理の日付選択・表示はPCの日時を使用して設定、表示されます。
- PCの時刻とAE-200J/AE-50J/EW-50Jの時刻が合っていない場合、統合管理ブラウザが正常に動作しません。

3-5. アップデート

AE-200J/AE-50J/EW-50Jのソフトウェアアップデートの手順は、「AE-200J/AE-50J 据付工事説明書」または、「EW-50J 据付工事説明書」を参照してください。

3-6. ライセンス登録

ライセンス登録はAE-200Jの液晶画面から行う方法と、初期設定ツールから行う方法、統合管理ブラウザから個別に行う方法の3種類があります。

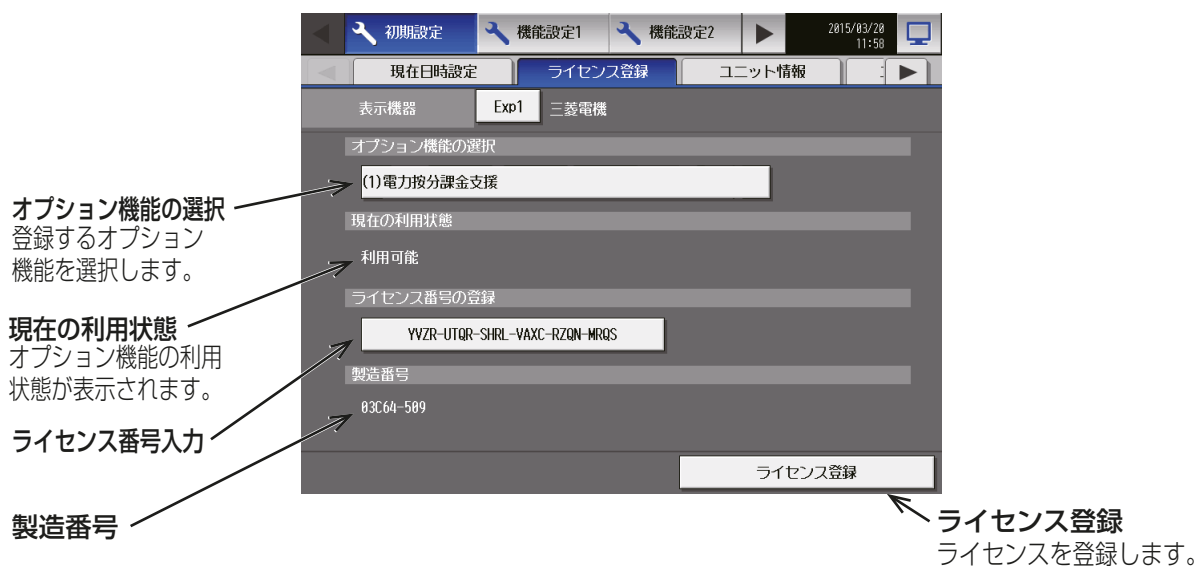
オプション機能とライセンス番号の購入方法については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

[1] AE-200Jの液晶画面からライセンス登録する場合

メニューの【初期設定】－【ライセンス登録】をタッチしてライセンス登録画面を開きます。

お知らせ

- ・ライセンス登録には、現在日時設定が必要です。現在日時設定については、3-4章を参照してください。
- ・ライセンス登録はAE-200J/AE-50J/EW-50Jごとに必要です。
- ・ユニット情報画面の「台数拡張」設定が【利用する】に設定されている場合に、「表示機器」の設定がAE-200Jの画面にのみ表示されます。「表示機器」の設定を【AE200J】、【Exp1】～【Exp4】と切り替えてAE-200Jと各AE-50J/EW-50Jのライセンスを個別に登録してください。
- ・AE-50J/EW-50J接続時は、AE-50J/EW-50Jが正しく接続されている状態でライセンス登録を行ってください。



手順

1. 「オプション機能の選択」で、登録するオプション機能を選択する。
現在の利用状況が「現在の利用状況」に表示されます。
2. 「ライセンス番号の登録」で、ライセンス番号を入力し、【ライセンス登録】をタッチする。
「現在の利用状況」に、「利用可能」と表示されます。
登録が失敗した場合は、オプション機能とライセンス番号が正しいか確認してください。

お知らせ

- ・アルファベットの「O」と「I」は、ライセンス番号に使用されません。

[2] 初期設定ツールからライセンス登録する場合

初期設定ツールの画面から個別にライセンス登録する機能と、ライセンス CSV ファイルを用いて一括登録する機能があります。

[オプション] – [ライセンス登録] をクリックしてライセンス登録画面を開きます。

お知らせ

- ・ライセンス CSV ファイルに関しては販売店に問い合わせください。

製造番号
集中コントローラの製造番号を表示します。

ソフトウェアバージョン
集中コントローラのソフトウェアバージョンを表示します。

ライセンス名称
ライセンスの名称を表示します。

現在の利用状況
ライセンスの利用状況を表示します。

モニター
選択した集中コントローラのライセンスの情報をモニターします。

一括モニター
全ての集中コントローラにライセンスの情報をモニターします。

ライセンス CSV ファイル読み込み
ライセンス CSV ファイルを読み込み、ライセンス番号の登録を自動入力します。

一括登録
全ての集中コントローラに入力したライセンスを登録します。

設定対象の集中コントローラ
接続構成設定された集中コントローラのうちライセンス登録を行う対象を選択します。

ライセンス番号の登録
ライセンス番号を入力します。

登録
選択した集中コントローラに入力したライセンスを登録します。

閉じる
この画面を閉じます。

ライセンス名称	現在の利用状況	ライセンス番号の登録
(1) 電力振分課金支援	利用可能	□ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □
(2) 省エネ制御	利用不可	□ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □
(3) 省エネ制御(ピーカット)	利用可能	□ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □
(4) メンテナンスツール	利用不可	□ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □
(5) 汎用制御 PLC	利用不可	□ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □
(6) 運動制御	利用不可	□ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □
(7) E 制御	利用可能	□ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □
(8) 温度 FIELDTouch	利用可能	□ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □
(9) 高調波制御	利用可能	□ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □
(10) BACnet 接続	利用不可	□ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □

(1) 事前準備

ライセンス登録を実施する前に、AE-200J/AE-50J/EW-50J と初期設定ツールに IP アドレスを設定する必要があります。

詳細については、「3-3. IP アドレス設定」、「5-3-1. 接続構成設定」を参照してください。

(2) ライセンス登録

① 個別にライセンス登録する場合

手順

1. 設定対象の集中コントローラからライセンス登録する集中コントローラを選択する。
2. [一括モニター] をクリックする。
3. 登録したいライセンスのライセンス番号を入力し、[登録] をクリックする。

お知らせ

- ・登録できるライセンスが本体ソフトウェアのバージョンごとに異なること、及び、登録済ライセンスを再登録させないため、ライセンスを登録する前に [一括モニター] または [モニター] を実施してください。

② ライセンス CSV ファイルを用いてライセンスを一括登録する場合

手順

1. [一括モニター] をクリックする。
2. [ライセンス CSV ファイル読み込み] をクリックする。
3. ファイル選択画面が表示されるので、ライセンス CSV ファイルを選択する。
4. ライセンス番号の登録欄にライセンス番号が入力されていることを確認し、[一括登録] をクリックする。

お知らせ

- ・登録できるライセンスが本体ソフトウェアのバージョンごとに異なること、及び、登録済ライセンスを再登録させないため、ライセンスを登録する前に [一括モニター] または [モニター] を実施してください。
- ・Microsoft® Excel 等でライセンス CSV ファイルを編集しないでください。初期設定ツールで読み込めなくなります。

4. 液晶画面の設定方法

4-1. 初期設定

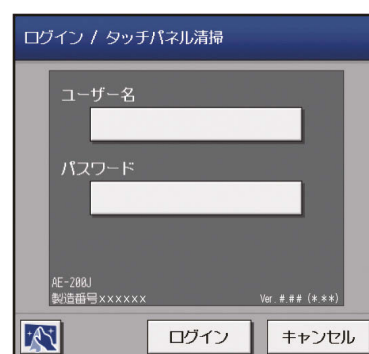
4-1-1. 初期設定画面へのログイン

手順

- 画面右上の[]をタッチする。
ログイン画面が表示されます。



- ユーザー名とパスワードをキーボード画面で入力し、**[ログイン]**をタッチする。
初期設定画面が表示されます。
下表に、保守ユーザーとビル管理者の初期ユーザー名、初期パスワード、および使用できる機能を示します。



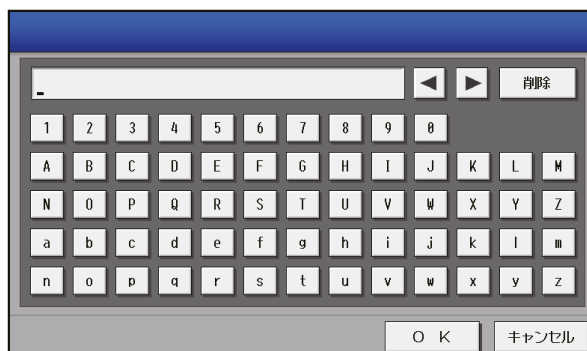
ユーザー	初期 ユーザー名	初期 パスワード	使用できる機能
保守ユーザー	initial	init	全ての機能
ビル管理者	administrator	admin	保守ユーザーが [ユーザー情報] 画面でアクセス権を与えた項目が使用できます。

お知らせ

- 保守ユーザーは、ビル管理者が使用できる機能を指定できます。詳細については、「4-5. ユーザー情報」参照
- 保守ユーザーおよびビル管理者以外のユーザーが設定を変更できないように、初期のユーザー名とパスワードを初期値から変更することを推奨します。

お知らせ

- ログインでのキーボード画面は、下図が表示されます。

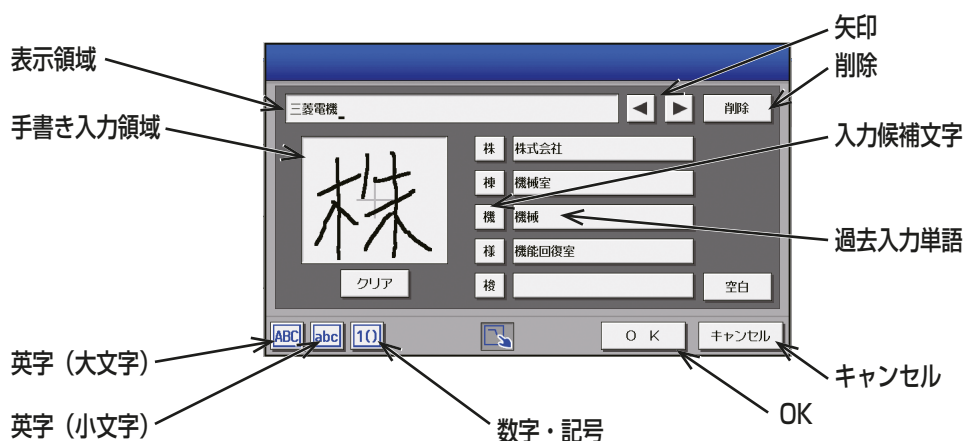


[1] キーボード画面



項目	内容
表示領域	入力した文字を表示します。
矢印	タッチすると、カーソルを移動します。
削除	タッチすると、カーソルの一つ前の文字を削除します。カーソルが文字の途中にある場合は、カーソル上の文字を削除します。
キーボード	入力用のキーボードです。タッチするとタッチした箇所に表示されている文字が入力されます。
英字 (大文字)	タッチすると英字 (大文字) 入力用キーボードを表示します。
英字 (小文字)	タッチすると英字 (小文字) 入力用キーボードを表示します。
数字・記号	タッチすると数字・記号入力用キーボードを表示します。
手書き入力	タッチすると手書き入力画面を表示します。
空白	カーソル部にスペースを追加します。
OK	入力した文字を決定し、元の画面に戻ります。
キャンセル	入力した文字をキャンセルし、元の画面に戻ります。

[2] 手書き入力画面



項目	内容
表示領域	入力した文字を表示します。
矢印	タッチすると、カーソルを移動します。
削除	タッチすると、カーソルの一つ前の文字を削除します。カーソルが文字の途中にある場合は、カーソル上の文字を削除します。
手書き入力領域	<p>文字を入力する領域です。 領域内に入力したい文字を一文字手書きで入力してください。 文字を手書き入力していくと、入力候補文字ボタンに文字が表示されますので、その中から入力したい文字を選択し、タッチして入力してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 素早く入力した場合、正確に認識できない場合がありますので、ゆっくりと入力してください。 ・ 文字の書き順が違っている場合、正確に認識できない場合がありますので、正しい書き順で入力してください。 ・ タッチペンなどで文字を書く場合、先が鋭利でないものを使用してください。
クリア	手書き入力領域をクリアします。
入力候補文字	<p>手書き入力領域に入力した文字を認識し、確度の高い5文字を表示します。 入力したい文字が表示されているボタンをタッチすると、入力文字が確定します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入力したい文字が表示されない場合は、クリアボタンを押し、手書き入力領域をクリアし、再度ゆっくりと文字を書いてください。
過去入力単語	<p>過去に入力した単語が表示されます。 ボタンをタッチすると、タッチしたボタンに表示されている単語が、入力されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表示される単語は、初期に登録されている単語および過去に入力し、記憶された単語です。
英字 (大文字)	タッチすると英字 (大文字) 入力用キーボードを表示します。
英字 (小文字)	タッチすると英字 (小文字) 入力用キーボードを表示します。
数字・記号	タッチすると数字・記号入力用キーボードを表示します。
OK	入力した文字を決定し、元の画面に戻ります。
キャンセル	入力した文字をキャンセルし、元の画面に戻ります。

4-1-2. 画面のロック

保守ユーザー、ビル管理者以外のユーザーが操作できないようにするために、画面ロックを行います。

手順


1. ユニット情報画面の「画面ロック」設定を**【利用する】**に設定する。
バックライトが消灯した際に（3分間操作なしの場合）、画面ロック機能が働きます。

お知らせ

- ・工場出荷時は**【利用しない】**に設定されています。
- ・初期設定画面が開いている場合、画面ロック機能は働きません

表示形式	
日付形式	時刻形式
2015/12/31	18:00
温度表示単位	言語
°C	日本語
圧力表示単位	画面ロック
MPa	利用する

画面ロック

2. ログイン画面で**【】**をタッチする。
すぐに画面ロックをかけることができます。
画面ロックを解除するには、ログイン時と同様のユーザー名・パスワードを入力してください。

お知らせ


- ・保守ユーザー用・ビル管理者用どちらでもロック解除できます。

ログイン / タッチパネル清掃

ユーザー名

パスワード

AE-200J
製造番号xxxxxx Ver. ### (***)

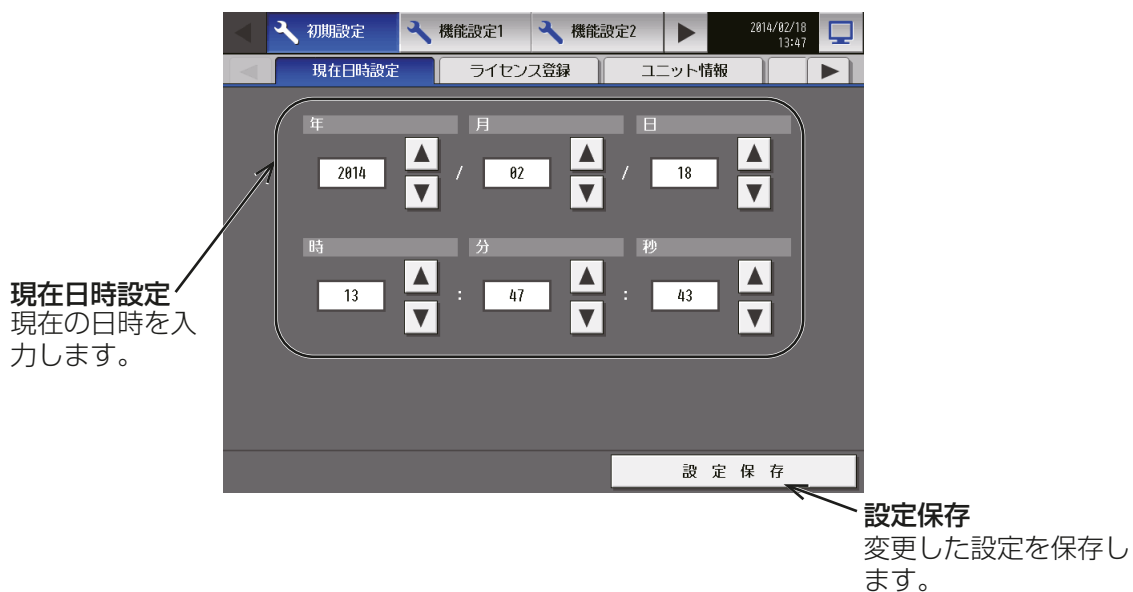
 ログイン キャンセル

4-1-3. 現在日時設定

メニューの【初期設定】－【現在日時設定】をタッチして現在日時設定画面を開きます。
現在日時を入力後、【設定保存】をタッチします。

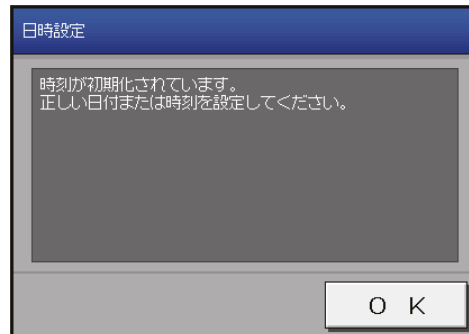
お知らせ

- ・ビル管理者でログインした場合は、現在日時設定の操作が禁止されている場合があります。
- ・スケジュール運転を行っている場合に現在日時を進めると、飛ばされた時刻のスケジュールは実行されません。
- ・電力按分課金支援機能を利用しているときに現在日時を変更すると、空調料金の集計結果に影響が出る場合があります。
- ・TG-2000 が接続されているシステムの場合、TG-2000 から設定を行ってください。
- ・AE-50J/EW-50J、汎用インターフェース (PAC-YG66DC(1))、環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC(1))、計量用計測コントローラ (PAC-YG60MC(1)) を新たに接続した場合、これらのユニットに現在日時を設定するために、この画面で日時設定を行ってください。
- ・この画面で設定された日時設定は、M-NET システム内全ユニットと接続されている AE-50J/EW-50J、時刻マスタ/サブ設定がサブに設定されている同一 M-NET 上の AE-200J に反映されます。
- ・時刻マスタ/サブ設定がサブに設定されている場合は設定できません。
- ・AE-50J/EW-50J で日時設定を行っても、他の AE-50J/EW-50J には送信されません。
- ・日時設定は AE-200J から行ってください。拡張コントローラである AE-50J や EW-50J でも変更はできますが、1 日 1 回 AE-200J の時刻に同期されます。AE-50J/EW-50J の交換時のみ AE-50J や EW-50J の Web ブラウザから日時設定を行ってください。



お知らせ

- 時刻が初期化されたときのメッセージ表示
停電などにより、長期間電源が供給されない状況が続いた場合、時刻がリセットされ、電源投入時に下記のメッセージポップアップが表示されます。メッセージが表示されましたら、時刻の設定を再度行ってください。



- この画面は時刻設定を行うまで定期的に表示されます。
- 時刻が初期化された状態で使用した場合、スケジュール機能やナイトセットバック機能およびナイトページ機能が正常に動作しません。

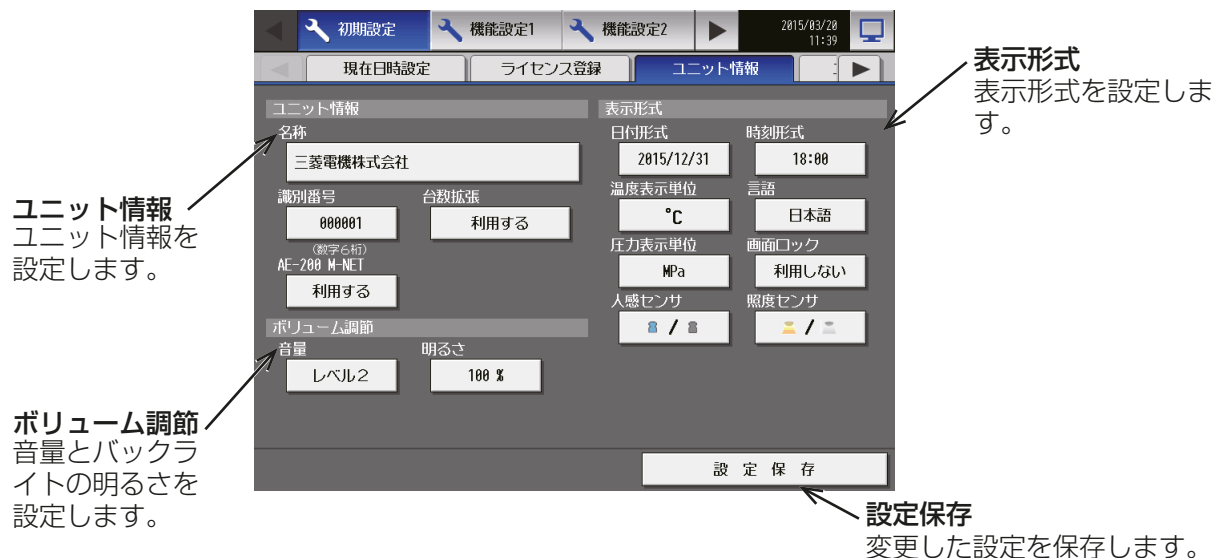
4-1-4. ユニット情報の設定

メニューの【初期設定】－【ユニット情報】または【ユニット情報2】をタッチします。ここでは本体の設定、表示形式、ボリューム調節、試運転の利用有無や室温・湿度の表示有無の設定などの各種基本設定を行います。設定内容入力後は、【設定保存】をタッチします。

お知らせ

- ・ビル管理者でログインした場合は、ユニット情報設定の操作が禁止されている場合があります。

ユニット情報



ユニット情報2



[1] ユニット情報

「ユニット情報」で名称と識別番号、台数拡張を設定します。

手順

1. 「名称」をタッチし、キーボード画面を表示します。40文字以内の英数字または記号でユニット名称を入力する。
ここで入力した名称は、異常メール通報および警告メールの送信者名としても使用されます。

お知らせ

- ・「名称」では、次の文字は使用できません: <、>、&、"、'
2. 「識別番号」をタッチし、キーボード画面を表示します。6桁の数字で識別番号を入力する。
AE-200J/AE-50Jを識別番号で管理する場合に利用してください。ここで入力した識別番号は、異常メールおよび警告メールの送信者識別番号としても使用されます。
 3. AE-50J/EW-50Jを接続する場合は、「台数拡張」をタッチし、**[利用する]**に設定する。

お知らせ

- ・ AE-50Jの本画面では、「台数拡張」は表示されません。
 - ・ 「台数拡張」設定を**[利用する]**とした場合は、ネットワーク設定画面でAE-50J/EW-50Jの設定を行ってください。「4-1-5. ネットワーク設定」参照
 - ・ EW-50JのIPアドレスの設定は初期設定ツールから行ってください（「3-3. IPアドレス設定」参照）
4. 「AE-200 M-NET」を**[利用する]**または**[利用しない]**を選択する。
AE-50J/EW-50J接続時に、AE-200Jに空調機等を接続しない場合は**[利用しない]**に設定する。

お知らせ

- ・ **[利用しない]**に設定した場合、AE-50J/EW-50Jを最大4台まで接続することができます。
- ・ AE-50Jの本画面では、「AE-200 M-NET」は表示されません。

お知らせ

- ・ 電力按分課金機能ライセンスを登録している場合は、「AE-200 按分」を**[利用する]**/**[利用しない]**の選択画面が表示されますが、TG-2000での電力按分課金支援機能を使用する場合は、**[利用しない]**を選択してください。

「AE-200 按分」を**[利用する]**に設定する場合は、取扱説明書 電力按分課金支援機能編を参照ください。

The screenshot shows the 'Unit Information' screen with the following details:

- Menu Bar:** 初期設定, 機能設定1, 機能設定2, 2015/03/20 11:39
- Sub Menu Bar:** 現在日時設定, ライセンス登録, ユニット情報
- Unit Information Section:**
 - 名称: 三菱電機株式会社
 - 識別番号: 000001
 - 台数拡張: 利用する
 - AE-200 M-NET: 利用する
 - AE-200 按分: 利用しない
- Display Format Section:**
 - 表示形式:
 - 日付形式: 2015/12/31
 - 時刻形式: 18:00
 - 温度表示単位: °C
 - 圧力表示単位: MPa
 - 人感センサ: 設定アイコン
 - 照度センサ: 設定アイコン
- Volume/Brightness Section:**
 - ボリューム調節:
 - 音量: レベル2
 - 明るさ: 100 %
- Bottom Bar:** 設定保存

[2] ボリューム調節

「ボリューム調節」で、音量、明るさを設定します。

手順

1. 「音量」で、画面をタッチしたときの音の音量(レベル0～3)を選択する。(レベル0: 無音)

お知らせ

- ・ 設定変更はすぐに反映されます。

2. 「明るさ」で、画面の明るさ[70%]、[80%]、[90%]、[100%]を選択する。(数値が大きいほど明るくなります)





お知らせ

- ・ 設定変更はすぐに反映されます。

[3] 表示形式





「表示形式」で、日付や時刻等の表示形式や人感センサ、照度センサ等の表示の有無を設定します。

手順

1. 「日付形式」で、年月日の表示形式を選択する。
ボタンをタッチするたびに [31/12/yyyy][12/31/yyyy][yyyy/12/31] が切り替わります。yyyy の部分には現在の年が表示されます。(例えば [31/12/yyyy] は、現在 2015 年であれば、31/12/2015 と表示)
2. 「時刻形式」で、時間の表示形式を選択する。
ボタンをタッチするたびに [18:00][PM 06:00] が切り替わります。
3. 「温度表示単位」で、温度単位を選択する。
ボタンタッチするたびに [°C][°F] が切り替わります。
4. 「言語」で、表示言語を選択する。
[言語設定] をタッチすると、言語選択画面を表示し、選択された言語に切り替わります。
5. 「圧力表示単位」で、[MPa]、[PSI]、または [kgf/cm2] を選択する。
6. 「画面ロック」で、[利用しない] または [利用する] を選択する。
画面ロック機能を有効にするには [利用する] に設定する。
「4-1-2. 画面のロック」参照
7. 「人感センサ」で、ME リモコン (PAR-F30ME (1)) に搭載されている人感センサで検知される在室／不在状態の表示／非表示設定を行う。
[非表示] を選択すると、フロアまたはブロック画面に在室／不在状態マークを表示しません。
[[[ / 

お知らせ

- ・ 人感センサが搭載されていない ME リモコンの場合は、在室／不在状態マークは、フロアまたはブロック画面に表示されません。

8. 「照度センサ」で、ME リモコン (PAR-F30ME(1)) に搭載されている照度センサで検知される明るい／暗い状態の表示／非表示設定を行う。
[非表示] を選択すると、フロアまたはブロック画面に明るい／暗い状態マークを表示しません。
[[[ / 

お知らせ

- ・ 照度センサが搭載されていない ME リモコンの場合は、明るい／暗い状態マークは、フロアまたはブロック画面に表示されません。
- ・ 明／暗検知閾値は、ME リモコン (PAR-F30ME(1)) で設定します。

[4] 空調機設定

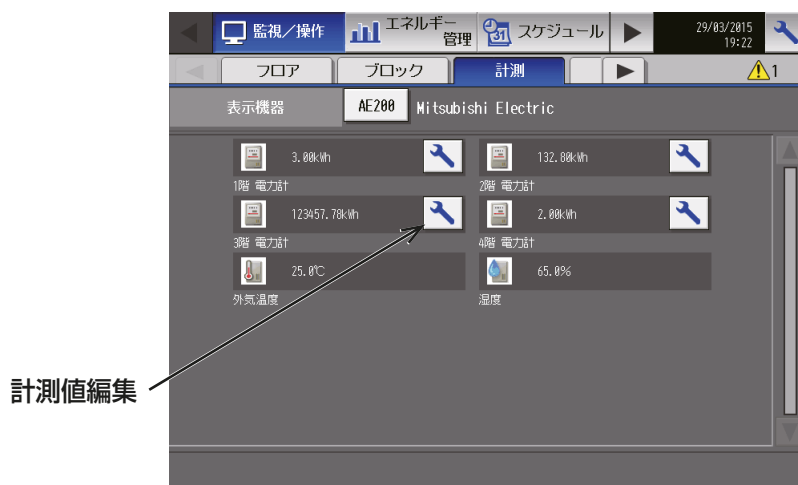
「ユニット情報2」の「空調機設定」で試運転の利用の有無および温度と湿度の表示の有無を設定します。

(1) 試運転

試運転の利用可否を選択します。ボタンをタッチするたびに【利用しない】【利用する】が切り替わります。

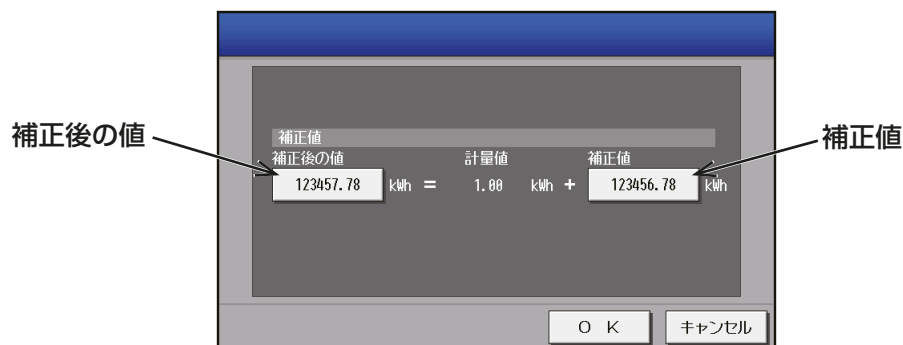
試運転を【利用する】にすると、操作画面で【試運転】が可能となります。

また、試運転時は【監視／操作】－【計測】画面の電力量に、【計測値編集】が表示されますので、下記の手順で電力量の値を補正できます。



手順

1. 【計測値編集】をタッチして、計測値編集の画面を表示する。



2. 【補正後の値】をタッチして、現在の電力量計のメーター値を入力し、【OK】をタッチする。

お願い

- ・ 試運転操作や電力量の補正後は、「試運転」を【利用しない】に戻してください。

お知らせ

- ・ AE-200J/AE-50J 本体の電源遮断時、再起動時または時刻が午前0時になると【利用しない】に戻ります。
- ・ 電力量の補正は、【監視／操作】－【計測】画面の表示のみ変更されます。エネルギー管理等には影響しません。
- ・ 「補正後の値」を元の積算値に戻す場合は、【補正值】をタッチして、0に設定してください。

(2) 温度表示

フロアまたはブロック画面で、室内温度または設定温度の表示 / 非表示を設定します。

[室内温度常時表示] を選択すると、室内温度を常に表示します。

[室内温度運転中表示] を選択すると、室内温度を運転中だけ表示します。

[設定温度表示] を選択すると、設定温度を常に表示します。

[室内温度常時表示・設定温度表示] を選択すると、室内温度と設定温度を常に表示します。

[室内温度運転中表示・設定温度表示] を選択すると、室内温度を運転中だけ表示し、設定温度を常に表示します。

[表示しない] を選択すると、室内温度 / 設定温度を表示しません。

お知らせ

- ・本設定は統合管理ブラウザの画面には反映されません。液晶画面表示上のみ有効です。
- ・暖房モードで停止中のときに、室内温度の表示が実際の温度より高くなる場合があります。そのため、室内温度を表示するときは [室内温度運転中表示] または [室内温度運転中表示・設定温度表示] を選択することを推奨します。

(3) 湿度センサ

[オフ] のまま変更しないでください。

4-1-5. ネットワーク設定

メニューの【初期設定】－【ネットワーク設定】をタッチします。

ここではAE-200Jと各AE-50J/各EW-50JのLAN設定、M-NET設定、外部入力設定などの各種基本設定を行います。設定内容入力後は、【設定保存】をタッチします。AE-200J/AE-50Jの再起動を行う旨のメッセージが表示されますので、【OK】をタッチして再起動し、変更内容を反映させます。

お知らせ

- ビル管理者でログインした場合は、ネットワーク設定の操作が禁止されている場合があります。

お願い

- ユニット情報画面の「台数拡張」設定が【利用する】に設定する場合、AE-50J/EW-50JそれぞれでLAN1設定を行ってください。
その際、AE-200J/AE-50J/EW-50Jは同一系統のネットワークになるようIPアドレスを設定してください。
- 各AE-50J/EW-50JでLAN1設定を行った上で、AE-200Jで【Exp1】～【Exp4】を切り替えて、各AE-50J/EW-50Jを「接続先IPアドレス」で設定してください。
- AE-50J/EW-50J接続時は、AE-50J/EW-50Jが正しく接続されている状態でネットワーク設定を行ってください。AE-50J/EW-50Jを接続しないで行われた設定は反映されません。

1 ページ目

表示機器
AE-200Jの設定をするには【AE】、各AE-50J/EW-50Jの設定をするには【1】～【4】を選択してください。

LAN1設定
IPアドレスおよびサブネットマスクを設定します。

LAN共通項目設定
ゲートウェイを設定します。

M-NETの設定
M-NETアドレスおよび操作禁止範囲を設定します。

外部入力の設定
外部信号入力モードを設定します。

外部出力の設定
外部信号出力モードを設定します。

設定保存
変更した設定を保存します。

ページ送り

2 ページ目

LAN2設定
BACnet®通信機能を使用する場合設定します。

設定保存
変更した設定を保存します。

ページ戻り

(表示機器が拡張コントローラの場合)



[1] LAN1 設定

LAN1 の設定は、AE-200J/AE-50Jを専用LANに接続するか既設LANに接続するかによって異なります。システム管理者に相談してください。

下記を参照してAE-200J/AE-50JのIPアドレスおよびサブネットマスクを設定してください。

LAN1 とLAN2 の設定が画面に表示されますが、BACnet[®] 機能を使用する場合を除き、LAN1 の設定のみ行ってください。設定前にはLANケーブルがLAN1 ポートに接続されていることを確認してください。

LAN1設定

IPアドレス

192.168.1.1

サブネットマスク

255.255.255.0

(1) AE-200J/AE-50Jを専用LANに接続する場合の設定 (LAN1)

AE-200Jの設定

「LAN1 設定」でIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

手順

1. 表示機器が **[AE200]** になっていることを確認する。
2. 「IP アドレス」にAE-200JのIPアドレスを入力する。
IPアドレスはシステム管理者と相談して入力してください。IPアドレスの指定がなければ、AE-200JのIPアドレスを"192.168.1.1"から順に割り当てます。例えば、1台目のAE-200Jは"192.168.1.1"、2台目のAE-200Jは"192.168.1.2"です。
AE-200JのIPアドレスを変更した際には、AE-50Jの電源もリセットされます。

お知らせ

- 推奨するIPアドレス範囲は以下の通りです。
AE-200J: "192.168.1.1"～"192.168.1.40"
AE-50J: "192.168.1.211"～"192.168.1.249"
PC: "192.168.1.101"～"192.168.1.150"
 - AE-50J/EW-50Jと接続した状態でAE-200JのIPアドレスを変更した場合、AE-50J/EW-50Jで「6920」異常を検知します。通信異常検知設定画面で変更前のIPアドレスの設定を **[検知する]** から **[検知しない]** に変更してください。
3. 「サブネットマスク」に"255.255.255.0"を入力する。
(192.168.1.*** の設定をした場合)

AE-50J/EW-50Jを接続する場合の設定

「LAN設定」で接続先IPアドレスを設定します。

LAN設定
接続先IPアドレス
192.168.1.211
バージョン
Ver. #.## (*.***)

手順

1. 各AE-50J/EW-50Jの設定を行うため、「表示機器」の設定を[Exp1]～[Exp4]に切り替える。
2. 「接続先IPアドレス」に、AE-200Jに接続するAE-50J/EW-50JのIPアドレスを設定する。
AE-50J/EW-50Jの接続情報を収集していることを示すメッセージが数分間表示されます。

お知らせ

- ・ 入力したIPアドレスが、AE-50J/EW-50Jで設定したIPアドレスと一致しない場合は、正しく機能せず、AE-50J/EW-50Jのソフトウェアバージョンが表示されません。
- ・ 入力したIPアドレスが正しい場合でも、AE-200JとAE-50J/EW-50Jのソフトウェアバージョンが一致しない場合は、正しく機能せず、AE-50J/EW-50Jのソフトウェアバージョンが表示されません。アップデートを実施してバージョンを一致させてください。

(2) AE-200J/AE-50J/EW-50Jを既設LANに接続する場合の設定 (LAN1)**手順**

1. AE-200J/AE-50J/EW-50Jを既設LANに接続する場合は、システム管理者と相談し、IPアドレスおよびサブネットマスクを設定する。

[2] LAN共通項目設定

ブロードバンドルーター経由でシステムを遠隔で監視する場合、またはメール機能を使用する場合は「ゲートウェイ」にルーターのIPアドレスを入力します。

ブロードバンドルーターを接続しない場合は、「ゲートウェイ」を空白のままとしてください。

お知らせ

- ・ ブロードバンドルーターのIPアドレスは"192.168.1.254"を設定することを推奨します。IPアドレスの設定方法は、ブロードバンドルーターの取扱説明書を参照してください。

LAN共通項目設定
ゲートウェイ
192.168.1.254

[3] LAN2設定

LAN2はBACnet[®]機能専用です。BACnet[®]機能の設定についてはAE-200J/AE-50J/EW-50J取扱説明書BACnet[®]機能編を参照してください。

お願い

- ・ LAN1とLAN2のIPアドレスが同じにならないように設定してください。

[4] M-NET 設定

「M-NETの設定」でM-NETアドレス、操作禁止範囲を設定します。

M-NETの設定

M-NETアドレス

0

操作禁止範囲

SC・RC

手順

1. AE-200Jおよび各AE-50J/EW-50Jの設定を個別に行うため、「表示機器」の設定を[AE200]、[Exp1]～[Exp4]に切り替える。
2. 「M-NETアドレス」に[0]を入力する。(特に指定がない場合)
3. 手元リモコン操作を禁止する場合に、「操作禁止範囲」でその適用範囲を決定する。
下位システムコントローラとリモコンの両方からの操作を禁止するには、[SC・RC]を選択する。
リモコンからのみの操作を禁止するには、[RCのみ]を選択する。

[5] 外部入力の設定

外部信号入力機能を使用することにより、接続された空調機などを対象に、デマンドレベル、緊急停止、運転／停止操作、手元リモコン操作の禁止／許可を制御することができます。

別売の外部入出力アダプター (PAC-YG10HA) が必要です。

お願い

- ・ 外部入力機能によりピークカット制御をする場合は、別途ライセンスが必要です。ライセンス登録画面で、省エネ制御 (ピークカット) ライセンスが登録されていることを確認してください。
「3-6. ライセンス登録」参照

(1) 外部入力の設定手順

外部入力の設定

デマンドモード (レベル入力)
/ 使用しない

手順

1. AE-200Jおよび各AE-50J/EW-50Jの設定を個別に行うため、「表示機器」の設定を[AE200]、[Exp1]～[Exp4]に切り替える。
2. [デマンドモード (レベル入力) / 使用しない]、[緊急停止モード (レベル入力)]、[緊急停止 復元モード (レベル入力)]、[運転停止モード (レベル入力)]、[運転 / 停止 / 操作禁止 / 操作許可モード (パルス入力)]を選択する。

(2) 外部信号入力モード

外部信号入力のモードは、以下のとおりです。

モードは、[初期設定]－[ネットワーク設定]内の「外部入力の設定」で設定します。

○：使用可 △：一部機能使用可 ×：使用不可

		モード1	モード2	モード3	モード4	モード5	モード6	モード7
CN5	リード線 (PAC- YG10HA)	デマンドモード ・使用しない (出荷時設定) (レベル入力)	緊急停止モード (レベル入力)	緊急停止 復元モード (レベル入力)	運転／停止 モード (レベル入力)	運転／停止・ 操作禁止／操作 許可モード (パルス入力)	緊急停止 モード・ 警報解除 (レベル入力)	緊急停止復元 モード・ 警報解除 (レベル入力)
9番	赤	外部DC電源(+12Vまたは+24V)						
8番	灰	デマンドレベル 4	デマンドレベル 4	デマンドレベル 4	－	許可	デマンドレベル 4	デマンドレベル 4
7番	青	デマンドレベル 3	デマンドレベル 3	デマンドレベル 3	－	禁止	デマンドレベル 3	デマンドレベル 3
6番	黄	デマンドレベル 2	デマンドレベル 2	デマンドレベル 2	－	停止	警報解除	警報解除
5番	橙	デマンドレベル 1	緊急停止／ 通常入力	緊急停止 復元／ 通常入力	運転／停止	運転	緊急停止／ 通常入力	緊急停止復元／ 通常入力
機器	空調	○	○	○	○	○	△※1	△※1
	低温機器	○	○	○	×	×	○	○
	除湿機	×	△※2	△※2	×	×	△※2	△※2
	DT-R・ ブライン クーラ・ 給湯機	×	×	×	×	×	×	×
	ファンコイル/ 水冷式 パッケージ エアコン	×	△※3	△※3	○	○	△※1※3	△※1※3

※1 警報解除機能は使用できません。

※2 デマンド制御機能(デマンドレベル2～4)は使用できません。

※3 デマンド制御機能は使用できません。

- 緊急停止／通常信号選択時、外部入力信号の接点、OFF→ONの変化時に通常→緊急停止、接点ON→OFFの変化時に緊急停止→通常となります。
緊急停止解除後には、緊急停止入力前に運転していた空調機も停止状態のままとなりますので、元の運転状態に戻したい場合は、手動で運転操作する必要があります。
- 運転／停止信号選択時、外部入力信号の接点OFF→ONの変化時に停止→運転、接点ON→OFFの変化時に運転→停止となります。
- 汎用インターフェース(PAC-YG66DC(1))経由で接続されている汎用機器は、外部入力機能を使用して一括で運転／停止することはできません。
ただし、[緊急停止モード(レベル入力)]または[緊急停止復元モード(レベル入力)]を選択している場合は、汎用インターフェース上のスイッチ設定により一括で運転／停止することができます。

お知らせ

- DT-R/ブラインクーラ/給湯機は、外部信号入力による制御はできません。
- 外部入力の推奨回路例は、「AE-200J/AE-50J 据付工事説明書」、または「EW-50J 据付工事説明書」を参照してください。

(3) 外部信号入力モード別動作

モード	設定モード	機器	用途	制御内容
モード1	デマンドモード (レベル入力) <出荷時設定> ※1	空調機	デマンド	デマンドレベル入力を1、2、3、4の4段階から選択できます。
			緊急停止	—
			警報出力解除	—
		低温機器	デマンド	デマンドレベル入力を1、2、3、4の4段階から選択できます。
			緊急停止	—
			警報出力解除	—
		除湿機		制御できません
		DT-R		制御できません
		ブラインクーラ		制御できません
		給湯機		制御できません
		ファンコイル/水冷式 パッケージエアコン		制御できません
モード2	緊急停止モード (レベル入力)	空調機	デマンド	デマンドレベル入力を2、3、4の3段階から選択できます。
			緊急停止※4	外部接点からの緊急停止信号入力により、AE-200J/AE-50J/ EW-50Jの各系統に接続されている空調機を一括で停止します。 手元リモコンからの運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE- 50J/EW-50J上での運転/停止操作と禁止/許可設定が禁止さ れます。(グループ登録していない機器も対象です。) 空調機は、停止により、スケジュール運転、24時間換気、ナイト パージ運転が実行されません。
			警報出力解除	—
		低温機器	デマンド	デマンドレベル入力を2、3、4の3段階から選択できます。
			緊急停止	外部接点からの緊急停止信号入力により、(ハイ)クオリティコン トローラを停止し、手元リモコンからの操作とAE-200Jからの グループ操作を禁止します。*2 (グループ登録していない機器も 対象です。) 低温機器は、停止により、スケジュール運転が実行されません。
			警報出力解除	—
		除湿機	デマンド	—
			緊急停止	外部接点からの緊急停止信号受信により、除湿機を停止し、手元 リモコンからの操作とAE-200Jからのグループ操作を禁止しま す。*2 (グループ登録していない機器も対象です。) 除湿機は、停止により、スケジュール運転が実行されません。
			警報出力解除	—
		DT-R		制御できません
		ブラインクーラ		制御できません
		給湯機		制御できません
		ファンコイル/水冷式 パッケージエアコン	デマンド	デマンドレベル入力を2、3、4の3段階から選択できます。
			緊急停止※4	外部接点からの緊急停止信号入力により、AE-200J/AE-50J/ EW-50Jの各系統に接続されている空調機を一括で停止します。 手元リモコンからの運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE- 50J/EW-50J上での運転/停止操作と禁止/許可設定が禁止 されます。(グループ登録していない機器も対象です。) 空調機は、停止により、スケジュール運転が実行されません。
			警報出力解除	—
モード3	緊急停止 復元モード (レベル入力)	空調機	デマンド	デマンドレベル入力を2、3、4の3段階から選択できます。
			緊急停止 復元※4	「緊急停止」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統に 接続されている空調機を一括で停止します。手元リモコンからの 運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE-50J/EW-50J上での 運転/停止操作と禁止/許可設定が禁止されます。(グループ登録 していない機器も対象です。) 空調機は、停止により、スケジュール運転、24時間換気、ナイト パージ運転が実行されません。 緊急停止解除および復元を行うには上位機器 (Facima BA- system※3) または本機での操作が必要となります。
			警報出力解除	—

モード	設定モード	機器	用途	制御内容
モード3	緊急停止 復元モード (レベル入力)	低温機器	デマンド	デマンドレベル入力を2、3、4の3段階から選択できます。
			緊急停止 復元	外部接点からの緊急停止信号受信により、(ハイ)クオリティコントローラを停止し、手元リモコンからの操作とAE-200Jからのグループ操作を禁止します。 ^{*2} (グループ登録していない機器も対象です。) 低温機器は、停止により、スケジュール運転が実行されません。 緊急停止解除を行うには上位機器 (Facima BA-system ^{*3}) または本機での操作が必要となります。
			警報出力解除	—
		除湿機	デマンド	—
			緊急停止 復元	外部接点からの緊急停止信号受信により、除湿器を停止し、手元リモコンからの操作とAE-200Jからのグループ操作を禁止します。 ^{*2} (グループ登録していない機器も対象です。) 除湿機は、停止により、スケジュール運転が実行されません。 緊急停止解除を行うには上位機器 (Facima BA-system ^{*3}) または本機での操作が必要となります。
			警報出力解除	—
		DT-R	制御できません	
		ブラインクーラ	制御できません	
		給湯機	制御できません	
		ファンコイル/水冷式 パッケージエアコン	デマンド	デマンドレベル入力を2、3、4の3段階から選択できます。
緊急停止 復元 ^{*4}	「緊急停止」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統に接続されている空調機を一括で停止します。手元リモコンからの運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE-50J/EW-50J上での運転/停止操作と禁止/許可設定が禁止されます。(グループ登録していない機器も対象です。) 空調機は、停止により、スケジュール運転が実行されません。 緊急停止解除および復元を行うには上位機器 (Facima BA-system ^{*3}) または本機での操作が必要となります。			
警報出力解除	—			
モード4	運転/停止 モード (レベル入力)	空調機	デマンド	—
			運転/停止	AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統ごとに接続されている空調機を一括で運転/停止します。手元リモコンからの運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE-50J/EW-50J上での運転/停止操 空調機は、停止により、スケジュール運転、24時間換気、ナイト パージ運転が実行されません。
			警報出力解除	—
		低温機器	制御できません	
		除湿機	制御できません	
		DT-R	制御できません	
		ブラインクーラ	制御できません	
		給湯機	制御できません	
		ファンコイル/水冷式 パッケージエアコン	デマンド	—
			運転/停止	AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統ごとに接続されている空調機を一括で運転/停止します。手元リモコンからの運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE-50J/EW-50J上での運転/停止操作と禁止/許可設定が禁止されます。(グループ登録していない機器も対象です。) 空調機は、停止により、スケジュール運転が実行されません。
			警報出力解除	—
		モード5	運転/停止・ 操作禁止/ 操作許可モード (パルス入力)	空調機
運転/停止・操作 禁止/操作許可	「運転/停止」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統に接続されている空調機を一括で運転/停止します。(グループ登録していない機器も対象です。) 「禁止/許可」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統に接続されている空調機の手元リモコンからの操作を禁止/許可します。			
警報出力解除	—			
低温機器	制御できません			
除湿機	制御できません			
DT-R	制御できません			
ブラインクーラ	制御できません			
給湯機	制御できません			

4. 液晶画面の設定方法

モード	設定モード	機器	用途	制御内容
モード5	運転/停止・ 操作禁止/ 操作許可モード (パルス入力)	ファンコイル/水冷式 パッケージエアコン	デマンド	デマンドレベル入力を3、4の2段階から選択できます。
			運転/停止・操作 禁止/操作許可	「運転/停止」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統に 接続されている空調機を一括で運転/停止します。 「禁止/許可」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統に 接続されている空調機の手元リモコンからの操作を禁止/許可し ます。
			警報出力解除	—
モード6	緊急停止モード・ 警報解除 (レベル入力)	空調機	デマンド	デマンドレベル入力を3、4の2段階から選択できます。
			緊急停止※4	「緊急停止」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統に 接続されている空調機を一括で停止します。手元リモコンからの 運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE-50J/EW-50J上での 運転/停止操作と禁止/許可設定が禁止されます。(グループ登録 していない機器も対象です。) 空調機は、停止により、スケジュール運転、24時間換気、ナイト パージ運転が実行されません。
			警報出力解除	—
		低温機器	デマンド	デマンドレベル入力を3、4の2段階から選択できます。
			緊急停止	外部接点からの緊急停止信号受信により、(ハイ)クオリティコン トローラを停止し、手元リモコンからの操作とAE-200Jからの グループ操作を禁止します。*2(グループ登録していない機器も対 象です。) 低温機器は、停止により、スケジュール運転が実行されません。
			警報出力解除	「警報出力解除」入力時は、AE-200Jの警報(遠方)出力および異 常(ブザー・ランプ)出力を解除します。
		除湿機	デマンド	—
			緊急停止	外部接点からの緊急停止信号受信により、除湿機を停止し、手元 リモコンからの操作とAE-200Jからのグループ操作を禁止しま す。*2(グループ登録していない機器も対象です。) 除湿機は、停止により、スケジュール運転が実行されません。
			警報出力解除	「警報出力解除」入力時は、AE-200Jの警報(遠方)出力および異 常(ブザー・ランプ)出力を解除します。
		DT-R		制御できません
		ブラインククーラ		制御できません
		給湯機		制御できません
モード7	緊急停止 復元モード・ 警報解除 (レベル入力)	ファンコイル/水冷式 パッケージエアコン	デマンド	デマンドレベル入力を3、4の2段階から選択できます。
			緊急停止※4	「緊急停止」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統に 接続されている空調機を一括で停止します。手元リモコンからの 運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE-50J/EW-50J上での 運転/停止操作と禁止/許可設定が禁止されます。(グループ登録 していない機器も対象です。) 空調機は、停止により、スケジュール運転が実行されません。
			警報出力解除	—
			緊急停止 復元※4	「緊急停止」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統に 接続されている空調機を一括で停止します。手元リモコンからの 運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE-50J/EW-50J上での 運転/停止操作と禁止/許可設定が禁止されます。 空調機は、停止により、スケジュール運転、24時間換気、ナイト パージ運転が実行されません。(グループ登録していない機器も対 象です。) 緊急停止解除および復元を行うには上位機器 (Facima BA- system*3) または本機での操作が必要となります。
			警報出力解除	—
		低温機器	デマンド	デマンドレベル入力を3、4の2段階から選択できます。
			緊急停止 復元	外部接点からの緊急停止信号受信により、(ハイ)クオリティコン トローラを停止し、手元リモコンからの操作とAE-200Jからの グループ操作を禁止します。*2(グループ登録していない機器も対 象です。) 低温機器は、停止により、スケジュール運転が実行されません。 緊急停止解除を行うには上位機器 (Facima BA-system*3) また は本機での操作が必要となります。
			警報出力解除	「警報出力解除」入力時は、AE-200Jの警報(遠方)出力および異 常(ブザー・ランプ)出力を解除します。

モード	設定モード	機器	用途	制御内容
モード7	緊急停止 復元モード・ 警報解除 (レベル入力)	除湿機	デマンド	—
			緊急停止 復元	外部接点からの緊急停止信号受信により、除湿機を停止し、手元リモコンからの操作とAE-200Jからのグループ操作を禁止します。 ^{※2} (グループ登録していない機器も対象です。) 除湿機は、停止により、スケジュール運転が実行されません。 緊急停止解除を行うには上位機器 (Facima BA-system ^{※3}) または本機での操作が必要となります。
			警報出力解除	「警報出力解除」入力時は、AE-200Jの警報 (遠方) 出力および異常 (ブザー・ランプ) 出力を解除します。
		DT-R		制御できません
		ブラインクーラ		制御できません
		給湯機		制御できません
		ファンコイル/水冷式 パッケージエアコン	デマンド	デマンドレベル入力を3、4の2段階から選択できます。
			緊急停止 復元 ^{※4}	「緊急停止」入力時は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの各系統に接続されている空調機を一括で停止します。手元リモコンからの運転/停止操作が禁止され、AE-200J/AE-50J/EW-50J上での運転/停止操作と禁止/許可設定が禁止されます。(グループ登録していない機器も対象です。) 空調機は、停止により、スケジュール運転が実行されません。 緊急停止解除および復元を行うには上位機器 (Facima BA-system ^{※3}) または本機での操作が必要となります。
			警報出力解除	—

※1 外部入力を使用しない場合は、モード1とします。

※2 AE-200Jからの緊急停止に未対応、またはユニット側の緊急停止設定をOFFに設定している(ハイ)クオリティコントローラと除湿機に関しては、緊急停止信号を受信した場合でも停止せず、手元リモコンからの操作とAE-200Jからのグループ操作が可能です。

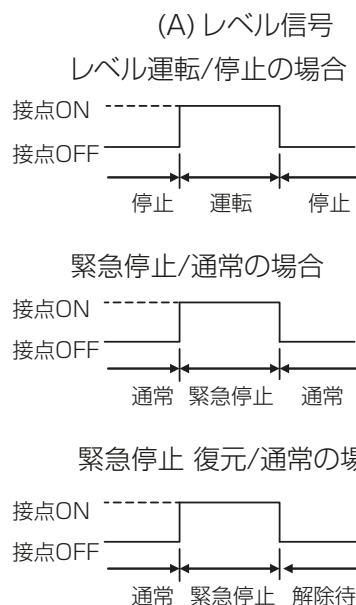
※3 Facima BA-systemについては、三菱電機ビルソリューションズ株式会社にお問い合わせください。

※4 加湿付ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ(外気処理ユニット)を緊急停止した場合、加湿付ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ(外気処理ユニット)の加湿エレメント乾燥運転が停止します。

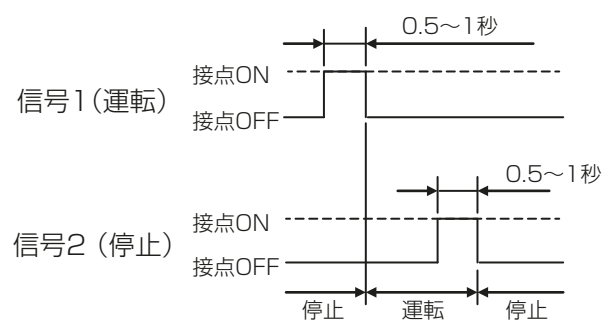
加湿エレメントを湿らせたまま長時間放置すると、腐敗臭が発生するおそれがあります。

(詳細は、ロスナイの技術資料を参照してください。)

(4) 外部信号入力のレベル信号とパルス信号の仕様



(B) パルス信号
例) 運転/停止の場合(禁止/許可の場合も同様です。)



※接点のパルス幅は0.5~1秒としてください。

[6] 外部出力の設定

外部信号出力機能を使用することにより、レベル信号でAE-200J/AE-50J/EW-50Jに接続されている空調機や汎用インターフェースなどの運転状態、異常状態を出力します。1台以上が運転している場合は、「運転」信号が出力されます。1台以上に異常が発生している場合に、「異常」信号が出力されます。

AE-200Jは接続しているAE-50J/EW-50Jでも1台以上が運転や異常が発生していると「運転」「異常」信号が出力されます。

別売の外部入出力アダプター(PAC-YG10HA)が必要です。

(1) 外部出力の設定手順

外部出力の設定

運転・停止／異常・正常

お知らせ

- ・ 設定は必要ありません。工場出荷時の[運転・停止／異常・正常]のままにしてください。
[警報出力／異常出力]に設定した場合、外部出力は行われません。

(2) 外部信号出力モード

CN5	リード線 (PAC-YG10HA)	モード1	モード2
		運転／停止出力・異常／正常出力	警報(遠方)出力・異常(ブザー・ランプ)
3番	茶	異常／正常	警報(遠方)出力
2番	黒	運転／停止 ※1 ※2	異常(ブザー・ランプ)出力
1番	緑	外部出力共通 GND(外部電源用アース)	

※1 汎用インターフェース(PAC-YG66DC(1))経由の運転状態は出力されません。

※2 異常発生中は運転中の信号が出力されます。

※3 給湯機の運転状態は出力されません。

(3) 外部信号出力のモード別動作

パターン	設定パターン	説明		
パターン 1	運転 / 停止出力 異常 / 正常出力 <出荷時設定>	レベル信号でAE-200J/AE-50J/EW-50Jに接続されている全ての機器のうち、 1 台以上が運転のとき、下表に従って「運転」信号を出力します。 1 台以上が異常のとき、下表に従って「異常」信号を出力します。		
		接続機器	運転 / 停止出力	異常 / 正常出力
		空調機 DT-R ブラインクーラ ファンコイルユニット 水冷式パッケージエアコン	出力します。	出力します。 ※2
		低温機器 産業用除湿機	出力しません。	
		給湯機 汎用 DC/ 計量 MC/ 環境 MC ※1		
※1 環境 MC の上下限警報は異常信号を出力しません。 ※2 AE-200J/AE-50J/EW-50J 自体で検知した異常も異常信号を出力します。 例 1 : 応答なしエラー (LAN)(異常コード 6920) 例 2 : 計量計故障の可能性あり (異常コード 0095) (電力按分課金支援機能利用時)				
パターン 2	警報 (遠方) 出力・ 異常 (ブザー・ラン プ) 出力	AE-200J に接続されている全ての機器のうち、下表に従って低温機器・産業用除湿機に異常が発生した際、 異常出力します。異常出力は 2 点あり、「警報 (遠方) 出力」と「異常 (ブザー・ランプ) 出力」があります。 「警報 (遠方) 出力」と「異常 (ブザー・ランプ) 出力」共に異常レベルを設定でき、1 台以上の低温機器・除湿 機で発生した異常レベルが、設定したレベル以上の場合に出力します。		
		接続機器	警報 (遠方) 出力	異常 (ブザー・ランプ) 出力
		空調機 DT-R ブラインクーラ ファンコイルユニット 水冷式パッケージエアコン	出力しません。	出力しません。
		低温機器 産業用除湿機	出力します。 ※3	出力します。 ※3
		給湯機 汎用 DC/ 計量 MC/ 環境 MC	出力しません。	出力しません。
※3 通信系異常 (例 : ACK なしエラー (異常コード 6607)) は出力しません。				

お知らせ

- 外部出力の推奨回路例は、「AE-200J/AE-50J 据付工事説明書」、または「EW-50J 据付工事説明書」を参照してください。

[7] 通信異常検知設定

通信異常検知設定で、AE-200JとAE-50J/EW-50J間の通信異常(6920)を、AE-50J/EW-50Jで検知するか検知しないかを切り替えることができます。

お知らせ

- 設定画面は、AE-200Jの画面からAE-50J/EW-50Jを設定する場合、またはAE-50Jの画面で設定する場合に表示されます。

通信異常検知設定		
	IPアドレス	通信異常
1	192.168.1.1	検知する
2	192.168.1.2	検知しない
3		
4		
5		

手順

- 各IPアドレスに対する通信異常を**【検知する】****【検知しない】**から選択する。
接続されているAE-200JのIPアドレスのみ**【検知する】**を選択し、現在接続されていないAE-200JのIPアドレスは**【検知しない】**を選択してください。

お知らせ

- AE-200Jに拡張コントローラ(AE-50J/EW-50J)を接続した構成において、AE-200JのIPアドレスを変更した場合は、変更前のIPアドレスを**【検知しない】**に変更してください。変更しない場合は、「6920」異常が検知されます。

4-1-6. グループ設定

メニューの**【初期設定】**－**【グループ設定】**をタッチします。AE-200J/AE-50J/EW-50Jに接続される空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、または汎用機器のグループ登録を行います。設定内容入力後は、**【設定保存】**をタッチします。

お知らせ

- ビル管理者でログインした場合は、グループ設定の操作が禁止されている場合があります。
- AE-200J/AE-50J/EW-50Jそれぞれに接続された機器は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jをまたいで同じグループに設定することはできません。
- 加熱加湿付ロスナイ(LGH-**RDF6以前)の機種を登録する場合は、**【空調機】**を選択してください。

お願い

- TG-2000が接続されているシステムの場合、TG-2000とAE-200Jの保持データが一致するよう、設定および変更はTG-2000から行ってください。
- ユニット情報画面の「台数拡張」が**【利用する】**に設定されている場合に、「表示機器」の設定がAE-200Jの画面にのみ表示されます。「表示機器」の設定を**【AE200】**、**【Exp1】**～**【Exp4】**と切り替えてAE-200Jと各AE-50J/EW-50Jの設定を個別に行ってください。
- AE-50J/EW-50J接続時は、正しく設定されるよう、AE-50J/EW-50Jが正しく接続されている状態でグループ設定を行ってください。AE-50J/EW-50Jを接続しないで行われた設定はAE-50J/EW-50Jには保存されません。



[1] 空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、ホットウォーターヒートポンプ、DT-R、ブラインクーラのグループ登録

手順

1. 空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、ホットウォーターヒートポンプ、DT-R およびブラインクーラをグループに登録するには、対象グループ名の下のユニット選択をタッチし、ユニットアドレスの選択画面を表示する。

「機種」をタッチしてグループの種類（**[空調機]** **[ロスナイ]** **[加熱加湿付ロスナイ]** **[ホットウォーターヒートポンプ]** **[DT-R]** の表示にします）を選択し、「ユニットアドレス」で登録するユニットのアドレス番号を選択します。

選択したアドレスにはオレンジ枠が表示されます。

選択を取り消したい場合は、再度タッチすることで非選択状態になります。



お知らせ

- 「機種」を **[空調機]** に選択した場合、「低温画面表示」が表示される場合があります。詳細は低温 MELTOUCH ライセンスに同梱の取扱説明書を参照してください。
- 1 グループには最大 16 台の空調機を登録できます。
ただし、DT-R、ブラインクーラ (BALV) の場合は 1 グループ最大 6 台となります。
また、ブラインクーラ (BAOV) の場合は 1 グループにつき 1 台で登録してください。
- ブラインクーラの場合は **[DT-R]** を選択してください。グループ登録の詳細は、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 空冷式ブラインクーラ機能編」を参照してください。
- 空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、ホットウォーターヒートポンプ、DT-R、およびブラインクーラは、同一グループ内で汎用機器と組み合わせることはできません。（空調機を登録したグループには空調機のみ）汎用機器が登録されているグループを、空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイグループ、ホットウォーターヒートポンプ、DT-R、またはブラインクーラに変更する場合、まず汎用機器の登録を取り消してください。
- 機能が異なる機種を同じグループに設定しないでください。また、ロスナイまたは加熱加湿付ロスナイを登録する場合は、24 時間換気やナイトパージの機能があるユニットとなしのユニットを同じグループに登録しないでください。

2. アイコンを変更するには、アイコンをタッチし、アイコン選択画面を表示する。
使用するアイコンをタッチし、[OK] をタッチする。

お知らせ

- ・ アイコンを変更せずに設定すると、実際の機種によっては別のアイコンが出る場合があります。



[2] グループ名称の設定

手順

1. [グループ名] をタッチし、キーボード画面を表示する。
グループ名称を最大 20 文字で入力します。

お知らせ

- ・ 次の文字は使用できません: <、>、&、"、'

[3] リモコンのグループ登録

手順

1. リモコンをグループに登録するには、対象グループ名の隣のリモコンをタッチし、リモコンアドレスの選択画面を表示する。
2. 登録するリモコンのアドレス番号を選択する。
選択したアドレスにはオレンジ枠が表示されます。
選択を取り消したい場合は、再度タッチすることで非選択状態になります。



お知らせ

- ・ 1 グループには最大 2 台のリモコンを登録できます。
- ・ 1 グループにはリモコンとシステムコントローラを合わせて 4 台まで登録できます。
- ・ MA リモコンをグループに登録する必要はありません。
- ・ 既に他のグループに登録されているリモコンのアドレスは背景が灰色になり、選択できません。

[4] システムコントローラのグループ登録

手順

1. システムコントローラをグループに登録するには、対象グループ名の隣の「システムコントローラ登録」をタッチし、システムコントローラアドレスの選択画面を表示する。
2. 登録するシステムコントローラのアドレス番号を選択する。選択したアドレスにはオレンジ枠が表示されます。
選択を取り消したい場合は、再度タッチすることで非選択状態になります。



お知らせ

- ・ 1 グループにはリモコンとシステムコントローラを合わせて 4 台まで登録できます。

[5] 汎用機器のグループ登録

手順

1. 汎用機器をグループに登録するには、対象グループ名の下のユニット選択をタッチし、ユニットアドレスの選択画面を表示する。

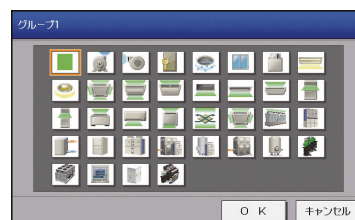
「機種」をタッチして**「汎用機器(PAC-YG66DC接続)」**を選択します。登録したい汎用機器が接続された汎用インターフェース(PAC-YG66DC(1))のユニットアドレスをタッチして選択状態(黄緑枠表示)にし、汎用機器が接続されている接点番号を選択します。

他のユニット番号をタッチすると、最初に選択したユニットアドレスの選択枠がオレンジ枠表示に変わりグループに登録されます。(黄緑枠表示が現在選択しているユニット、オレンジ枠表示がグループ登録されているユニットです)

取り消したい場合は、再度タッチすることで非選択状態になります。

お知らせ

- ・ 汎用インターフェースの各接点はそれぞれ1台(ユニット)と見なします。
 - ・ 1グループには最大16台の汎用機器を登録できます。
 - ・ 各汎用インターフェースに最大6台の汎用機器を登録できます。
 - ・ 空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、ホットウォーターヒートポンプ、DT-R、およびブラインクーラは、同一グループ内で汎用機器と組合せることはできません。
空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、ホットウォーターヒートポンプ、DT-R、およびブラインクーラが登録されているグループを、汎用機器グループに変更する場合、まず空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、ホットウォーターヒートポンプ、DT-R、およびブラインクーラの登録を取り消してください。
 - ・ 汎用機器グループには、リモコンまたはシステムコントローラを登録することはできません。
2. アイコンを変更するには、「アイコン」をタッチし、アイコン選択画面を表示する。
 3. 使用するアイコンをタッチし、[OK]をタッチする。



4. 「操作設定」で、汎用機器の操作可能範囲を設定する。

【操作可能（一括、グループ単位）】を選択した場合は、汎用機器を一括またはグループごとに運転／停止操作が可能になります。

【操作可能（グループ単位）】を選択した場合は、汎用機器をグループごとに運転／停止操作が可能になります。

【操作禁止（監視のみ）】を選択した場合は、汎用機器の運転／停止操作はできません。

お知らせ

- ・「操作設定」は、AE-200J/AE-50J/EW-50JとTG-2000上での汎用機器の操作可能範囲となります。

5. 監視画面にて表示される運転・停止状態を汎用機器に対する出力状態を表示するか、汎用機器からの入力状態を表示するかを「表示設定」部で選択する。

4-1-7. 連動ロスナイ(ロスナイ・加熱加湿付ロスナイ) 設定

ロスナイ、加熱加湿付ロスナイを室内ユニットの運転／停止に連動して動作させることができます。メニューの[初期設定]－[連動ロスナイ設定]をタッチします。AE-200J/AE-50J/EW-50Jの連動条件を設定後、[設定保存]をタッチします。

お知らせ

- ・ビル管理者でログインした場合は、連動ロスナイ設定の操作が禁止されている場合があります。
- ・TG-2000 が接続されているシステムの場合、TG-2000とAE-200J/AE-50J/EW-50Jの保持データが一致するよう、設定および変更はTG-2000 から行ってください。
- ・換気機器を運転／停止しても、室内ユニットは連動して運転／停止動作はしません。
- ・ユニット情報画面の「台数拡張」設定が**【利用する】**に設定されている場合に、AE-200Jのみ「表示機器」の設定が画面に表示されます。「表示機器」の設定を**【AE200】**、**【Exp1】**～**【Exp4】**と切り替えてAE-200Jと各AE-50J/EW-50Jの設定を個別に行ってください。
- ・AE-200J/AE-50J/EW-50J間でまたがった連動ロスナイ設定はできませんが、連動制御機能を使用することでAE-200J/AE-50J/EW-50J間の連動動作を実現することができます。（「5-7. 連動制御設定」参照）
- ・加熱加湿付ロスナイと室内ユニットを連動させる場合は、連動制御の設定をする、もしくは加熱加湿付ロスナイをグループ登録せずに連動ロスナイ設定をする必要があります。詳細は、「5-7. 連動制御設定」（例7：空調機間連動）を参照してください。



手順

1. **【連動ロスナイ登録】**をタッチし、ユニットアドレス選択画面を表示する。
連動させるロスナイのアドレス番号を選択します。
選択したアドレスにはオレンジ枠が表示されます。
選択を取り消したい場合は、再度タッチすることで非選択状態になります。

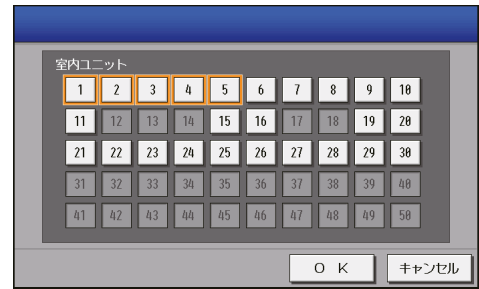


2. [連動元室内ユニット登録] をタッチし、室内ユニットアドレス選択画面を表示する。

連動元室内ユニットのアドレス番号を選択します。

選択したアドレスにはオレンジ枠が表示されます。

選択を取り消したい場合は、再度タッチすることで非選択状態になります。



お知らせ

- 1 台のロスナイに対し、最大 16 台の室内ユニットを登録できます。

4-1-8. ブロック設定

ブロック設定を行うことで、複数のグループを一括で状態監視／操作できます。メニューの[初期設定]－[ブロック設定]をタッチしてブロック設定画面を開きます。

グループを各ブロックに登録し、[設定保存]をタッチします。

お知らせ

- ビル管理者でログインした場合は、ブロック設定の操作が禁止されている場合があります。
- TG-2000 が接続されているシステムの場合、TG-2000 と AE-200J/AE-50J/EW-50J の保持データが一致するよう、設定および変更は TG-2000 から行ってください。
- ユニット情報画面の「台数拡張」設定が[利用する]に設定されている場合に、「表示機器」の設定が AE-200J の画面にのみ表示されます。「表示機器」の設定を [AE200]、[Exp1]～[Exp4] と切り替えて AE-200J と各 AE-50J/各 EW-50J の設定を個別に行ってください。
- AE-50J/EW-50J 接続時は、正しく設定されるよう、AE-50J/EW-50J が正しく接続されている状態でブロック設定を行ってください。AE-50J/EW-50J を接続しないで行われた設定は反映されません。
- AE-200J/AE-50J/EW-50J のコントローラ間でまたがったブロック設定はできません。
- 24 時間換気やナイトパージをするロスナイ・加熱加湿付ロスナイに対してピークカット停止制御を行うと、換気が停止するため、24 時間換気やナイトパージをするロスナイ・加熱加湿付ロスナイは別ブロックに設定してください。
- 省エネピークカット制御を使用するときは、ブロック設定してください。
- DT-R・ブラインクーラ・ホットウォーターヒートポンプのグループは操作ブロックに登録できません。

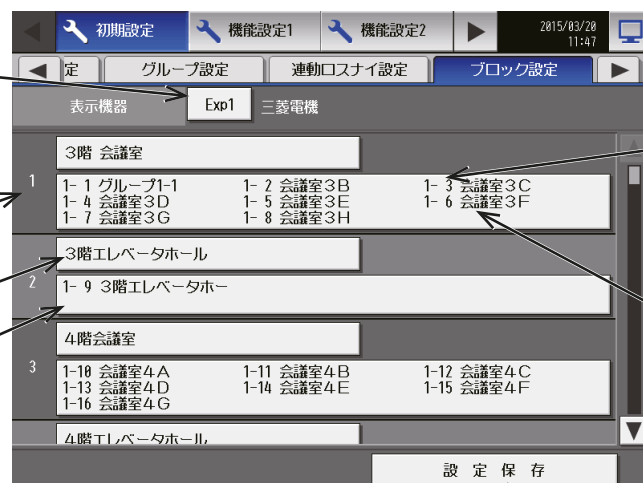
表示機器

AE-200J の設定をするには [AE]、各 AE-50J/EW-50J の設定をするには [1]～[4] を選択してください。

ブロック番号

ブロック名称登録

グループ登録



グループ番号

AE-50J/EW-50J が接続されている場合は、AE-50 番号-グループ番号が表示されます。

グループ名

設定保存

変更した設定を保存します。

手順

1. 対象ブロックの [**グループ登録**] をタッチし、グループ選択画面を表示する。
2. 登録したいグループ番号を選択する。
(最後に選択したグループのグループ名称が表示されます。) 選択したグループ番号にはオレンジ枠が表示されます。
選択を取り消したい場合は、再度タッチすることで非選択状態になります。
3. [**ブロック名称登録**] をタッチし、キーボード画面を表示する。
ブロック名称を最大20文字で入力します。



お知らせ

- 次の文字は使用できません: <、>、&、“、’

4-1-9. EMブロック設定

EM (Energy Management, エネルギー管理) ブロック設定を行うことで、AE-200J/AE-50J/EW-50Jをまたがった複数のブロックを一括で状態監視／操作できます。

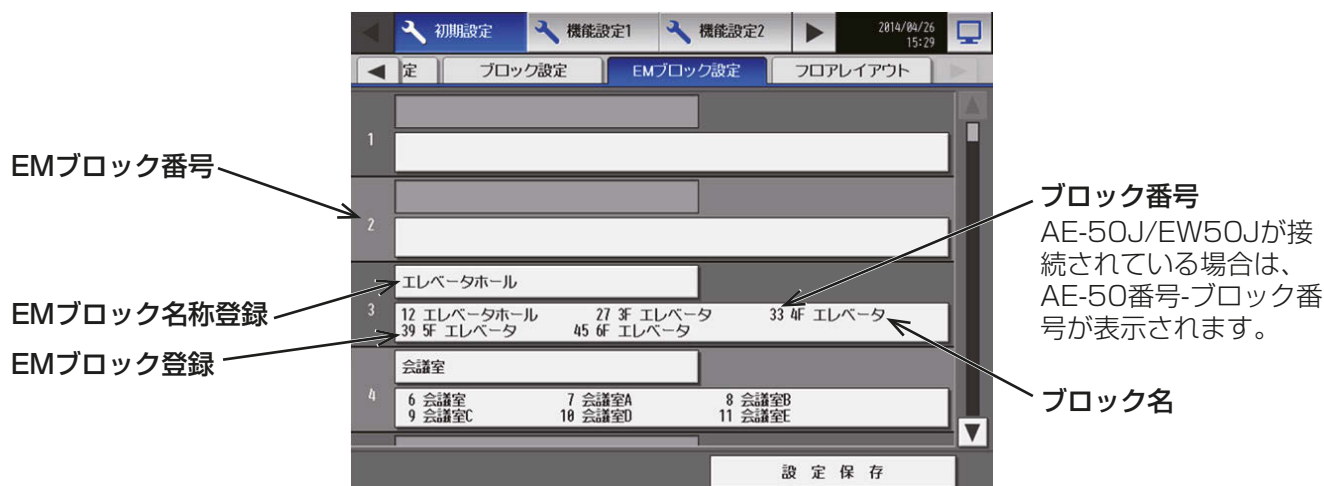
また、EMブロックは電力按分課金支援機能の集計単位として用います。電力按分課金支援機能についてはAE-200J/AE-50J/EW-50J取扱説明書（電力按分課金支援編）を参照してください。

メニューの[初期設定]－[EMブロック設定]をタッチしてEMブロック設定画面を開きます。

ブロックを各EMブロックに登録し、[設定保存]をタッチします。

お知らせ

- ビル管理者でログインした場合は、EMブロック設定の操作が禁止されている場合があります。



手順

- 対象EMブロックの[ブロック登録]をタッチし、EMブロック選択画面を表示する。
- 登録したいブロックが所属する機器 ([AE200]、[Exp1]～[Exp4]) に切り替える。
- 登録したいブロック番号を選択する。
(最後に選択したブロックのブロック名称が表示されます。)
選択したブロック番号にはオレンジ枠が表示されます。
選択を取り消したい場合は、再度タッチすることで非選択状態になります。



お知らせ

- 連動の加熱加湿付ロスナイをEMブロックに登録するには、▼ をタッチし、アドレス番号を選択してください。
- [EMブロック名称登録]をタッチし、キーボード画面を表示する。
EMブロック名称を最大20文字で入力します。

お知らせ

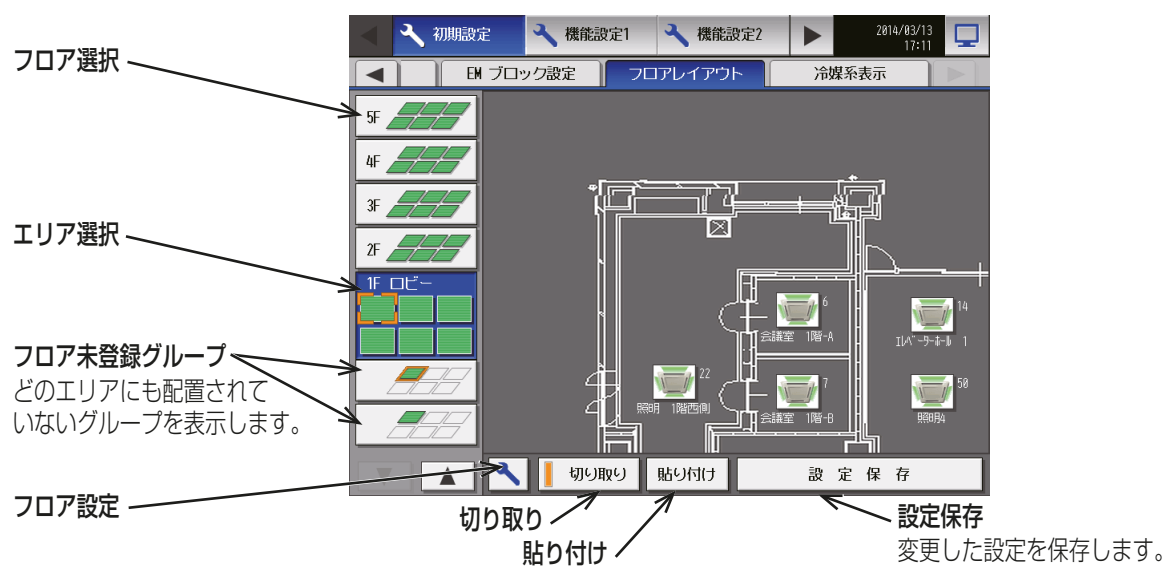
- 次の文字は使用できません <、>、&、"、'

4-1-10. フロアレイアウト

[監視/操作]メニューのフロアで表示されるフロアのレイアウトを設定・変更、およびフロアに配置するグループの表示位置を変更できます。[初期設定]－[フロアレイアウト]をタッチします。

お知らせ

- AE-200JおよびAE-50J/EW-50Jが管理するすべてのユニットに対してAE-200Jのフロアレイアウト上に表示することができます。
- ビル管理者でログインした場合は、フロアレイアウト設定の操作が禁止されている場合があります。
- ひとつのエリアに最大30個のグループを配置できます。
- AE-50Jを接続している場合、AE-200Jとは別にAE-50Jの液晶画面でもフロアレイアウト設定ができます。その場合、AE-50Jが管理するグループのみ設定できます。
- EW-50J単独システムの場合のフロアレイアウトは初期設定ツールで設定できます。([5-5. フロア設定]参照)



[1] フロア設定

手順

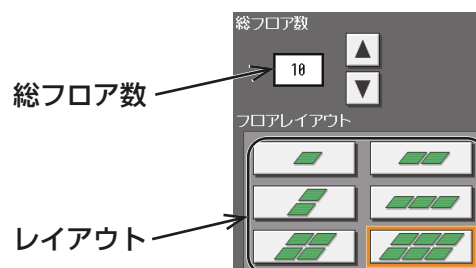
1. [フロア設定] をタッチし、フロア設定画面を表示する。









2. ▲▼ をタッチして、総フロア数を設定し、「フロアレイアウト」で使用したい[レイアウト]をタッチして選択する。

お知らせ

- ・ 総フロア数を「--」に設定した場合は、[レイアウト]はタッチできません。
- ・ 10フロアまで登録することができます。

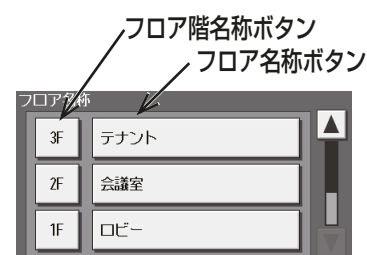


フロアレイアウト設定によって、フロアレイアウト画面で表示できるエリアが変わります。

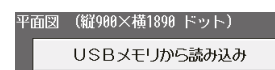
レイアウトボタン	表示エリア	レイアウトボタン	表示エリア												
	<table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>								<table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>						
	<table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>								<table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>						
	<table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>								<table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>						

3. [フロア階名称] をタッチし、キーボード画面を表示する。
階数名称を最大3文字で入力します。

4. [フロア名称] をタッチし、キーボード画面を表示する。
フロア名称を最大20文字で入力します。



5. フロア平面図をUSBメモリから読み込むには、[USBメモリから読み込み] をタッチする。読み込むファイルの制約事項については [2] ファイルの制約事項を参照してください。



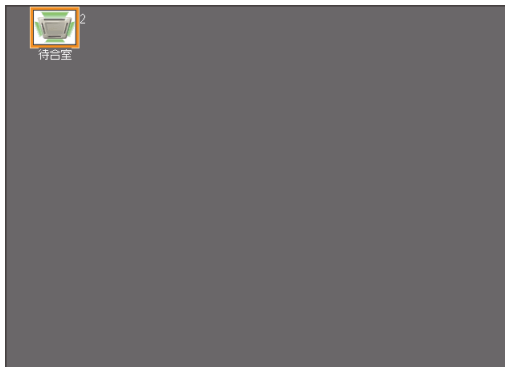
6. フロアレイアウト画面にグリッド線の幅を設定するには、[グリッド線の表示] をタッチして [表示しない] [表示する] を切替える。



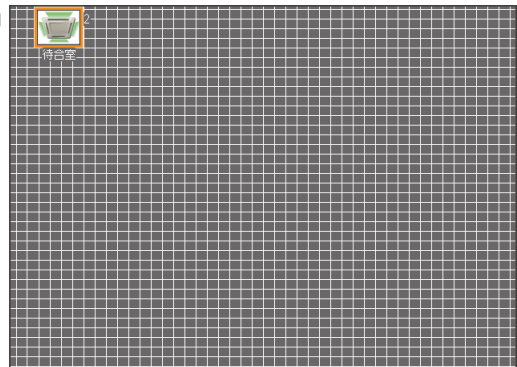
7. フロアレイアウト画面上のアイコンを移動させる際の移動幅を【アイコン移動幅】をタッチして【小】【中】【大】を切替える。



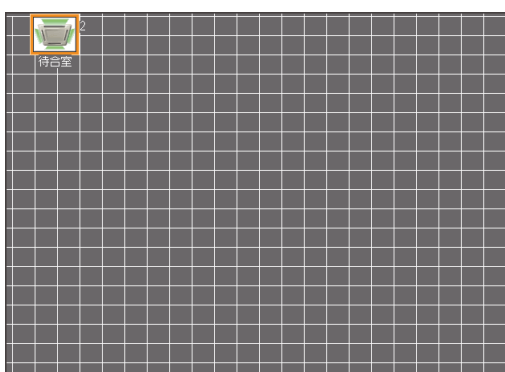
小



中



大



お知らせ

- ・ 1 マスが最小移動幅になります。
- ・ 表現の都合上、線を強調しています。

[2] ファイルの制約事項

ファイル サイズ	<div>900 (縦) × 1890 (横) ドット (フロア単位ごと)</div> <div><div>お願い</div><div><div>・ 表示エリア数に関わらずファイルサイズは900 (縦) × 1890 (横) ドットにしてください。 例：表示エリアが1の場合でもファイルサイズは900 (縦) × 1890 (横) ドットにして、6分割の左上にのみ図面を作成してください。</div></div></div> <div><div><div>630ドット</div><div>450ドット</div><div>このエリアのみ フロアレイアウトを 作成してください。</div><div>1890ドット</div><div>900ドット</div></div></div>																										
ファイル 形式	<div>gif</div> <div><div>お知らせ</div><div><div>・ 拡張データ (XMP、透過 gif、インタレース gif、モーション gifなどのメタデータ) 付のファイルは読み込みません。</div></div></div>																										
ファイル 名	<table><tr><th>フロア番号※1</th><th>ファイル名</th><th>フロア番号※1</th><th>ファイル名</th></tr><tr><td>1</td><td>floor_01.gif</td><td>6</td><td>floor_06.gif</td></tr><tr><td>2</td><td>floor_02.gif</td><td>7</td><td>floor_07.gif</td></tr><tr><td>3</td><td>floor_03.gif</td><td>8</td><td>floor_08.gif</td></tr><tr><td>4</td><td>floor_04.gif</td><td>9</td><td>floor_09.gif</td></tr><tr><td>5</td><td>floor_05.gif</td><td>10</td><td>floor_10.gif</td></tr></table> <div>※1 表内に表す「フロア番号」は、フロア階名称ではなく、フロアレイアウト画面で下から数えた順番です。フロア階名称を「15F」と設定した場合でも、設定した中で一番下のフロアであれば、ファイル名は、floor_01.gifとなります。</div>			フロア番号※1	ファイル名	フロア番号※1	ファイル名	1	floor_01.gif	6	floor_06.gif	2	floor_02.gif	7	floor_07.gif	3	floor_03.gif	8	floor_08.gif	4	floor_04.gif	9	floor_09.gif	5	floor_05.gif	10	floor_10.gif
フロア番号※1	ファイル名	フロア番号※1	ファイル名																								
1	floor_01.gif	6	floor_06.gif																								
2	floor_02.gif	7	floor_07.gif																								
3	floor_03.gif	8	floor_08.gif																								
4	floor_04.gif	9	floor_09.gif																								
5	floor_05.gif	10	floor_10.gif																								
保存場所	USBメモリのルートフォルダ内																										

使用可能
色 (RGB)

使用できる色は以下の通りです (RGB 表示)

※ これ以外の色は、設定した色と違う色が表示されますので、この中の色を使用して画像を作成してください。

R	G	B
224	71	72
221	151	152
81	66	81
105	89	105
17	16	17
51	42	52
27	23	30
165	145	185
33	37	57
2	17	85
6	35	160
6	28	122
9	40	168
12	45	176
154	162	194
211	214	227
15	49	182
17	53	188
20	57	195
24	64	205
17	46	149
21	52	163
28	70	215
32	64	178
45	80	204
44	75	190
55	90	213
69	99	205
99	122	202

R	G	B
101	112	150
126	137	176
142	149	175
175	180	199
33	77	225
37	83	234
39	86	240
41	89	245
42	92	249
46	93	246
23	47	124
63	104	238
77	116	241
99	137	255
126	146	214
149	170	235
70	79	108
179	189	222
191	202	230
192	210	241
163	170	180
236	242	250
159	185	210
144	154	162
204	228	245
112	183	219
126	139	145
214	241	251
159	240	253

R	G	B
130	150	153
105	134	135
37	96	86
204	214	211
48	64	59
250	255	253
227	255	243
241	255	248
237	249	243
67	97	79
59	78	66
61	116	80
85	128	100
154	177	162
14	45	24
59	93	70
178	187	181
46	181	88
59	157	90
90	213	129
214	255	225
224	239	228
129	155	135
178	194	182
115	255	143
99	193	117
182	201	185
59	255	88
19	255	48

R	G	B
176	255	185
238	255	240
154	255	163
198	255	203
106	255	116
137	255	144
226	252	227
124	233	125
250	255	250
167	229	166
107	145	104
182	211	180
23	95	15
149	211	141
128	140	126
95	202	74
194	231	186
147	169	142
41	177	3
166	203	154
208	224	202
219	235	211
172	187	164
203	211	197
241	244	238
199	201	195
110	114	98
127	129	119
210	211	196

R	G	B
255	253	185
193	193	150
255	255	221
121	121	106
162	162	147
142	142	129
94	94	89
212	212	203
235	235	227
213	213	207
203	203	198
137	137	134
116	116	114
245	245	242
85	85	84
121	121	120
253	253	252
119	117	23
255	253	143
253	241	7
174	173	157
208	195	0
220	210	64
156	153	113
201	199	175
151	150	136
187	175	71
195	193	175
198	197	187

R	G	B
179	159	1
172	169	147
187	185	169
179	177	162
205	203	187
224	222	206
212	201	139
136	134	122
158	156	143
217	215	202
230	228	216
142	128	71
254	246	220
244	237	215
33	25	2
111	110	107
63	43	4
106	104	100
133	132	130
116	79	14
254	251	246
255	151	0
93	61	13
254	221	171
157	97	18
211	205	197
205	128	31
187	116	28
219	138	35

R	G	B
225	148	50
214	159	89
77	76	75
230	211	206
207	203	202
225	197	192
225	8	8
221	179	179
152	151	151
255	255	255
250	250	250
249	249	249
246	246	246
243	243	243
241	241	241
239	239	239
236	236	236
232	232	232
228	228	228
225	225	225
220	220	220
217	217	217
215	215	215
211	211	211
209	209	209
207	207	207
205	205	205
202	202	202
198	198	198

R	G	B
195	195	195
193	193	193
191	191	191
189	189	189
185	185	185
179	179	179
173	173	173
171	171	171
169	169	169
166	166	166
161	161	161
154	154	154
148	148	148
143	143	143
133	133	133
129	129	129
103	103	103
82	82	82
70	70	70
64	64	64
58	58	58
51	51	51
44	44	44
41	41	41
34	34	34
4	4	4
0	0	0
255	170	63
255	203	131

※ 初期の背景色は、RGB [103、103、103] を使用しています。

[3] グループの表示エリアを変更する

手順

1. フロアレイアウト画面で、表示エリアの変更を行いたいグループを選択状態（オレンジ枠表示）にする。

お知らせ

- ・グループ登録され、レイアウト設定されていないグループはフロア未登録グループにグループ番号順に配置されます。（左上のエリアに配置されている数が最大の場合は、1つ右のエリアに配置されます。）

2. [切り取り] をタッチする。

選択しているグループがコピー状態（薄いオレンジ枠表示）となります。

3. 次に移動させたいエリアを選択し、[貼り付け] をタッチする。

切り取ったグループアイコンがそのエリアに表示されます。

移動を取り消したい場合は、切り取った場所と同じ場所で[貼り付け]をタッチすることで非選択状態（オレンジ枠非表示）に戻ります。

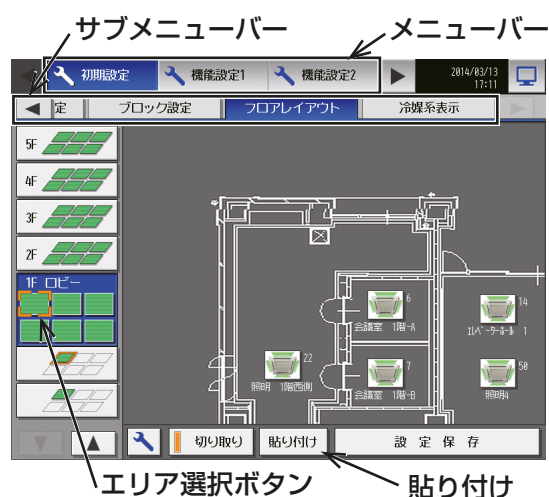
[設定保存] をタッチすると、変更したグループ表示位置を保存します。

お知らせ

- ・[設定保存] をタッチする前にメニューバーやサブメニューバーで移動する場合、ポップアップが表示されます。設定を保存しないまま他の画面に移動した場合は、設定した内容は適用されません。



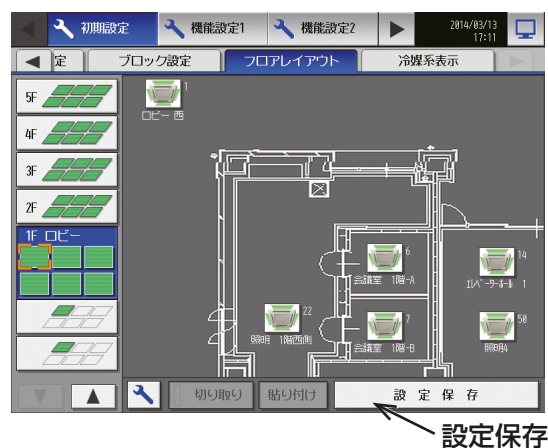
切り取り



4. [設定保存] をタッチして変更を保存する。

お知らせ

- フロアレイアウト内でのアイコンの移動方法については次項を参照してください。



[4] グループのエリア内移動

お願い

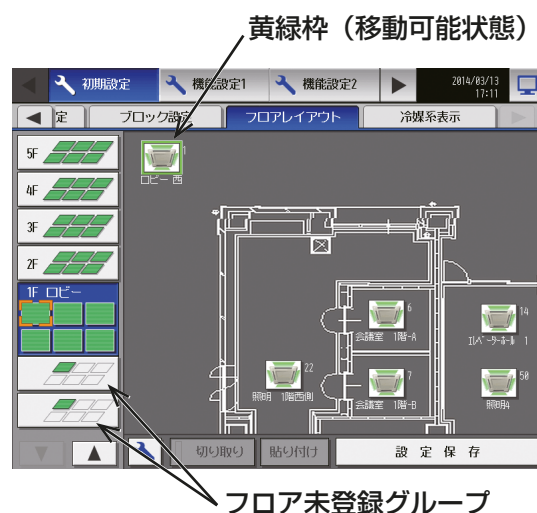
- 市販のタッチペンなどにて実施することを推奨します。

手順

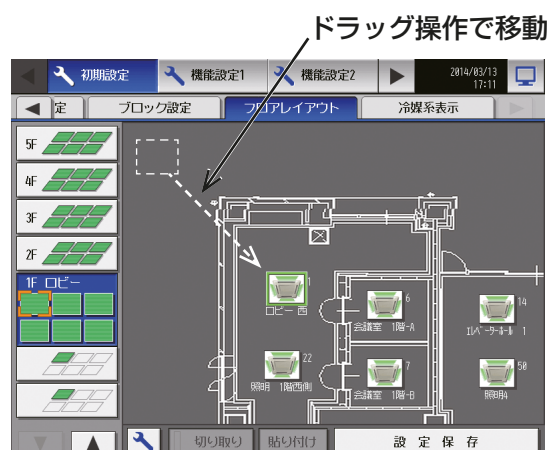
- フロアレイアウト設定画面で、表示位置の変更を行いたいグループを1秒間押し続ける。
アイコンの選択枠が黄緑枠に変化し、移動可能状態となります。

お知らせ

- フロア未登録グループの画面では移動できません。



- その状態で、ドラッグ操作を行う。
グループの位置をエリア内の任意の位置に移動させることができます。



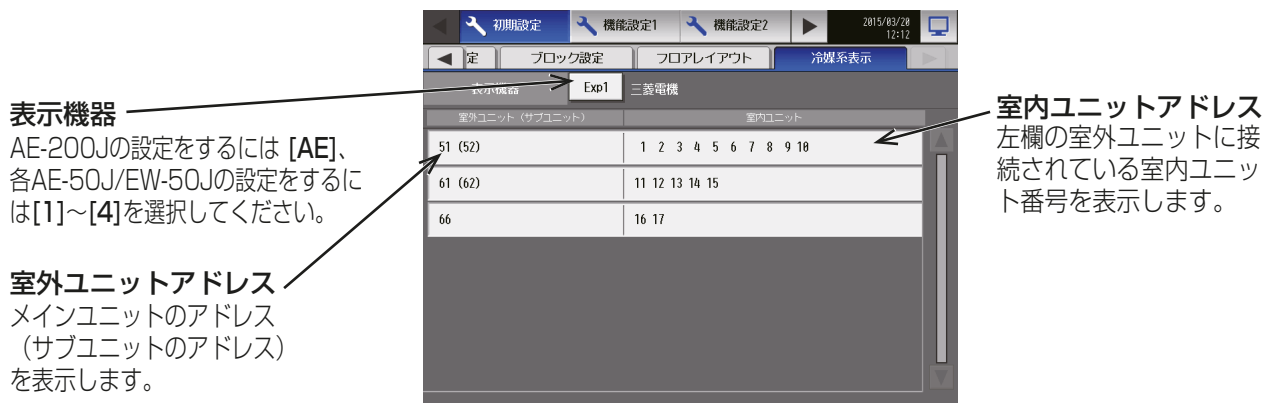
3. [設定保存] をタッチして変更を保存する。

4-1-11. 冷媒系表示

AE-200J/AE-50J/EW-50Jに接続されている冷媒系(室外ユニットと室内ユニットの接続情報)の一覧を確認したい場合、設定変更画面のメニューバーの**[初期設定]**－**[冷媒系表示]**をタッチし、冷媒系表示画面を表示させます。

お知らせ

- ・グループ設定画面でグループ登録され、立ち上げ処理が正常に終了したユニットの情報が表示されます。
- ・ユニット情報画面の「台数拡張」設定が**[利用する]**に設定されている場合に、「表示機器」の設定がAE-200Jの画面にのみ表示されます。「表示機器」の設定を**[AE200]**、**[Exp1]**～**[Exp4]**と切り替えてAE-200Jと各AE-50J/EW-50Jの情報を個別に表示してください。

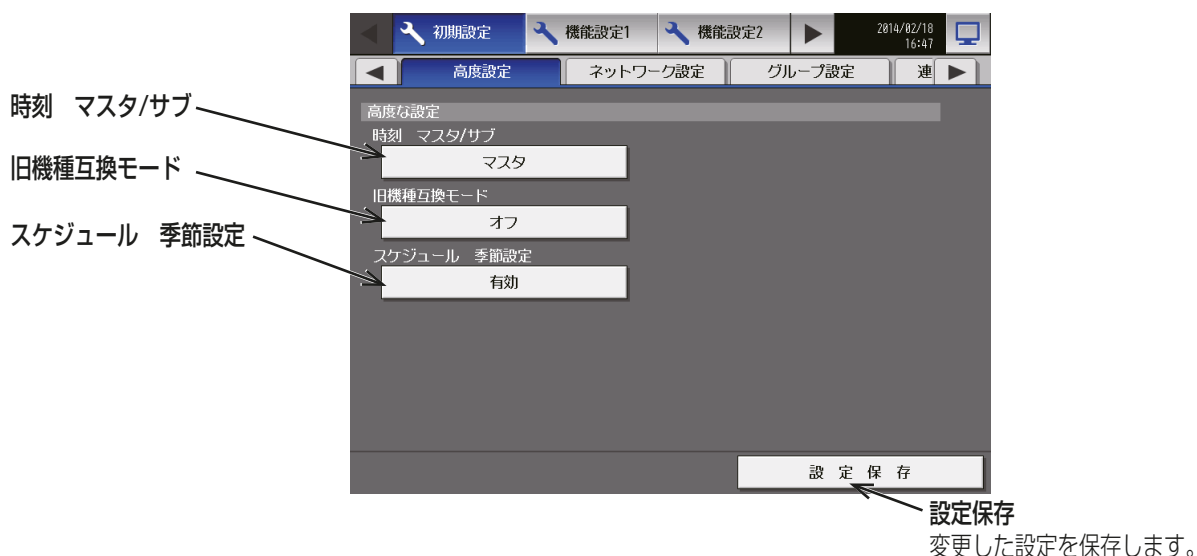


4-1-12. 高度設定

メニューの【初期設定】－【高度設定】をタッチして高度設定画面を開きます。

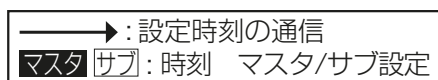
お知らせ

- ビル管理者でログインした場合は、高度設定の操作が禁止されている場合があります。

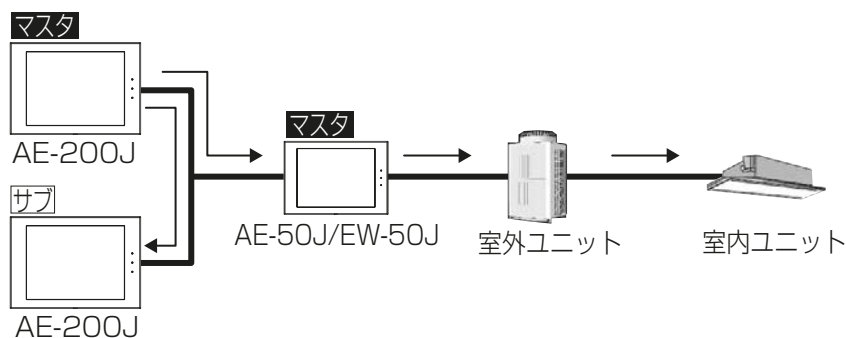
**[1] 時刻マスタ／サブ**

工場出荷時は【マスタ】に設定されています。

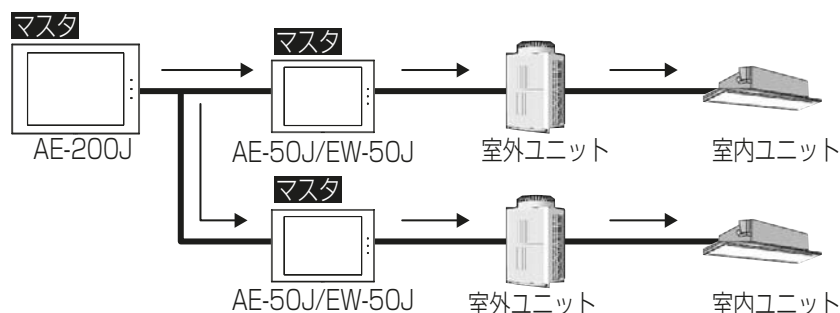
接続されている機器を2台以上のAE-200Jで監視・操作する場合（下記システム構成(1)の場合）のみ設定が必要です。

システム構成

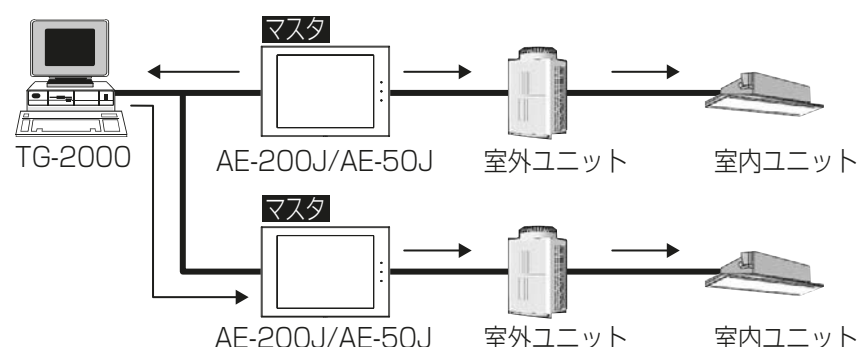
**(1) 複数のAE-200Jを1台のAE-50J/EW-50Jに接続する場合
(マスタはシステム上、1台のみ設定する)**



(2) 1 台の AE-200J を複数の AE-50J/EW-50J に接続する場合
(工場出荷設定の [マスタ] のまま変更しない)



(3) 上位システム (TG-2000 など) に複数の AE-200J/AE-50J が接続されている場合
(工場出荷設定の [マスタ] のまま)



[2] 旧機種互換モード

「旧機種互換モード」を [オン] または [オフ] から選択します。

デュアルオートモードに対応している室内ユニット (新室内ユニット) と非対応の室内ユニット (旧室内ユニット) が混在しており機能を統一したい場合や、BACnet[®] 機能を使用して、上位ビル管理システムと接続し、上位ビル管理システムがデュアルオートモードに対応していない場合は [オン] を選択することで、デュアルオートモード非対応に統一することができます。

[オン] を選択した場合、手元リモコンで操作禁止 (風向、風速、タイマ) は使用できません。

使用できる項目は下記の通りです。

○：使用可 –：使用不可

項目	旧機種互換モード設定	オフ		オン	
	機種	新室内ユニット	旧室内ユニット	新室内ユニット	旧室内ユニット
設定温度	デュアルオートモード	○	–	–	–
	シングルオートモード	–	○	○	○
リモコン 操作禁止	運転/停止	○	○	○	○
	運転モード	○	○	○	○
	設定温度	○	○	○	○
	フィルターサインリセット	○	○	○	○
	風向	○	–	–	–
	風速	○	–	–	–
	タイマ	○	–	–	–

お知らせ

- 旧機種互換モードを切り替えた場合、コントローラは再起動します。
再起動後、すべての室内ユニットが非対応になるまで、15 分程度要する場合があります。
- 設定温度はデュアルオートモード対応用と非対応用の 2 種類存在するため、旧機種互換モードを運用中に変更する場合は以下の点に留意して対応してください。
 - 設定温度が室内ユニットの初期値に戻るため、各グループの設定温度はあらかじめメモしておき、本設定を変更後に設定を元に戻してください。

- ・スケジュール設定の設定温度が未設定に戻るため、各グループのスケジュールの設定温度をあらかじめメモしておき、本設定を変更後にスケジュール設定を再設定してください。
- ・連動制御の連動先機種において、連動先動作に設定温度を利用している場合は再設定してください。

[3] スケジュール季節設定

手順

1. 「スケジュール：季節設定」で、週間スケジュールの季節設定を使用する場合は **[有効]** を、使用しない場合は **[無効]** を選択する。
特に指定のない限り、工場出荷状態の **[有効]** のままにしておきます。

お知らせ

- ・ AE-200J の本画面で設定した内容は、AE-50J/EW-50J の本画面にも反映されます。
- ・ スケジュール管理の詳細については、製品同梱の取扱説明書または、別冊の取扱説明書 操作（詳細）編を参照してください。

4-2. 機能設定 1

4-2-1. 省エネ制御、ピークカット制御の設定

省エネピークカット制御ライセンスを登録することで、選択されたピークカット方式に従い、デマンドレベルや電力量値を取得して制御レベル（0～4）を決定し、室外ユニットと室内ユニットに対して、制御レベルに合わせたピークカット制御を行います。

常に同一の省エネ制御を行う場合は、省エネ制御ライセンスを登録し、室外ユニット、室内ユニットの制御方法のうち、レベル0の内容を設定します。

お知らせ

- ・ 室外ユニットの接点が入っている場合、室外ユニットの設定値が優先されるため、設定した制御レベルで動作しません。

[1] ピークカット方式の設定

「機能設定 1」－「ピークカット」をタッチして、ピークカット設定画面の **[設定]** をタッチします。
「ピークカット方式」をタッチすることにより、**[デマンド入力PLC]**、**[電力量カウントPLC]**、**[計量用計測コントローラ]**、**[他のAE]**、**[外部接点入力]**、**[BACnet]**、**[その他のシステム]** の順に切り替わります。
設定内容入力後、**[設定保存]** をタッチして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

お願い

- ・ 設定完了後、関連機器が正しく接続され、ピークカット制御可能となっていることを試運転にて確認してください。
- ・ ピークカット機能を使用するには、省エネピークカット制御ライセンスが必要です。「ライセンス登録」画面で、ライセンスが正しく登録されていることを確認してください。
（詳細については、「3-6. ライセンス登録」参照）
- ・ ピークカット方式を **[BACnet]** に設定した場合、省エネピークカット制御ライセンスの他に BACnet 接続ライセンスが必要です。BACnet 接続ライセンス未登録の場合でも設定のみ保存ができますが、ライセンス登録後に機能が利用可能になります。
また、本画面で設定した後、別途 BACnet 設定ツールでピークカット設定を実施してください。
詳しくは、AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書（BACnet 設定ツール編）を参照してください。

お知らせ

- ・ ビル管理者でログインした場合は、一部の設定が禁止されていることがあります。
- ・ 汎用インターフェース（PAC-YG66DC(1)）にピークカット制御は行えません。
- ・ 省エネ制御ライセンスではピークカット制御は出来ません。省エネピークカット制御ライセンスは省エネ制御もできます。
- ・ ライセンスが未登録の場合でも、本機に設定を保存できますが、ライセンス登録時に機能が利用可能になります。

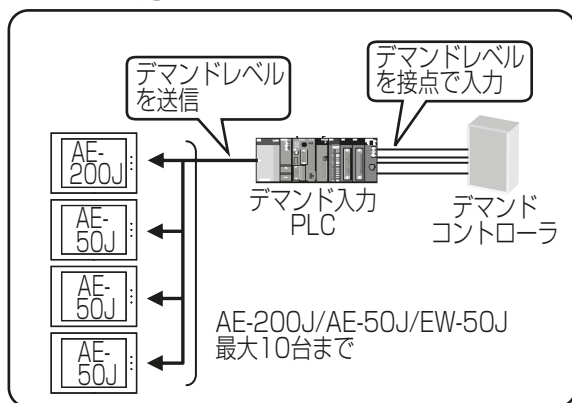
ライセンスが未登録の場合は、画面左下に「ライセンス未登録」と表示されます。



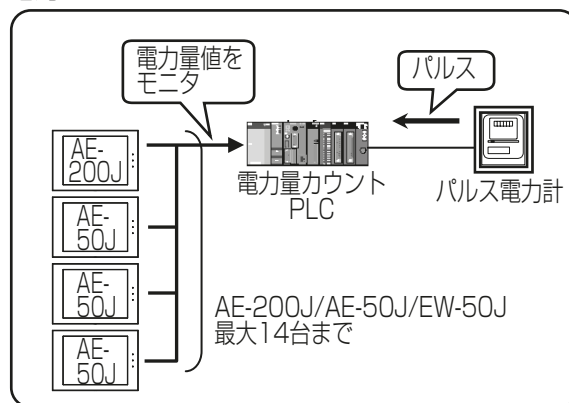
お知らせ

故障や伝送線の断線、設定内容等により、実際の使用電力が設定したデマンド値を超過した場合、当社は一切責任を負いません。

デマンド入力 PLC

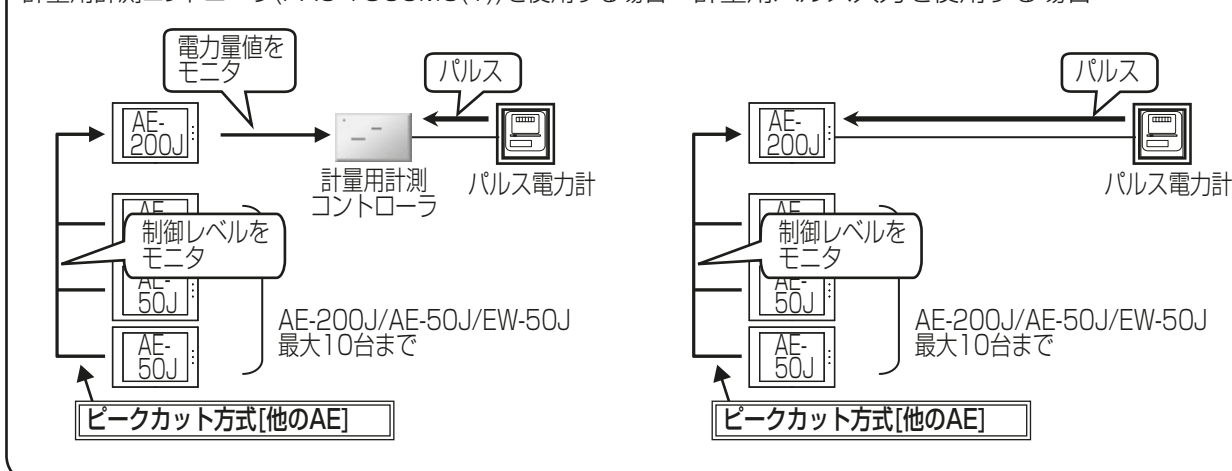


電力量カウント PLC

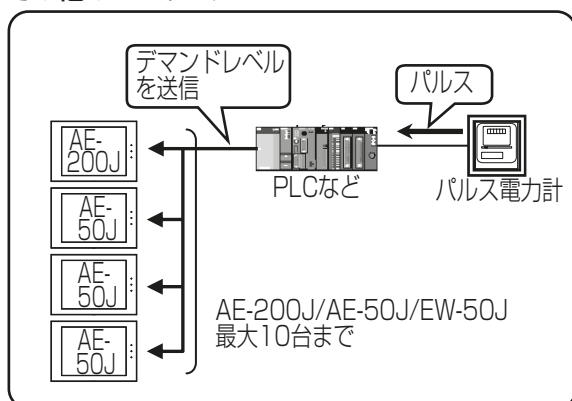


計量用計測コントローラ

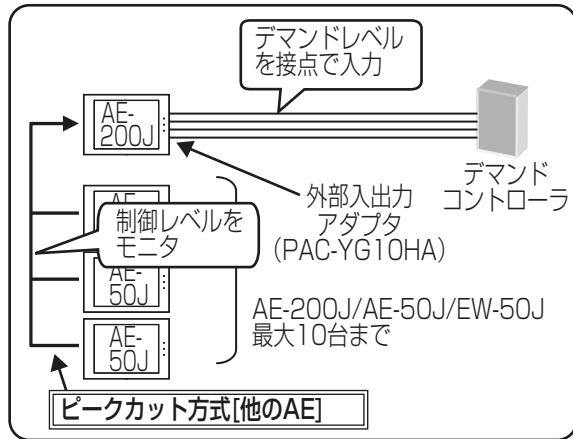
計量用計測コントローラ(PAC-YG60MC(1))を使用する場合 計量用パルス入力を使用する場合



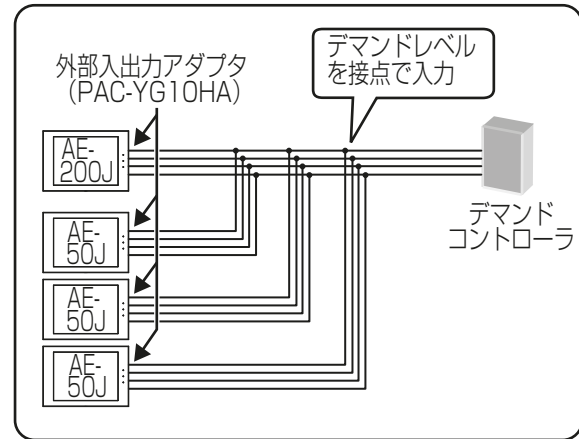
その他のシステム



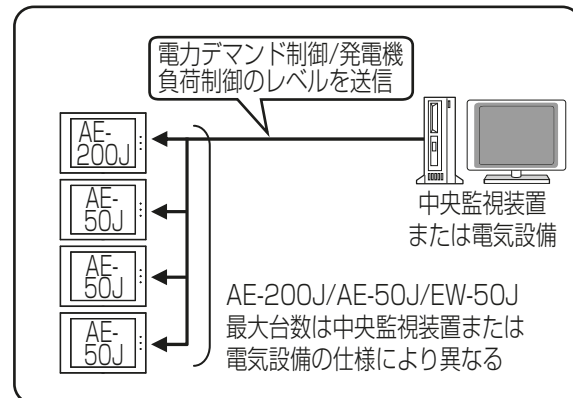
外部接点入力 (1)



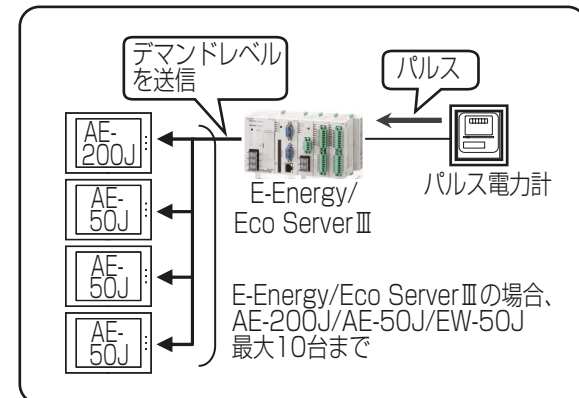
外部接点入力 (2)



BACnet



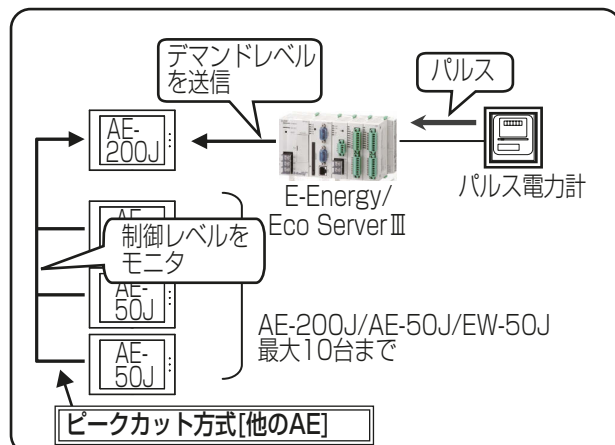
その他のシステム (E-Energy/Eco ServerⅢ など)



お知らせ

- E-Energy/Eco ServerⅢに接続先 (AE-200J/AE-50J/EW-50J) の設定が必要となります。詳細は E-Energy/Eco ServerⅢの取扱説明書を参照してください。
- 省エネ制御、ピークカット制御の設定後は、AE-200J(AE-50J)の液晶画面、統合管理ブラウザ (WEB) より、各々のAE-200J/AE-50J/EW-50Jがデマンドレベル (電力量値) の入力を受けて、設定通りの動作をしていることを確認してください。
- G-150AD + PAC-YG50EC システムからの更新工事時では下記対応が必要です。
「G-150AD + PAC-YG50EC」システムでは、制御レベルの入力、接続方式の設定はG-150ADのみですが、「AE-200J + AE-50J(EW-50J)」システムでは、AE-200J、AE-50J(EW-50J)それぞれに対し、デマンドレベル (電力量値) の入力、ピークカット方式の設定が必要です。システム構成変更が難しく、AE-50J(EW-50J)に制御レベル (電力量値) の入力ができない場合、AE-50J(EW-50J)にピークカット方式 [他のAE] を設定してください。

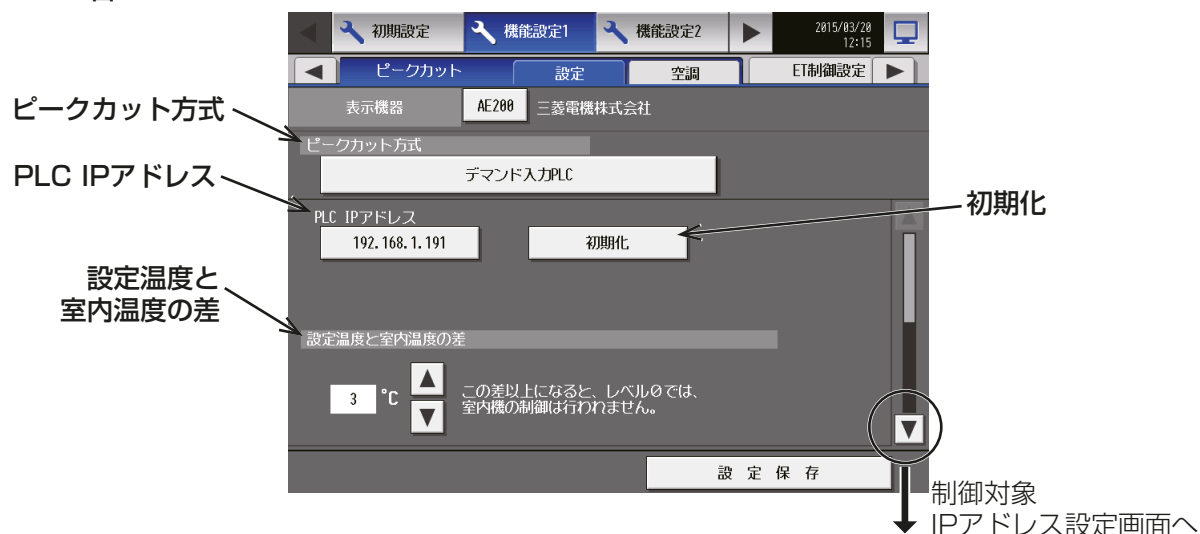
E-Energy/Eco ServerⅢ でのシステム例



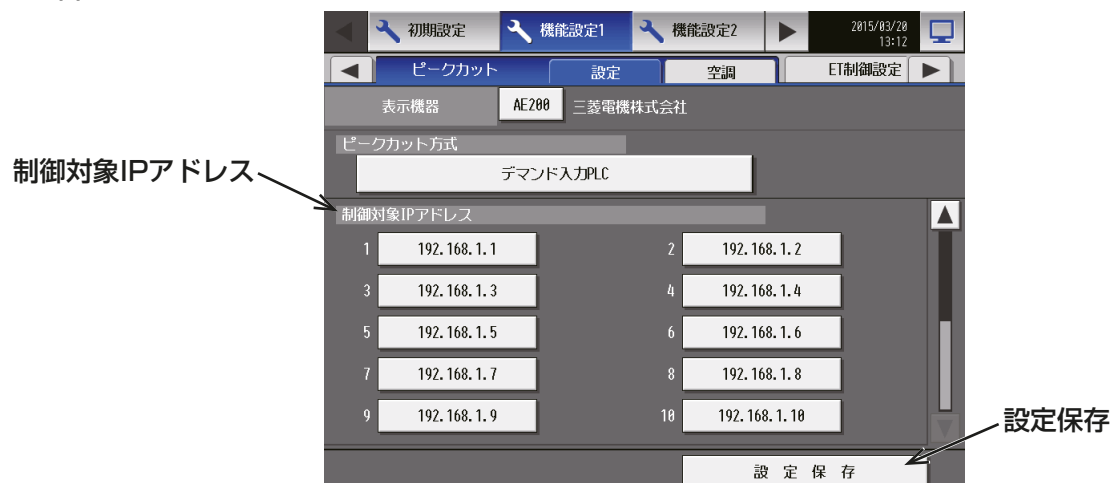
(1) [デマンド入力PLC] を選択した場合

デマンドレベル信号を、PLC を経由して AE-200J/AE-50J/EW-50J に入力する方式です。

1 ページ目



2 ページ目



手順

1. 「PLC IPアドレス」に、デマンド入力PLCのIPアドレスを入力する。
2. 設定後一度だけ、[初期化] をタッチして、初期化を行う。

お知らせ

- 初期化すると、全設定値を初期値に変更しますので、今までの全データが削除されます。
初期化はPLCの初期設定時に1回のみ実施してください。
運用中に実施すると制御データも消去され、ピークカット制御が正しく実行されません。
- 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を3℃～9℃に設定できます。制御レベルが0の場合に、設定温度と室温との温度差が設定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。
- レベル1～4は温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

3. ▼をタッチする。
「制御対象 IPアドレス」画面が表示されます。

4. PLCからのデマンドレベル信号を送信するAE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレスを入力する。
最大10個のIPアドレスが登録できます。

お知らせ

- ・デマンドPLCと通信できる状態でないと、制御対象 IPアドレスは表示・設定できません。

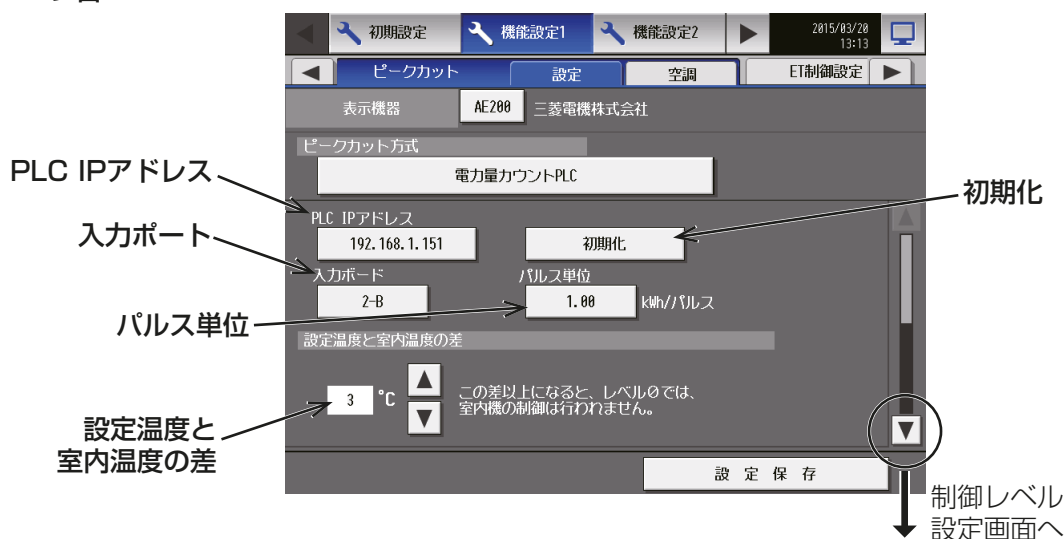
(2) [電力量カウントPLC] を選択した場合

電力パルスを送信するPLCを経由してAE-200J/AE-50J/EW-50Jに入力する方式です。

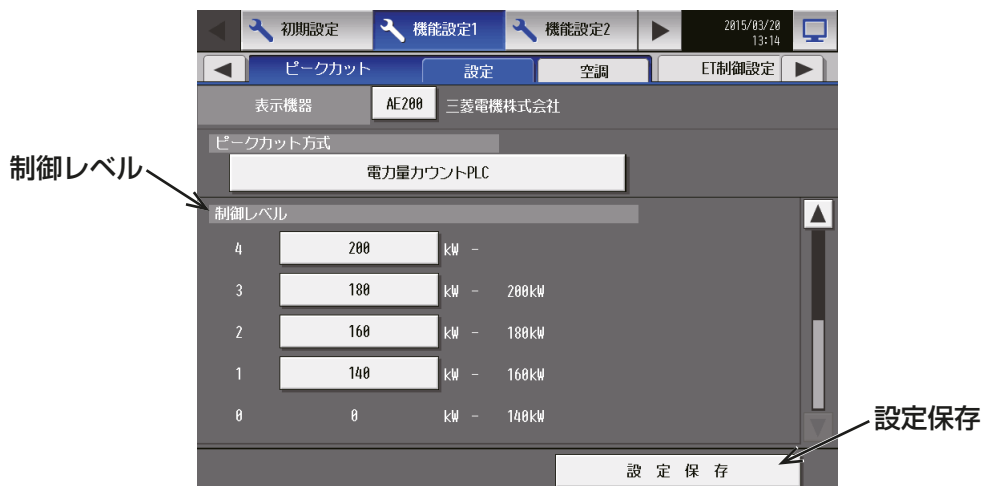
お知らせ

- ・PLC1台につき、最大10台までのAE-200J/AE-50J/EW-50Jに登録ができます。
- ・AE-200J/AE-50Jごとに設定が必要です。

1 ページ目



2 ページ目



手順

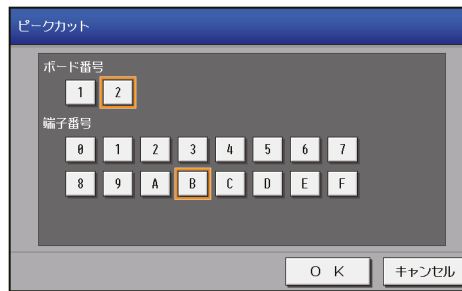
1. 「PLC IPアドレス」に、電力量カウントPLCのIPアドレスを入力する。
2. 設定後一度だけ、[初期化]をタッチして、初期化を行う。

お知らせ

- ・初期化すると、全設定値を初期値に変更しますので、今までの全データが削除されます。
初期化はPLCの初期設定時に1回のみ実施してください。
運用中に実施すると電力量データも消去され、ピークカット制御が正しく実行されません。

3. 「入力ボード」に、電力量計を接続した入力ボード番号および端子番号を選択する。

例えば、電力量計を入力ボード2の端子Bに接続した場合は、「ボード番号」の[2]と「端子番号」の[B]を選択します。



お願い

- 入力ボード番号は1または2から、端子番号は0～Fから選択してください。

4. 「パルス単位」に、電力量計が出力するパルス単位を入力する。

使用する電力量計に応じて設定してください。

お願い

- パルス単位は使用する電力量計に合わせて設定してください。また、正常に設定されたことを確認するため、毎時00分、30分の複数回、実際の電力量計のメーター値を確認した後、30分間の電力量計のメーター値の増加量と、ピークカット制御の平均電力が一致していることを確認してください。30分間の増加量と平均電力を比較する場合、(30分間の増加量) × 2で比較してください。(ピークカット制御平均電力は本体画面の[エネルギー管理]－[ピークカット制御]のグラフおよび、CSVファイルで確認できます。)

5. ▼をタッチして「制御レベル」に、制御レベル(デマンドレベル)ごとの制御を実行する電力を設定する。

制御レベル4については、契約電力より10～15%低い値を入力します。

制御レベル3～1については、高い制御レベルの設定値から約10%低い値を入力します。

(前ページの図は、契約電力200kWの設定例)

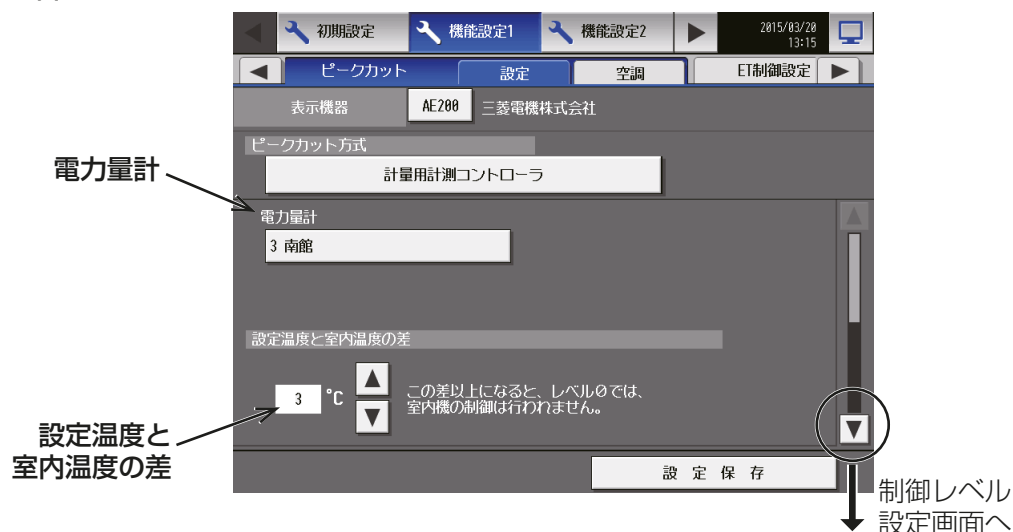
お知らせ

- 電力使用機器のシステム構成や建物の室内環境により、適正値は異なります。建物の電力使用状況に応じて決定してください。
- 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を3～9℃に設定できます。制御レベルが0の場合に、設定温度と室温との温度差がここで指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。
- レベル1～4は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

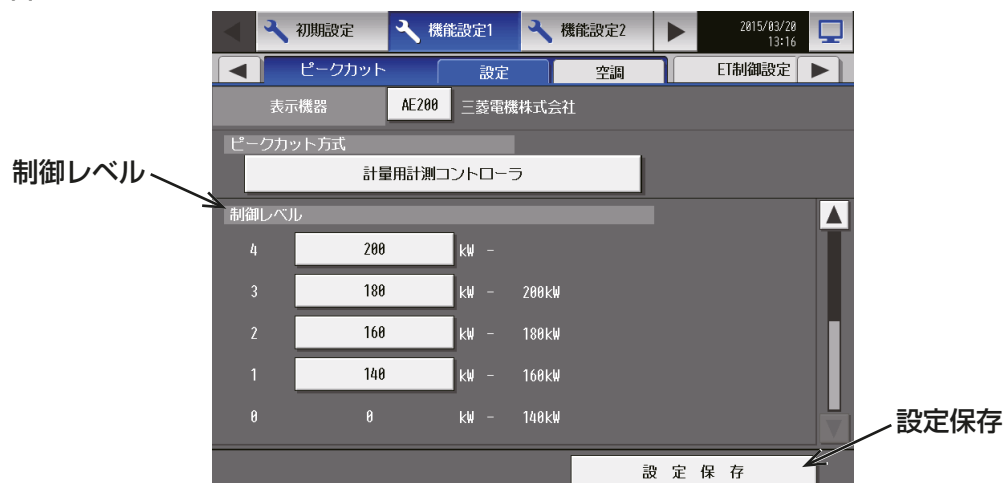
(3) [計量用計測コントローラ] を選択した場合

電力パルスを直接 AE-200J/AE-50J/EW-50J に入力、または計量用計測コントローラに入力する方式です。

1 ページ目

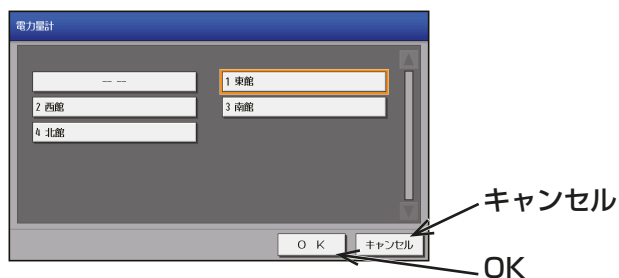


2 ページ目



手順

1. 「電力量計」をタッチして、ピークカット用の電力量計の選択画面を表示する。



2. ピークカット用の電力量計を一つ選択して [OK] をタッチする。

お知らせ

- [計測設定] 画面で登録した電力量計のみ選択できます。また、電力量計の名称を設定することができます。計量計の登録方法については、「4-2-7. 計測設定」を参照してください。

電力量計の名称は以下のように表示されます。

計量用パルス入力方式：[Ch番号+スペース+計量計名称]

例：ピークカット用電力量計がAE-200J/AE-50JのCN7のCh3に接続されて、名称を"ピークカット用"と設定している場合
⇒3 ピークカット用

計量用計測コントローラ方式：

[計量コントローラのアドレス+"-"+Ch番号+スペース+計量計名称]

例：ピークカット用電力量計が計量用計測コントローラ（アドレス10）のCh2に接続されていて、名称を
"ピークカット用"と設定している場合
⇒10-2 ピークカット用

- ピークカット用の電力量計の登録を削除する場合は、[-- --] をタッチします。
- [-- --] を選択するとピークカット用の電力量計の登録が削除されるため、ピークカット制御ができなくなります。
- 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を3～9℃に設定できます。制御レベルが0の場合に、設定温度と室温との温度差が指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。
- レベル1～4は温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

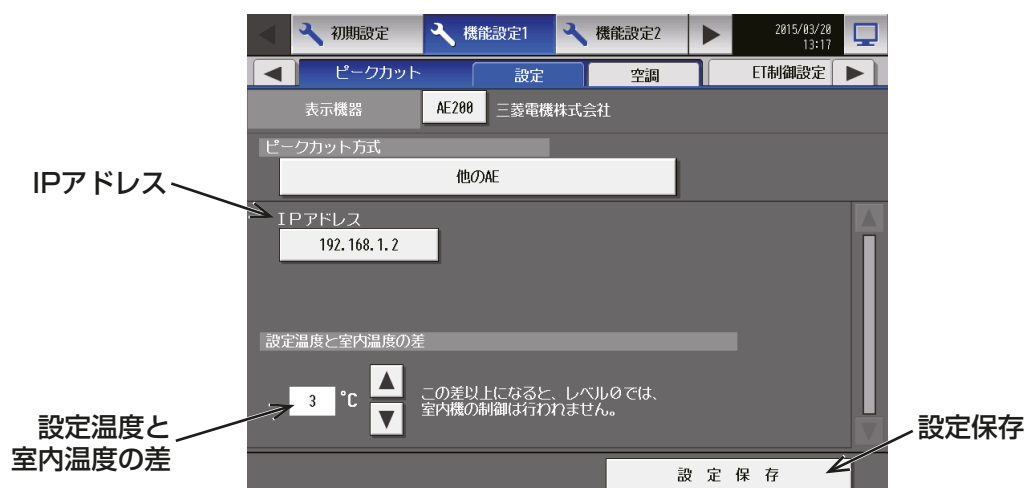
3. 「制御レベル」では、制御レベル（デマンドレベル）ごとの制御を実行する電力を設定する。

例えば制御レベル4については、最大需要電力（30分間に超えてはいけない平均電力値）より10～15%低い値を入力します。制御レベル3～1については、レベルの高い制御レベルの設定値から約10%低い値を入力します。

お知らせ

- 電力使用機器のシステム構成や建物の室内環境により、適正値は異なります。建物の電力使用状況に応じて決定してください。
- 電力用パルス入力または計量用計測コントローラが接続されたAE-200J/AE-50J/EW-50J以外に、最大10台までのAE-200J/AE-50J/EW-50Jに対してピークカット制御が出来ます。詳細は「(4) [他のAE] を選択した場合」を参照してください。

(4) [他のAE] を選択した場合

**手順**

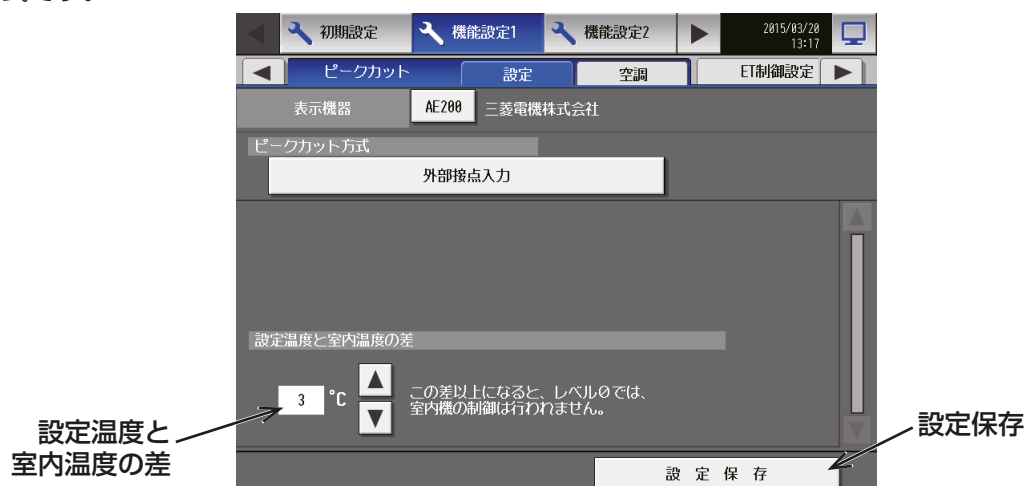
1. 「IP アドレス」に、以下のいずれかが接続された AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを入力する。
 - ・ 計量用パルス入力
 - ・ 計量用計測コントローラ
 - ・ 外部接点入力（詳細は次ページ）

お知らせ

- ・ 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を 3～9℃に設定できます。制御レベルが0の場合に、設定温度と室温との温度差が指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。
- ・ 制御レベルは計量用パルス入力または計量用計測コントローラを接続した AE-200J/AE-50J/EW-50J に対して、（他の AE）を設定した AE-200J/AE-50J/EW-50J は制御が最大 1 分遅れます。
- ・ 計量用パルス入力または計量用計測コントローラを接続した AE-200J/AE-50J/EW-50J に対して最大 10 台の AE-200J/AE-50J/EW-50J を（他の AE）に設定できます。
AE-200J/AE-50J/EW-50J が 11 台以上ある場合は、電力量計のパルス信号、計量用計測コントローラまたは外部接点入力を接続する AE-200J/AE-50J/EW-50J を増やしてください。
- ・ レベル 1～4 は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

(5) 外部接点入力を利用する場合

市販のデマンドコントローラからのデマンドレベル接点出力信号を、直接 AE-200J/AE-50J/EW-50J に入力する方式です。

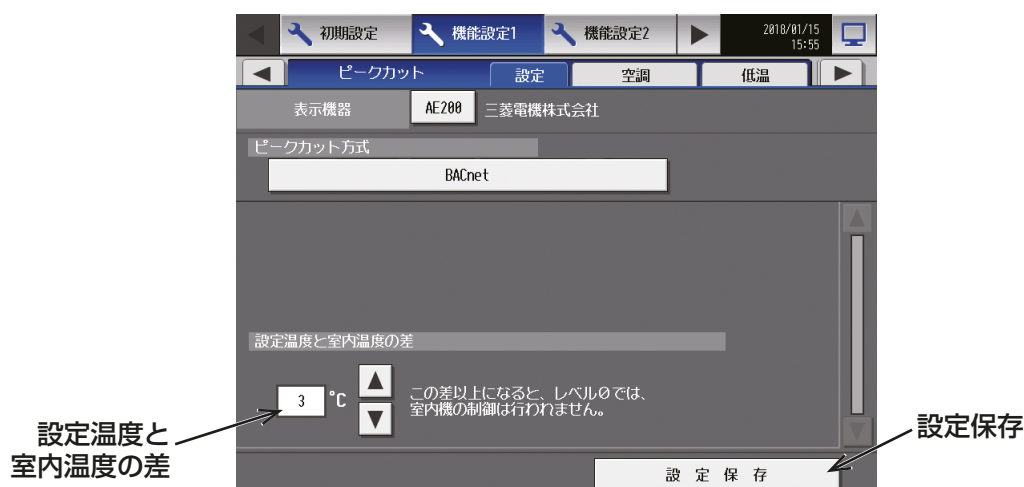


お知らせ

- 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を 3～9℃に設定できます。制御レベルが 0 の場合に、設定温度と室温との温度差がここで指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。
- レベル 1～4 は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

(6) BACnet を利用する場合

中央監視装置または電気設備から電力デマンド制御と発電機負荷制御のレベルを BACnet 経由で AE-200J/AE-50J/EW-50J に入力する方式です。

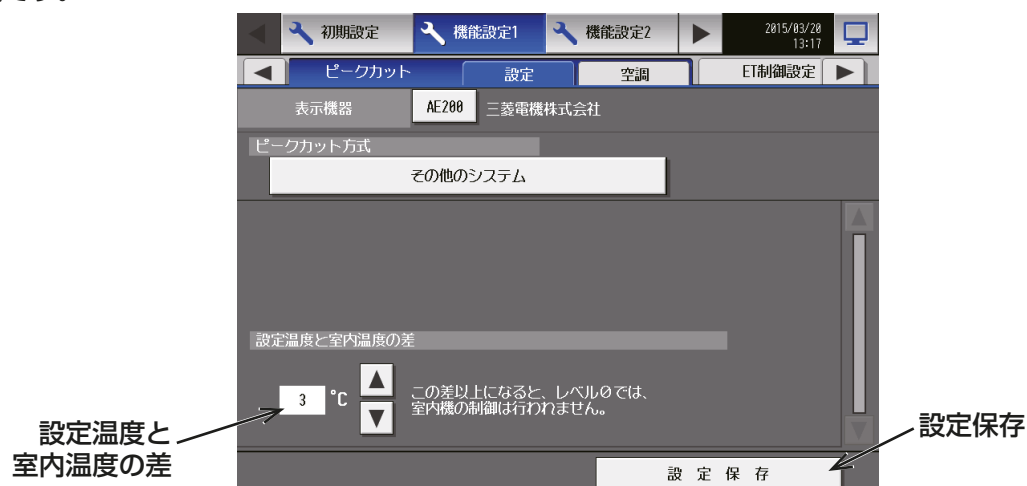


お知らせ

- ピークカット方式を [BACnet] に設定した場合、省エネピークカット制御ライセンスの他に BACnet 接続ライセンスが必要です。
BACnet 接続ライセンス未登録の場合でも設定のみ保存ができますが、ライセンス登録後に機能が利用可能になります。
また、本画面で設定した後、別途 BACnet 設定ツールでピークカット設定を実施してください。
詳しくは、AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書（BACnet 設定ツール編）を参照してください。
- 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を 3～9℃に設定できます。制御レベル 0 の場合に、設定温度と室温との温度差がここで指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。
- レベル 1～4 は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。
- BACnet で監視していない機器もピークカット制御の対象となります。ピークカット制御の対象外とした機器は別の系統に接続してください。

(7) その他のシステムを利用する場合 (E-Energy/Eco Server Ⅲ接続など)

E-Energy/Eco Server Ⅲなどからデマンドレベル信号をLAN経由でAE-200J/AE-50J/EW-50Jに入力する方式です。

**お知らせ**

- 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を3～9℃に設定できます。制御レベルが0の場合に、設定温度と室温との温度差がここで指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。
- レベル1～4は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

[2] 空調設定

ピークカット画面の [空調] をタッチして室内ユニット・室外ユニット設定画面を開きます。

(1) 室内ユニットのブロック制御内容

各制御レベルでの室内ユニットへのピークカット制御を設定します。
設定は操作ブロック単位となります。操作ブロック設定を行っていない場合は、「4-1-8. ブロック設定」を参照してください。

お願い

- 室内ユニットの省エネ制御/ピークカット制御は、ブロック単位で行います。ブロック設定をしてください。

1 ページ目 室内ユニットのピークカット設定



手順

- ▲ または ▼ をタッチして、設定するブロックを表示させる。
すべてのブロックに対して一度に設定を行う場合は、[一括設定] をタッチする。
- 下表を参照して、各制御レベルの制御方法を選択する。

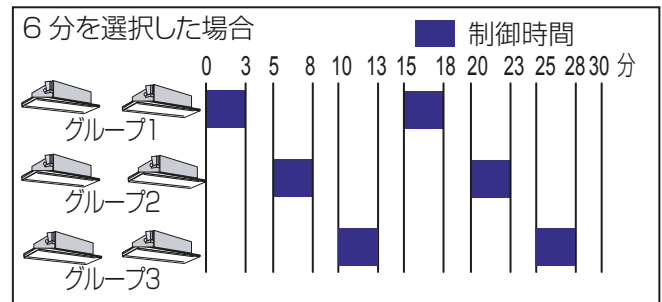
制御方法	制御内容
なし	制御は実行されません。
± 2℃制御	制御中は、冷房またはドライモードの設定温度は +2℃ 補正がかかり、暖房モードの設定温度は -2℃ 補正がかかります。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">送風または自動モード中は、ピークカット制御は実行されません。設定温度は、設定温度制限設定内で調節されます。 詳細については、6 章 統合管理ブラウザの設定方法の「6-1-7. 設定温度範囲制限」を参照してください。
送風制御 ^{*1}	制御中は、フリープラン室内ユニットと A 制御機種 (スリム機種) の室内ユニットはサーモ OFF 状態になり、フリープラン以前の機種は送風モードになります。(ユニットがサーモ OFF 状態の際、リモコンの画面上の運転モードは変化しません。)
停止制御 ^{*1}	制御中は、ユニットは停止します。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">制御方法を [停止]、制御時間を [30] 分に設定した場合、省エネ/ピークカット制御中のグループに対しての運転操作は、どのコントローラからも行えません。

- ※1 暖房運転時に室内ユニットのローテーション制御を使用する場合、冷風感防止の観点から、運転再開までに時間がかかり、また、運転再開後の一定期間、能力が発揮できないことがあります。能力不足を回避するために、暖房時に省エネ制御を使用する場合は、室外ユニットでの能力セーブ（圧縮機が停止しない省エネ）の使用をお勧めします。
- 室内ユニットのローテーション制御を使用の場合は、制御時間を短い時間（3分を推奨）に設定して使用してください。
- また、サーモオフ時の冷風感が気になる場合には、サーモオフ時風量を停止に変更して使用してください。その際は、室内機本体内部の暖気溜りによるサーモ誤作動防止のため、別売温度センサまたはリモコン内蔵センサを使用してください。

3. 各レベルでの制御時間を設定する。

各制御時間は3分を1つの制御単位とし、6分を選択すると3分の制御が30分中、2回実行されます。

また、30分以外を設定した場合は、登録されている操作ブロックの中で、極力制御時間が重ならないよう、ローテーション制御を行います。



4. ある操作ブロックの設定を、他の操作ブロックへコピーしたい場合は、[コピー]をクリックして選択状態とし、対象の操作ブロックの画面で[貼り付け]をクリックする。

(2) 室外ユニットの制御内容

各制御レベルでの室外ユニットへの制御方法を設定します。

お知らせ

- Mr. スリム機種の室外ユニットについては、インバーター機種だけが制御を実行できます。一定速機種の制御設定はできません。

2 ページ目 室外ユニットのピークカット設定

一括設定

コピー

貼り付け

制御時間

制御レベル	最大運転能力	制御時間
4	100 90 80 70 60 50	3 6 9 15 30
3	100 90 80 70 60 50	3 6 9 15 30
2	100 90 80 70 60 50	3 6 9 15 30
1	100 90 80 70 60 50	3 6 9 15 30
0	100 90 80 70 60 50	3 6 9 15 30

最大運転能力

制御レベル

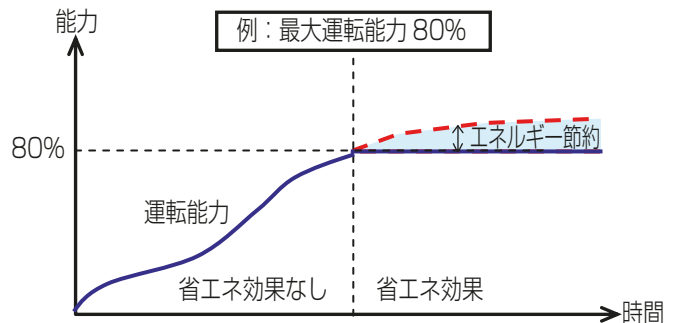
設定保存

手順

1. **▲** または **▼** をタッチして、設定する室外ユニットのアドレスを表示させる。
すべての室外ユニットに対して一度に設定を行う場合は、**[一括設定]** をチェックする。
2. 各制御レベルの最大運転能力を選択する。
最大運転能力値が小さいほど、省エネ運転となります。

お願い

- 室外ユニットの負荷が低く、指定された能力値以下で運転している場合は、省エネ効果が出ません。
- 下記の機種では室外ユニットへの能力セーブ制御を行わないように **[100%]** に設定してください。
 - 蓄熱機種
 - PUSY-J***
 - PUSY-P***-M-E(2006年以前発売)



3. 各レベルでの制御時間を設定する。
室外ユニットへの能力セーブ制御の場合、短い時間での制御では効果が出にくくなりますので、30分での制御を推奨します。
30分以外の時間を設定した場合は、接続されている室外ユニットの中で、極力制御時間が重ならないよう、ローテーション制御を行います。
4. ある室外ユニットの設定を、他の室外ユニットへコピーしたい場合、**[コピー]** をクリックして選択状態とし、対象室外ユニット画面で **[貼り付け]** をクリックする。

(3) 設定を保存する

- (1) と (2) を設定後、**[設定保存]** をタッチする。

4-2-2. ET 制御設定

ET 制御とは、圧縮機入力を低減することで運転効率を向上させる室外ユニットの機能です。ソフトウェアバージョンが Ver.7.40～7.91 の場合、工場出荷時「有効」設定です。また、Ver.7.92 以降は工場出荷時「無効」設定です。冷房運転時、従来は蒸発温度を一定に制御しているのに対して、ET 制御では負荷に応じて蒸発温度を上昇させて、圧縮機の負荷を低減させます。AE-200J/AE-50J から、室外ユニットの ET 制御機能を有効にするか、無効にするかを設定します。

お知らせ

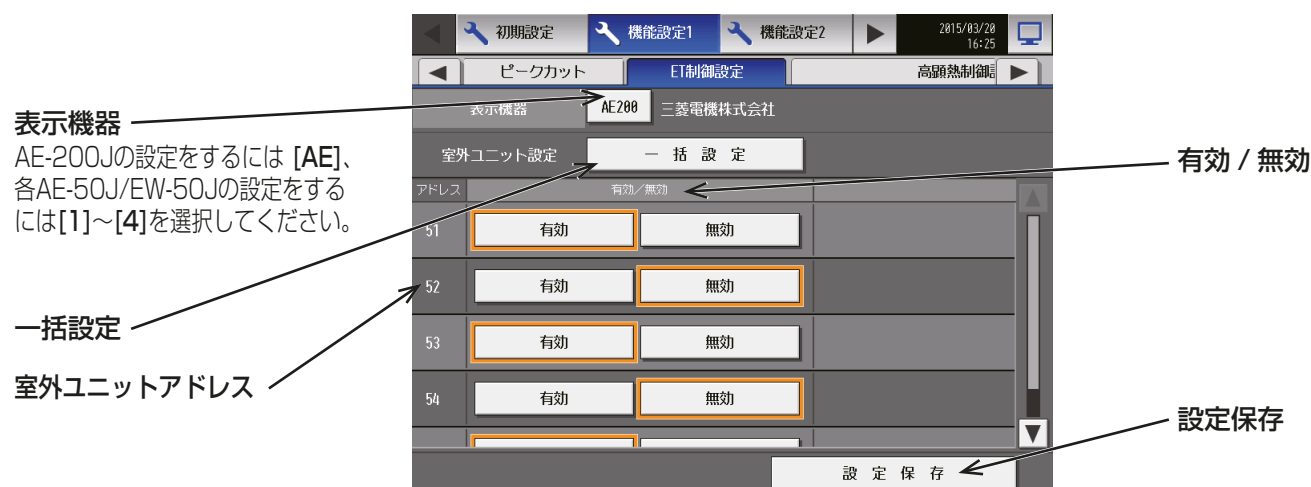
- ・本機能は、E 制御ライセンスの登録が必要ですが、ライセンス未登録の場合は設定の保存のみができます。ライセンス登録後は機能が利用可能になります。(Ver.7.4 以降は標準機能となり、ライセンス不要です。)
- ・すべての AE-200J/AE-50J/EW-50J でライセンス登録が必要です。
- ・室外ユニットが ET 制御に対応している場合に利用できます。
- ・形名の末尾が G5、G6 の空冷式室外ユニットで使用する場合、室外ユニットのソフトウェアアップデートが必要となる場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・ビル管理者でログインした場合、設定の操作が禁止されている場合があります。
- ・本設定は全てのユニットが正常に運転している状態で設定してください。室外ユニットの接続異常が発生している場合、ET 制御の対象ユニットが正常に表示されない場合があります。
- ・室外機スケジュール 1 (詳細は、「4-2-5. 室外機スケジュール 1」参照) で E T 制御が実行された場合、本画面の設定は実行されている間、「有効」表示となります。

手順

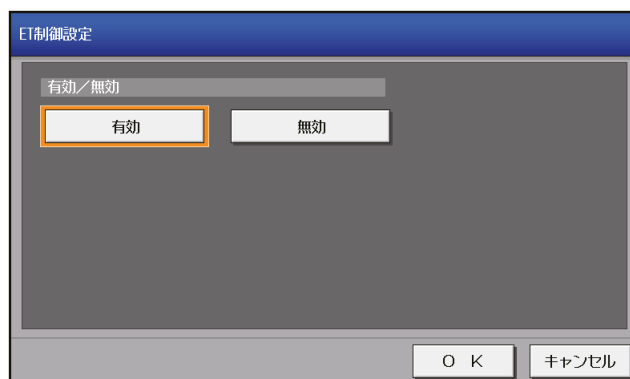
1. メニューの **[機能設定 1]** - **[ET 制御設定]** をタッチする。
ET 制御機能をもつ室外ユニットが一覧表示され、各室外ユニットの設定値が選択表示されます。(ソフトウェアバージョンが Ver.7.40～7.91 の場合、工場出荷時「有効」設定です。また、Ver.7.92 以降は工場出荷時「無効」設定です。)
2. 室外ユニットごとに **[有効]** **[無効]** のいずれかを選択する。
3. 設定完了後、設定保存をタッチする。

お知らせ

- ・E 制御ライセンス未登録時は、画面左下に「ライセンス未登録」と表示します。
- ・「表示機器」設定 **[AE200]**、**[Exp1]**～**[Exp4]** を切り替えて AE-200J と各 AE-50J/各 EW-50J の設定を個別に行ってください。



一括設定をタッチすると、一括設定画面が表示されますので、**[有効]****[無効]**のいずれかを選択してください。
設定完了後、**[設定保存]**をタッチして設定を保存してください。



4-2-3. 高顕熱制御設定

高顕熱制御とは、圧縮機入力を低減することで運転効率を向上させる室外ユニットの機能です。

(工場出荷時は、無効に設定されています。)

冷房運転時、従来は蒸発温度を一定に制御しているのに対して、高顕熱制御では制御レベルを**[低]**(省エネ効果小)と**[高]**(省エネ効果大)と**[自動]**(室外ユニットの判断で**[低]**と**[高]**を切り替え)から選択し、負荷に応じて蒸発温度を上昇させて、圧縮機の負荷を低減させます。

AE-200J/AE-50Jから室外ユニットの高顕熱制御機能の有効/無効と制御レベル、制御に用いる温度情報と湿度情報の値と取得元ユニットのアドレスを設定します。

お知らせ

- 本機能は、高顕熱制御ライセンスの登録が必要ですが、ライセンス未登録の場合は設定のみ保存ができません。
ライセンス登録後は機能が利用可能になります。
- AE-200JにAE-50J/EW-50Jを接続する場合、接続するすべてのAE-200J/AE-50J/EW-50Jでライセンス登録が必要です。
- 室外ユニットが高顕熱制御に対応している場合に利用できます。
- ビル管理者でログインした場合、設定の操作が禁止されている場合があります。
- 本設定は全てのユニットが正常に動作している状態で設定してください。室外ユニットの接続異常が発生している場合、高顕熱制御の対象ユニットが正常に表示されない場合があります。
- 制御温度差、制御湿度差、MEリモコン目標湿度、温度情報取得元アドレス、湿度情報取得元アドレスを設定する場合、形名の末尾がG5以降の室外ユニットが必要です。
- 制御湿度差を設定する場合、加熱加湿付ロスナイまたはMEリモコン(PAR-F30ME1)が必要です。
- MEリモコン目標湿度を設定する場合、MEリモコン(PAR-F30ME1)が必要です。

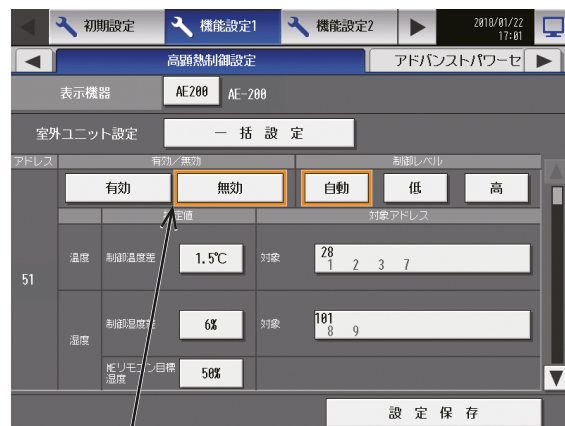


項目	内容
表示機器	AE-200Jの設定をするには [AE] 、各 AE-50J の設定をするには [1] ～ [4] を選択してください。
一括設定	タッチして、室外ユニットの制御内容を一括で設定する画面を表示します。
有効 / 無効	高顕熱制御の有効 / 無効に関する設定内容を表示します。
室外ユニットアドレス	室外ユニットの M-NET アドレスを表示します。 お知らせ ・ 高顕熱制御機能を有する室外ユニットのみ表示されます。
制御温度差	高顕熱制御に用いる制御温度差 (設定温度と吸込温度の差) の設定値を表示します。
制御湿度差	高顕熱制御に用いる制御湿度差 (目標湿度と湿度センサの値との差) の設定値を表示します。 お知らせ ・ 温度 26℃ の場合の相対湿度 (%) の湿度差です。
ME リモコン目標湿度	高顕熱制御に用いる ME リモコン目標湿度の設定値を表示します。 お知らせ ・ 湿度情報取得元設定で ME リモコン (PAR-F30ME1) が選択されている場合のみ設定することができます。 ・ ME リモコン目標湿度は、温度 26℃ の場合の相対湿度 (%) です。
制御レベル	高顕熱制御の制御レベルに関する設定内容を表示します。
温度情報取得元設定	室外ユニットと同一冷媒系統内の室内ユニットグループのうち、温度情報を取得する室内ユニットの M-NET アドレスを灰色で表示します。 また、室外ユニットと別の冷媒系統の室内ユニットグループのうち、温度情報を取得する室内ユニットの M-NET アドレスを黒色で表示します。
湿度情報取得元設定	室外ユニットと同一冷媒系統内の加熱加湿付ロスナイグループのうち、湿度情報を取得する加熱加湿付ロスナイの M-NET アドレスを灰色で表示します。 また、室外ユニットと別の冷媒系統の加熱加湿ロスナイグループのうち、湿度情報を取得する加熱加湿付ロスナイの M-NET アドレスと湿度情報を取得する ME リモコン (PAR-F30ME1) の M-NET アドレスを黒色で表示します。
設定保存	タッチして、設定を保存します。

手順

1. メニューの[機能設定1]-[高顕熱制御設定]をタッチする。
高顕熱制御機能設定可能な室外ユニットが一覧表示され、各室外ユニットの設定が選択表示されます。
(工場出荷時は、[有効][自動])
2. 室外ユニット毎に[有効][無効]のいずれかを選択する。

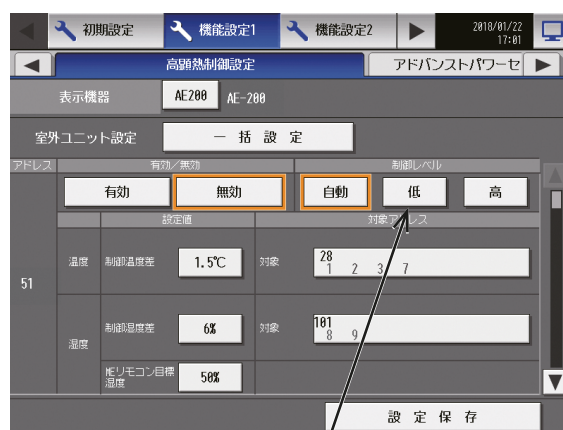
設定項目	詳細
有効	高顕熱制御を有効にします。
無効	高顕熱制御を無効にします。



有効/無効

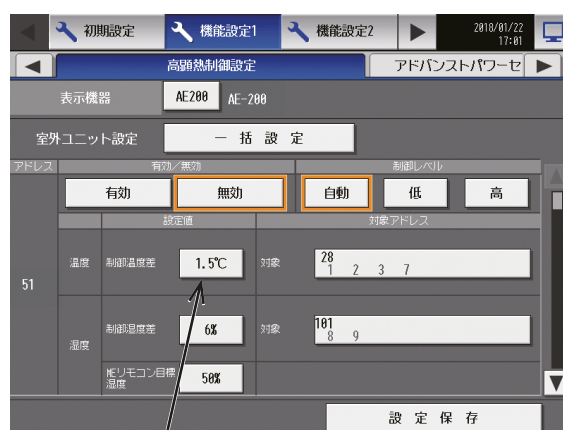
3. 室外ユニット毎に制御レベル[自動][低][高]のいずれかを選択する。

設定項目	詳細
自動	室外ユニットの判断で[低]と[高]を切り替えます。
低	省エネ効果の低い制御設定になります。
高	省エネ効果の高い制御設定になります。



制御レベル

4. 制御温度差をタッチする。
制御温度差設定ダイアログを表示します。



制御温度差

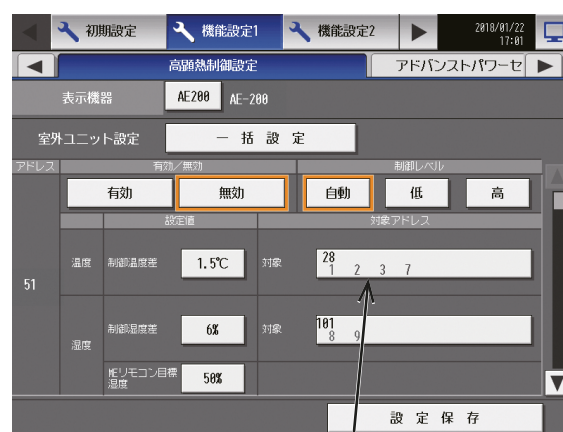
5. 上下のボタンをタッチし、1.0～3.0℃の範囲で制御温度差を設定する。
設定後、[OK] をタッチする。



6. 温度情報取得元設定をタッチする。
温度情報取得元設定ダイアログを表示します。

お知らせ

- ・ 室外ユニットと別の冷媒系統の室内ユニットを、温度情報取得元として設定する場合のみ、実施してください。



温度情報取得元設定

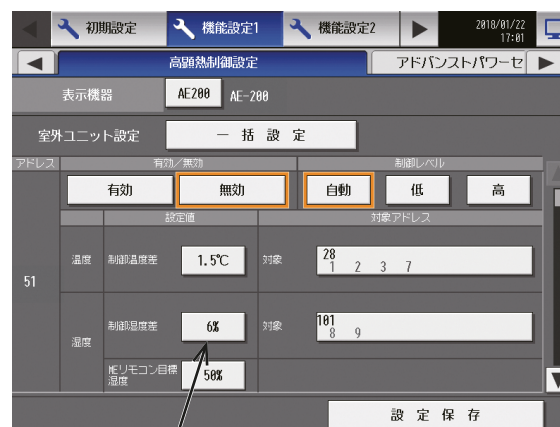
7. アドレス選択部をタッチし、温度情報の取得元アドレス (オレンジ枠) を設定する。
温度情報を取得する室内ユニットのM-NETアドレスを選択し、選択状態 (オレンジ枠) にします。
選択を解除したい場合は、再度タッチすることで非選択状態 (枠なし) に戻ります。
設定後、[OK] をタッチする。

お知らせ

- ・ 非選択状態 (枠なし) の室内ユニットについては温度情報を取得しません。
- ・ 室外ユニットと同一冷媒系統内の室内ユニットグループについては、初期状態が温度情報の取得元アドレス (オレンジ枠) となります。



8. 制御湿度差をタッチする。
制御湿度差設定ダイアログを表示します。



制御湿度差

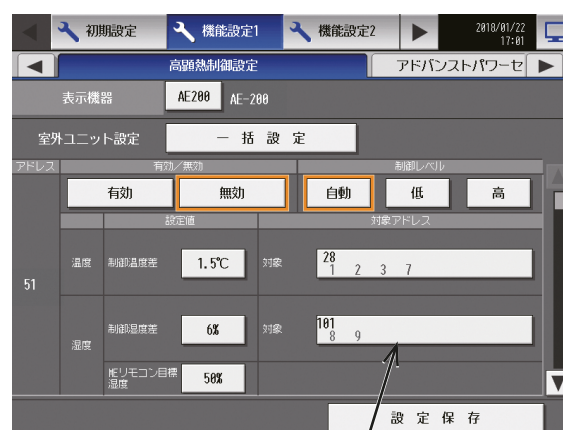
9. 上下のボタンをタッチし、5～15%の範囲で制御湿度差を設定する。
設定後、[OK] をタッチする。



10. 湿度情報取得元設定をタッチする。
湿度情報取得元設定ダイアログを表示します。

お知らせ

- ・ 室外ユニットと別の冷媒系統の室内ユニットや ME リモコン (PAR-F30ME1) を、湿度情報取得元として設定する場合のみ、実施してください。



湿度情報取得元設定

11. アドレス選択部をタッチし、湿度情報の取得元アドレス (オレンジ枠) を設定する。
湿度情報を取得する室内ユニットの M-NET アドレスを選択し、選択状態 (オレンジ枠) にします。
選択を解除したい場合は、再度タッチすることで非選択状態 (枠なし) に戻ります。
設定後、[OK] をタッチする。

お知らせ

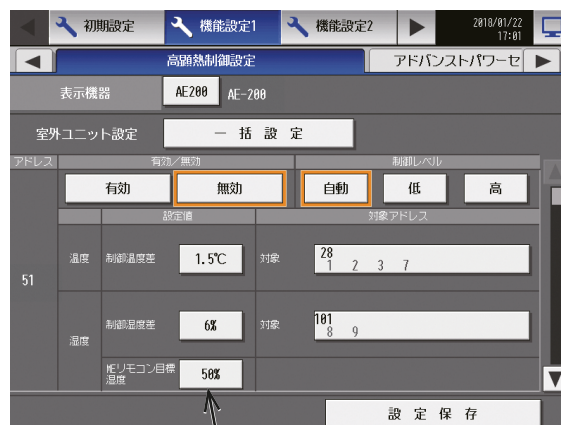
- ・ 非選択状態 (枠なし) の室内ユニットと ME リモコン (PAR-F30ME1) については湿度情報を取得しません。
- ・ 室外ユニットと同一冷媒系統内の室内ユニットのうち湿度取得可能なユニットについては、初期状態が湿度情報の取得元アドレス (オレンジ枠) となります。



12. MEリモコン目標湿度をタッチする。
MEリモコン目標湿度設定ダイアログを表示します。

お知らせ

- 湿度情報取得元設定でMEリモコン (PAR-F30ME1) が選択されている場合のみ設定することができます。



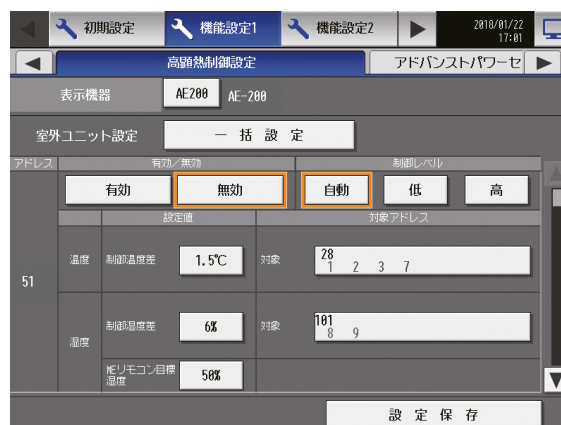
MEリモコン目標湿度

13. 上下のボタンをタッチし、50～65%の範囲で目標湿度を設定する。
設定後、[OK] をタッチする。



OK

14. [設定保存] をタッチする。

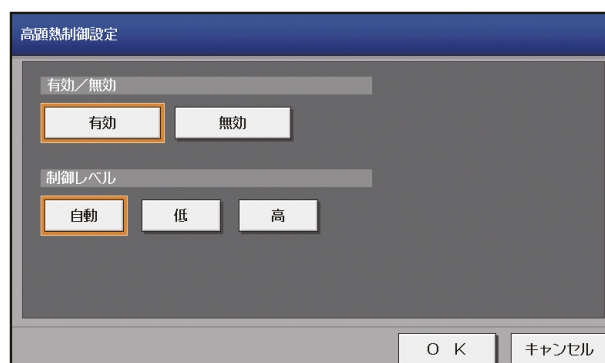


設定保存

一括設定をタッチすると、一括設定画面が表示されますので、**[有効]****[無効]** 及び **[自動]****[低]****[高]** のいずれかを選択してください。

[OK] をタッチすると、高顕熱設定画面に戻り、表示されている室外ユニット全ての選択が、この画面で選択した設定に変わります。

設定完了後、**[設定保存]** をタッチして設定を保存してください。



4-2-4. アドバンストパワーセーブ設定

アドバンストパワーセーブ制御とは、室外ユニットの使用電力量に制限をかける機能です。(工場出荷時は、無効に設定されています。) 室外ユニットの常時運転時の使用電力量に制限をかけることで省エネ効果が得られます。AE-200J/AE-50J/EW-50Jから、室外ユニットのアドバンストパワーセーブ制御機能の有効/無効と制御レベルを設定します。

お知らせ

- 本機能は、E制御ライセンスの登録が必要ですが、ライセンス未登録の場合は、設定のみ保存ができます。ライセンス登録後は機能が利用可能になります。(Ver.7.4以降は標準機能となり、ライセンス不要です。また、Ver.7.4以降にアップデートした際、本機能が自動的に有効となります。)
- AE-200JにAE-50J/EW-50Jを接続する場合、接続するすべてのAE-200J/AE-50J/EW-50Jでライセンス登録が必要です。
- ビル管理者でログインした場合、設定の操作が禁止されている場合があります。
- E制御ライセンス未登録時は、画面左下に「ライセンス未登録」と表示します。
- 「表示機器」設定 **[AE200]**、**[Exp1]**～**[Exp4]** を切り替えてAE-200Jと各AE-50J/EW-50Jの設定を個別に行ってください。
- 本設定は全てのユニットが正常に運転している状態で設定してください。室外ユニットの接続異常が発生している場合、アドバンストパワーセーブの対象ユニットが正常に表示されない場合があります。
- 室外機スケジュール1 (詳細は、「4-2-5. 室外機スケジュール1」参照) でアドバンストパワーセーブが実行された場合、本画面の設定は実行された内容に変更されます。

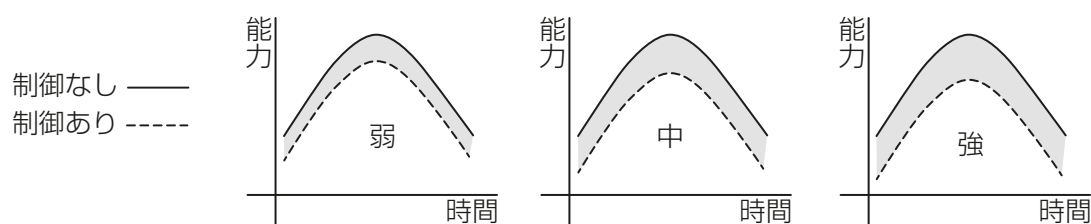


手順

1. メニューの[機能設定 1]－[アドバンストパワーセーブ]をタッチする。
アドバンストパワーセーブ設定可能な室外ユニットが一覧表示され、各室外ユニットの設定値が選択表示されます。
(工場出荷時は、有効・制御レベル：なし に設定されています。)
2. 室外ユニットごとに、[有効][無効]のいずれかを選択する。
3. 室外ユニットごとに、[なし][弱][中][強]のいずれかの制御レベルを選択する。
4. 設定完了後、[設定保存]をタッチして設定を保存する。

お知らせ

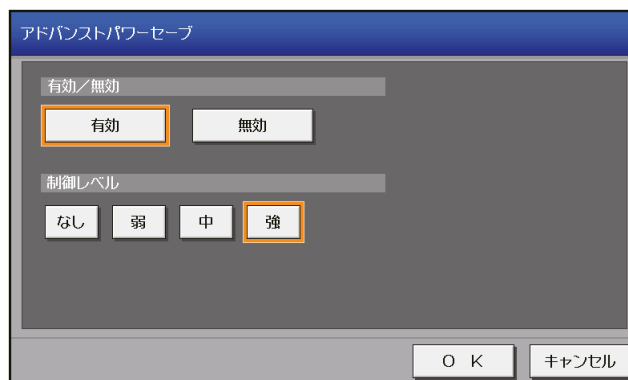
- ・ [なし] ではアドバンストパワーセーブ制御を行いません。
- ・ [無効] では、制御レベルは設定値のままで、アドバンストパワーセーブ制御は行いません。
- ・ [弱]⇒[中]⇒[強] の順に省エネ効果が増します。



一括設定をタッチすると、一括設定画面が表示されますので、[有効][無効]および[なし][弱][中][強]のいずれかを選択してください。

[OK]をタッチすると、アドバンストパワーセーブ設定画面に戻り、表示されている室外ユニット全ての選択が、この画面で選択した設定に変わります。

設定完了後、[設定保存]をタッチして設定を保存してください。



4-2-5. 室外機スケジュール1

[1] 概要

室外機スケジュール1では、下記制御を週間スケジュール、当日スケジュールで設定できます。

- ・能力上限セーブ制御
- ・ET制御
- ・アドバンストパワーセーブ
- ・高顕熱制御

週間スケジュール（5種類、日曜～土曜）、当日スケジュール（当日のみ有効）は、接続している室外ユニットごとに設定できます。また、1日に12回のスケジュールを設定できます。

スケジュールの優先度は、高いほうから

当日スケジュール > 週間スケジュール1 > . . . > 週間スケジュール5

となります。

スケジュールの優先順の詳細については、「AE-200J/AE-50J 取扱説明書」を参照してください。

お知らせ

- ・スケジュールに対応した室外ユニットは、形名の末尾がG5以降の室外ユニットです。
- ・能力上限セーブ制御とピークカット制御（詳細は、「4-2-1. 省エネ制御、ピークカット制御の設定」参照）の「最大運転能力」と同一です。制御時間が重なった場合は、設定値のうち、低い値で制御が行われます。
- ・ライセンスの登録状態により、操作可能な制御が異なります。詳細は下記を確認してください。

ライセンス	スケジュールで設定可能な制御
省エネ制御（ピークカット）ライセンスまたは、省エネ制御ライセンス	能力上限セーブ制御
高顕熱制御ライセンス	高顕熱制御













ただし、高顕熱制御は室外ユニットが高顕熱対応している場合のみとなります。

[2] 室外機スケジュール1画面

メニューの[機能設定1]－[室外機スケジュール1]をタッチすると、室外機スケジュール1設定画面が表示されます。

本画面では、室外ユニットの異常状態、最大運転能力操作値、高顕熱制御状態が表示できます。



項目	内容								
室外ユニットアイコン	<p>室外ユニットの異常有無の状態を表します。</p> <table border="1"> <tr> <td>異常なし</td><td>異常あり</td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> </table> <p>また、現在表示している日のスケジュール有無を表します。</p> <table border="1"> <tr> <td>スケジュールなし</td><td>スケジュールあり</td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> </table> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュールありのアイコンは、当日に運転するスケジュールが存在する場合にのみ表示されます。 ・ 異常ありのアイコンが表示されている場合は他のアイコンは表示されません。 ・ 室外機スケジュール2に設定がある場合でも、室外機スケジュール1の画面では、スケジュールアイコンは表示されません。 	異常なし	異常あり			スケジュールなし	スケジュールあり		
異常なし	異常あり								
									
スケジュールなし	スケジュールあり								
									
室外ユニットアドレス	「アドレス」+アドレス番号が表示されます。								
最大運転能力操作値	<p>最大運転能力の操作値を表示します。</p> <p>室外機スケジュール1による能力上限セーブ制御とピークカット制御（詳細は、「4-2-1. 省エネ制御、ピークカット制御の設定」参照）で設定された最大運転能力値のうち、低い操作値が表示されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 操作値100%が表示されている場合、制御が実行されていません。 ・ 室外ユニットの接点が入っている場合、室外ユニットの設定値が優先されるため、表示されている指令値では動作しません。（詳細は、室外ユニットの「設計工事マニュアル」参照） 								
高顕熱制御状態	<p>高顕熱の制御状態を表示します。表示される状態は下記の通りです。</p> <p>低：制御レベル「低」で制御実行中です。</p> <p>高：制御レベル「高」で制御実行中です。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高顕熱制御が実行中のみ表示されます。 ・ 制御レベルが「自動」の場合、室外ユニットで判定を行うため、「低」もしくは「高」のいずれかの制御状態が表示されます。「自動」は表示されません。 								
表示機器	<p>[AE200]、[Exp1]～[Exp4]を切り替えてAE-200Jと各AE-50J/EW-50Jの表示を切り替えます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AE-200Jに「台数拡張」設定が【利用する】に設定されている場合に、「表示機器」が表示されます。 								
週間スケジュール番号	現在有効なスケジュール番号が表示されます。								

[3] 週間スケジュールの設定

メニューの[機能設定1]－[室外機スケジュール1]をタッチし、[週間]をタッチすると週間スケジュールの設定ができます。

週間スケジュール設定では、曜日ごと、期間(季節)ごとにスケジュールを設定できます。

お知らせ

- ・季節設定を使用する場合は、「スケジュール 季節設定」を「有効」(初期値)にしてください。
- ・季節設定は、集中コントローラ内で共通の設定です。
他の空調機、DT-R、ブラインクーラ、給湯機が接続されている場合、季節設定での週間スケジュールは同じ設定になります。
ただし、除湿機のみは、季節設定は別設定になります。

(1) 適用期間を設定する(季節設定)

手順

1. 週間スケジュール設定画面で、季節設定[31]をタッチする。

お知らせ

- ・「スケジュール 季節設定」が[無効]に設定されている場合は、季節設定[31]は非表示となり、季節設定は使用できません。



季節設定

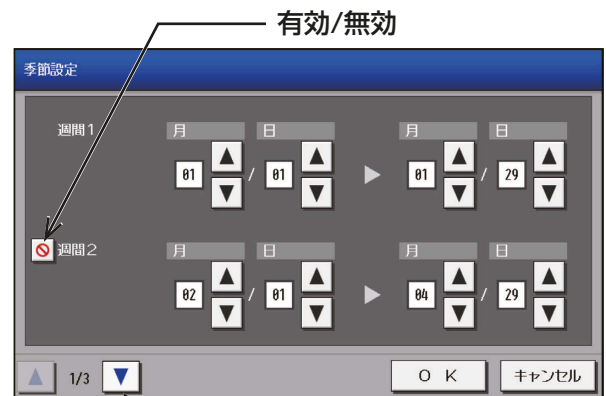
2. 各週間スケジュールを有効とする期間を入力する。
画面左の[有効/無効]をタッチすることで、その週間スケジュール設定の有効、無効を切り替えられます。

☐ : 有効

☒ : 無効(初期値)

お知らせ

- ・週間1～5のいずれかの期間が重なる場合は、番号の小さいスケジュールが優先されます。
たとえば、週間1と週間2の期間が重なる場合は、週間1のスケジュールが優先されます。
- ・11/01～03/31のように、年をまたいだ期間を設定することもできます。
- ・AE-200J画面で設定した内容は、AE-50J/EW-50Jにも反映されます。



有効/無効

次ページ

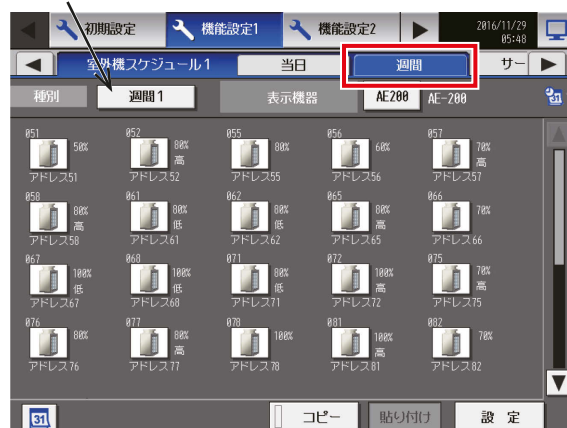
前ページ

(2) 週間スケジュールパターンを設定する

手順

1. サブメニューの[週間]をタッチする。
2. 週間選択をタッチし、[週間1]、[週間2]、[週間3]、[週間4]、[週間5]のいずれかのスケジュールパターンを選択する。

週間選択



(3) 設定対象を選択する

手順

1. スケジュールを設定する室外ユニットのアイコンを選択し、[設定]をタッチする。



室外ユニットアイコン



設定

(4) 曜日を選択する


手順

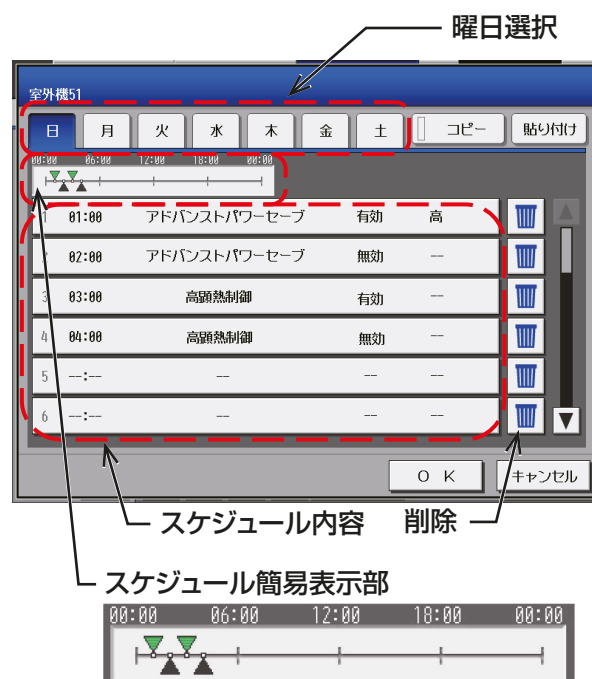
1. スケジュールを設定したい曜日をタッチする。
スケジュール内容ボタンをタッチすると、スケジュール内容設定画面が表示されます。

スケジュール簡易表示部のアイコン

-  : 有効 (もしくはON)
 : 無効 (もしくはOFF)

お願い

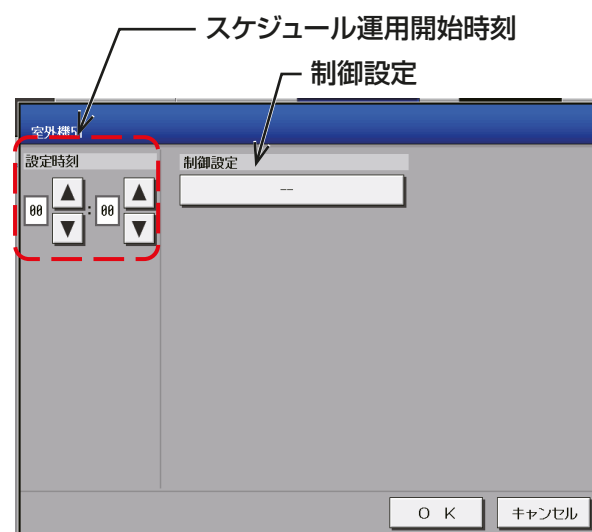
- ・ 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [] をタッチしてください。



(5) スケジュール内容を設定する

手順

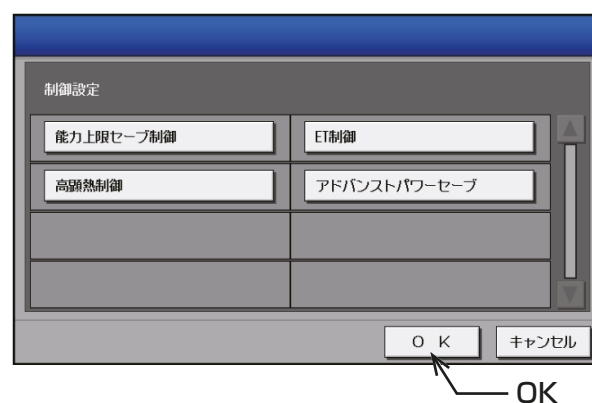
1. スケジュール内容欄で、設定するスケジュールの行をタッチする。
2. スケジュール運用開始時刻を設定し、[制御設定] ボタンをタッチする。



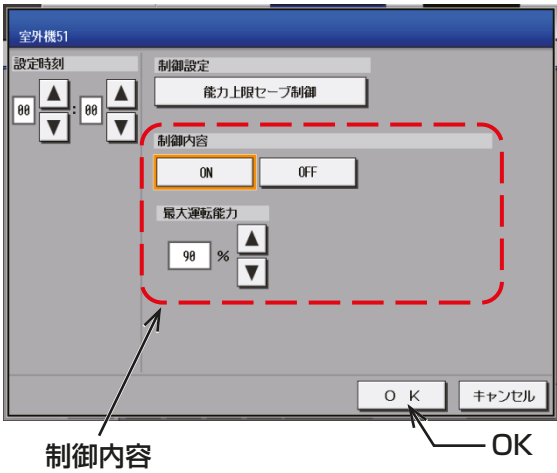
3. 表示されている制御から制御設定を選択し、[OK] をタッチする。

お知らせ

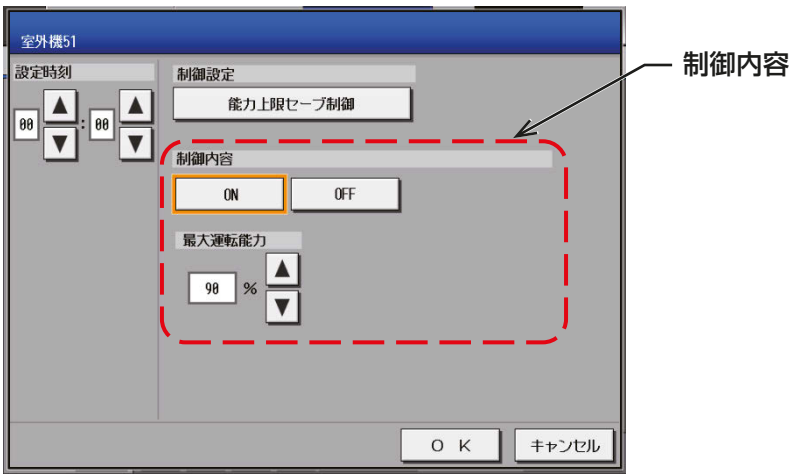
- ・ ライセンスの登録状態により、操作可能な制御が異なります。



- 4. 選択した制御設定により、制御内容が異なるため、以下の 1) ～ 4) を確認し、制御内容を設定する。
- 5. 設定が完了したら、[OK] ボタンをタッチする。

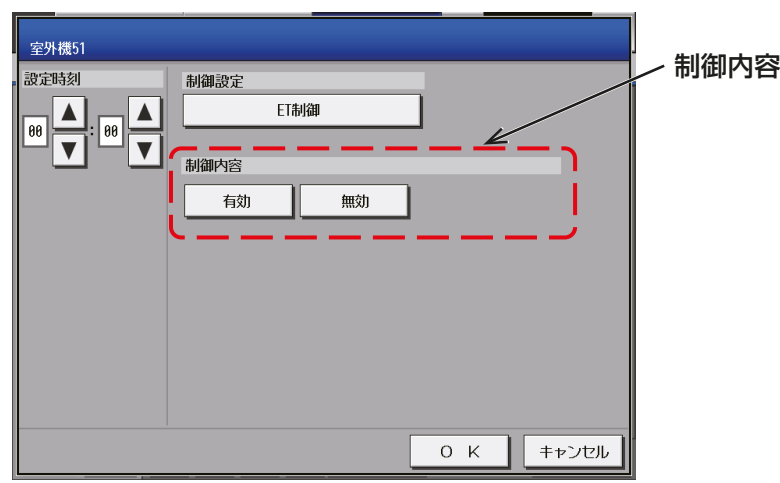


1) 能力上限セーブ制御の制御内容を設定する



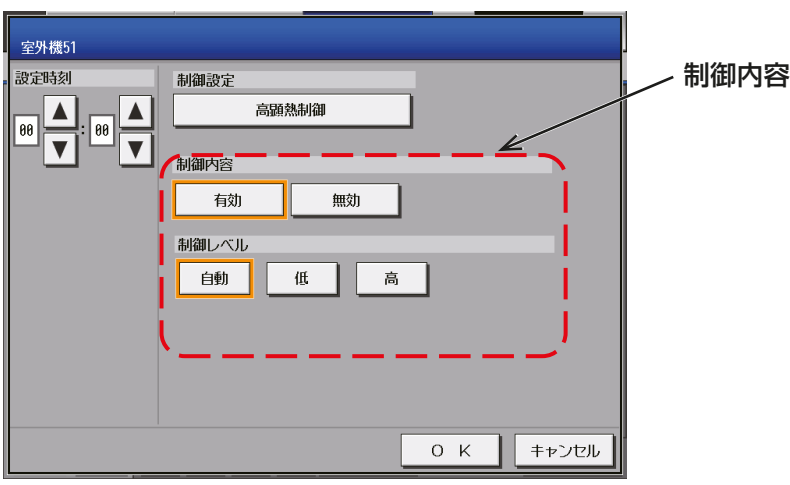
制御内容	制御説明
ON/OFF	能力上限セーブ制御の ON/OFF が切り替えできます。 ON 設定の場合、室外ユニットが最大運転能力以上の能力で運転しないように抑制します。 OFF 設定の場合、最大運転能力を抑制しません。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">・ 室外ユニットの接点が入っている場合、接点の設定が優先されるため、本画面で設定した値では動作しません。・ 接点入力が解除された場合は、本画面での操作値に戻るまで最大 10 分かかることがあります。
最大運転能力	最大運転能力を 50 ～ 90% (10% 刻み) で設定できます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">・ ON/OFF 設定が ON の場合にのみ設定可能です。・ ON/OFF 設定が OFF の場合、100% 固定です。・ 室外ユニットの接点が入っている場合、室外ユニットに設定された値が優先されるため、本画面で設定した値では動作しません。(設定の詳細は、室外ユニットの「設計工事マニュアル」参照)

2) ET 制御の制御内容を設定する



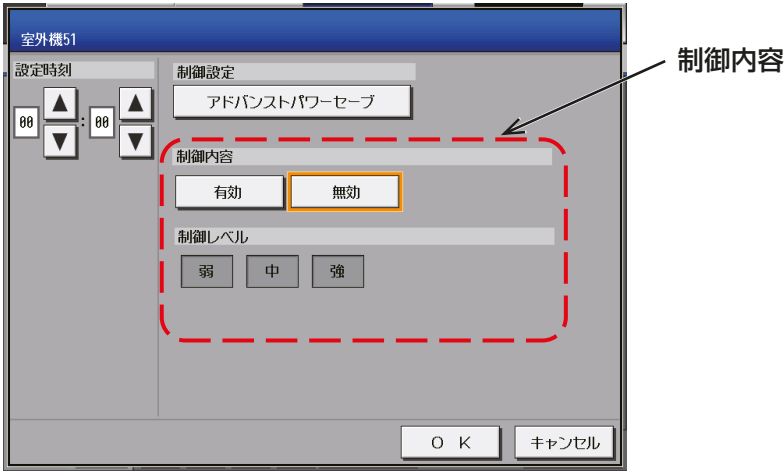
制御内容	制御説明
有効 / 無効	ET 制御の有効 / 無効を切り替えできます。 有効の場合、室外ユニットが開始条件を判定し、条件を満たすと制御が実行されます。 無効の場合、ET 制御は実行されません。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">制御開始は室外ユニットで判定するため、有効の場合でも実行されないことがあります。

3) 高顕熱制御の制御内容を設定する



制御内容	制御説明
有効 / 無効	高顕熱制御の有効 / 無効を切り替えできます。 有効の場合、室外ユニットが開始条件を判定し、条件を満たすと制御レベルに合った制御が実行されます。 無効の場合、高顕熱制御は実行されません。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">制御開始は室外ユニットで判定するため、有効の場合でも実行されないことがあります。
制御レベル	制御レベルを自動 / 低 / 高で設定できます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">有効 / 無効が無効の場合、制御レベルは操作できません。

4) アドバンストパワーセーブの制御内容を設定する



制御内容	制御説明
有効 / 無効	アドバンストパワーセーブの有効 / 無効を切り替えできます。 有効の場合、室外ユニットが開始条件を判定し、条件を満たすと制御レベルに合った制御が実行されます。 無効の場合、アドバンストパワーセーブは実行されません。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">制御開始は室外ユニットで判定するため、有効の場合でも実行されないことがあります。
制御レベル	制御レベルを弱 / 中 / 強で設定できます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">有効 / 無効が無効の場合、制御レベルは操作できません。

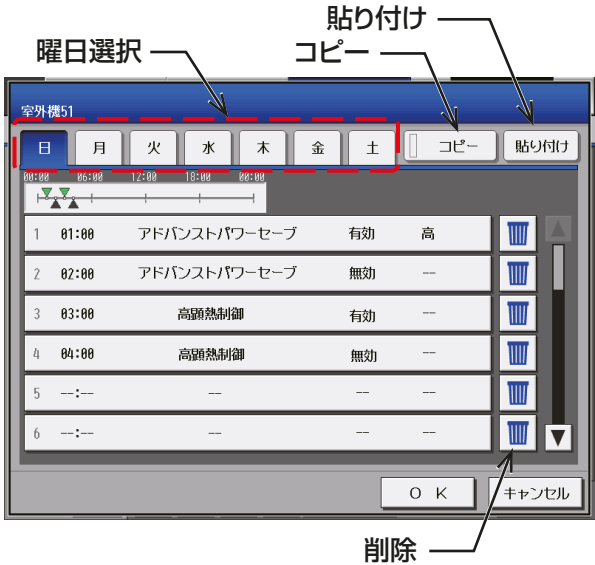
(6) スケジュールを別の曜日にコピーする

手順

1. 曜日間でスケジュール内容をコピーする場合は、曜日選択からコピーしたい曜日を選択し、[コピー]をタッチして選択状態とし、他の曜日で[貼り付け]をタッチする。

お願い

- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [🗑️] をタッチしてください。





(7) スケジュールを保存する

手順

1. スケジュール内容をすべて設定した後、日曜から土曜までの1週間のスケジュール設定で、制御設定項目ごとに「有効(またはON)」と「無効(またはOFF)」の数が等しくなっていることを確認し、[OK] ボタンをタッチする。

[OK] ボタンをタッチすると、スケジュール設定が保存されます。

スケジュール簡易表示部のアイコン

-  : 有効 (もしくは ON)
 : 無効 (もしくは OFF)


前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、[キャンセル] をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

お知らせ

- 「有効(またはON)」と「無効(またはOFF)」の数が異なる場合、メッセージ「制御設定で有効(ON)と無効(OFF)の数が異なります。1週間の設定を確認し、各制御ごとに有効(ON)と無効(OFF)の数が等しくなるように設定してください。」が表示されます。
- 「有効(またはON)」と「無効(またはOFF)」の数の確認は、制御の設定解除漏れを防止するためです。終日の制御設定を変更したい場合は、個別の設定画面(ET制御、高顕熱制御、アドバンストパワーセーブ制御)で設定してください。



お願い

- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除[- 能力上限セーブ制御について、制御中はエラーメッセージが表示され、全ての設定を削除できません。能力上限セーブ制御、ET制御、高顕熱制御、アドバンストパワーセーブのスケジュールを全て削除する場合、「無効（もしくはOFF）」のスケジュールを実行したことを確認し、削除してください。「無効（もしくはOFF）」のスケジュールを実行していない場合、各種制御が継続します。制御を解除する場合、室外機スケジュール1の当日スケジュール設定画面、または各種制御の設定画面にて「無効（もしくはOFF）」に設定してください。「無効（もしくはOFF）」のスケジュールが実行されたことは、以下の画面にて確認してください。

能力上限セーブ制御：

室外機スケジュール1の一覧画面で最大運転能力操作値が100%となっていることを確認してください。ただし、ピークカット制御が実行されている場合、最大運転能力操作値はピークカット制御による値となるため、ピークカット制御が実行されていないうえで、100%になることを確認してください。



ET制御：

ET制御設定画面で「無効」となっていることを確認してください。(ET制御設定画面の詳細は「4-2-2. ET制御設定」を参照してください。)

高顕熱制御：

室外機スケジュール1の一覧画面で高顕熱制御状態が何も表示されていないことを確認してください。「高」または「低」と表示されている場合は制御中となります。



アドバンストパワーセーブ：

アドバンストパワーセーブ設定画面で「無効」となっていることを確認してください。(アドバンストパワーセーブ設定画面の詳細は「4-2-4. アドバンストパワーセーブ設定」を参照してください。)

- 季節スケジュールを利用している場合で、日をまたいで制御を実施するときは、以下のような設定例で運用してください。
「22:00：制御有効、23:59：制御無効、24:00：制御有効、07:00：制御無効」

(8) スケジュールを別の室外ユニットにコピーする

手順

1. 室外ユニット間で1週間分のスケジュール内容をコピーする場合は、週間スケジュール設定画面から室外ユニットを選択して、**[コピー]**をタッチし選択状態とし、他の室外ユニットを選択してから**[貼り付け]**をタッチする。

お知らせ

- **[週間1]～[週間5]**間をまたいだスケジュールのコピーはできません。

お願い

- 能力上限セーブ制御が「ON」の室外機に対して、能力上限セーブ制御が設定されていないスケジュールをコピーする場合、エラーメッセージが表示され、コピーはできません。
コピーする場合、「OFF」のスケジュールを実行したことを確認し、コピーしてください。



コピー ——— 貼り付け

[4] 当日スケジュールの設定

メニューの[機能設定1]－[室外機スケジュール1]をタッチし、[当日]をタッチすると当日スケジュールの設定ができます。

当日スケジュール変更設定画面では、週間スケジュールや年間スケジュールを変更せずに、当日のみ有効なスケジュールに設定することができます。

お知らせ

- 当日スケジュールを設定した後に、当日スケジュール設定内容をすべて削除した場合、当日スケジュールは設定なしの状態として残ります。この場合、スケジュールの最優先は当日スケジュールであるため、週間スケジュールは実施されません。

(1) 設定対象を選択する

手順

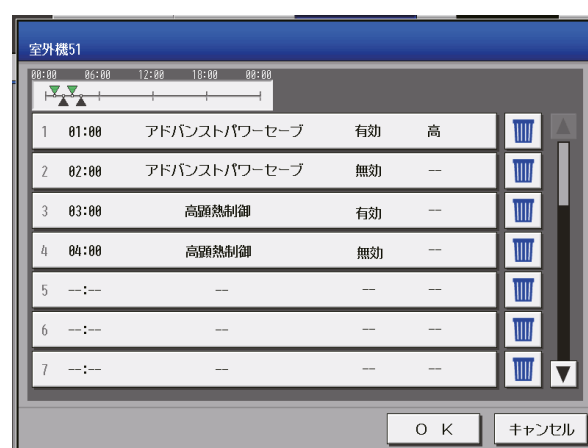
1. スケジュールを設定する室外ユニットのアイコンを選択し、[設定]をタッチする。



(2) スケジュール内容を設定する

手順

1. スケジュール内容の設定したいスケジュールの行をタッチする。
その後、スケジュール設定画面が表示されます。
2. スケジュール適用開始時刻、およびスケジュール運転内容を設定し、[OK]をタッチする。
「4-2-5. [3] (5) スケジュール内容を設定する」を参照してください。



(3) スケジュールを保存する

手順


1. スケジュール内容をすべて設定した後、制御設定ごとに「有効(もしくはON)」と「無効(もしくはOFF)」の数が等しいことを確認し、[OK]をタッチしてスケジュール設定を保存する。

前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、[キャンセル]をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

**お知らせ**

- スケジュール未設定で[OK]でタッチしても、空のスケジュールが保存されるため、優先度の関係上、年間・週間スケジュールは実行されません。
- 「有効(もしくはON)」と「無効(もしくはOFF)」の数が異なる場合、メッセージ「制御設定で有効(ON)と無効(OFF)の数が異なります。設定を確認し、各制御ごとに有効(ON)と無効(OFF)の数が等しくなるように設定してください。」が表示されます。
- 「有効(またはON)」と「無効(またはOFF)」の数の確認は、制御の設定解除漏れを防止するためです。終日の制御設定を変更したい場合は、個別の設定画面(ET制御、高顕熱制御、アドバンストパワーセーブ制御)で設定してください。

お願い

- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除[- 能力上限セーブ制御について、制御中はエラーメッセージが表示され、全ての設定を削除できません。能力上限セーブ制御、ET制御、高顕熱制御、アドバンストパワーセーブのスケジュールを全て削除する場合、「無効（もしくはOFF）」のスケジュールを実行したことを確認し、削除してください。「無効（もしくはOFF）」のスケジュールを実行していない場合、各種制御が継続します。制御を解除する場合、室外機スケジュール1の当日スケジュール設定画面、または各種制御の設定画面にて「無効（もしくはOFF）」に設定してください。「無効（もしくはOFF）」のスケジュールが実行されたことは、以下の画面にて確認してください。

能力上限セーブ制御：

室外機スケジュール1の一覧画面で最大運転能力操作値が100%となっていることを確認してください。ただし、ピークカット制御が実行されている場合、最大運転能力操作値はピークカット制御による値となるため、ピークカット制御が実行されていないうえで、100%になることを確認してください。



ET制御：

ET制御設定画面で「無効」となっていることを確認してください。(ET制御設定画面の詳細は「4-2-2. ET制御設定」を参照してください。)

高顕熱制御：

室外機スケジュール1の一覧画面で高顕熱制御状態が何も表示されていないことを確認してください。「高」または「低」と表示されている場合は制御中となります。



アドバンストパワーセーブ：

アドバンストパワーセーブ設定画面で「無効」となっていることを確認してください。(アドバンストパワーセーブ設定画面の詳細は「4-2-4. アドバンストパワーセーブ設定」を参照してください。)

- 季節スケジュールを利用している場合で、日をまたいで制御を実施するときは、以下のような設定例で運用してください。
「22:00：制御有効、23:59：制御無効、24:00：制御有効、07:00：制御無効」

(4) スケジュールを別の室外ユニットにコピーする

手順

1. 室外ユニット間でスケジュール内容をコピーする。
「4-2-5. [3] (8) スケジュールを別の室外ユニットにコピーする」を参照してください。



4-2-6. サーモ OFF 時送風設定

サーモ OFF 時送風制御とは、空調機のサーモ OFF 時にファンの送風運転を制御する室内ユニットの機能です。ファンの送風運転を停止させることで消費電力を低減させ、省エネを実現します。AE-200J/AE-50J/EW-50J から、室内ユニットに対して、サーモ OFF 時送風制御の設定を行います。

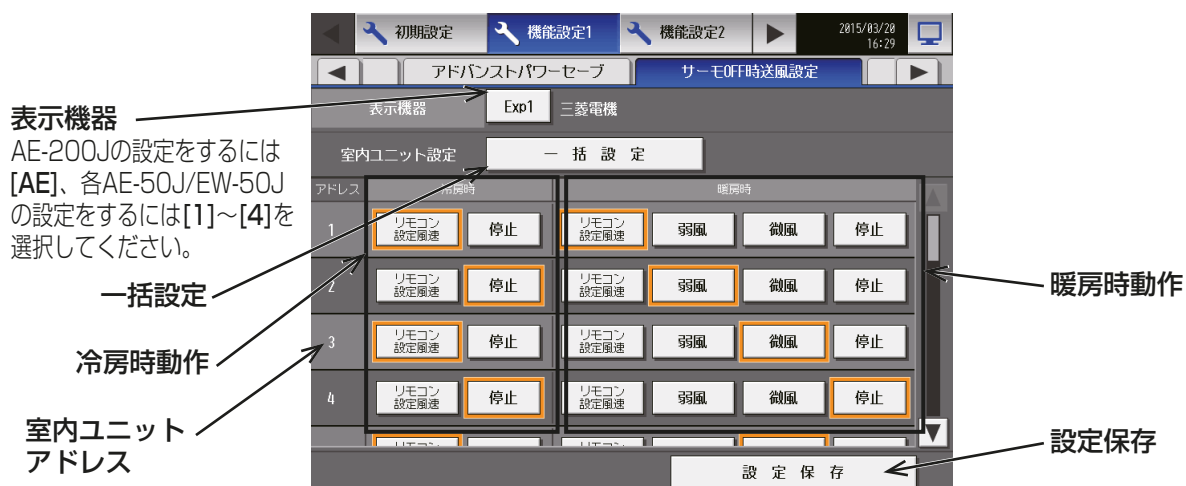
お知らせ

- ・本機能は、E 制御ライセンスの登録が必要ですが、ライセンス未登録の場合は、設定のみ保存できます。ライセンス登録後は機能が利用可能になります。(Ver.7.4以降は標準機能となり、ライセンス不要です。また、Ver.7.4以降にアップデートした際、本機能が自動的に有効となります。)
- ・AE-200JにAE-50J/EW-50Jを接続する場合、接続するすべてのAE-200J/AE-50J/EW-50Jでライセンス登録が必要です。
- ・ビル管理者でログインした場合、設定の操作が禁止されている場合があります。
- ・形名の末尾がG1以降の室内ユニット接続時に設定可能です。
- ・本機能を利用時は、室温検知センサを外付けの温度センサ (PAC-SE40TS) やリモコンセンサに切り替える必要があります。
- ・サーモ OFF 時送風設定中は省エネ制御中のアイコンは表示されません。

メニューバーの[機能設定1]－[サーモ OFF 時送風設定]をタッチすると、サーモ OFF 時送風制御機能をもつ室内ユニットが一覧表示され、各室内ユニットの設定値が選択表示されます。

お知らせ

- ・「表示機器」設定[AE200]、[Exp1]～[Exp4]を切り替えてAE-200JとAE-50J/EW-50Jの設定を個別に行ってください。
- ・本設定は全てのユニットが正常に運転している状態で設定してください。室外ユニットの接続異常が発生している場合、サーモ OFF 時送風制御の対象ユニットが正常に表示されない場合があります。



手順

1. 冷房時の動作を選択する。
室内ユニットごとに、[リモコン設定風速][停止]のいずれかを選択する。

お知らせ

- ・ [リモコン設定風速] とは、AE-200J/AE-50J/EW-50J、リモコンで設定された風速で動作する設定です。

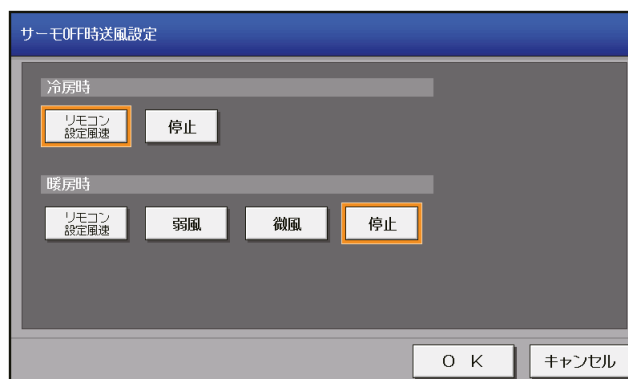
2. 暖房時の動作を選択する。
室内ユニットごとに、[リモコン設定風速][弱風][微風][停止]のいずれかを選択する。

お知らせ

- ・ 機種により、弱風・微風を設定できない場合があります。

3. 設定を保存する。
設定完了後、[設定保存] をタッチする。

一括設定を押すと、一括設定画面が表示されますので、冷房時の動作 [リモコン設定風速][停止] のいずれかと、暖房時の動作 [リモコン設定風速][弱風][微風][停止] のいずれかを選択してください。
[OK] をタッチすると、サーモ OFF 時送風設定画面に戻り、表示されている室内ユニット全ての選択が、この画面で選択した設定に変わります。
設定完了後、設定保存をタッチしてください。



4-2-7. 計測設定

温度センサ、湿度センサ、および計量計を使用するために計測設定を行います。

メニューの[機能設定1]－[計測設定]をタッチして[計測設定]画面を開きます。設定内容入力後、[設定保存]をタッチします。

お知らせ

- ・ビル管理者でログインした場合は、計測設定の操作が禁止されている場合があります。
 - ・「表示機器」の設定が画面に表示されます。「表示機器」の設定を[AE200]、[Exp1]～[Exp4]と切り替えてAE-200Jと各AE-50J/各EW-50Jの設定を個別に行ってください。
 - ・AE-50J/EW-50J接続時は、正しく設定されるよう、AE-50J/EW-50Jがきちんと接続されている状態で計測設定を行ってください。AE-50J/EW-50Jを接続しないで行った設定は反映されません。
 - ・TG-2000が接続されているシステムの場合、TG-2000とAE-200J/AE-50J/EW-50Jの保持データが一致するように、設定および変更はTG-2000から行ってください。
 - ・計測値を電力按分する場合や、計測値から省エネピークカット制御を利用する場合は、別途、電力按分課金支援ライセンス、省エネピークカット制御ライセンスの登録が必要となります。
- 計測値の現在値表示や上下限警報はライセンスなしで利用できます。

表示機器
AE-200Jの設定をするには[AE]、各AE-50J/EW-50Jの設定をするには[1]～[4]を選択してください。

環境用計測コントローラ

M-NETアドレス

計量用計測コントローラ

コントローラ選択
M-NETアドレスに割付けるコントローラを選択します。

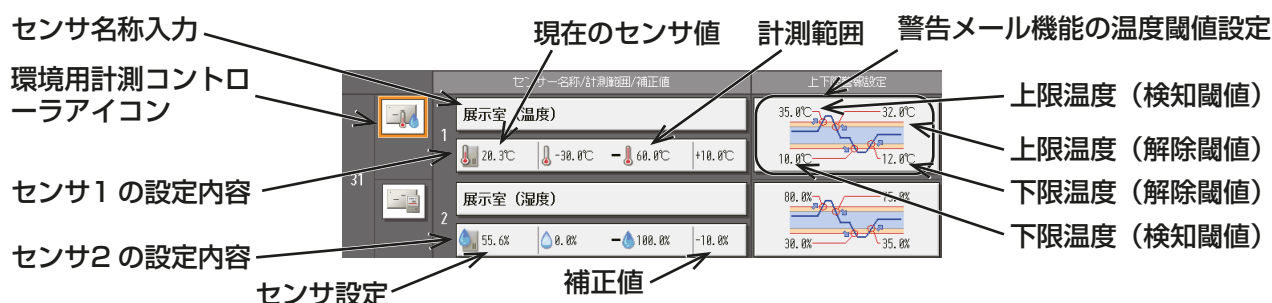
スクロールバー
環境用または計量用計測コントローラを接続するアドレスを切り替えます。

詳細設定

設定保存
変更した設定を保存します。


[1] 環境用計測コントローラと温度/湿度センサの登録

使用するセンサのシステム設定を行います。1 台の環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC(1)) に対し、最大 2 個のセンサが接続できます。



手順

1. スクロールバーを操作し、環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC(1)) が接続されているアドレスを表示する。

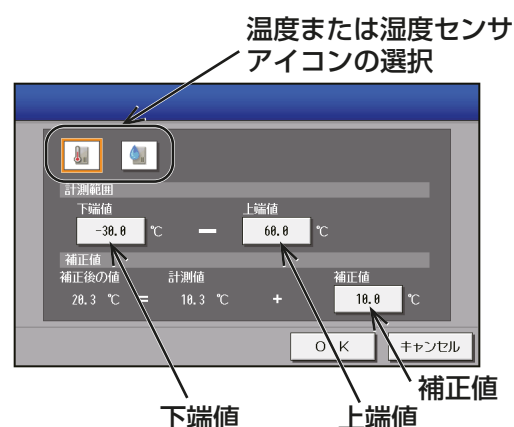
2. 環境用計測コントローラアイコン () を選択する。

お願い

- 選択を取り消すには、再度タッチします。

3. [センサ設定] をタッチし、センサの設定画面を表示する。

温度センサアイコン () または湿度センサアイコン () を選択する。



4. [下端値] と [上端値] をタッチし、キーパッド画面を表示する。
5. センサの計測範囲を入力し、[OK] をタッチする。
温度センサの設定可能範囲は -100.0 (最下端値) ～ +100.0℃ (最上端値) です。
湿度センサの設定可能範囲は 0.0 (最下端値) ～ 100.0% (最上端値) です。

お願い

- Pt100 センサを接続した場合、-30～+60℃で設定してください。
Pt100 センサ以外のセンサを接続した場合は、センサの取扱説明書に記載されている範囲を入力してください。



6. 測定値の補正が必要な場合 **[補正值]** をタッチし、キーパッド画面を表示する。

7. 補正值を入力し、**[OK]** をタッチする。

お知らせ

- 温度センサに対して設定できる補正值の範囲は-10.0～+10.0℃で、湿度センサに対しては-10.0～+10.0%です。

8. **[センサ名称入力]** をタッチし、キーボード画面を表示する。

9. センサの名称を最大20文字で入力する。

お知らせ

- [センサ名称入力]** では、次の文字は使用できません: <、>、&、“、’

10. 温度または湿度がある所定値を超えた場合に警告メールを受信するには、上限および下限温度の両方について検知および解除閾値を設定する。

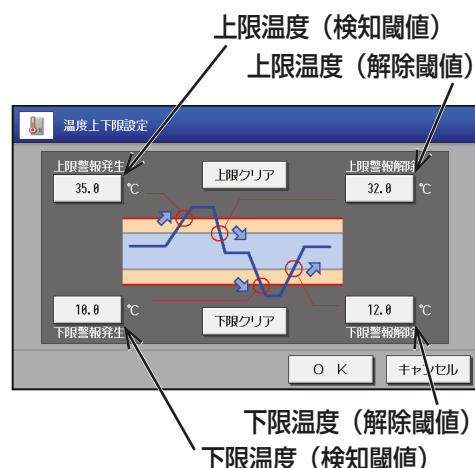
11. 「警告メール機能の温度閾値設定」をタッチする。

12. 各設定部をタッチし、キーパッド画面を表示する。

13. 値を入力し、**[OK]** をタッチする。

お知らせ

- 上限検知および解除閾値をクリアするには **[上限クリア]** をタッチします。下限検知および解除閾値をクリアするには **[下限クリア]** をタッチします。
- 検知／解除を過度に検出しないように、検知閾値と解除閾値の差を1℃以上離すことを推奨します。



14. **[設定保存]** をタッチして変更を保存する。

[2] 計量用計測コントローラと計量計の登録

次ページの手順に従って、計量計のシステム設定を行います。最大4台の計量計をAE-200J/AE-50JのCN7または計量用計測コントローラ (PAC-YG60MC(1)) に接続できます。

お知らせ

- 計量用パルス入力の場合はユニットアドレスの設定は不要です。
- 計量用パルス入力の設定はTG-2000からはできません。
またTG-2000の電力按分課金支援機能には使用できません。
- 計量用計測コントローラ (PAC-YG60MC(1)) は、AE-200J/AE-50J/EW-50J単体で15台まで設定できますが、AE-200J/AE-50J/EW-50Jのシステムでは20台以下になるように設定してください。
また、AE-200J/AE-50J/EW-50Jに計量用パルス入力を行っている場合は、1台とカウントします。

計量用パルス入力を使用する場合

計量用計測コントローラアイコン

計量計名称入力

名称	パルス単位
1 東館	1.00 kWh
2 西館	1.00 kWh
3 南館	1.00 kWh
4 北館	1.00 kWh

パルス単位設定

計量単位設定

計量用計測コントローラを使用する場合

計量用計測コントローラアイコン


計量計名称入力

名称	パルス単位
1 1階 電力計	1.00 kWh
2 2階 電力計	1.00 kWh
3 3階 電力計	1.00 kWh
4 ビークカット用 電力計	1.00 kWh

パルス単位設定

計量単位設定

手順

1. 最上段の「PI」（計量用パルス入力）またはスクロールバーを操作し、計量用計測コントローラ（PAC-YG60MC(1)）が接続されたアドレスを表示する。
2. 計量用計測コントローラアイコン（)）を選択する。

計量用パルス入力の場合は、アイコンの選択は不要です。
また、選択を取り消すには、再度タッチします。

3. **[計量単位設定]** をタッチし、測定単位を選択する。

お願い

- ・ 測定単位は、[kWh]、[m3]、[MJ]、または [-- (単位なし)] から選択できます。計量計を使用しない場合は、空白を選択してください。
- ・ 使用する計量計に応じてパルス単位を設定してください。正常に設定されたことを確認するため、計量計のメーター値と計量用計測コントローラがカウントした値を確認し、一定時間経過後に両方の値が同じ値だけ増加していることを確認してください。（計測した値は、**[監視/操作]** 画面の**[計測]** 表示で確認できます。）

お知らせ

- ・ [-- (単位なし)] を選択した測定値はエネルギー利用状況のグラフデータとして表示されません。

4. **[パルス単位設定]** をタッチし、キーパッド画面を表示する。

5. 値を入力し、**[OK]** をタッチする。

パルス単位が空白のままだと設定保存できないため、パルス値を設定してください。

**お知らせ**

- ・ 設定可能範囲は、0.01 ～ 100 または空白（使用しない）があります。
- ・ パルス単位、計量単位両方を入力しないとパルス単位、計量単位が保存されません。

6. **[計量計名称入力]** をタッチし、キーボード画面を表示する。

7. 計量計の名称を最大20文字で入力する。

お知らせ

- ・ **[計量計名称入力]** では、次の文字は使用できません: <、>、&、"、'

8. **[設定保存]** をタッチして変更を保存する。

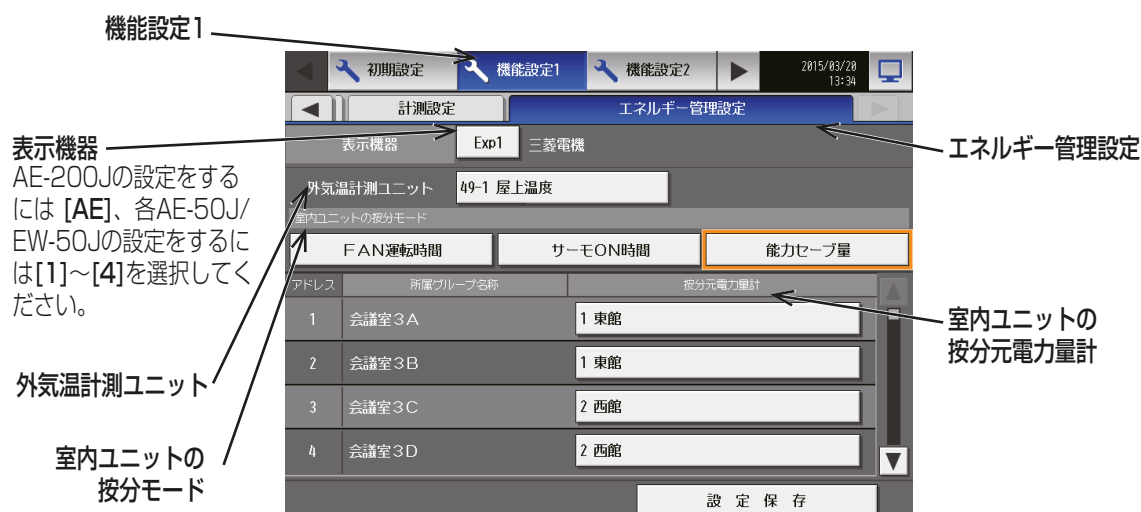
4-2-8. エネルギー管理設定

[機能設定 1] – [エネルギー管理設定] をタッチしてエネルギー管理設定画面を開きます。

エネルギー管理設定をしないと、エネルギー利用状況画面、ランキング画面で、外気温、電力量のグラフが表示されません。

お願い

- エネルギー管理機能の初期設定をする前に、環境用計測コントローラ、計量用計測コントローラの設定を行ってください。環境用計測コントローラ、計量用計測コントローラの設定は、[機能設定 1] – [計測設定] 画面で行ってください。
設定方法の詳細は「4-2-7. 計測設定」を参照ください。
- エネルギー管理設定はすべてのユニットの立ち上げが終わっている状態で行ってください。ユニットの立ち上げ中に設定保存すると、設定値が消えてしまう場合があります。



[1] 外気温計測ユニットの設定

エネルギー利用状況画面に、外気温度の折れ線グラフを表示させる温度センサを選択します。

お知らせ

- 外気温度を表示させない場合は、設定は不要です。
- 外気温連動設定画面と共通の設定です。

手順

1. 「外気温計測ユニット」をタッチして外気温計測ユニットの画面を表示する。



2. 環境用計測コントローラに接続された温度センサが表示される。
エネルギー利用状況のグラフで、外気温として表示させたいセンサを1つのみ選択する。
選択を解除する場合は、[-- --] を選択してください。
3. 選択後 [OK] をタッチする。

[2] 室内ユニットの按分モードの設定

本画面で設定した按分モードで計測した電力量を室内ユニットごとに按分計算し、エネルギー利用状況画面、ランキング画面でグラフ表示します。

手順

1. 室内ユニットの按分モードを **[FAN 運転時間]** **[サーモ ON 時間]** **[能力セーブ量]** から選択する。
設定はシステム要件に適したものを選択してください。**[能力セーブ量]** を選択することを推奨します。

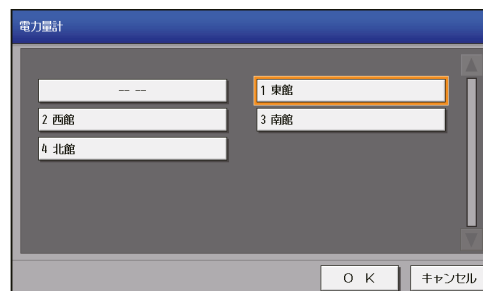
お知らせ

- 消費電力量の算出は、室外ユニットの電力量に対して行い、室内ユニットの消費電力は考慮されません。
 - AE-200J の電力按分支援機能を使用している場合は、課金設定の内容で算出されますので、本設定は無効となります。
 - 能力セーブ量（初期値）は室外ユニットの能力の使用量（時間換算）です。
 - サーモ ON 時間は室内ユニットに冷媒が流れる時間です。
 - FAN 運転時間は室内ユニットが運転していた時間です。
2. 選択後 **[OK]** をタッチする。

[3] 按分元電力量計の設定

手順

1. 「室内ユニットの按分元電力量計」をタッチして按分元電力量計の画面を表示する。



2. 室内ユニットごとに消費電力測定に使用する電力量計を選択する。
電力量計の名称は以下で表示されます。
 - 計量用計測コントローラの場合の表示名
【「アドレス」+ 計量用計測コントローラのアドレス + 「-」 + Ch 番号 + 電力量計名称】
 - 計量用パルス入力の場合の表示名
【Ch 番号 + 電力量計名称】
 選択を解除する場合は、**[-- --]** を選択してください。

3. 選択後 **[OK]** をタッチする。

お知らせ

- 消費電力量の算出は、室外ユニットの電力量に対して行い、室内ユニットの消費電力は考慮されません。
- AE-200J の電力按分支援機能を使用している場合は、課金設定の内容で算出されますので、本設定は無効となります。
- 電力量計名称の長さによっては、電力量計名称をすべて表示できない場合があります。
- 電力量計名称が登録されていない場合は、電力量計名称は空欄になります。
- [計測設定]** 画面で計測単位が **[kWh]** で設定されている電力量計のみ選択可能です。
- ロスナイのみのグループ、汎用インターフェース (PAC-YG66DC(1)) のみのグループは表示されません。（按分計算の対象外です）

[4] 設定保存

[設定保存] をタッチして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

4-3. 機能設定 2

4-3-1. 外気温連動制御

設定温度と外気温の温度差に連動して、設定温度を自動調節することができます。建物入口の空調機にこの制御設定を行うことで、急激な温度変化による身体への負担を軽減することができます。

メニューの [機能設定 2] - [外気温連動制御] をタッチして外気温連動制御設定画面を開きます。

お知らせ

- ・ 外気温度は環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC(1)) を接続し、温度センサで計測してください。
- ・ 外気温連動制御は空調機グループのみ有効です。
- ・ AE-50J/EW-50J を接続する場合は、各 AE-50J/EW-50J に環境用計測コントローラと温度センサを接続してください。
- ・ ビル管理者でログインした場合は、外気温連動制御設定の操作が禁止されている場合があります。
- ・ ユニット情報画面の「台数拡張」設定が [利用する] に設定されている場合に、「表示機器」の設定が画面に表示されます。「表示機器」の設定を [AE200]、[Exp 1] ~ [Exp 4] と切り替えて AE-200J と各 AE-50J/各 EW-50J の設定を個別に行ってください。
- ・ AE-50J/EW-50J 接続時は、正しく設定されるよう、AE-50J/EW-50J がきちんと接続されている状態で外気温連動設定を行ってください。AE-50J/EW-50J を接続しないで行われた設定は反映されません。
- ・ AE-200J/AE-50J/EW-50J のコントローラ間でまたがった外気温連動制御はできません。

表示機器
AE-200Jの設定をするには [AE]、各AE-50J/EW-50Jの設定をするには [1] ~ [4] を選択してください。

外気温計測ユニット選択
外気温度を計測する温度センサを選択します。

グループ番号とグループ名称

設定温度の変化幅
外気温に連動して最大何℃まで設定温度を変化させるかを選択します。

設定保存
変更した設定を保存します。

手順

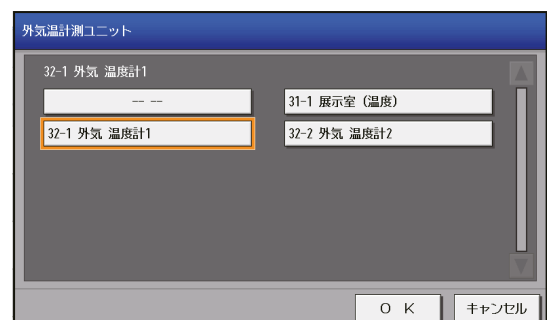
1. [外気温計測ユニット選択] をタッチし、センサ選択画面を表示する。
環境用計測コントローラに接続した温度センサの名称が表示されます。
2. 外気温度を計測する温度センサを選択し、[OK] をタッチする。

お願い

- ・ センサの選択を解除するには [-- --] を選択してください。

お知らせ

- ・ エネルギー管理設定の外気温計測ユニットの設定と共通の設定です。

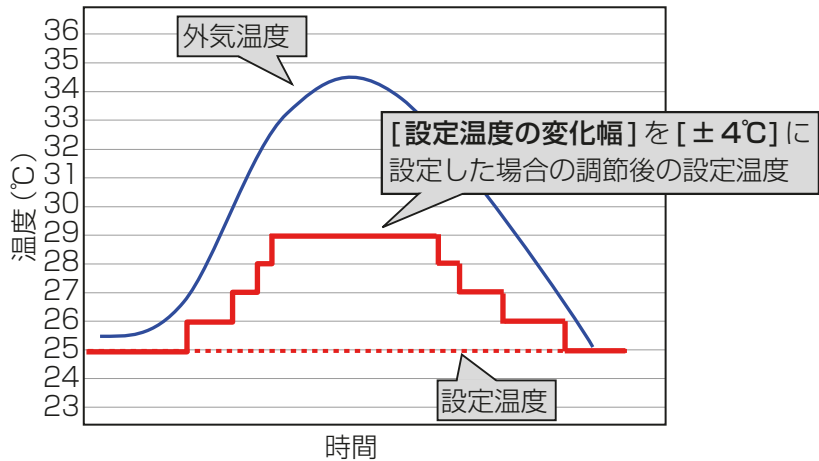


3. [設定温度の変化幅] で、設定温度に減加算する各グループの温度幅を選択する。
例えば、[±4℃] を選択し、冷房またはドライモードで設定温度が24℃の場合、設定温度と室外温度の温度差に基づいて最高28℃まで設定温度が変化します。[±2℃] を選択した場合は、最高26℃まで設定温度が変化します。

4. [設定保存] をタッチして変更を保存する。

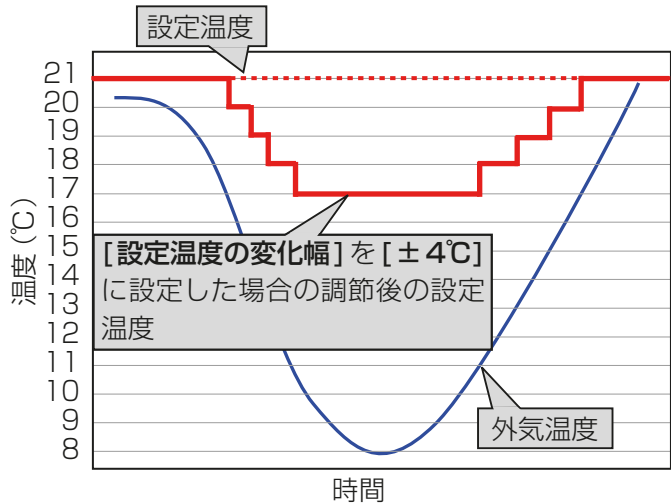
外気温連動制御機能が作動している場合、設定温度は下記の通りに調節されます。

(1) 「冷房」および「ドライ」モードの場合



外気温条件	調節後の設定温度
外気温 \geq 設定温度+1.5℃	設定温度+1℃
外気温 \geq 設定温度+4.5℃	設定温度+2℃
外気温 \geq 設定温度+6.5℃	設定温度+3℃
外気温 \geq 設定温度+7.5℃	設定温度+4℃

(2) 「暖房」モードの場合



外気温条件	調節後の設定温度
外気温 \leq 設定温度-4.0℃	設定温度-1℃
外気温 \leq 設定温度-6.0℃	設定温度-2℃
外気温 \leq 設定温度-8.0℃	設定温度-3℃
外気温 \leq 設定温度-10.0℃	設定温度-4℃

4-3-2. 室外機スケジュール2

[1] 概要

室外機スケジュール2では、下記制御を週間スケジュール、当日スケジュールで設定できます。

- ・ナイトモード（低騒音運転）
- ・霜取り運転

週間スケジュール（5種類、日曜～土曜）、当日スケジュール（当日のみ有効）は、接続している室外ユニットごとに設定できます。また、1日に12回のスケジュールを設定できます。

スケジュールの優先度は、高いほうから

当日スケジュール > 週間スケジュール1 > … > 週間スケジュール5

となります。

スケジュールの優先順の詳細については、「AE-200J/AE-50J 取扱説明書」を参照してください。

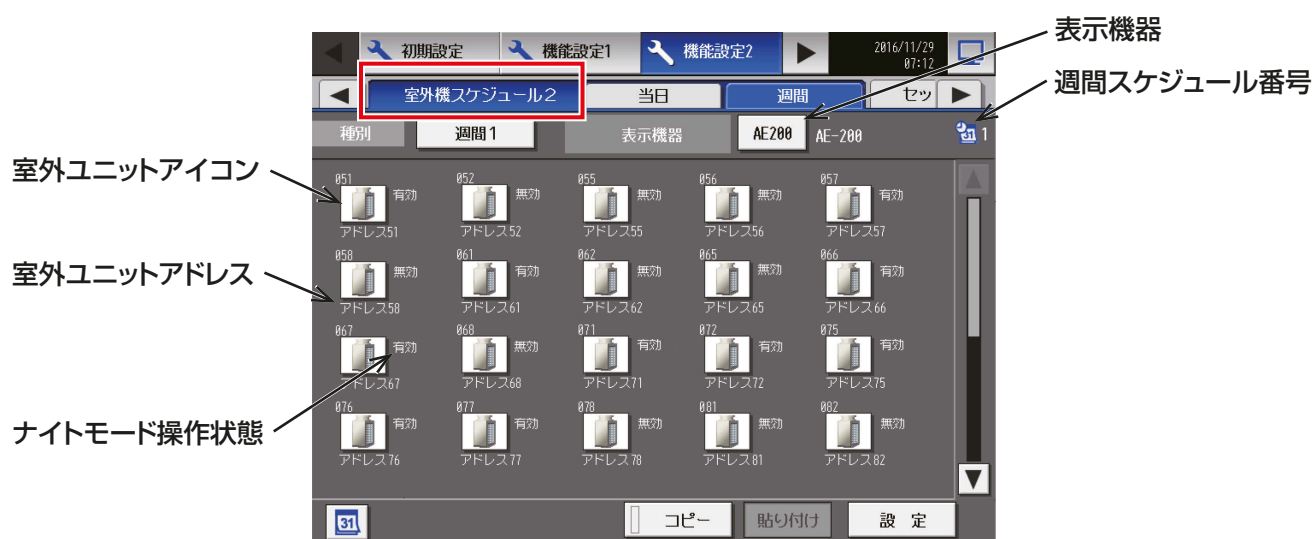
お知らせ













- ・スケジュールに対応した室外ユニットは、形名の末尾がG5以降の室外ユニットまたはH2以降のシティ（ズバ暖）マルチSです。

[2] 室外機スケジュール2画面

メニューの【機能設定2】－【室外機スケジュール2】をタッチすると、室外機スケジュール2設定画面が表示されます。

本画面では、室外ユニットの異常状態、ナイトモード操作状態が表示できます。



項目	内容								
室外ユニットアイコン	<p>室外ユニットの異常有無の状態を表します。</p> <table border="1"> <tr> <td>異常なし</td><td>異常あり</td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> </table> <p>また、現在表示している日のスケジュール有無を表します。</p> <table border="1"> <tr> <td>スケジュールなし</td><td>スケジュールあり</td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> </table> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュールありのアイコンは、当日に運転するスケジュールが存在する場合にのみ表示されます。 ・ 異常ありのアイコンが表示されている場合は他のアイコンは表示されません。 ・ 室外機スケジュール1に設定がある場合でも、室外機スケジュール2の画面では、スケジュールアイコンは表示されません。 	異常なし	異常あり			スケジュールなし	スケジュールあり		
異常なし	異常あり								
									
スケジュールなし	スケジュールあり								
									
室外ユニットアドレス	「アドレス」+アドレス番号が表示されます。								
ナイトモード操作状態	<p>ナイトモードの操作状態を「有効」「無効」で表示します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ナイトモードの制御レベルは表示されません。 								
表示機器	<p>[AE200]、[Exp1]～[Exp4]を切り替えてAE-200Jと各AE-50J/EW-50Jの表示を切り替えます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AE-200Jに「台数拡張」設定が【利用する】に設定されている場合に、「表示機器」が表示されます。 								
週間スケジュール番号	現在有効なスケジュール番号が表示されます。								

[3] 週間スケジュールの設定

メニューの[機能設定2]－[室外機スケジュール2]をタッチし、[週間]をタッチすると週間スケジュールの設定ができます。

週間スケジュール設定では、曜日ごと、期間(季節)ごとにスケジュールを設定できます。

お知らせ

- 季節設定を使用する場合は、「スケジュール 季節設定」を「有効」(初期値)にしてください。
週間スケジュールの季節設定は、集中コントローラ内で共通の設定です。
他の空調機、DT-R、ブラインクーラ、給湯機が接続されている場合、季節設定での週間スケジュールは同じ設定になります。
ただし、除湿機のみは、季節設定は別設定になります。

(1) 適用期間を設定する(季節設定)

手順

1. 週間スケジュール設定画面で、季節設定[31]をタッチする。

お知らせ

- 「スケジュール 季節設定」が[無効]に設定されている場合は、季節設定[31]は非表示となり、季節設定は使用できません。



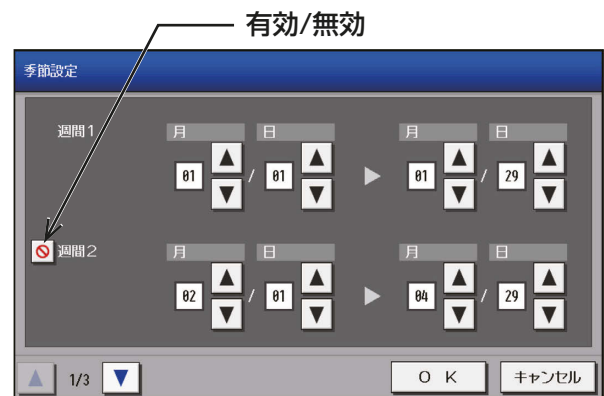
季節設定

2. 各週間スケジュールを有効とする期間を入力する。
画面左の[有効/無効]をタッチすることで、その週間スケジュール設定の有効、無効を切り替えられます。

- ☐ : 有効
☒ : 無効(初期値)

お知らせ

- 週間1～5のいずれかの期間が重なる場合は、番号の小さいスケジュールが優先されます。
たとえば、週間1と週間2の期間が重なる場合は、週間1のスケジュールが優先されます。
- 11/01～03/31のように、年をまたいだ期間を設定することもできます。
- AE-200J画面で設定した内容は、AE-50J/EW-50Jにも反映されます。



有効/無効

次ページ
前ページ

(2) 週間スケジュールパターンを設定する

手順

1. サブメニューの[週間]をタッチする。
2. 週間選択をタッチし、[週間1]、[週間2]、[週間3]、[週間4]、[週間5]のいずれかのスケジュールパターンを選択する。

週間選択



(3) 設定対象を選択する

手順

1. スケジュールを設定する室外ユニットのアイコンを選択し、[設定]をタッチする。



室外ユニットアイコン




設定

(4) 曜日を選択する


手順

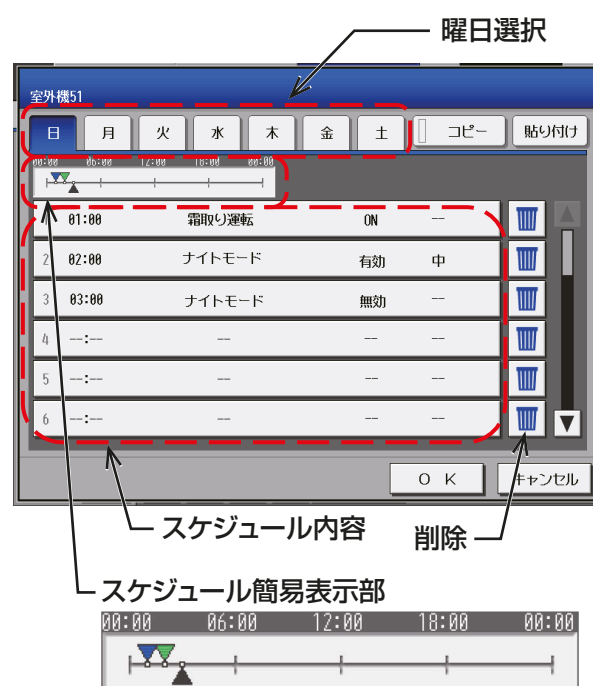
1. スケジュールを設定したい曜日をタッチする。
スケジュール内容ボタンをタッチすると、スケジュール内容設定画面が表示されます。

スケジュール簡易表示部のアイコン

-  : 有効
-  : 霜取り運転
-  : 無効

お願い

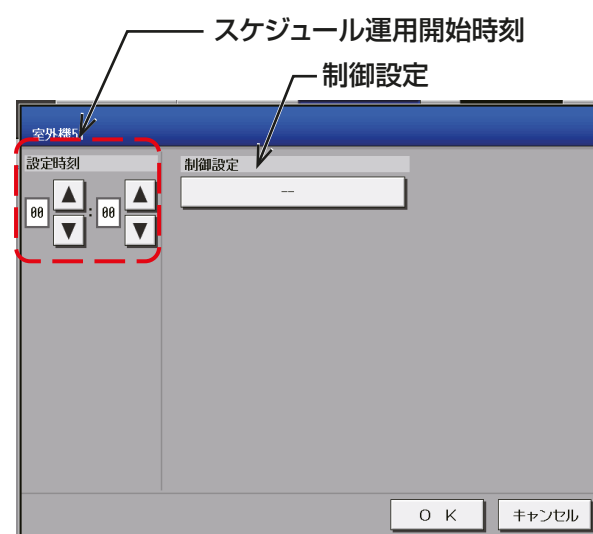
- ・ 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [] をタッチしてください。



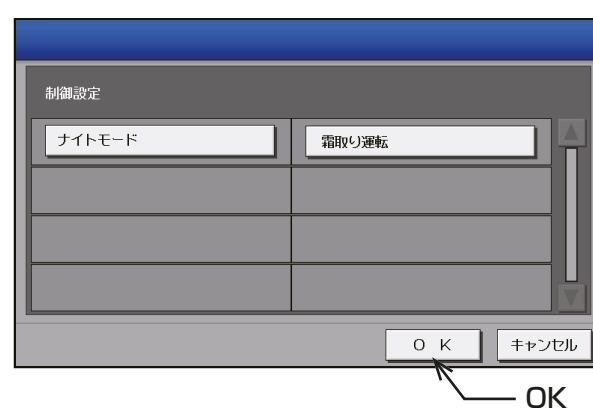
(5) スケジュール内容を設定する

手順

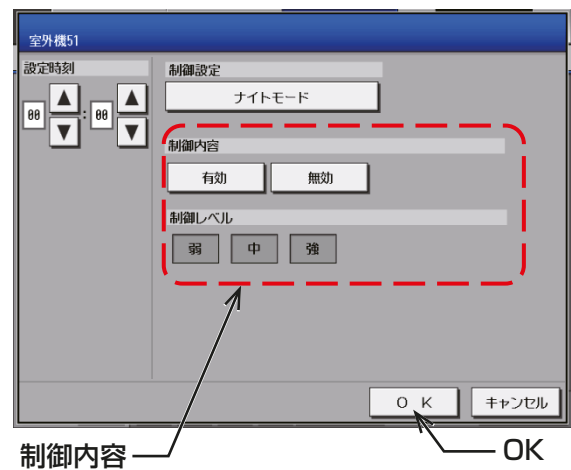
1. スケジュール内容欄で、設定するスケジュールの行をタッチする。
スケジュール設定画面が表示されます。
2. スケジュール運用開始時刻を設定し、[制御設定] ボタンをタッチする。



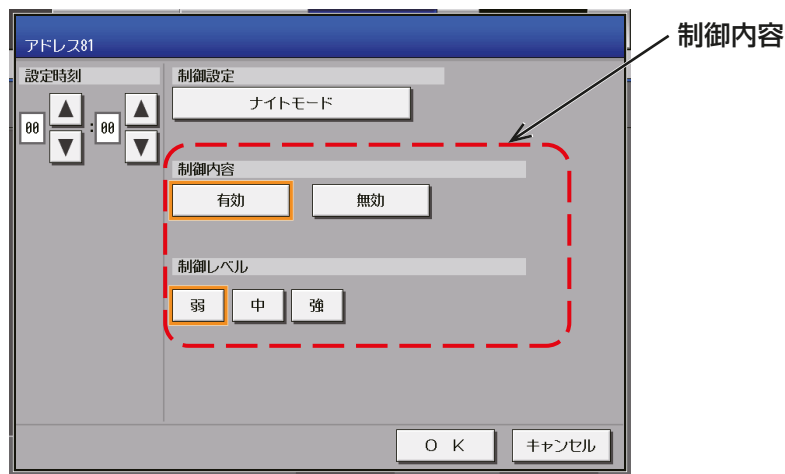
3. 表示されている制御から制御設定を選択し、[OK] をタッチする。



- 4. 選択した制御設定により、制御内容が異なるため、以下の 1)、2)を確認し、制御内容を設定する。
- 5. 設定が完了したら、[OK] ボタンをタッチする。

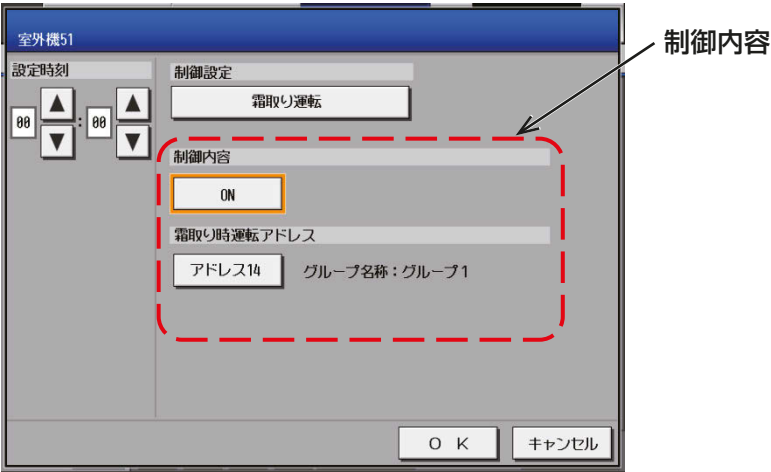


1) ナイトモード制御（低騒音運転）の制御内容を設定する



制御内容	制御説明
有効 / 無効	<p>ナイトモードの有効 / 無効を切り替えできます。</p> <p>有効の場合、制御レベルで制御を実行します。</p> <p>無効の場合、ナイトモード制御は実行されません。</p> <p>室外機スケジュール2によるナイトモードとナイトモード（詳細は、「6-1-8. ナイトモード（低騒音運転）スケジュール」参照）で設定されたナイトモード設定でいずれかの設定が「有効」である場合、「有効」が表示されます。「無効」は双方で「無効」となっている場合に表示されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 室外ユニットの接点が入っている場合、接点の設定が優先されるため、本画面で設定した値では動作しません。・ 接点入力解除された場合は、本画面での操作状態に戻るまで最大20分かかることがあります。
制御レベル	<p>制御レベルを弱 / 中 / 強で設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 有効 / 無効が無効の場合、制御レベルは操作できません。・ 室外ユニットの接点が入っている場合、室外ユニットに設定された制御レベルが優先されるため、本画面で設定した制御レベルでは動作しません。（設定の詳細は、室外ユニットの「設計工事マニュアル」参照） <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none">・ 能力重視の制御レベルは操作できません。能力重視の制御レベルを設定したい場合は、室外ユニットの設定を変更してください。（設定の詳細は、室外ユニットの「設計工事マニュアル」参照）

2) 霜取り運転の制御内容を設定する



制御内容	制御説明
ON	<p>制御時刻に設定を送信し、室外ユニットで開始条件を満たすと霜取り運転が開始されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 室外ユニットが停止状態である場合にのみ、制御が実行されます。・ シティ(ズバ暖) マルチSは停止後霜取り機能を無効(SW5-1:ON) に設定してください。
霜取り時運転 アドレス	<p>停止霜取り運転では、一時的に室内ユニットを暖房運転にする必要があるため、運転させる室内ユニットアドレスを指定します。</p> <p>霜取り時運転アドレスの指定画面は下記の通りです。</p> <div data-bbox="715 1113 1169 1388"></div> <p style="text-align: center;">霜取り運転アドレス指定画面</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 室外ユニットに接続された室内ユニットのアドレスの内、グループの親機のみ押下可能となります。・ 室外ユニットに接続された室内ユニットの中にグループの親機が存在しない場合はメッセージ「対象の室内ユニットアドレスにグループの親機のアドレスがないため、霜取り運転を設定できません。」が表示され、霜取り運転アドレス指定画面には遷移できません。 <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none">・ 選択された室内ユニットは、霜取り運転終了後に運転モードが「暖房」となります。霜取り運転後に室内ユニットを運転する場合、動作させたい運転モードになっているか確認してください。また、室内ユニットのスケジュールを設定している場合、霜取り運転後のスケジュール設定が、動作させたい運転モードになっているか確認してください。・ 霜取り運転は、最低でも1時間空けて設定してください。

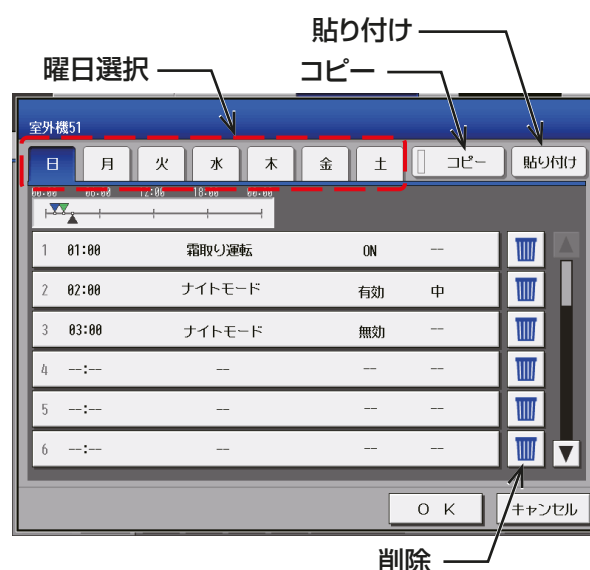
(6) スケジュールを別の曜日にコピーする

手順

1. 曜日間でスケジュール内容をコピーする場合は、曜日選択からコピーしたい曜日を選択し、[コピー]をタッチして選択状態とし、他の曜日で[貼り付け]をタッチする。

お願い

- ・ 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [🗑️] をタッチしてください。



(7) スケジュールを保存する

手順

1. スケジュール内容をすべて設定した後、日曜から土曜までの1週間のスケジュール設定で、ナイトモードの「有効」と「無効」の数が等しくなっていることを確認し、[OK] ボタンをタッチする。
[OK] ボタンをタッチすると、スケジュール設定を保存します。

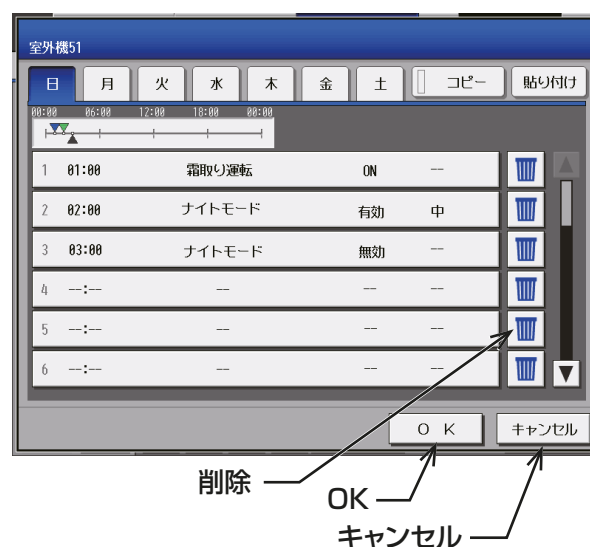
スケジュール簡易表示部のアイコン

- 🟢 : 有効
- 🟦 : 霜取り運転
- 🟡 : 無効


前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、[キャンセル] をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

お知らせ

- ・ スケジュール未設定で [OK] でタッチしても、空のスケジュールが保存されるため、優先度の関係上、年間・週間スケジュールは実行されません。
- ・ 「有効」と「無効」の数が異なる場合、メッセージ「ナイトモードで有効と無効の数が異なります。1 週間の設定を確認し、ナイトモードの有効と無効の数が等しくなるように設定してください。」が表示されます。
- ・ 「有効」と「無効」の数の確認は、制御の設定解除漏れを防止するためです。



お願い

- ・ 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [] をタッチしてください。
- ・ 季節スケジュールを利用している場合で、日をまたいで制御を実施するときは、以下のような設定例で運用してください。
「22:00：制御有効、23:59：制御無効、24:00：制御有効、07:00：制御無効」
- ・ ナイトモード制御のスケジュールを全て削除する場合、「無効」のスケジュールを実行したことを確認し、削除してください。
「無効」のスケジュールを実行していない場合、スケジュールを削除できません。
「無効」のスケジュールが実行されたことは、室外機スケジュール2の一覧画面でナイトモード操作状態が「無効」となっていることを確認してください。
ただし、ナイトモードスケジュールが実行されている場合、ナイトモード操作状態は「有効」となるため、ナイトモードスケジュールで「無効」設定の上で、当該時間経過後「無効」になることを確認してください。

(8) スケジュールを別の室外ユニットにコピーする**手順**

1. 室外ユニット間で1週間分のスケジュール内容をコピーする場合は、週間スケジュール設定画面から室外ユニットを選択して、[コピー]をタッチし選択状態とし、他の室外ユニットを選択してから[貼り付け]をタッチする。

お知らせ

- ・ [週間1]～[週間5]間をまたいだスケジュールのコピーはできません。

お願い

- ・ 霜取り運転は、室内ユニットアドレスを設定するため、室外ユニット間でコピーはできません。室外ユニットごとに設定してください。
- ・ ナイトモード制御が「有効」の室外機に対して、ナイトモード制御が設定されていないスケジュールをコピーする場合、エラーメッセージが表示され、コピーはできません。
コピーする場合、「無効」のスケジュールを実行したことを確認し、コピーしてください。「無効」のスケジュールが実行されたことは、室外機スケジュール2の一覧画面でナイトモード操作状態が「無効」となっていることを確認してください。
ただし、ナイトモードスケジュールが実行されている場合、ナイトモード操作状態は「有効」となるため、ナイトモードスケジュールで「無効」設定の上で、当該時間経過後「無効」になることを確認してください。



[4] 当日スケジュールの設定

メニューの[機能設定2]－[室外機スケジュール2]をタッチし、[当日]をタッチすると当日スケジュールの設定ができます。

当日スケジュール変更設定画面では、週間スケジュールや年間スケジュールを変更せずに、当日のみ有効なスケジュールに設定することができます。

お知らせ

- 当日スケジュールを設定した後に、当日スケジュール設定内容をすべて削除した場合、当日スケジュールは設定なしの状態として残ります。この場合、スケジュールの最優先は当日スケジュールであるため、週間スケジュールは実施されません。

(1) 設定対象を選択する

手順

1. スケジュールを設定する室外ユニットのアイコンを選択し、[設定]をタッチする。



(2) スケジュール内容を設定する

手順

1. スケジュール内容の設定したいスケジュールの行をタッチする。
スケジュール設定画面が表示されます。
2. スケジュール適用開始時刻、およびスケジュール運転内容を設定し、[OK]をタッチする。
「4-3-2. [3] (5) スケジュール内容を設定する」を参照してください。



(3) スケジュールを保存する

手順

1. スケジュール内容をすべて設定した後、ナイトモードで制御で「有効」と「無効」の数が等しいことを確認し、**[OK]** をタッチしてスケジュール設定を保存する。

前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、**[キャンセル]** をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

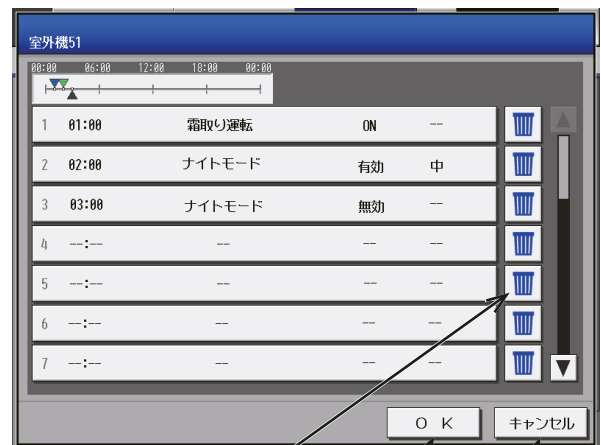
前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、**[キャンセル]** をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

お知らせ

- スケジュール未設定で **[OK]** でタッチしても、空のスケジュールが保存されるため、優先度の関係上、年間・週間スケジュールは実行されません。
- 「有効」と「無効」の数が異なる場合、メッセージ「ナイトモードの有効と無効の数が異なります。設定を確認し、有効と無効の数が等しくなるように設定してください。」が表示されます。
- 「有効」と「無効」の数の確認は、制御の設定解除漏れを防止するためです。

お願い

- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 **[削除]** をタッチしてください。
- ナイトモード制御のスケジュールを全て削除する場合、「無効」のスケジュールを実行したことを確認し、削除してください。
「無効」のスケジュールを実行していない場合、エラーメッセージが表示され、スケジュールを削除できません。
「無効」のスケジュールが実行されたことは、室外機スケジュール2の一覧画面でナイトモード操作状態が「無効」となっていることを確認してください。
ただし、ナイトモードスケジュールが実行されている場合、ナイトモード操作状態は「有効」となるため、ナイトモードスケジュールで「無効」設定の上で、当該時間経過後「無効」になることを確認してください。



削除

OK

キャンセル

(4) スケジュールを別の室外ユニットにコピーする

手順

1. 室外ユニット間でスケジュール内容をコピーする。
「4-3-2. [3] (8) スケジュールを別の室外ユニットにコピーする」を参照してください。

お願い

- ・ナイトモード制御が「有効」の室外機に対して、ナイトモード制御が設定されていないスケジュールのコピーはできません。
コピーする場合、「無効」のスケジュールを実行したことを確認し、コピーしてください。「無効」のスケジュールが実行されたことは、室外機スケジュール2の一覧画面でナイトモード操作状態が「無効」となっていることを確認してください。ただし、ナイトモードスケジュールが実行されている場合、ナイトモード操作状態は「有効」となるため、ナイトモードスケジュールで「無効」設定の上で、当該時間経過後「無効」になることを確認してください。



4-3-3. ナイトセットバック制御

ナイトセットバック制御機能は、室温が一定の温度範囲から外れた場合に、自動的に暖房または冷房運転を行い、室内の露付きや過度の温度上昇を防ぎます。

対象のグループが停止、かつ室温が指定の上下限温度を超過した場合に、冷房暖房運転を開始します。

メニューの[機能設定2] - [セットバック制御]をタッチしてナイトセットバック制御設定画面を開きます。

お知らせ

- 空調機の吸込み温度センサで室温を計測している場合、空調機停止中は内部に空気がこもり、実際の室温と相違がでる場合があります。この場合は、外付けの温度センサ (PAC-SE40TS) やリモコンセンサに切り替えて室温を計測してください。
- ビル管理者でログインした場合は、ナイトセットバック制御の操作が禁止されている場合があります。
- ユニット情報画面の「台数拡張」設定が[利用する]に設定されている場合に、「表示機器」の設定が画面に表示されます。「表示機器」の設定を[AE200]、[Exp1]～[Exp4]と切り替えてAE-200Jと各AE-50J/各EW-50Jの設定を個別に行ってください。
- AE-50J/EW-50J接続時は、正しく設定されるよう、AE-50J/EW-50Jがきちんと接続されている状態でナイトセットバック設定を行ってください。AE-50J/EW-50Jを接続しないで行われた設定は反映されません。
- ナイトセットバック制御中に手元リモコンで「運転/停止」「運転モード」「設定温度」を変更した場合は、その状態を維持し、ナイトセットバック制御前の状態には戻しません。

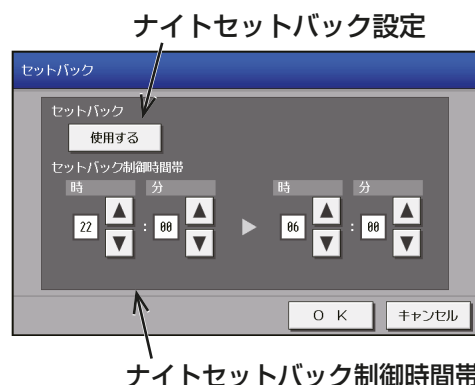


手順

1. [ナイトセットバック制御時間帯設定]をタッチし、時間帯設定画面を表示する。
2. 「ナイトセットバック設定」をタッチして[使用する]に設定する。
3. [▲][▼]をタッチして、ナイトセットバック制御を有効とする時間帯を設定し、[OK]をタッチする。

お知らせ

- [00:00 - 00:00]を設定した場合、ナイトセットバック制御は常時(24時間)有効となります。



4. [制御温度範囲設定] をタッチし、温度範囲設定画面を表示する。

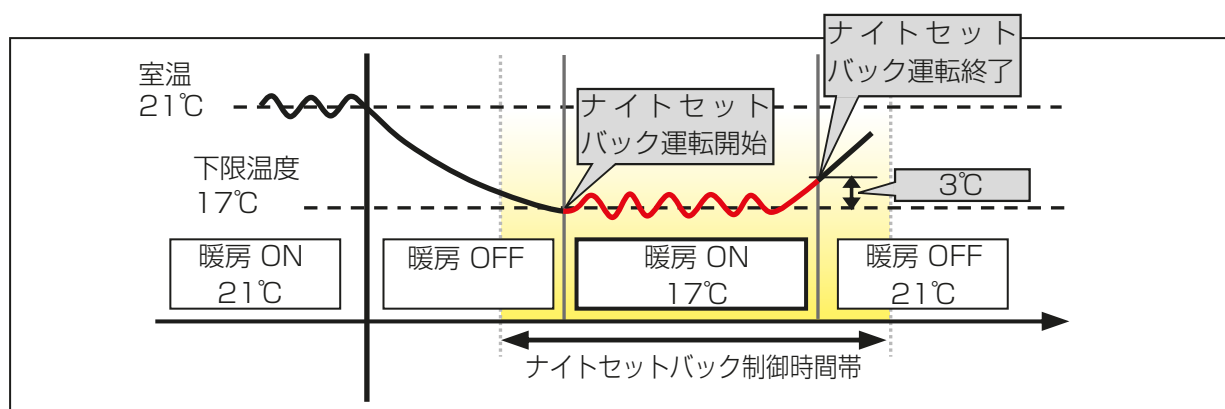
5. ▲▼ をタッチして、各グループに上限・下限温度を設定する。

例えば、[1:00 - 5:00] [-℃ - 28℃] と設定すると、1:00 ~ 5:00 の間に室温が 28℃ を上回った場合に設定温度を 28℃ として自動的に冷房運転を開始します。制御終了時間の 5:00 になると元の設定温度に戻して空調機を停止します。

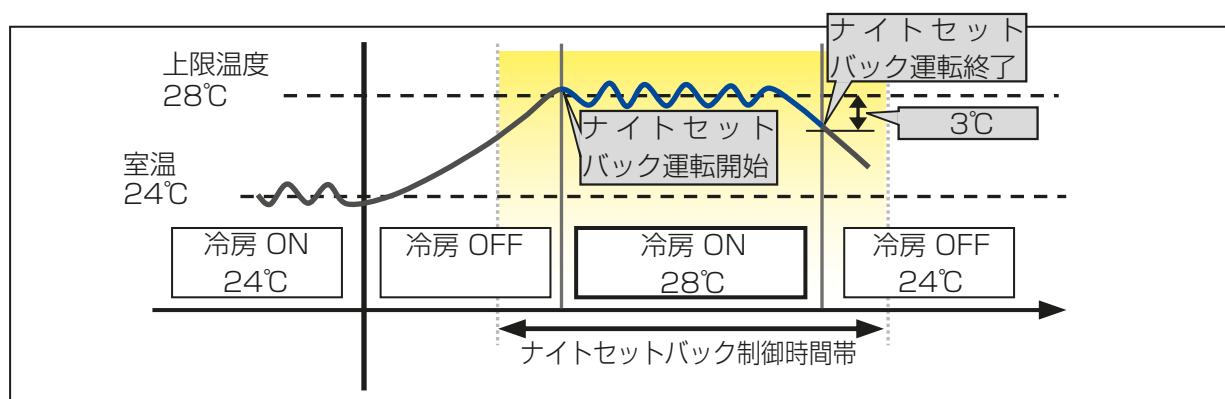


お知らせ

- ・ 設定は下限温度 < 上限温度となります。
- ・ 設定できる温度は機種により異なります。
- ・ 暖房運転の空調機は、ナイトセットバック制御時間帯が終了、または室温が下限温度から 3℃ 以上上がると停止し、設定温度は元に戻ります。同様に、冷房運転の空調機は、ナイトセットバック制御時間帯が終了、または室温が上限温度から 3℃ 以上下がると停止し、設定温度は元に戻ります。



下限温度超過時 (暖房制御)



上限温度超過時 (冷房制御)

6. [設定保存] をタッチして変更を保存する。

4-4. 換気設定

4-4-1. 24時間換気

ロスナイおよび加熱加湿付ロスナイを24時間動作させます。

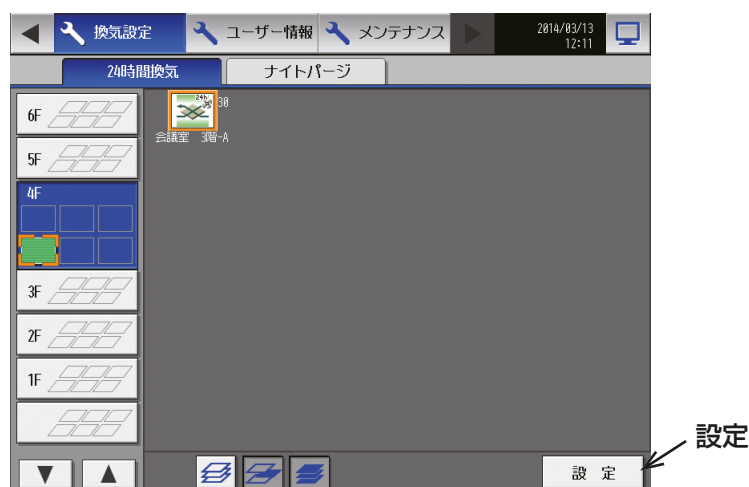
メニューの[換気設定]-[24時間換気]をタッチすると24時間換気に対応しているロスナイグループおよび加熱加湿付ロスナイグループを表示しますので、対象を選択し、設定します。

お知らせ

- ・ 外部入力によるレベル運転中は、24時間換気運転は実行しません。
- ・ 通信異常中のAE-50J/EW-50Jに接続されている機器は設定できません。

手順

1. 設定対象を選択し、画面右下の[設定]をタッチする。

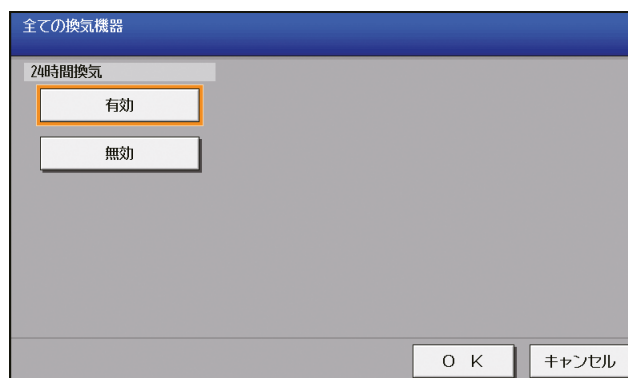


2. 24 時間換気の有効 / 無効を選択する。

有効を設定した場合、操作設定画面で24 時間換気ボタンが表示されます。

お知らせ

- ・ 24 時間換気を有効から無効にする場合は、24 時間換気のスケジュールを削除してから設定を変更してください。
- ・ 手元リモコンで設定変更した場合は、本機の設定も変更されます。
- ・ 24 時間換気を無効にすると、ロスナイまたは加熱加湿付ロスナイの運転が停止します。運転は、操作設定画面で行ってください。



4-4-2. ナイトパーズ

ナイトパーズとは、外気温度の低い夜間に外気を取り入れ、室内の空気を排出することで翌日の冷房の立ち上がり時の冷房負荷を軽減しようとするものです。

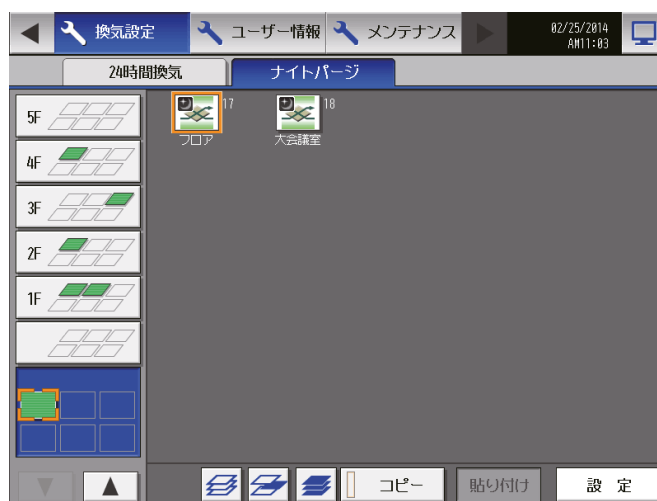
メニューの[換気設定]-[ナイトパーズ]をタッチするとナイトパーズに対応しているロスナイグループおよび加熱加湿付ロスナイを表示します。

お知らせ

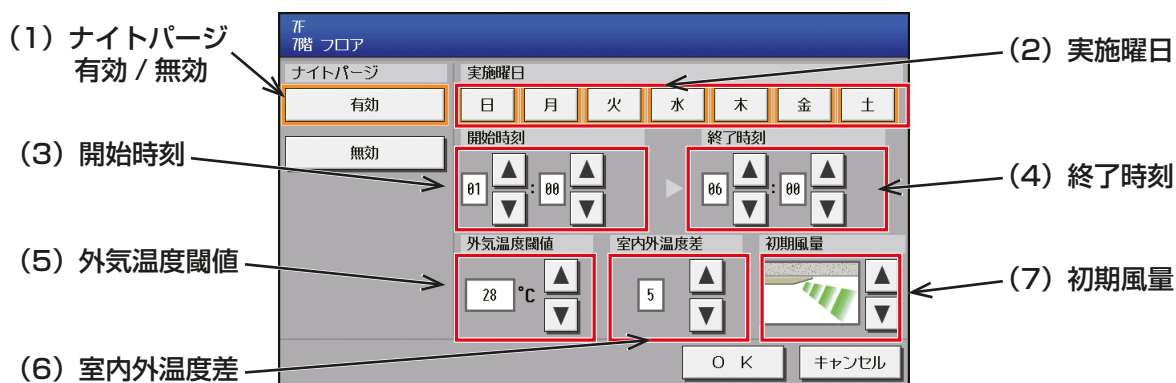
- ・ 外部入力によるレベル運転 / 停止にすると、ナイトパーズ運転しません。
- ・ 通信異常中のAE-50J/EW-50Jに接続されている機器への設定はできません。
- ・ ナイトパーズ運転中は、普通換気で運転します。
- ・ ナイトパーズ時間帯にスケジュールが設定されている場合、スケジュールが優先されます。

手順

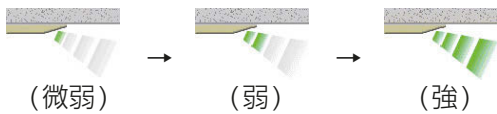
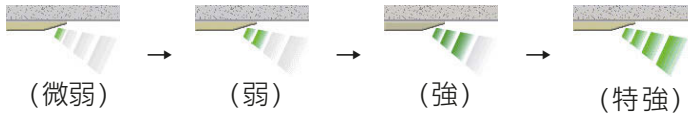
1. 設定対象を選択し、画面右下の[設定]をタッチする。



2. ナイトパーズを有効にし、運転内容を設定し、[OK]をタッチする。
 前回保存時から設定内容を変更した場合、[キャンセル]をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。



4. 液晶画面の設定方法

	機能	操作方法	表示内容
(1)	ナイトページ 有効 / 無効	ナイトページの有効、無効を設定します	選択したボタンにオレンジの枠が表示されます。
(2)	実施曜日	ナイトページ運転する曜日を選択します。	選択した曜日ボタンにオレンジの枠が表示されます。 開始時刻の曜日を実施曜日としてください。 例えば、開始時刻を 23:00、終了時刻を 6:00 とした場合、実施曜日を「月」とすると、月曜日の 23:00 に開始し、火曜日の 6:00 に終了します。 曜日の複数選択は可能です。 複数グループ選択して、開いた場合は、全ての曜日を選択した状態となります。
(3)	開始時刻	▲▼ボタンにより、ナイトページ運転を開始する時刻を設定します。	▲ボタンをタッチすると、数字が一つ増加し、▼ボタンをタッチすると数字が一つ減少します。(1 分単位で設定可能です)
(4)	終了時刻	▲▼ボタンにより、ナイトページ運転を終了する時刻を設定します。	▲ボタンをタッチすると、数字が一つ増加し、▼ボタンをタッチすると数字が一つ減少します。(1 分単位で設定可能です)
(5)	外気温度閾値	右の上下ボタンで外気温度閾値を設定します。	上ボタンを押下することで、1 度上昇し、下ボタンを押下することで、1 度下降します。 ※設定温度範囲は、「15～30℃」です。
(6)	室内外温度差	右の上下ボタンで室内温度、外気温度の温度差を設定します。	上ボタンを押下することで、1 度上昇し、下ボタンを押下することで、1 度下降します。 ※設定温度範囲は、「0～7℃」です。
(7)	初期風量	右の上下ボタンでナイトページ運転中の風量(初期値)を設定します。	<p>3 段階(微弱あり)の場合</p>  <p>(微弱) → (弱) → (強)</p> <p>4 段階機種の場合</p>  <p>(微弱) → (弱) → (強) → (特強)</p> <p>風量は、2 段階(微弱なし)、3 段階(微弱あり)、4 段階風量切り替え無しがあります。 ※自動あり機種でも自動は表示されません。 ※風量 1 段階機種の場合、風量は表示されません。</p>

※ 外気温度閾値と室内外温度差は、ナイトパーズが動作する条件の外気温度並びに室内と室外の温度差を設定します。

「4-4-2. ナイトパーズ」の画面例でのナイトパーズ開始の条件は、以下の通りです。

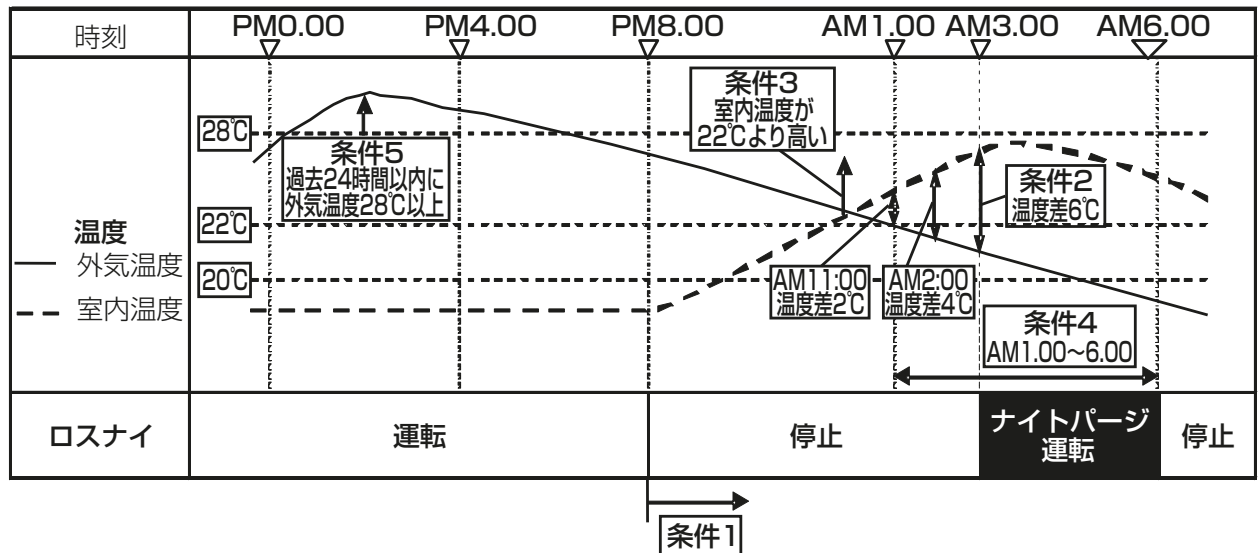
条件1：停止中または24時間換気中

条件2：(室内温度－室外温度) が室内外温度差5℃（設定値）より大きい場合

条件3：現在の室内温度が22℃より高い場合 (AE-200Jからは設定できません。)

条件4：現在時刻が開始時刻AM1:00から終了時刻AM6:00までの間

条件5：過去24時間以内にロスナイまたは加熱加湿付ロスナイが外気温度閾値28℃（設定値）以上を検知



また、下記の条件になったときはナイトパーズを停止します。

条件1：室内温度が22℃以下になったとき

条件2：室内外温度差が設定温度以下になったとき

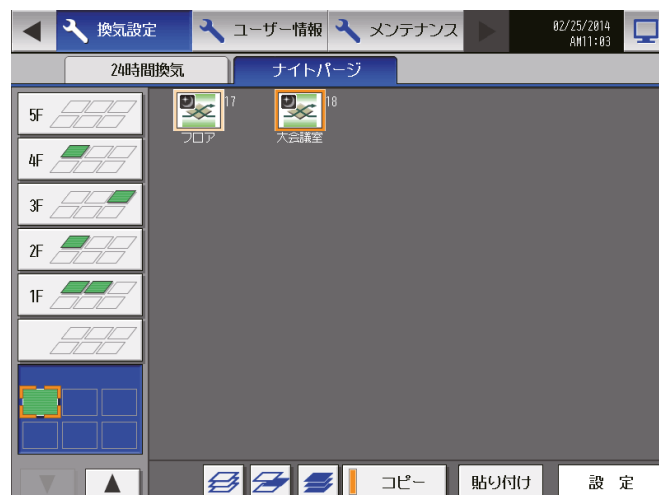
条件3：終了時間に達したとき

お知らせ

- ・ 無効の場合は、実施曜日、開始時刻、終了時刻、外気温度閾値、室内外温度差、初期風量の設定はできません。
- ・ 手元リモコンで設定変更した場合、本機の設定も変更されます。
- ・ 無効を設定すると、ロスナイまたは加熱加湿付ロスナイのナイトパーズ運転が終了します。

3. 設定を他のグループにコピーする。

ナイトパーズ設定の内容を他のグループにコピーする場合は、コピー元のグループを選択して[コピー]をタッチし、コピー先のグループを選択して[貼り付け]をタッチする。



4-5. ユーザー情報

設定変更画面のメニューより[ユーザー情報]をタッチすると、ユーザー設定画面へ移行します。
ユーザー設定は保守ユーザーとビル管理者の2種類あります。

保守ユーザー	すべての設定・変更が可能です。
ビル管理者	保守ユーザーから許可された項目のみ設定・変更可能です。

4-5-1. 保守ユーザー

保守ユーザーのユーザー名、パスワードの変更を行いたい場合、設定変更画面の[ユーザー情報]－[保守ユーザー]をタッチし、保守ユーザー設定画面を表示します。

お知らせ

- 保守ユーザーでログインしている場合以外は表示できません。

お願い

- 変更したユーザー名・パスワードは忘れないようお気をつけください。
忘れた場合は、ログインすることが出来ません。
万が一忘れた場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



手順

1. 保守ユーザー名の変更
保守ユーザー名の変更を行う場合、ユーザー名入力をタッチし、キーボード画面を表示し、最大20文字でユーザー名の入力を行う。
2. パスワードの変更
保守ユーザーのパスワードの変更を行う場合、パスワード入力をタッチし、キーボード画面を表示し3～10文字でパスワードの入力し、パスワード(確認用)を押し、再度同じパスワードを入力する。

お知らせ

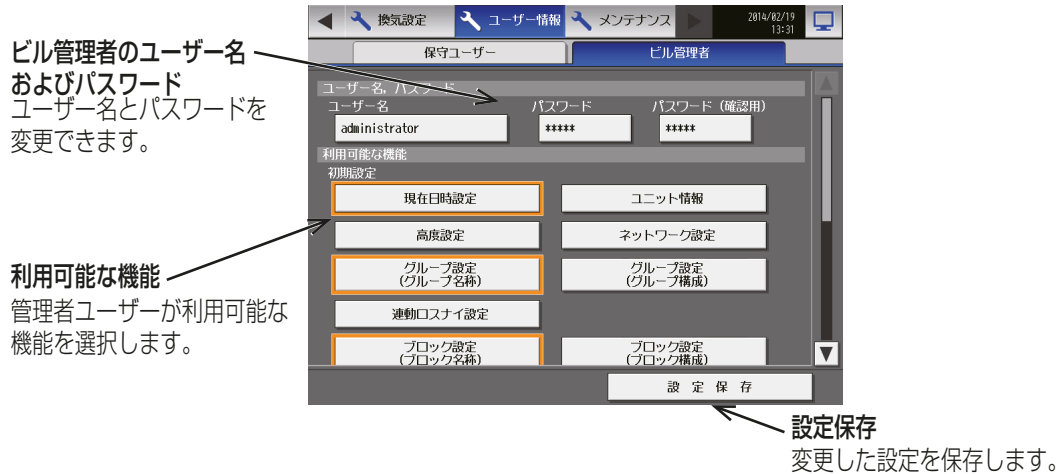
- 画面の表示は、入力文字数分[*]が表示されます。
- 大小英文字、数字が使用可能です。

ユーザー名、パスワードを入力後、設定保存をタッチすると、入力したユーザー名、パスワードに変更されます。

4-5-2. ビル管理者

ビル管理者設定画面では、ビル管理者のユーザー名とパスワードを変更したり、ビル管理者の利用可能な機能を制限できます。テナントの入れ替えに伴ったグループ名称の変更等はビル管理者でも変更できるようにしたいが、本体の設定やネットワーク設定などの基本システム設定は変更されたくない場合などにこのビル管理者設定を利用してください。

メニューの[ユーザー情報]－[ビル管理者]をタッチしてビル管理者設定画面を開きます。



手順

1. ビル管理者のユーザー名またはパスワードを変更するには、[ユーザー名]、[パスワード]、および[パスワード (確認用)]をタッチし、キーボード画面で新たな内容を入力する。

お知らせ

- ・ユーザー名は英数字以外は設定できません。
- ・ユーザー名とパスワードは、大文字小文字を区別します。

お願い

- ・ユーザー名は最大20文字で、パスワードは3～10文字で入力してください。

2. ビル管理者で使えるようにしたい機能をタッチして選択する。
選択した機能にはオレンジ枠が表示されます。
選択を取り消したい場合は、再度タッチすることで非選択状態になります。
各機能に関するより詳しい情報については、次ページの表を参照してください。

お知らせ

- ・ビル管理者でログインした場合、現在使用できる機能の確認はできますが、変更はできません。
- ・この設定はWebブラウザ上の機能には反映されません。

利用可能な機能	
初期設定	
現在日時設定	ユニット情報
高度設定	ネットワーク設定
グループ設定 (グループ名称)	グループ設定 (グループ構成)
連動ロスナイ設定	
ブロック設定 (ブロック名称)	ブロック設定 (ブロック構成)
EM ブロック設定 (ブロック名称)	EM ブロック設定 (ブロック構成)
フロアレイアウト (フロア名称)	フロアレイアウト (フロア構成)
機能設定1	
ET制御設定	アドバンストパワーセーブ
サーモOFF時送風設定	計測設定
機能設定2	
外気温連動制御	セットバック
換気設定	
24時間換気設定	ナイトバージ設定

3. [設定保存]をタッチして変更を保存する。

機能リスト

機能		参照
初期設定	現在日時設定	「4-1-3. 現在日時設定」参照
	ユニット情報※ ¹	「4-1-4. ユニット情報の設定」参照
	高度設定※ ¹	「4-1-12. 高度設定」参照
	ネットワーク設定※ ¹	「4-1-5. ネットワーク設定」参照
	グループ設定	グループ名称
		グループ構成※ ¹
	連動ロスナイ設定※ ¹	
	ブロック設定	ブロック名称
		ブロック構成※ ¹
	EMブロック設定	EMブロック名称
		EMブロック構成※ ¹
機能設定 1	ピークカット (設定)	「4-2-1. 省エネ制御、ピークカット制御の設定」参照
	ピークカット (制御内容)	
	ET 制御設定	「4-2-2. ET 制御設定」参照
	高顕熱制御設定	「4-2-3. 高顕熱制御設定」参照
	アドバンストパワーセーブ	「4-2-4. アドバンストパワーセーブ設定」参照
	室外機スケジュール 1	「4-2-5. 室外機スケジュール 1」参照
	サーモ OFF 時送風設定	「4-2-6. サーモ OFF 時送風設定」参照
	計測設定	「4-2-7. 計測設定」参照
	エネルギー管理設定	「4-2-2. ET 制御設定」参照
機能設定 2	外気温連動制御	「4-3-1. 外気温連動制御」参照
	室外機スケジュール 2	「4-3-2. 室外機スケジュール 2」参照
	ナイトセットバック	「4-3-3. ナイトセットバック制御」参照
換気設定	24 時間換気設定	「4-4-1. 24 時間換気」参照
	ナイトパージ設定	「4-4-2. ナイトパージ」参照

※¹ 工場出荷時、ビル管理者によるこれらの設定は禁止されています。

5. 初期設定ツールを使った設定

5-1. 初期設定ツールによる初期設定の流れ

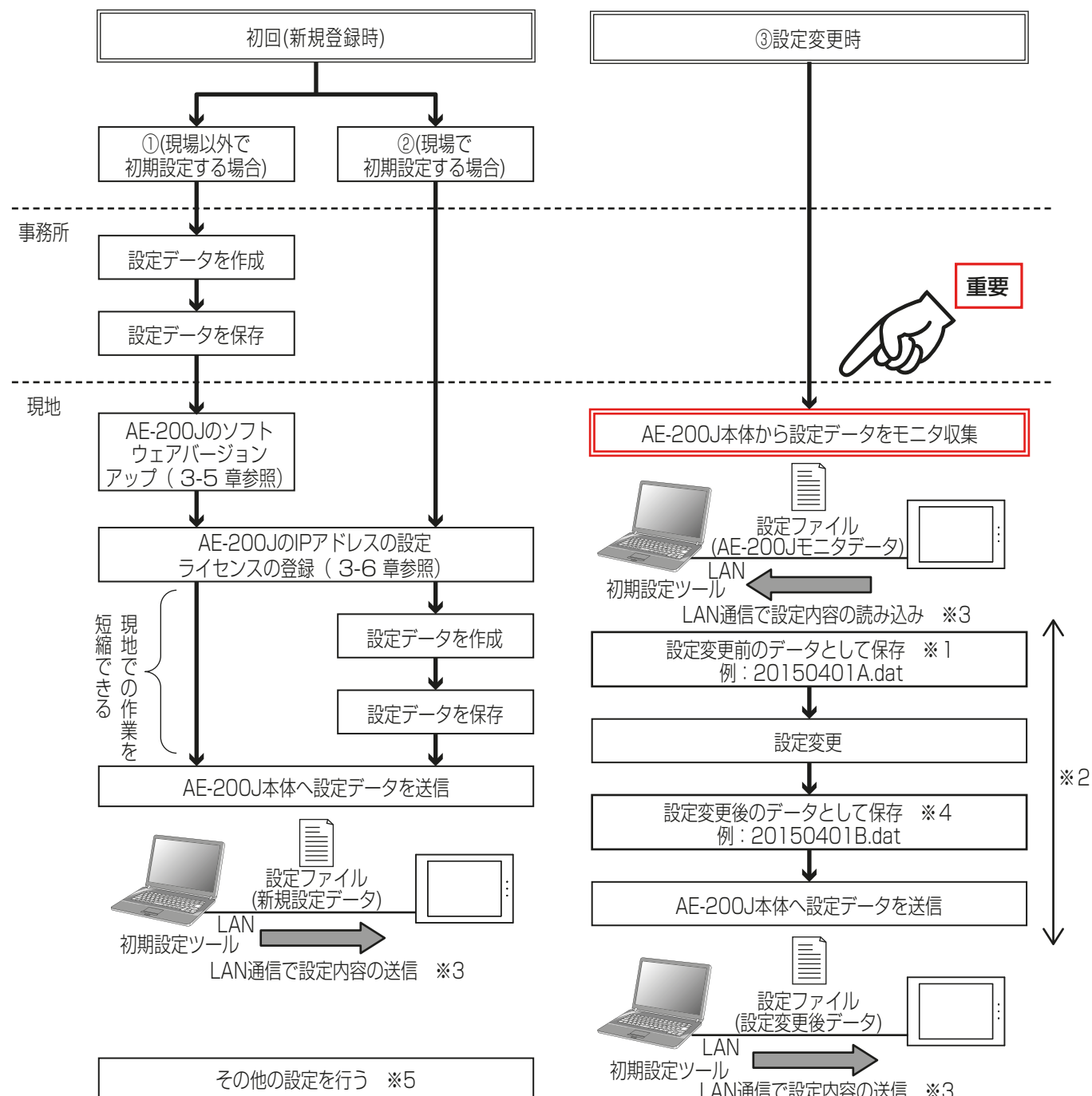
下記フロー①のように事前に事務所などで設定データを作成し、現地で集中コントローラに送信することができます。設定変更時はフロー③のようにAE-200J本体から設定データをモニタ収集してから変更作業を行ってください。

実施してください

既存のAE-200J/AE-50J/EW-50Jの設定を変更する場合は、

「AE-200J本体から設定データをモニタ収集」してください。

モニタ収集をせず、設定を変更すると、実機の設定を誤った設定データで上書きしてしまいます。



※1 既存のAE-200J/AE-50J/EW-50Jの設定を変更する場合は、変更前の設定ファイル (AE-200J モニタデータ) を保存してください。

※2 初期設定ツールにて設定データを読み込み、設定変更を行ったあと、設定変更内容の送信が完了するまでAE-200J本体からの設定変更はしないでください。

- ※3 初期設定ツールで作成した設定データは、7章 メンテナンスに記載のUSB メモリによる AE-200J への読み込み・書き込み、および統合管理ブラウザでの読み込み・書き込みはできません。
- ※4 初期設定ツールで設定した設定ファイル（設定変更前データと設定変更後データ）は大切に保管してください。
- ※5 初期設定ツールで設定できない項目は、本体液晶、または統合管理ブラウザより行う必要があります。

5-2. 初期設定ツールの概要

初期設定ツールの各設定画面で共通の操作方法を説明します。

5-2-1. ツールの起動



AE-200 初期設定ツール

初期設定ツールを起動すると、以下の画面が表示されます。



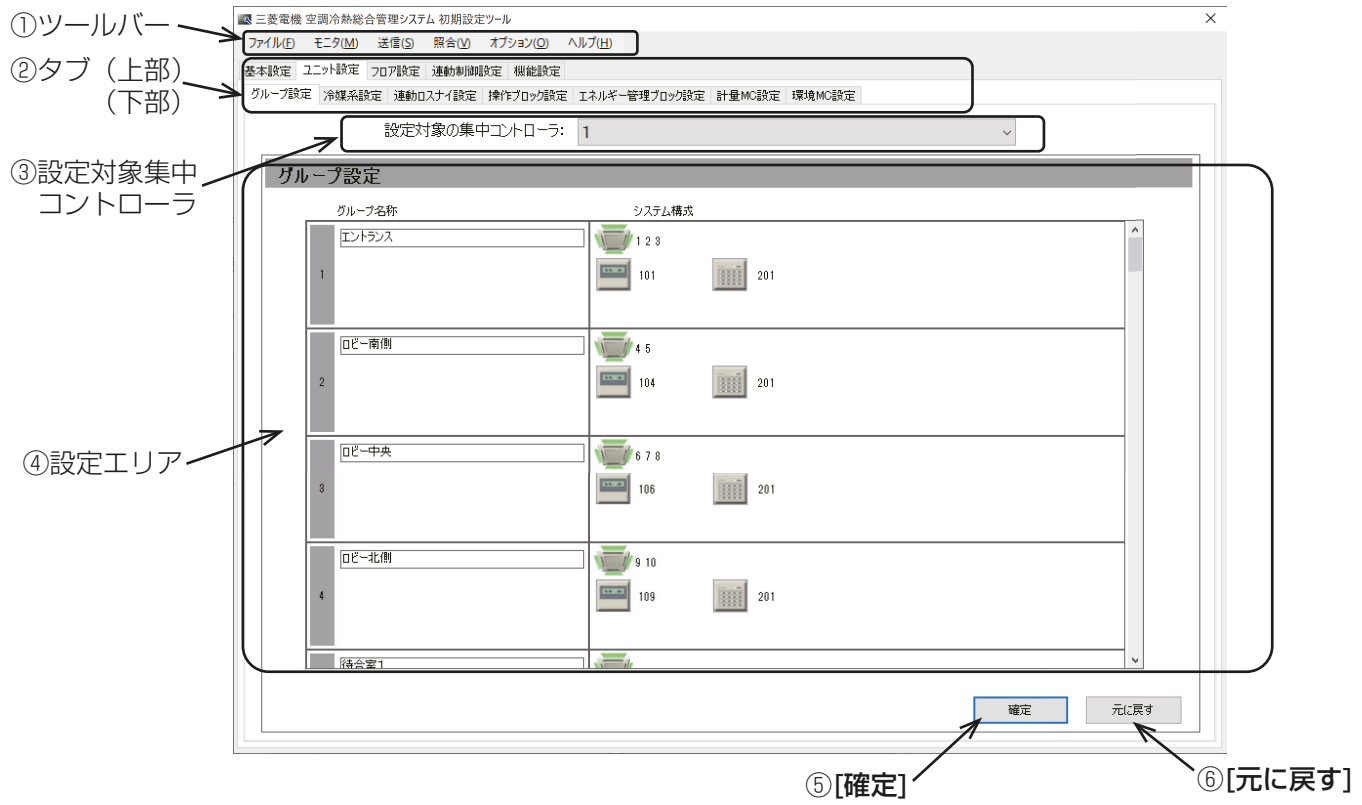
[**新規作成**] をクリックするとすべての設定が未設定の状態が表示されます。

[**開く**] をクリックすると、「開く」画面が表示され、事前に作成していたパソコンに保存済みの設定ファイル（ファイル名.dat）を選択し、読み込むことができます。読み込み後、設定ファイルの内容を反映した状態で設定画面を表示します。

お知らせ

- [**開く**] をクリックした場合、初回は「ライブラリ」－「ドキュメント」フォルダが選択されます。初期設定ツールを使って保存したファイルを選択してください。

5-2-2. 画面構成・共通項目



	機能	操作方法	説明
①	ツールバー	設定ファイルの新規作成、保存、読み込み、送信、集中コントローラからの設定状態のモニタなどが行えます。	「5-2-3. ツールバーの操作一覧」を参照
②	タブ	タブをクリックすることで各設定画面を切替えます。 上部のタブを切替えると、下部のタブが表示されますので、設定するタブをクリックします。	設定する「タブ」をクリックすると、設定画面が表示されます。設定内容入力後は、 「確定」 をクリックします。
③	設定対象集中コントローラ	接続構成設定された集中コントローラのうち設定を行う対象を選択します。 集中コントローラごとに設定が必要です。	設定画面によっては表示されない画面もあります。
④	設定エリア	各設定を行うエリアです。	設定方法は、「5-3. 基本設定」、「5-4. ユニット設定」、「5-5. フロア設定」、「5-6. 課金設定」、「5-7. 連動制御設定」を参照してください。

⑤	【確定】	クリックすることで、設定内容が初期設定ツール内に保持されます。(設定内容は送信されません。)	【確定】をクリックした段階では、設定内容はAE-200J/AE-50J/EW-50Jに送信されません。全ての設定後、ツールバーから【送信】を行い、AE-200J/AE-50J/EW-50Jに設定内容を送信してください。詳細は、「5-2-3. [5] 設定の送信」を参照してください。また、確定しても、設定ファイルにはまだ保存されません。設定ファイルを保存するには、ツールバーの【ファイル】－【上書き保存】、または【名前を付けて保存】をクリックしてください。
⑥	【元に戻す】	クリックすることで、設定内容を破棄し、元の設定内容に戻します。	—

5-2-3. ツールバーの操作一覧

ファイル
設定ファイルの新規作成、開く(読み込み)、上書き保存、名前を付けて保存を行います。

ヘルプ
本ソフトウェアのバージョン表示を行います。

送信
設定内容を集中コントローラに送信します。

オプション
温度表示の選択、試運転チェックシートの出力が可能。

モニタ
集中コントローラの設定状態を取得します。

[1] 設定ファイルの新規作成

「設定ファイル」を新規作成することができます。

[2] 設定ファイルを開く

パソコンに保存された「設定ファイル」を読み込むことができます。

お知らせ

- ・ AE-200J本体、初期設定WEBからバックアップしたデータは読み込めません。

[3] 設定ファイルの保存

「設定ファイル」をパソコンへ保存することができます。ツールバーの【ファイル】－【上書き保存】または【名前を付けて保存】をクリックしてください。

お知らせ

- ・ 設定後は、設定ファイルを保存し、大切に保管してください。
- ・ AE-200J/AE-50J/EW-50Jには保存されません。

[4] モニタ

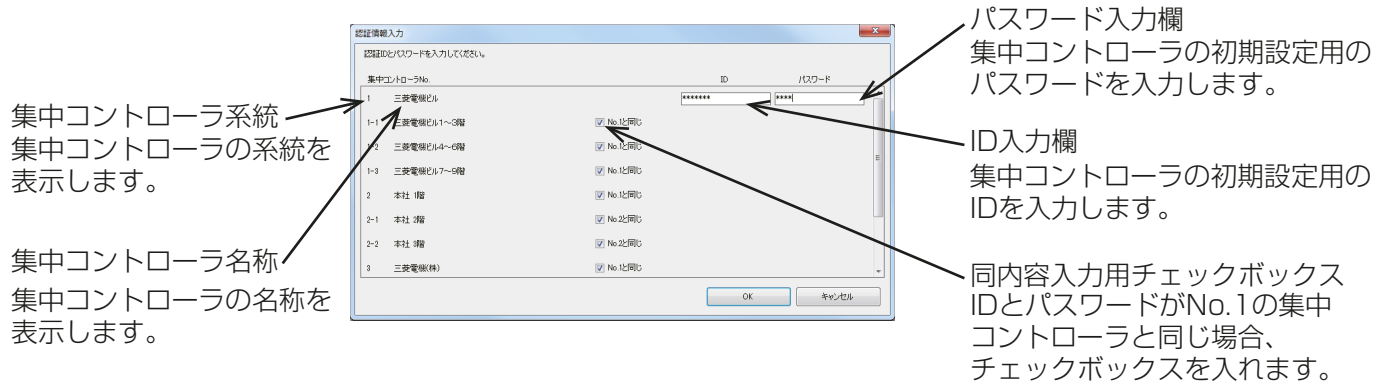
AE-200J/AE-50J/EW-50Jの設定内容を初期設定ツールに読み込むことができます。

お知らせ

- ・ AE-200J/AE-50J/EW-50Jに対して設定変更を行う場合は、最初に【モニタ】を実施してください。

手順

1. [基本設定] – [接続構成設定] でモニタする AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを入力し、下部にある [確定] をクリックする。(「5-3-1. 接続構成設定」を参照してください。)
2. ツールバーの [モニタ] – [モニタ実行] をクリックする。
3. 設定内容が変更されている場合は、「確認」画面で保存の確認が表示されますので、[はい] を選択して「認証情報入力」画面を表示する。



4. モニタを実行する集中コントローラのメンテナンスユーザの ID とパスワードを入力する。
ID とパスワードが No.1 の集中コントローラと同じ場合、「No.1 と同じ」チェックボックスにチェックを入れてください。
5. [OK] をクリックすると集中コントローラに対して設定状態のモニタが実行され、初期設定ツール上に設定内容が反映されます。

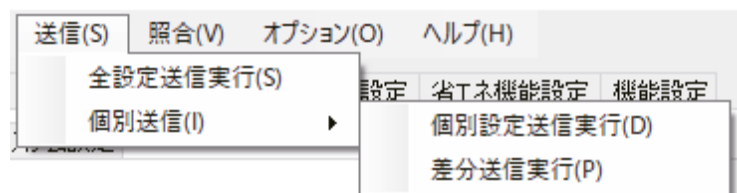
お知らせ

- ・ モニタに失敗した場合、「接続構成設定」で登録されている集中コントローラの設定状態は、初期設定ツール上の設定内容に反映されません。
「5-3-1. 接続構成設定」を参照してください。

[5] 設定の送信

設定を送信します。

送信する際に下記3パターンあります。



(1) 初回の設定の場合

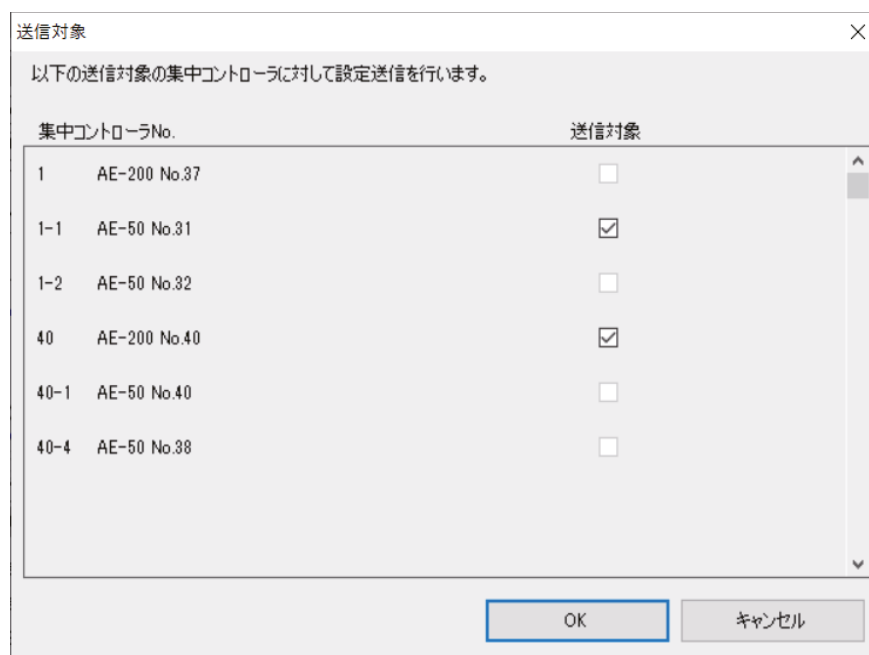
ツールバーの[送信] - [全設定送信実行]をクリックします。

(2) ユニットの増設もしくは故障などによる集中コントローラの入替の場合

ツールバーの[送信] - [個別送信] - [個別設定送信実行]をクリックします。

(3) 上記以外の場合

ツールバーの[送信] - [個別送信] - [差分送信実行]をクリックします。



(1)の場合は全集中コントローラに設定が送信されます。

(2)(3)の場合は集中コントローラに設定をモニタし送信対象の集中コントローラが表示されます。(送信対象は選べません。)

[OK]をクリックすると設定変更がある集中コントローラに設定が送信されます。

お知らせ

- ・「接続構成設定」で設定された集中コントローラのIPアドレスに対して設定データを送信します。
- ・送信前に設定が必要な全ての項目が入力、設定されていることを確認してください。設定されていない項目はすべて未設定として集中コントローラに送信されます。
- ・設定変更する場合は、一度モニタし収集した設定を保存してから、設定変更を行なった上で設定データを送信してください。

[6] 温度表示の変更

ツールバーの[オプション]－[温度表示]で初期設定ツールの温度表示を摂氏(℃)または華氏(℉)から選択できます。

お知らせ

- ・ 摂氏/華氏の切り替えは、初期設定ツールで表示される単位の切り替えであり、集中コントローラごとで用いる単位の設定ではありません。集中コントローラの表示単位を切り替えるには、[基本設定]－[基本システム設定]の「温度表示単位」にて設定してください。

[7] 課金試運転チェックシート出力

課金試運転に用いるチェックシートを出力します。電力按分課金支援機能を使う場合に使用します。詳しくはAE-200J/AE-50J/EW-50J取扱説明書(電力按分課金支援機能編)を参照してください。

[8] 空調発停試運転チェックシート出力

空調発停試運転に用いるチェックシートを出力します。
「付録 空調発停試運転」を参照してください。

[9] ライセンス登録

各集中コントローラに対して、ライセンス登録を行うことができます。
個別にライセンス登録する機能とライセンスCSVファイルを用いて一括登録する機能があります。
詳細は、「3-6. ライセンス登録」を参照してください。

[10] ヘルプ

ツールバーの[ヘルプ]－[バージョン情報]をクリックすると、お使いの初期設定ツールのバージョン情報が表示されます。



[11] 終了

初期設定ツールを終了します。

5-2-4. ユニットアドレス選択画面

グループ設定画面などで表示される、ユニットアドレス選択画面、グループ登録画面では、選択可能なユニットアドレス、グループが表示されます。

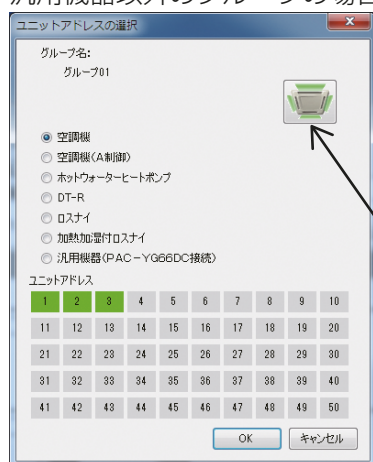
クリックすると選択され、背景が黄緑色になります。選択を取り消したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（背景が薄灰色）になります。**[OK]** をクリックすると選択を完了し画面が閉じます。**[キャンセル]** で選択をキャンセルして画面が閉じます。既に他に登録されているアドレス、グループは、背景が灰色となり、選択できません。

グループ設定画面で表示されるユニットアドレス選択画面では、アイコンを変更できます。アイコンを変更するには、アイコン選択をクリックし、グループアイコンの選択画面で選択します。選択したアイコンは、AE-200J/AE-50Jの液晶画面、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの統合管理ブラウザ上に表示されます。

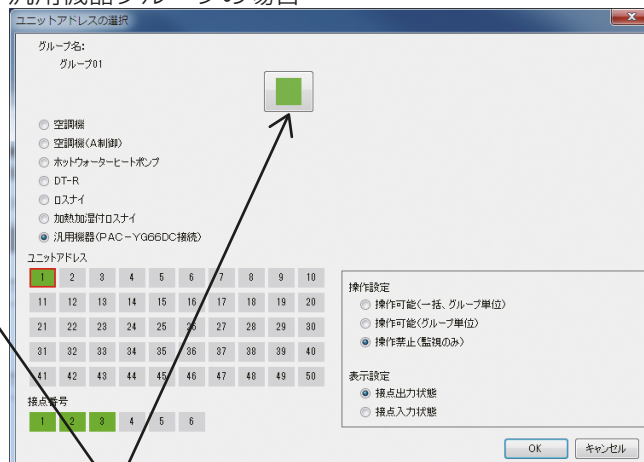
お願い

- 実際の機種によっては別のアイコンが出る場合があります。

汎用機器以外のグループの場合

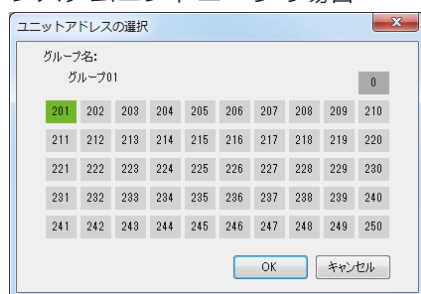


汎用機器グループの場合



アイコン選択

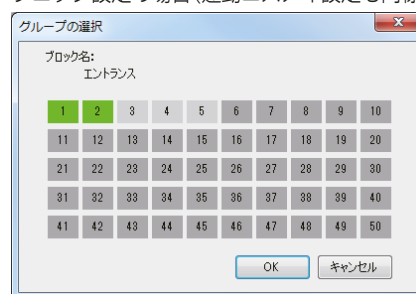
システムコントローラの場合



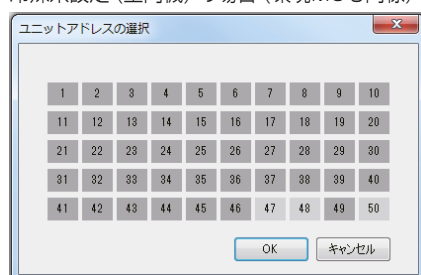
リモコンの場合



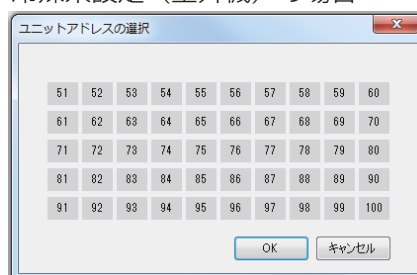
ブロック設定の場合(連動ロスナイ設定も同様)



冷媒系設定（室内機）の場合（環境MCも同様）



冷媒系設定（室外機）の場合



エネルギー管理ブロック設定の場合



計量MC設定の場合



計量設定の場合



5-2-5. その他

- 基本システム設定の名称は最大40文字（全角／半角）まで入力できます。
その他の設定画面の名称は、最大20文字（全角／半角）まで入力できます。
- 名称の設定では、次の文字は使用できません。 < > & " '（半角）

5-2-6. 初期設定ツールの準備と流れ

AE-200J/AE-50J/EW-50Jの設定変更を行う場合（初期設定済みのシステムに対して）は、最初に初期設定ツールで設定状態のモニタを実施し、以下の手順に従って実施してください。手順が異なると正常に設定できない場合があります。

手順

1. パソコン（初期設定ツール）とAE-200J/AE-50J/EW-50JをLANで接続する。
2. 初期設定ツールを立ち上げる。
3. **[新規作成]**または**[開く]**をクリックする。
パソコンに保存されている設定データを読み込む場合は、**[開く]**を選択してください。
それ以外は**[新規作成]**を選択してください。
4. **[基本設定]**－**[接続構成設定]**で、AE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレスを登録する。
詳細は「5-3-1. 接続構成設定」を参照してください。
5. ツールバーの**[モニタ]**－**[モニタ実行]**をクリックして、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの設定情報を初期設定ツールに読み込みます。
※IDとパスワードはAE-200J/AE-50J/EW-50Jの保守ユーザーのIDとパスワードを入力してください。
6. ツールバーの**[ファイル]**－**[名前をつけて保存]**をクリックして、設定変更前の初期設定データを保存する。

お知らせ

- 設定変更前のデータとして、バックアップのために「日付＋変更前」などのファイル名で保存してください。
 - この段階ではAE-200J/AE-50J/EW-50Jには設定送信されません。
7. 初期設定の変更を行う。「5-3. 基本設定」、「5-4. ユニット設定」、「5-5. フロア設定」、「5-6. 課金設定」、「5-7. 連動制御設定」、「5-8. 省エネ機能設定」、「5-9. 機能設定」を参照してください。
 8. ツールバーの**[ファイル]**－**[名前をつけて保存]**をクリックして、設定データをパソコンに保存する。

お知らせ

- 設定変更前のファイル名と別ファイル名「日付＋変更後」などのファイル名で保存してください。
 - この段階ではAE-200J/AE-50J/EW-50Jには保存されません。
9. ツールバーの**[送信]**－**[全設定送信実行]**をクリックして、接続構成設定で登録しているAE-200J/AE-50J/EW-50Jの設定データを上書きする。

5-3. 基本設定

5-3-1. 接続構成設定

集中コントローラと拡張コントローラの接続構成を初期設定ツールに登録します。

[基本設定] - [接続構成設定] をクリックして接続構成設定画面を開きます。

お知らせ

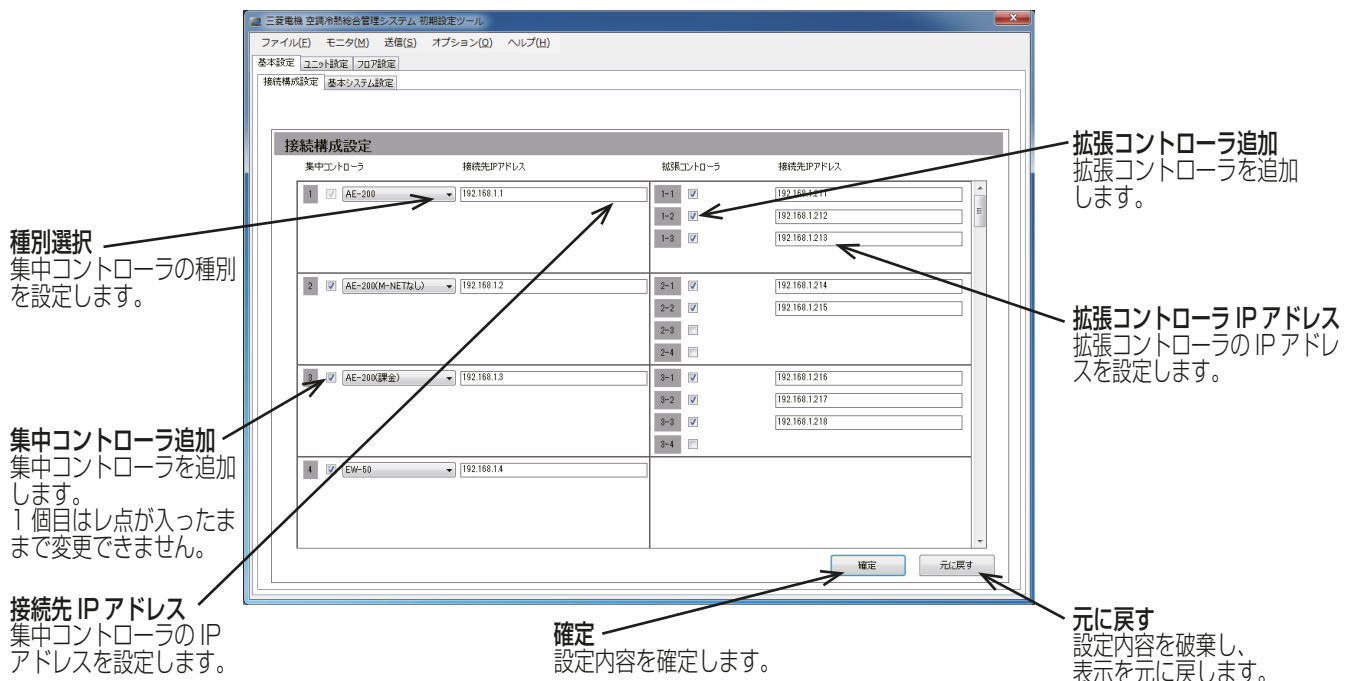
- 集中コントローラを最大 40 台まで接続設定することができます。
[AE-200 (課金)]、[AE-200 (M-NET なし)] に設定された AE-200J は 40 台に含まれません。

手順

- 「種別選択」のプルダウン (▼) をクリックし、[AE-200]、[AE-200 (M-NET なし)]、[AE-200 (課金)]、[EW-50] のいずれかを選択する。
- 「接続先 IP アドレス」に IP アドレスを入力する。
- 「拡張コントローラ追加」のチェックボックスをクリックする。
- 「拡張コントローラ IP アドレス」に AE-50J/EW-50J の IP アドレスを入力する。
- 集中コントローラ (AE-200J/EW-50J) が複数台ある場合は、「集中コントローラ追加」のチェックボックスをクリックして、手順 1～4 を設定する。
- 設定完了後、[確定] をクリックする。


お知らせ

- 集中コントローラの「種別選択」にて選択された集中コントローラ種別により設定可能な項目が異なります。
- AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスや拡張コントローラの台数拡張設定は本設定画面で変更することはできません。AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを設定する場合は本体液晶画面 (AE-200J/AE-50J)、初期設定ツール (AE-200J/EW-50J) または簡易 IP アドレス設定スイッチ (EW-50J のみ) で設定してください。また、拡張コントローラの台数拡張設定を設定する場合は本体液晶画面 (AE-200J) で設定してください。



5-3-2. 基本システム設定

[基本設定] – [基本システム設定] をクリックして基本システム設定画面を開きます。ここでは集中コントローラごとに本体の設定、M-NET 設定などの設定を行います。



設定対象集中コントローラ
接続構成設定された集中コントローラのうち基本システム設定を行う対象を選択します。

本体の設定
集中コントローラの名称と識別番号の設定、製造番号とソフトウェアバージョンを取得します。

CSV ファイルの区切り記号・小数点記号
集中コントローラから出力する CSV ファイルのフォーマットを設定します。

表示の設定
集中コントローラと Web ブラウザの画面表示項目を設定します。

M-NET の設定
M-NET アドレスと操作禁止範囲を設定します。

外部入出力の設定
集中コントローラの外部信号入出力モードを設定します。

高度な設定
高度な設定を行う画面を表示します。

確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

[1] 本体の設定

「本体の設定」で AE-200J/AE-50J/EW-50J の名称と識別番号を設定します。

[取得] をクリックすると、「設定対象の集中コントローラ」で選択された AE-200J/AE-50J/EW-50J と通信を行い、製造番号とソフトウェアバージョンを表示することができます。

本体の設定	
名称	AE-200
識別番号	000001 (数字6桁)
製造番号	23164-027
ソフトウェアバージョン	####(****) 取得

手順

- 「名称」に最大 40 文字（全角／半角）でユニット名称を入力する。
ここで入力した名称は、異常メール通報および警告メールの送信者名としても使用されます。
- 「識別番号」に 6 桁の数字で識別番号を入力する。
集中コントローラを別番号で管理する場合に使用します。

お知らせ

- 「設定対象の集中コントローラ」で選択可能な集中コントローラごとに、名称、識別番号の設定することができます。
- 「設定対象の集中コントローラ」に設定した名称が表示されます。
- 識別番号は、異常メールおよび警告メールの送信者識別番号としても使用されます。
- ソフトウェアアップデートを行った場合は、「ソフトウェアバージョン」の####(****)とアップデートファイル(AExx_FW####_***.dat)の#が同一になっていることを確認してください。
例) ソフトウェアバージョン 7.70 (1.07) = アップデートファイル 0770_0107

[2] ネットワーク設定

「ネットワークの設定」は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jを専用LANに接続するか既設LANに接続するかによって異なります。[ネットワーク設定]をクリックして、ネットワーク設定画面を開きます。

下節を参照してAE-200J/AE-50J/EW-50JのIP、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを設定してください。

[取得]をクリックすると、「設定対象の集中コントローラ」で選択されたAE-200J/AE-50J/EW-50Jと通信を行い、現在のネットワーク設定を表示することができます。

[設定]をクリックすると、ネットワーク設定を「設定対象の集中コントローラ」に反映し、再起動します。

お知らせ

- LAN 2 設定は、BACnet® 機能専用です。BACnet® 機能の設定については、AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 BACnet® 機能編を参照してください。ただし、LAN2 の IP アドレスの初期値は "192.168.2.1" になっていますので、LAN 1 設定の IP アドレスを "192.168.2.1" にする必要がある場合のみ、LAN2 の IP アドレスを LAN1 と重複しないように変更してください。
- EW-50J を初期設定ツールの設定値で動作させる場合は、ロータリスイッチ (SW1) を「0」に変更してください。また、SW1 が「0」ではない場合、表示に関わらずゲートウェイは "0.0.0.0" で動作します。
- AE-200J の IP アドレスを変更した際には、AE-50J/EW-50J も再起動されます。

(1) AE-200J/AE-50J/EW-50J を専用 LAN に接続する場合の設定

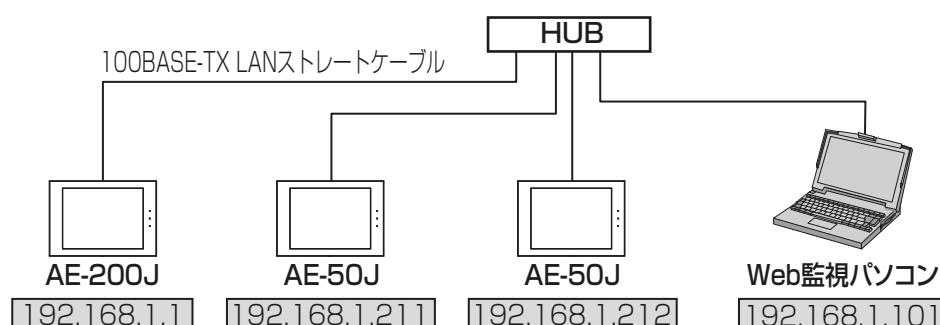
手順

1. 「IP アドレス」に各 AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを入力する。
LAN を新設した場合は、AE-200J の IP アドレスを "192.168.1.1" から順に割り当てます。例えば、1 台目の AE-200J の IP アドレスを "192.168.1.1"、2 台目の AE-200J は "192.168.1.2" などです。AE-50J/EW-50J の IP アドレスの設定は、"192.168.1.211" から順に割り当てます。

お知らせ

- 推奨する IP アドレス範囲は以下の通りです。
AE-200J : "192.168.1.1" ~ "192.168.1.40"
EW-50J (単独) : "192.168.1.1" ~ "192.168.1.40"
AE-50J/EW-50J (拡張) : "192.168.1.211" ~ "192.168.1.249"
パソコン : "192.168.1.101" ~ "192.168.1.150"

[IP アドレス設定例]

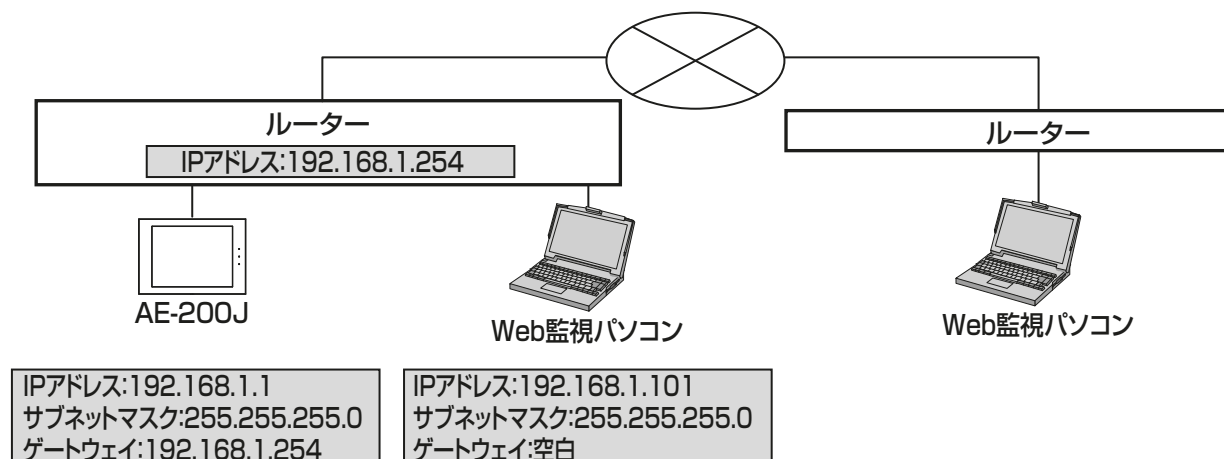


お知らせ

- HUBによっては、HUB同士を接続する専用ポートを備えています。
AE-200J/AE-50J/EW-50JとWeb監視パソコンは、通常ポートに接続してください。
- 複数のAE-200Jを接続する場合も同様に、IPアドレスが重複しないように設定してください。

2. 「サブネットマスク」に"255.255.255.0"を入力する。(特に指定がない場合)

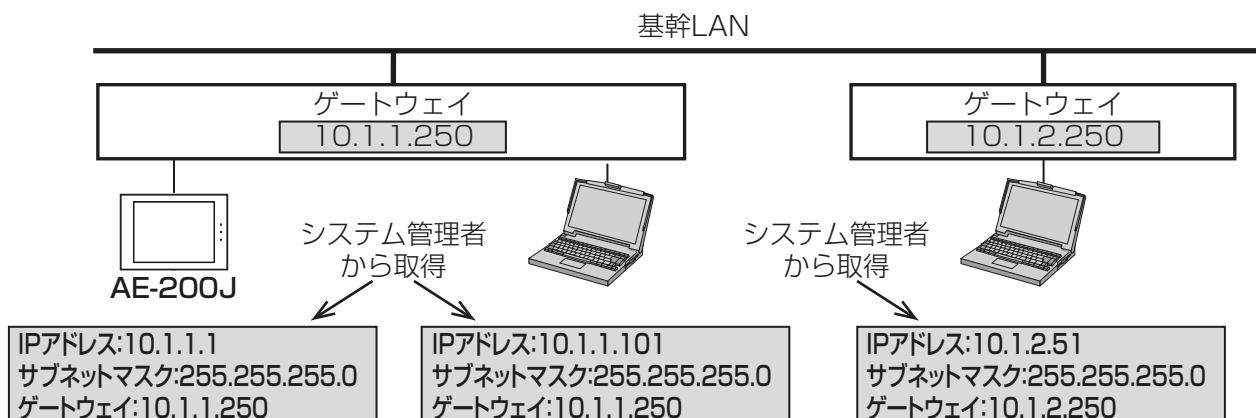
3. ブロードバンドルーター経由でシステムを遠隔で監視する場合、またはメール機能を使用する場合は、「ゲートウェイ」にルーターのIPアドレスを入力する。
ブロードバンドルーターを接続しない場合は、「ゲートウェイ」を空白のままとしてください。

〔遠隔監視システム例〕**お知らせ**

- ブロードバンドルーターのIPアドレスは"192.168.1.254"を設定することを推奨します。IPアドレスの設定方法は、ブロードバンドルーターの取扱説明書を参照してください。

(2) AE-200J/AE-50J/EW-50Jを既設LANに接続する場合の設定**手順**

1. AE-200J/AE-50J/EW-50Jを既設LANに接続する場合は、システム管理者と相談し、IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを設定する。

〔既設LANシステム例〕

[3] M-NET 設定

M-NETの設定	
M-NETアドレス	<input type="text" value="0"/>
操作禁止範囲	<input checked="" type="radio"/> SC・RC <input type="radio"/> RCのみ

手順

1. 「M-NET アドレス」に [0] を入力する。(特に指定がない場合)
2. 集中コントローラで手元リモコン操作が禁止されている場合に、下位システムコントローラと手元リモコンの両方からの操作を禁止するには、[SC・RC] を選択し、手元リモコンからの操作のみを禁止するには [RCのみ] を選択する。

[4] 外部入力の設定

外部入力の設定部で、外部接点入力機能を設定します。外部接点入力機能を用いると、別売の外部入出力アダプタ (PAC-YG10HA) を介してレベル信号やパルス信号で空調機などの一括停止、一括運転などが可能となります。

お知らせ

- ・デマンドコントローラと接続して、デマンドレベル(1～4)信号を入力することで、ピークカット制御ができます。
- ・ピークカット制御を使用する場合は、別途省エネピークカット制御ライセンスが必要です。
- ・AE-200J/AE-50J/EW-50Jのそれぞれで外部入力の設定を行ってください。

お願い

- ・詳細は「4-1-5. [5] 外部入力の設定」を参照してください。

外部入力の設定
<input checked="" type="radio"/> デマンドモード(レベル入力)／使用しない
<input type="radio"/> 緊急停止モード(レベル入力)
<input type="radio"/> 緊急停止 復元モード(レベル入力)
<input type="radio"/> 運転／停止モード(レベル入力)
<input type="radio"/> 運転／停止／操作禁止／操作許可モード(パルス入力)
<input type="radio"/> 緊急停止／警報出力解除
<input type="radio"/> 緊急停止 復元モード／警報出力解除

手順

1. [デマンドモード(レベル入力)／使用しない]、[緊急停止モード(レベル入力)]、[緊急停止 復元モード(レベル入力)]、[運転／停止モード(レベル入力)]、[運転／停止／操作禁止／操作許可モード(パルス入力)]、[緊急停止／警報出力解除]、[緊急停止 復元モード／警報出力解除] から選択する。

[5] 外部出力の設定

外部信号出力機能を使用することにより、レベル信号でAE-200J/AE-50J/EW-50Jの全系統内に接続されている空調機などの運転状態、異常状態を出力します。1台以上の空調機が運転している場合は、「運転」信号が出力されます。1台以上の空調機に異常が発生している場合に、「異常」信号が出力されます。
別売の外部入出力アダプター（PAC-YG10HA）が必要です。

お願い

- 詳細は「4-1-5. [6] 外部出力の設定」を参照してください。



[6] 高度な設定

[高度な設定] をクリックして、高度な設定画面を開きます。



(1) 時刻マスタ／サブ設定

手順

- 「時刻マスタ設定」で[マスタ]または[サブ]を選択し設定する。
接続されている機器を2台のAE-200Jで監視・操作する場合、1台を[マスタ]、もう1台のAE-200Jを[サブ]に設定してください。
「時刻マスタ設定」でサブとして設定されたAE-200Jは、マスタとして設定したAE-200Jの時刻に自動的に同期します。

お願い

- AE-200Jが1台の場合はマスタ（工場出荷設定）に設定してください。
- AE-50J/EW-50Jは複数台接続していても、全てマスタ（工場出荷設定）に設定してください。
- BACnet[®]機能を使用するシステム構成にて中央監視装置から時刻同期を行う場合の設定方法は、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 BACnet[®]設定ツール編 8-2-1 [3] 中央監視装置による時刻同期」を参照してください。

(2) スケジュール 季節設定

手順

- 「スケジュール 季節設定」で、有効／無効を設定する。
週間スケジュールで季節設定を有効にするには[有効]を、無効にするには[無効]を選択する。
特に指定のない限り、工場出荷時の設定の[有効]のままにしておきます。

(3) 旧機種互換モード

「旧機種互換モード」を[オン]または[オフ]から選択する。

デュアルオートモードに対応している室内ユニット(新室内機)と非対応の室内ユニット(旧室内機)が混在しており機能を統一した い場合や、BACnet® 機能を使用して、上位ビル管理システムと接続し、上位ビル管理システムがデュアルオートモードに対応していない場合は[オン]を選択することで、デュアルオートモード非対応に統一することができます。

[オン]を選択した場合、手元リモコンで操作禁止(風向、風速、タイマ)は使用できません。

使用できる項目は下記の通りです。

○：使用可 ー：使用不可

項目	旧機種互換モード設定	オフ		オン	
	機種	新室内ユニット	旧室内ユニット	新室内ユニット	旧室内ユニット
設定温度	デュアルオートモード	○	ー	ー	ー
	シングルオートモード	ー	○	○	
リモコン 操作禁止	運転/停止	○	○	○	
	運転モード	○	○	○	
	設定温度	○	○	○	
	フィルターサインリセット	○	○	○	
	風向	○	ー	ー	ー
	風速	○	ー	ー	ー
	タイマ	○	ー	ー	ー

お知らせ

- ・ 設定温度はデュアルオートモード対応用と非対応用の2種類存在するため、旧機種互換モードを運用中に変更する場合は以下の点に留意して対応してください。
 - ・ 設定温度が室内ユニットの初期値に戻るため、各グループの設定温度はあらかじめメモしておき、本設定を変更後に設定を元に戻してください。
 - ・ スケジュール設定の設定温度が未設定に戻るため、各グループのスケジュールの設定温度をあらかじめメモしておき、本設定を変更後にスケジュール設定を再設定してください。
 - ・ 連動制御の連動先機種において、連動先動作に設定温度を利用している場合は再設定してください。

[7] 表示の設定

「表示の設定」で、表示関連の設定を行います。

表示の設定

温度表示単位

☒ °C
 ☐ °F

圧力表示単位

☒ MPa
 ☐ PSI
 ☐ kgf/cm2

日付形式

☐ 31/12/2017
 ☐ 12/31/2017
 ☒ 2017/12/31

時間形式

☐ 06:00 PM
 ☒ 18:00

一覧画面グループ名表示

☒ オン
 ☐ オフ

フィルターサイン表示

☒ オン
 ☐ オフ

温度表示(液晶用)

☒ 室内温度常時表示
 ☐ 室内温度運転中表示
 ☐ 設定温度表示
☐ 室内温度常時表示・設定温度表示
 ☐ 室内温度運転中表示・設定温度表示
☐ 表示しない

温度表示(Web用)

☒ 室内温度常時表示
 ☐ 室内温度運転中表示
 ☐ 設定温度表示
☐ 室内温度常時表示・設定温度表示
 ☐ 室内温度運転中表示・設定温度表示
☐ 表示しない

人感センサ表示

☐ 非表示
 ☒ 在室マークを表示
 ☐ 不在マークを表示
 ☐ 在室/不在マークの両方を表示

照度センサ表示

☐ 非表示
 ☒ 明るいマークを表示
 ☐ 暗いマークを表示
 ☐ 明/暗マークの両方を表示

湿度センサ表示

☐ オン
 ☒ オフ

手順



1. 「温度表示単位」で、温度単位を選択する。
2. 「圧力表示単位」で、圧力単位を選択する。
3. 「日付形式」で、年月日の表示形式を選択する。
4. 「時間形式」で、時間の表示形式を選択する。
5. 「一覧画面グループ名表示」で、統合管理ブラウザの「監視・操作」画面のグループ名表示するかを設定します。表示する場合は[オン]を、表示しない場合は[オフ]を選択する。

6. 「フィルターサイン表示」で、統合管理ブラウザの「監視・操作」画面にフィルターサイン表示するかを設定します。表示する場合は**【オン】**を、表示しない場合は**【オフ】**を選択する。
【オフ】を選択した場合、室内ユニットがフィルターサインを検出した場合でも、フィルターサインは「監視・操作」画面に表示されません。
 フィルターを定期的に清掃し、サイン表示が不要な場合は、**【オフ】**を選択してください。
7. 「温度表示（液晶用）」「温度表示（Web用）」
 「温度表示（液晶用）」で、液晶画面のフロアまたはブロック画面での室内温度または設定温度の表示／非表示を設定します。
 「温度表示（Web用）」統合管理ブラウザのフロアレイアウト画面で、室内温度または設定温度の表示／非表示を設定します。
【室内温度常時表示】を選択すると、室内温度を常に表示します。
【室内温度運転中表示】を選択すると、室内温度を運転中だけ表示します。
【設定温度表示】を選択すると、設定温度を常に表示します。
【室内温度常時表示・設定温度表示】を選択すると、室内温度と設定温度を常に表示します。
【室内温度運転中表示・設定温度表示】を選択すると、室内温度を運転中だけ表示し、設定温度を常に表示します。
【表示しない】を選択すると、室内温度／設定温度を表示しません。

お知らせ

- 暖房モードで停止中のときに、室内温度の表示が実際の温度より高くなる場合があります。そのため、室内温度を表示するときは**【室内温度運転中表示】**または**【室内温度運転中表示・設定温度表示】**を選択することを推奨します。

8. 「人感センサ表示」で、MEリモコン（PAR-F30ME（1））に搭載されている人感センサが検知する在室／不在状態の表示／非表示を設定します。



在室状態マーク	不在状態マーク
 (青色)	 (灰色)

- 【非表示】**を選択する。
 運転状態のモニタ／操作画面に「在室中／不在時」マークを表示しません。
- 【在室マークを表示】**を選択する。
 MEリモコンのセンサが在室を検知した場合に「在室中」マークを表示します。
- 【不在マークを表示】**を選択する。
 MEリモコンのセンサが不在を検知した場合に「不在時」マークを表示します。
- 【在室／不在マークの両方を表示】**を選択する。
 検知状態に応じて「在室中」または「不在時」マークを表示します。

お知らせ

- 人感センサが搭載されていない手元リモコンの場合は、在室／不在状態マークは、運転状態のモニタ／操作画面に表示されません。

9. 「照度センサ表示」で、ME リモコン (PAR-F30ME (1)) に搭載されている照度センサで検知される明るい／暗い状態の表示／非表示を設定する。

明るい状態マーク	暗い状態マーク
 (黄色)	 (灰色)

【非表示】を選択する。

運転状態のモニタ／操作画面に明るい／暗い状態マークを表示しません。

【明るいマークを表示】を選択する。

部屋の明るさレベルがあらかじめ設定された明るさレベルに達したときに明るい状態マークを表示します。

【暗いマークを表示】を選択する。

部屋の暗さレベルがあらかじめ設定された暗さレベルに達したときに暗い状態マークを表示します。

【明／暗マークの両方を表示】を選択する。

検知状態に応じて明るいまたは暗い状態マークを表示します。

お知らせ

- ・ 照度センサが搭載されていない手元リモコンの場合は、明るい／暗い状態マークは、運転状態のモニタ／操作画面に表示されません。
- ・ 明／暗の検知値は、ME リモコン (PAR-F30ME (1)) で設定します。

10. 「湿度センサ表示」の設定は【オフ】のまま変更しないでください。

【オン】に設定しても湿度は表示されません。

[8] CSV ファイルの区切り記号・小数点記号

手順

1. AE-200J の CSV データ (エネルギー管理や按分結果) と料金計算ツールの CSV データ (料金計算結果) のファイル形式を設定する。

設定例、小数点記号：ピリオド / 区切り記号・カンマ

お願い

- ・ 料金計算ツール【詳細設定】の「CSV ファイルの小数点記号」と「CSV ファイルの区切り記号」の設定内容を合わせてください。
設定が異なると「CSV ファイルのフォーマットが不正です。取得先を確認してください。」のエラーが表示します。
- ・ 複数の AE-200J が接続されている場合は全て同一設定にしてください。

[9] 設定の保存

[1]～[8] の設定後、【確定】をクリックする。

5-4. ユニット設定

初期設定ツールによるユニット設定について説明します。

5-4-1. グループ設定

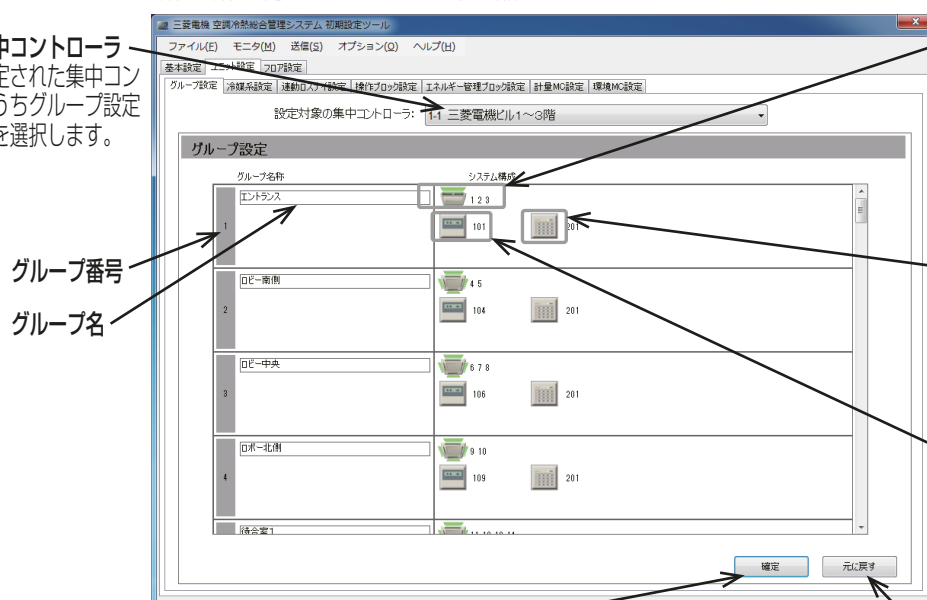
お知らせ

- グループ設定の詳細については「4-1-6. グループ設定 [1] 空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、ホットウォーターヒートポンプ、DT-R、ブラインクーラのグループ登録」を参照してください。
- 空調機、空調機 (A 制御)、ホットウォーターヒートポンプ、DT-R、ブラインクーラ、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、汎用機器は同一グループに登録することはできません。
- 既に他のグループに登録されているアドレスと冷媒系設定、連動ロスナイ設定、計量 MC 設定、環境 MC 設定に設定されているアドレスは、背景が灰色となり、選択できません。
- 加熱加湿付ロスナイ (LGH-**-RDF6) 以前の機種を登録する場合は、**[空調機]** を選択してください。
- スリム K シリーズ (個別マルチタイプ) を登録する場合は、**[空調機]** を選択してください。

手順

1. **[ユニット設定]** – **[グループ設定]** をクリックしてグループ設定画面を開く。
2. AE-200J/AE-50J/EW-50J に接続される空調機、ホットウォーターヒートポンプ、DT-R、ブラインクーラ、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、汎用機器、リモコン、システムコントローラのグループ登録を行う。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定された集中コントローラのうちグループ設定を行う対象を選択します。




ユニット登録
クリックして空調機、ホットウォーターヒートポンプ、DT-R、ブラインクーラ、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、および汎用機器を登録する画面を表示します。


システムコントローラ登録
クリックしてシステムコントローラを登録する画面を表示します。

リモコン登録
クリックしてリモコンを登録する画面を表示します。

確定
設定内容を確定します。


元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

3. 「グループ名称」にグループ名を最大 20 文字 (全角/半角) で入力する。
4. 「ユニット登録」の () をクリックして、「ユニットアドレスの選択」画面を表示する。
5. **[空調機]**、**[空調機 (A 制御)]**、**[ホットウォーターヒートポンプ]**、**[DT-R]**、**[ロスナイ]**、**[加熱加湿付ロスナイ]**、**[汎用機器 (PAC-YG66DC 接続)]** を選択する。
6. 登録するユニットのアドレス番号を選択する。
7. **[汎用機器 (PAC-YG66DC 接続)]** を選択した場合は、汎用機器が接続されている接点番号を選択する。
8. アイコンを変更するには、右または左矢印をクリックする。
ここで選択したアイコンは、AE-200J/AE-50J の液晶画面、AE-200J/AE-50J/EW-50J の統合管理ブラウザに表示されます。

9. [汎用機器 (PAC-YG66DC 接続)] を選択した場合は、「操作設定」で、汎用機器の操作可能範囲を設定する。
[操作可能 (一括、グループ単位)] を選択した場合は、汎用機器を一括またはグループごとに運転／停止操作が可能になります。
[操作可能 (グループ単位)] を選択した場合は、汎用機器をグループごとに運転／停止操作が可能になります。
[操作禁止 (監視のみ)] を選択した場合は、汎用機器の運転／停止操作はできません。
10. [汎用機器 (PAC-YG66DC 接続)] を選択した場合は、「表示設定」で、運転状態のモニタ／操作画面上のアイコンにユニットの運転／停止状態を反映するために、どの状態を使用するかを選択する。
汎用機器に出力する状態を使用するときは [接点出力状態]、汎用機からの入力状態を使用するときは [接点入力状態] を選択します。
11. 設定完了後に、[OK] をクリックする。
12. 「リモコン登録」の () をクリックする。
ユニットアドレスの選択画面を表示します。
13. 登録する ME リモコンのアドレス番号を選択して [OK] をクリックする。

お知らせ

- ・ 1 グループには最大 2 台の ME リモコンを登録できます。
- ・ 1 グループには ME リモコンとシステムコントローラを合わせて 4 台まで登録できます。
- ・ MA リモコンをグループに登録する必要はありません。

14. 「システムコントローラ登録」の () をクリックする。
ユニットアドレスの選択画面を表示します。
15. 登録するシステムコントローラのアドレス番号を選択して [OK] をクリックする。

お知らせ

- ・ 1 グループには ME リモコンとシステムコントローラを合わせて 4 台まで登録できます。

16. 各グループ設定完了後、[確定] をクリックする。

お知らせ

- ・ 「設定対象の集中コントローラ」で集中コントローラを切り替えて、グループ設定を行ってください。
- ・ 「設定対象の集中コントローラ」では、「5-3-1. 接続構成設定」にて [AE-200 (課金)]、[AE-200 (M-NET なし)] に設定したコントローラは選択できません。
- ・ 汎用インターフェース (PAC-YG66DC(1)) 1 台に汎用機器を最大 6 台接続できます。各接点はそれぞれ 1 台 (ユニット) とカウントします。
- ・ 1 グループには最大 16 ユニットの汎用機器 (1 接点は 1 ユニット) を登録できます。
- ・ 空調機、空調機 (A 制御)、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、ホットウォーターヒートポンプ、DT-R およびブラインクーラが登録されているグループを、汎用機器グループに変更する場合、まず空調機、空調機 (A 制御)、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、ホットウォーターヒートポンプ、DT-R およびブラインクーラの登録を取り消してください。
- ・ 汎用機器グループには、リモコンまたはシステムコントローラを登録することはできません。

5-4-2. 冷媒系設定

室外ユニット、サブ室外ユニットおよび室内ユニットの接続状態について設定を行います。

手順

1. [ユニット設定] – [冷媒系設定] をクリックする。

冷媒系設定画面が表示します。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定した集中コントローラのうち冷媒系設定を行う対象を選択します。

室外ユニット登録
クリックして室外ユニットを登録する画面を表示します。

モニター
AE-200J/AE-50J/EW-50J から実機の接続情報をモニターして設定内容を置き換えます。

室内ユニット登録
クリックして室内ユニットを登録する画面を表示します。

サブ室外ユニット登録
クリックしてサブ室外ユニットを登録する画面を表示します。

確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

2. ユニットが正しく接続されている状態で [モニター] をクリックする。

AE-200J から接続情報をモニターします。

3. 「室外ユニット」の () をクリックする。 室外機のユニットアドレス選択画面が表示します。

4. 登録する室外機のアドレス番号を選択して [OK] をクリックする。

5. 「サブ室外ユニット」の () をクリックする。 サブ室外機のユニットアドレス選択画面が表示します。

6. 登録するサブ室外機のアドレス番号を選択して [OK] をクリックする。

7. 「室内ユニット」の () をクリックする。 室内機のユニットアドレス選択画面が表示します。

8. 登録する室内機のアドレス番号を選択して [OK] をクリックする。

9. 各冷媒系設定完了後、[確定] をクリックする。

お知らせ

- 分流通コントローラの登録はありません。
- 実機の接続状態と一致させてください。また、AE-200J 本体液晶画面の [初期設定] – [冷媒系表示] を開いて、同一であることを確認してください。差異があった場合、正しく課金計算が行われません。
- A 制御機種がグループ登録されている場合は、「室外ユニット」と「室内ユニット」に A 制御機種のアドレスを表示します。
- [モニター] を行ったときに「警告メッセージ」が表示した場合は、空調機の接続情報と初期設定ツールのグループ設定／計量 MC 設定／環境 MC 設定が誤っている可能性があります。
[照合] を行い、照合結果を元に、設定の修正を行ってください。
- [モニター] により表示するユニットは、M-NET に接続しており、起動した状態のものです。取得できないユニットがある場合は、対象のユニットの状態を確認してください。

5-4-3. 連動ロスナイ設定

ロスナイ・加熱加湿付ロスナイを室内ユニットの運転／停止に連動して動作させることができます。

お知らせ

- ・ロスナイを運転／停止しても室内ユニットは連動しません。
- ・加熱加湿付ロスナイと室内ユニットを連動させる場合は、連動制御の設定をする、もしくは加熱加湿付ロスナイをグループ登録せずに連動ロスナイ設定をする必要があります。詳細は、「5-7. 連動制御設定」(例7：空調機間連動)を参照してください。

手順

1. [ユニット設定]－[連動ロスナイ設定]をクリックする。

連動ロスナイ設定画面を開きます。



連動ロスナイ登録
クリックして連動ロスナイを登録する画面を表示します。

連動元室内ユニット登録
クリックして連動元の室内ユニットを登録する画面を表示します。

確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

連動ロスナイ	室内ユニット
41	1
42	2 3 4
43	5 6
44	7 8 9 10
45	13 14
46	18 29 40
47	19 20 21 22 23

2. 「連動ロスナイ登録」の [] をクリックする。
ユニットアドレスの選択画面を表示します。
3. 連動させるロスナイのアドレス番号を選択して [OK] をクリックする。
4. 「連動元室内ユニット登録」の [] をクリックする。
ユニットアドレスの選択画面を表示します。
5. 連動元室内ユニットのアドレス番号を選択して [OK] をクリックする。
1 台のロスナイに対し、最大 16 台の室内ユニットを登録できます。
6. 各連動ロスナイ設定完了後、[確定] をクリックする。

5-4-4. 操作ブロック設定

ブロック設定を行うことで、ブロックに登録している複数のグループをAE-200J/AE-50J本体液晶画面と統合管理ブラウザ上で一括で状態監視／操作できます。

お知らせ

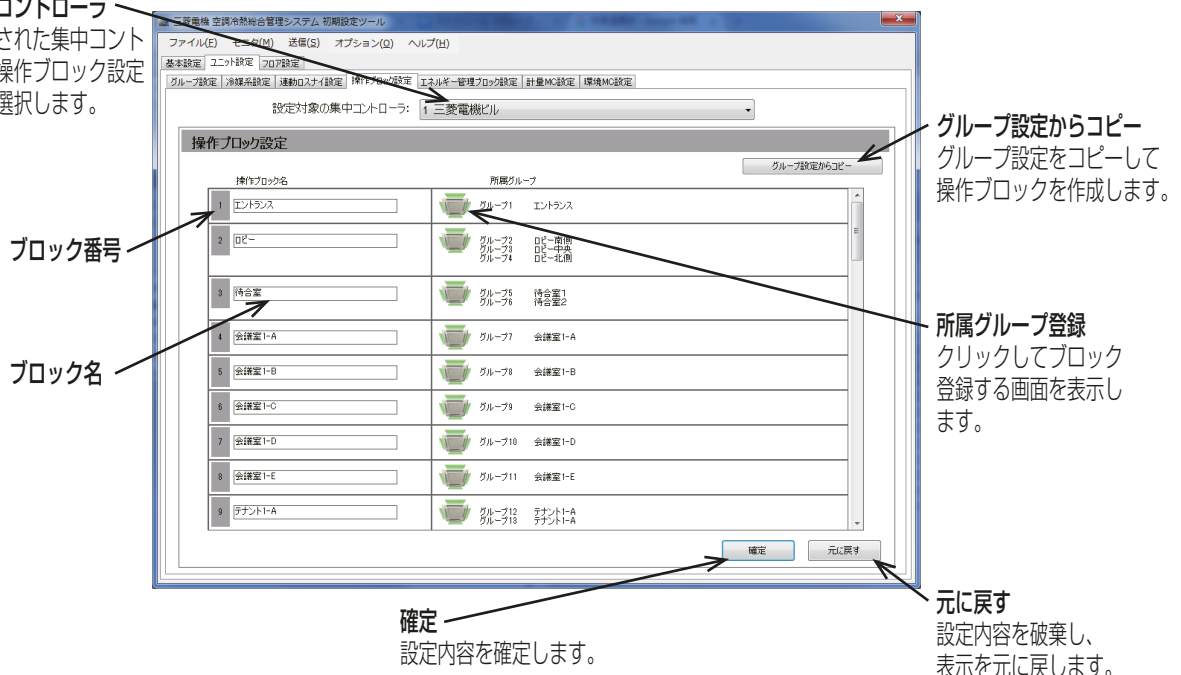
- ・ 省エネピークカット制御を使用するときは、ブロック設定を行ってください。
- ・ 24時間換気やナイトパージをするロスナイ・加熱加湿付ロスナイに対してピークカット停止制御を行うと、換気が停止するため、24時間換気やナイトパージをするロスナイ・加熱加湿付ロスナイは別ブロックに設定してください。
- ・ DT-R、ブラインクーラ、ホットウォーターヒートポンプのグループは操作ブロックに登録できません。

手順

1. [ユニット設定]－[操作ブロック設定]をクリックする。

操作ブロック設定画面を開きます。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定された集中コントローラのうち操作ブロック設定を行う対象を選択します。



2. 「操作ブロック名」に、ブロック名称を最大20文字(全角／半角)で入力する。

ブロック名称は液晶画面と統合管理ブラウザに表示されます。

3. 「所属グループ登録」の [] をクリックする。

グループの選択画面を表示します。

4. 登録したいグループ番号を選択して [OK] をクリックする。

(カーソルをグループ番号に合わせると、グループ名称が表示されます。)

5. 各操作ブロック設定完了後、[確定] をクリックする。

お知らせ

- ・ グループ設定と操作ブロック設定を同一にする場合は、[グループ設定からコピー] を選択してください。

5-4-5. エネルギー管理ブロック設定

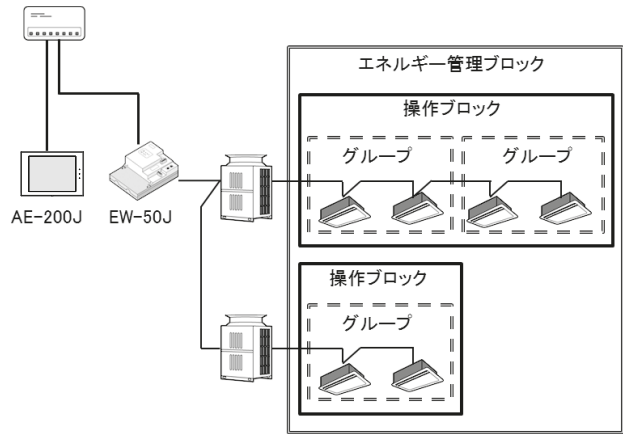
エネルギー管理ブロック設定を行うことで、複数の操作ブロックをAE-200J本体液晶画面と統合管理ブラウザ上で一括で状態監視/操作できます。

また、エネルギー管理ブロックは電力按分課金支援機能の集計単位として用います。電力按分課金支援機能についてはAE-200J/AE-50J/EW-50J取扱説明書（電力按分課金支援編）を参照してください。

[1] 概要

(1) エネルギー管理ブロック(テナント)とは

- エネルギー管理ブロック(テナント)とは、料金計算結果を表示・出力する単位です。
- エネルギー管理ブロック(テナント)は、操作ブロックの集まりです。
- 操作ブロックは、グループの集まりです。ただし、EW-50J単独使用時に別のEW-50Jのブロックとまとめることはできません。



(2) ロスナイ(加熱加湿付ロスナイを含む)の設定

ロスナイのシステム構成により、設定してください。

	使用方法		エネルギー管理ブロック設定方法
ロスナイ (加熱加湿機能なし)	室内ユニットと連動していない場合		電力按分する場合は、エネルギー管理ブロック(テナント)に [2] 3. にて 設定してください。
	室内ユニットとの連動の場合		設定は不要です。(課金の対象に設定できません) お知らせ ・ ロスナイの電力量は連動元の室内ユニットの運転状態により配分されます。
加 熱 加 湿 付 ロスナイ	室内ユニットと連動していない場合		エネルギー管理ブロック(テナント)に [2] 3. にて 設定してください。
	室内ユニットとの連動の場合	同一テナントの室内ユニットのみと連動している場合	連動元の室内ユニットと同一のエネルギー管理ブロック(テナント)に [2] 6. にて 設定してください。
		複数のテナントにまたがった連動をしている場合	独立したエネルギー管理ブロック(テナント)に [2] 3. にて 設定し、電力料金は、共益費などに含めてご請求してください。

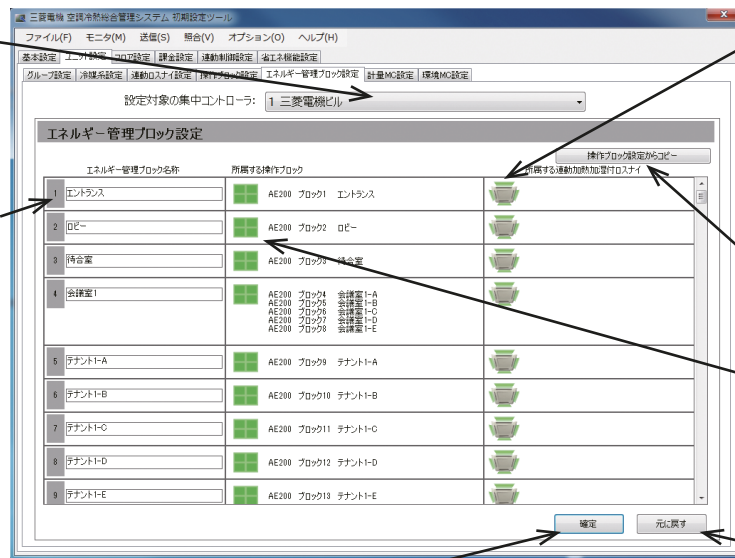
[2] エネルギー管理ブロック設定

手順

1. [ユニット設定] – [エネルギー管理ブロック設定] をクリックする。
エネルギー管理ブロック設定画面を開きます。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定された集中コントローラのうちグループ設定を行う対象を選択します。

エネルギー管理ブロック番号




所属する連動加熱加湿付ロスナイ登録
クリックして連動加熱加湿付ロスナイを登録する画面を表示します。

操作ブロック設定からコピー
操作ブロック設定をコピーしてエネルギー管理ブロックを作成します。

所属する操作ブロック登録
クリックして操作ブロックを登録する画面を表示します。


確認
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

2. 「エネルギー管理ブロック名称」を最大20文字（全角／半角）で入力する。
3. 「所属する操作ブロック」の () をクリックする。
操作ブロックの選択画面を表示します。
4. 登録する操作ブロックが所属する集中コントローラを [AE-200]、[Exp1] ～ [Exp4] から選択する。
5. 登録する操作ブロックのブロック番号を選択して [OK] をクリックする。

お知らせ

- ・ ブロック番号にカーソルを合わせるとブロック名称が表示されます。

6. 「所属する連動加熱加湿付ロスナイ」の () をクリックする。
ユニットアドレスの選択画面を表示します。

お知らせ

- ・ 電力按分課金支援機能を使用する場合のみ、設定を行ってください。

7. 登録する連動加熱加湿付ロスナイが所属する集中コントローラを [AE-200]、[Exp1] ～ [Exp4] から選択する。
8. 登録する連動加熱加湿付ロスナイのユニットアドレスを選択して [OK] をクリックする。

お知らせ

- ・ ブロック番号にカーソルを合わせるとブロック名称が表示されます。

9. 各エネルギー管理ブロック設定完了後、[確認] をクリックする。

お知らせ

- ・ 操作ブロック設定とエネルギー管理ブロック設定を同一にする場合は、[操作ブロック設定からコピー] を選択してコピーした後、手順6～8で加熱加湿付ロスナイの設定を行ってください。

5-4-7. 環境 MC 設定

温度センサ、湿度センサを使用するために環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC(1)) の登録と計測設定を行います。

お知らせ

- グループ設定、冷媒系設定、連動ロスナイ設定、計量 MC 設定で登録されていないアドレスのみ選択可能です。

手順

1. [ユニット設定] - [環境 MC 設定] をクリックする。

環境 MC 設定画面を開きます。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定された集中コントローラのうち環境 MC 設定を行う対象を選択します。

環境 MC 登録
クリックして環境 MC を登録する画面を表示します。

計測設定

メールアドレス設定

確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

センサ名称

温度または湿度センサアイコンを選択します。

計測範囲

警告メール機能の上限/下限・検知/解除の値を設定します。

上限 (検知値)

上限 (解除値)

下限 (検知値)

下限 (解除値)

現在値を取得

- 「環境 MC アドレス」の () をクリックする。
ユニットアドレスの選択画面を表示します。
- 登録する環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC(1)) のアドレス番号を選択し、[OK] をクリックする。
選択したアドレスは、背景が黄緑色になります。
選択を取り消したい場合は、再度クリックすることで非選択状態 (背景が薄灰色) になります。
- センサの名称を入力する。
最大 20 文字 (全角/半角) で入力します。
- Ch1、Ch2 のそれぞれで温度センサアイコン () または湿度センサアイコン () を選択する。
「使用しない」も選択できます。

6. センサの計測範囲を入力する。

Pt100 センサを接続した場合、 $-30 \sim +60^{\circ}\text{C}$ で設定してください。(Pt100 センサはCh1 のみ使用可)

Pt100 センサ以外のセンサを接続した場合は、センサの取扱説明書に記載されている範囲を入力してください。

7. 温度または湿度がある所定値を超えた場合に警告メールを受信するには、上限および下限温度の両方について検知および解除値を設定する。

検知／解除を過度に検出しないように、検知値と解除値の差を 1°C 以上離すことを推奨します。

8. 各温度センサまたは湿度センサ設定完了後、**[確定]** をクリックする。

[1] 測定温度 / 湿度値の補正

測定値の補正が必要な場合、補正を行います。

[取得] をタッチして現在値の取得を行い、ご利用環境に合わせて補正値を入力してください。

お知らせ

- ・ 設定対象の集中コントローラに環境用計測コントローラの接続設定が保存されていない場合、**[取得]** をクリックしても「計測値」は表示されません。
- ・ 環境用計測コントローラを初めて登録する場合は、「計測値」のモニタはできません。「計測値」を取得して確認後に「補正値」を入力する場合は、一度、設定情報を集中コントローラに送信する必要があります。環境MCと温度/湿度センサの登録後に、集中コントローラに設定データを送信してください。([5] 設定状態の送信)
- ・ 温度センサの補正値の初期値は「0.0」となります。 $-10.0 \sim +10.0^{\circ}\text{C}$ の範囲で設定することができます。
- ・ 湿度センサの補正値の初期値は「0.0」となります。 $-10.0 \sim +10.0\%$ の範囲で設定することができます。

[2] 警告メール機能設定

温度または湿度がある所定値を超えた場合に警告メールを受信したいときにメール設定を行います。
メール機能を利用する場合、以下の手順の他に、統合管理ブラウザから送信メールサーバの設定が必要です
（「6-1-1. メール設定 [2] メールサーバ情報」を参照してください）。

手順

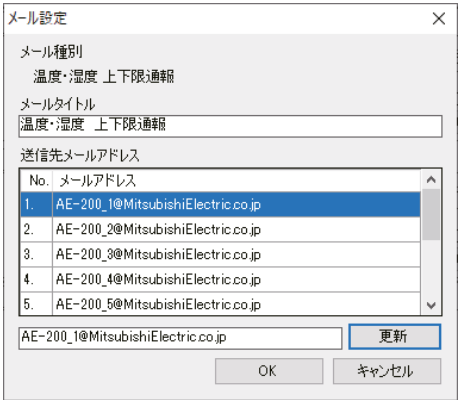
- 1. 「環境 MC 設定」画面で「メールアドレス設定」をクリックする。
「メール設定」画面を開きます。
- 2. 「メールタイトル」で、メールタイトルを入力する。

お知らせ

- ・「メールタイトル」には、次の文字は使用できません
< > & " ' 半角カナ文字
- 3. 「送信先メールアドレス」で、変更する No. をクリックし、メールアドレスを入力し、[更新] をクリックする。

お知らせ

- ・「メールアドレス」は40文字以内にしてください。



警告メールは、下記の形式で送信されます。

送信元: 三菱ビル (000001)
発生日時: 2014/03/31
19:13:42
アドレス: 22-1
現在値: 23.1 ℃
状態: 上限値超過
過去の推移:
19:13 22.9 ℃
19:12 22.7 ℃
19:11 22.3 ℃
19:10 21.3 ℃
19:09 20.6 ℃
19:08 20.2 ℃
19:07 20.4 ℃
19:06 20.2 ℃
19:05 20.5 ℃
19:04 20.2 ℃

項目	フォーマット
送信元	AE-200J/AE-50J/EW-50J の名称 + 識別番号 お知らせ ・ AE-200J/AE-50J/EW-50J の名称と識別番号 の設定方法は 5-3-2 章を参照してください。
発生日時	yyyy/MM/dd hh:mm:ss お知らせ ・ 日付フォーマットは「5-3-2. 基本システム設定」で 設定した内容が反映されます。
アドレス	環境用計測コントローラの M-NET アドレス - センサ 番号
現在値	現在の温度または湿度 (小数点 1 桁) お知らせ ・ センサ値が安定するまでの間、現在値が「**.*」で送 信されることがあります。
状態	“上限値超過” または “上限値復旧” または “下限値超過” または “下限値復旧”
過去の推移	時刻 + 温度または湿度 (過去 10 分間)

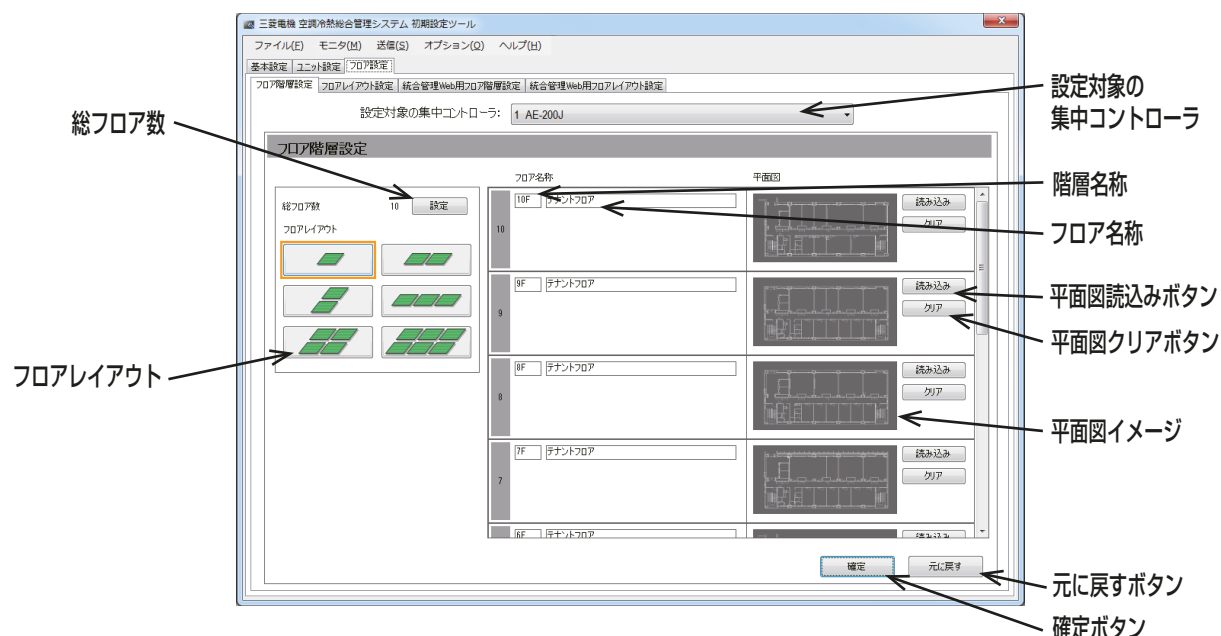
5-5. フロア設定

5-5-1. フロア階層設定

液晶画面の【監視/操作】メニューのフロアで表示されるフロアのレイアウトを設定・変更、およびフロアに配置するグループアイコンの表示位置を変更できます。

【フロア設定】－【フロア階層設定】をクリックする。

フロア階層設定画面が表示されます。

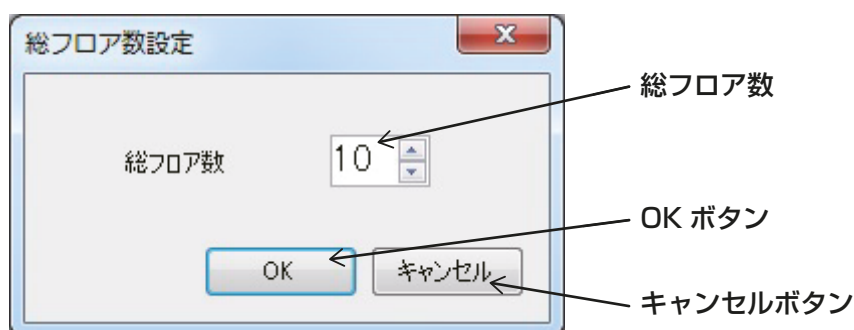


手順

1. 設定対象の集中コントローラを選択する。
選択した集中コントローラのフロア階層設定が表示されます。


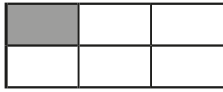

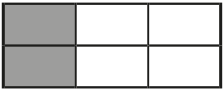

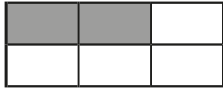

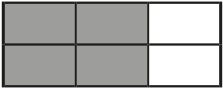

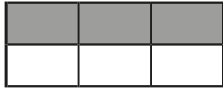

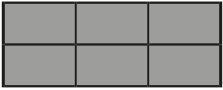
お知らせ

- ・ 設定対象の集中コントローラのNoは「5-3-1. 接続構成設定」にて表示されているNoです。名称は、基本システム設定の本体の設定・名称が表示されます。
2. 【総フロア数設定】の【設定】をクリックし、総フロア数設定画面を開く。
 3. 総フロア数をキーボードから入力もしくは上下のボタンをクリックして設定する。



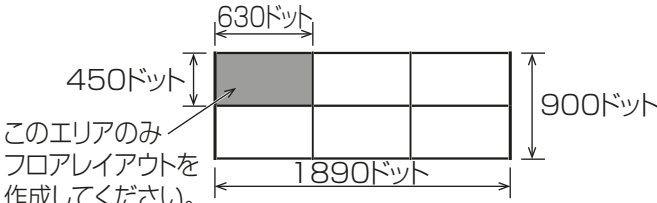
お知らせ

- ・ 総フロア数を「0」に設定した場合は、すべてのグループがフロア未登録グループになります。
 - ・ 10 フロアまで登録することができます。
- フロアレイアウト設定によって、フロアレイアウト画面で表示できるエリアが変わります。

レイアウトボタン	表示エリア	レイアウトボタン	表示エリア
			
			
			

4. [フロアレイアウト]で使用したい[レイアウト]をクリックして選択する。
5. [階層名称]を半角英数字最大3文字で入力する。
6. [フロア名称]を全角/半角最大20文字で入力する。
7. フロア平面図を読み込むには、[読み込み]をクリックし、読み込むファイルを選択する。
読み込むファイルの制限事項については下表および次ページの表を参照してください。
読み込んだフロア平面図を削除する場合は、[クリア]をクリックする。
8. [確定]をクリックして、設定を保存する。

[1] ファイルの制約事項

ファイル サイズ	<p>900 (縦) × 1890 (横) ドット (フロア単位ごと)</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表示エリア数に関わらずファイルサイズは900 (縦) × 1890 (横) ドットにしてください。 例：表示エリアが1の場合でもファイルサイズは900 (縦) × 1890 (横) ドットにして、6分割の左上にのみ図面を作成してください。 
ファイル 容量	600KB 以下 (フロア単位ごと)
ファイル 形式	<p>gif</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拡張データ (XMP、透過 gif、インタレース gif、モーション gif などのメタデータ) 付のファイルは読み込めません。

使用可能
(RGB)

使用できる色は以下の通りです (RGB表示)

※ これ以外の色は、設定した色と違う色が表示されますので、この中の色を使用して画像を作成してください。

R	G	B
224	71	72
221	151	152
81	66	81
105	89	105
17	16	17
51	42	52
27	23	30
165	145	185
33	37	57
2	17	85
6	35	160
6	28	122
9	40	168
12	45	176
154	162	194
211	214	227
15	49	182
17	53	188
20	57	195
24	64	205
17	46	149
21	52	163
28	70	215
32	64	178
45	80	204
44	75	190
55	90	213
69	99	205
99	122	202

R	G	B
101	112	150
126	137	176
142	149	175
175	180	199
33	77	225
37	83	234
39	86	240
41	89	245
42	92	249
46	93	246
23	47	124
63	104	238
77	116	241
99	137	255
126	146	214
149	170	235
70	79	108
179	189	222
191	202	230
192	210	241
163	170	180
236	242	250
159	185	210
144	154	162
204	228	245
112	183	219
126	139	145
214	241	251
159	240	253

R	G	B
130	150	153
105	134	135
37	96	86
204	214	211
48	64	59
250	255	253
227	255	243
241	255	248
237	249	243
67	97	79
59	78	66
61	116	80
85	128	100
154	177	162
14	45	24
59	93	70
178	187	181
46	181	88
59	157	90
90	213	129
214	255	225
224	239	228
129	155	135
178	194	182
115	255	143
99	193	117
182	201	185
59	255	88
19	255	48

R	G	B
176	255	185
238	255	240
154	255	163
198	255	203
106	255	116
137	255	144
226	252	227
124	233	125
250	255	250
167	229	166
107	145	104
182	211	180
23	95	15
149	211	141
128	140	126
95	202	74
194	231	186
147	169	142
41	177	3
166	203	154
208	224	202
219	235	211
172	187	164
203	211	197
241	244	238
199	201	195
110	114	98
127	129	119
210	211	196

R	G	B
255	253	185
193	193	150
255	255	221
121	121	106
162	162	147
142	142	129
94	94	89
212	212	203
235	235	227
213	213	207
203	203	198
137	137	134
116	116	114
245	245	242
85	85	84
121	121	120
253	253	252
119	117	23
255	253	143
253	241	7
174	173	157
208	195	0
220	210	64
156	153	113
201	199	175
151	150	136
187	175	71
195	193	175
198	197	187

R	G	B
179	159	1
172	169	147
187	185	169
179	177	162
205	203	187
224	222	206
212	201	139
136	134	122
158	156	143
217	215	202
230	228	216
142	128	71
254	246	220
244	237	215
33	25	2
111	110	107
63	43	4
106	104	100
133	132	130
116	79	14
254	251	246
255	151	0
93	61	13
254	221	171
157	97	18
211	205	197
205	128	31
187	116	28
219	138	35

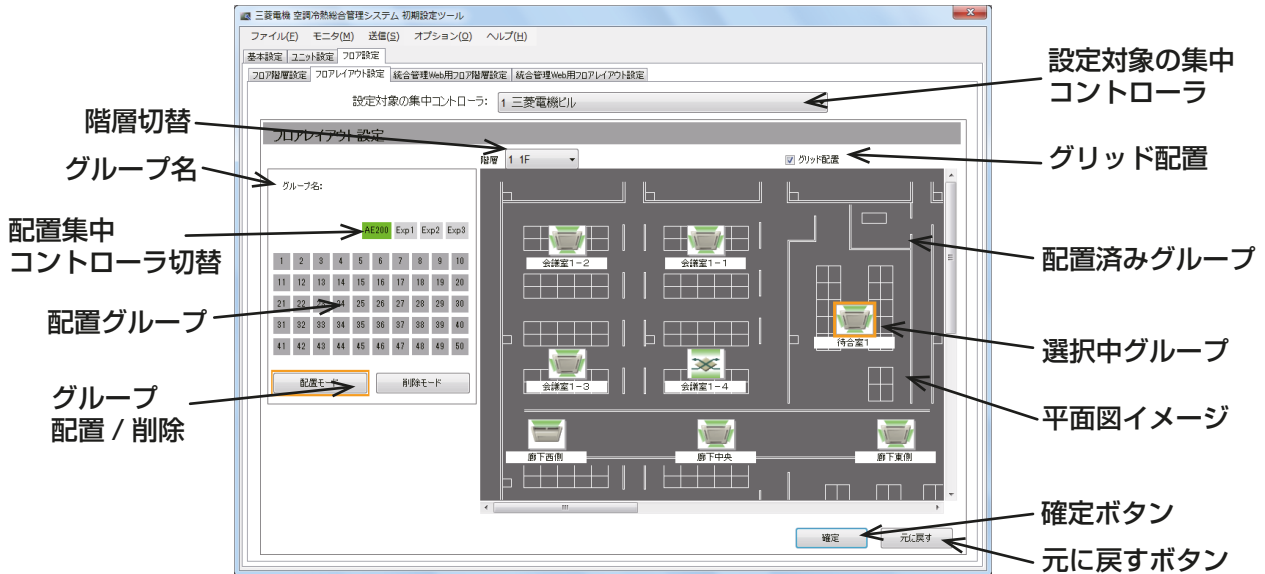
R	G	B
225	148	50
214	159	89
77	76	75
230	211	206
207	203	202
225	197	192
225	8	8
221	179	179
152	151	151
255	255	255
250	250	250
249	249	249
246	246	246
243	243	243
241	241	241
239	239	239
236	236	236
232	232	232
228	228	228
225	225	225
220	220	220
217	217	217
215	215	215
211	211	211
209	209	209
207	207	207
205	205	205
202	202	202
198	198	198

R	G	B
195	195	195
193	193	193
191	191	191
189	189	189
185	185	185
179	179	179
173	173	173
171	171	171
169	169	169
166	166	166
161	161	161
154	154	154
148	148	148
143	143	143
133	133	133
129	129	129
103	103	103
82	82	82
70	70	70
64	64	64
58	58	58
51	51	51
44	44	44
41	41	41
34	34	34
4	4	4
0	0	0
255	170	63
255	203	131

※ 初期の背景色は、RGB [103、103、103] を使用しています。

5-5-2. フロアレイアウト設定

[フロア設定] – [フロアレイアウト設定] をクリックしてフロアレイアウト設定画面を開きます。



手順

グループ配置

1. [配置モード] をクリックする。
2. 設定対象の集中コントローラを選択する。
3. 配置切り替えの階層を選択する。
4. 表示エリアを上下スクロール、左右スクロールで切り替える。
5. 配置させるグループを管理しているコントローラを選択する。(EW-50Jは選択できません。)
6. 配置させるグループ番号を選択する。

お知らせ

- ・ **5** (緑)が選択中グループ、**2** (濃いグレー)が配置済みグループ、**1** (薄いグレー)が選択可能グループとなります。

7. 平面図イメージ上をクリックしてグループアイコンを配置する。

お知らせ

- ・ グループアイコンを重ねて配置すると、グループ番号が大きい方が上に配置されます。

8. [確定] をクリックして変更を保存する。

グループのエリア内移動

1. [配置モード] をクリックする。
2. 表示エリア内で移動したいグループアイコンをクリックし、選択状態 (オレンジ枠表示) にする。

お知らせ

- ・ グループアイコンをクリックする前にグリッド配置をチェック状態 (☒) にすると、グループアイコンを一定間隔で配置できます。

また、チェックを外した状態 (☐) にすると、グループアイコンを細かく配置できます。

3. 移動させる場所で再度クリックするとグループアイコンの位置が確定される。
4. [確定] をクリックして変更を保存する。

グループ削除

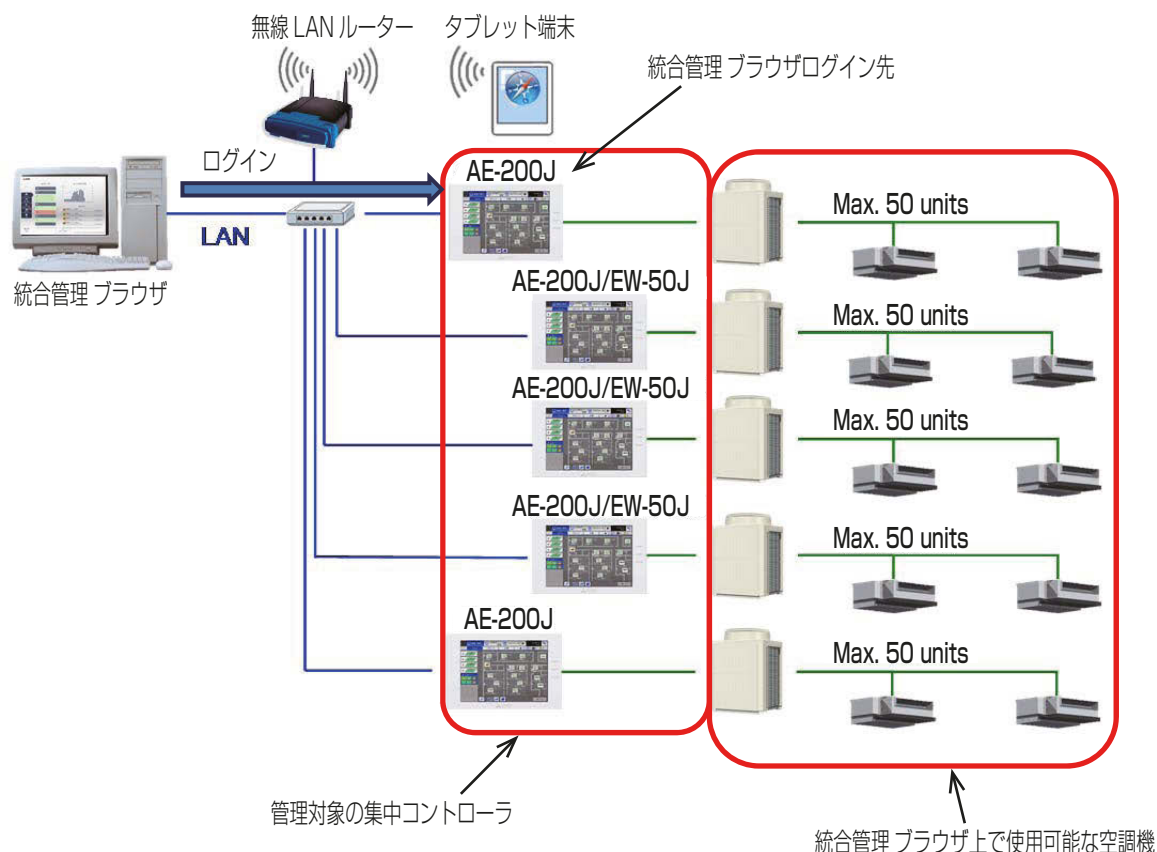
1. [削除モード] をクリックする。
2. 配置済みグループアイコンをクリックすると、そのグループが選択可能グループに戻る。
3. [確定] をクリックして変更を保存する。

お知らせ

- 1つの表示エリアに最大30グループまで配置できます。縦2×横3のレイアウトの場合、1フロアに最大180グループまで配置できます。
- 未配置のグループは液晶画面のフロア未登録グループに表示されます。

5-5-3. 統合管理 Web 用フロア階層設定

統合管理ブラウザを利用して、集中コントローラをまたがって空調機の監視・操作する場合のフロアに関する設定を行います。ログイン先として設定した集中コントローラにWebブラウザからログインすることで、管理対象の集中コントローラに接続されている全ての空調機の監視・操作を統合管理ブラウザ上で行うことができます。



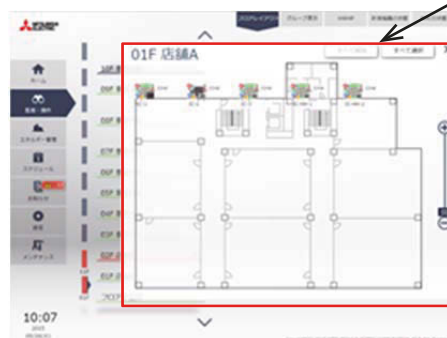
ここでは、統合管理ブラウザを使って管理する対象の集中コントローラと、フロア階層、フロア名称などのフロア設定、平面図の設定を行います。

フロア階層設定



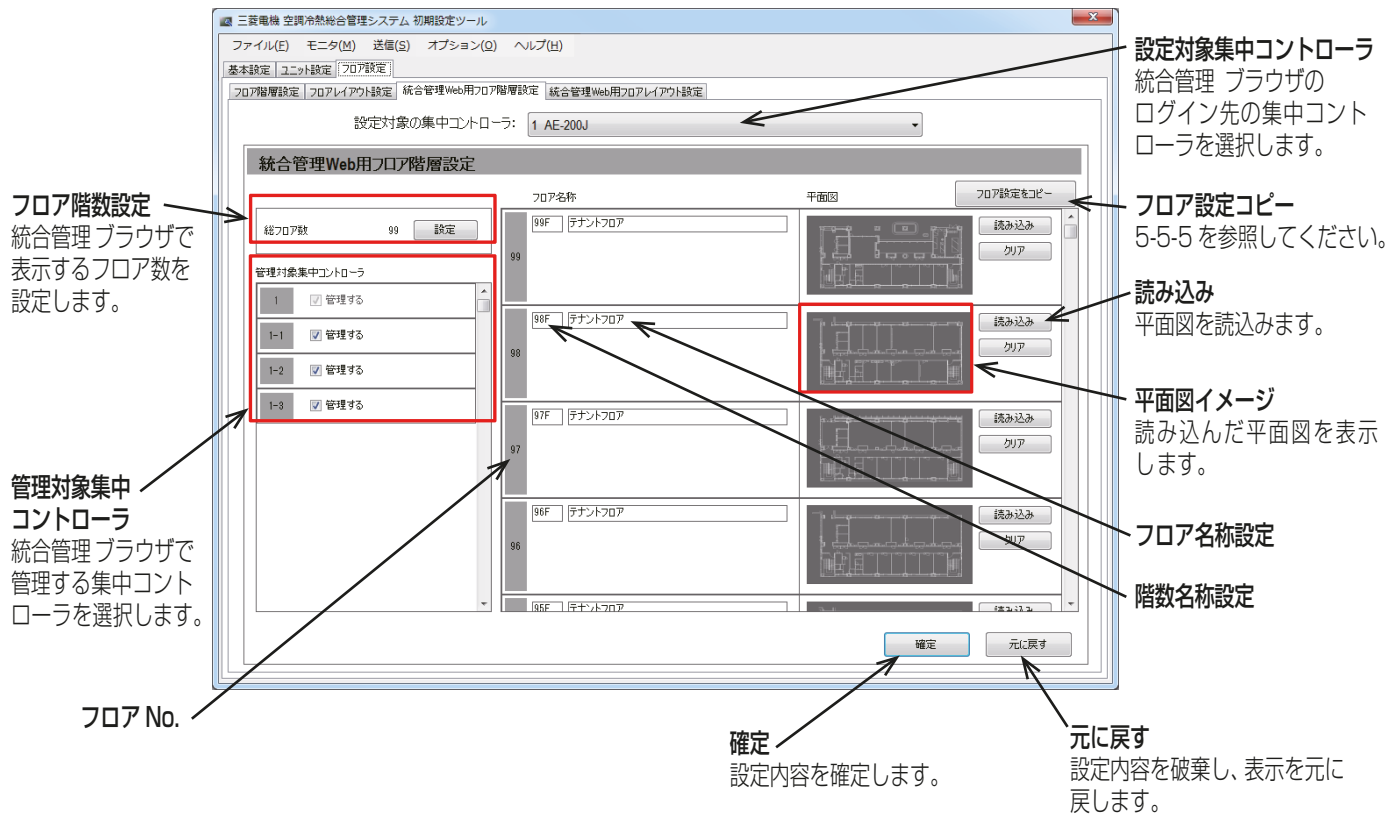
フロア名称

平面図



手順

1. [フロア設定] – [統合管理 Web 用フロア階層設定] をクリックする。
「統合管理 Web 用フロア階層設定」画面が表示されます。

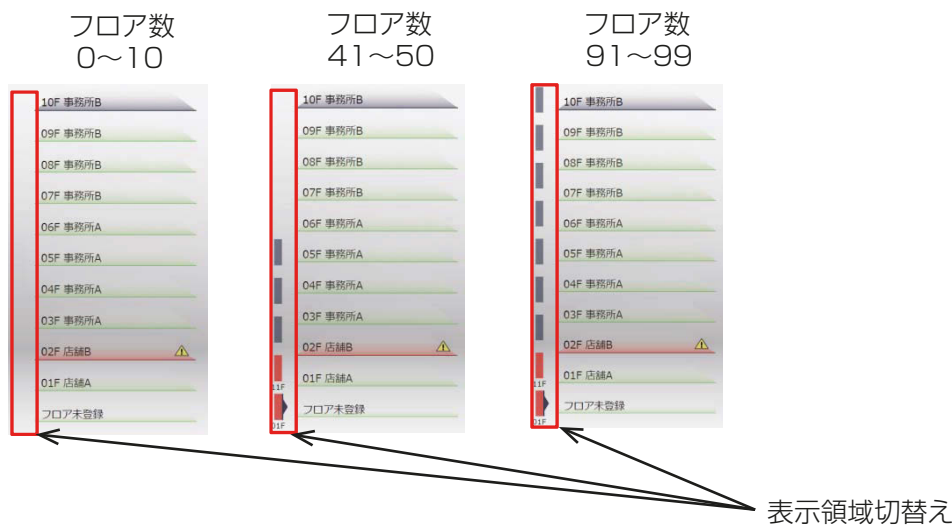


2. [設定対象の集中コントローラ] を選択する。
選択した集中コントローラの統合管理 Web 用フロア階層設定が表示されます。

お知らせ

- 選択した設定対象の集中コントローラに Web ブラウザでログインし、統合管理ブラウザ機能を使用します。

3. 「フロア階数設定」で統合管理ブラウザで表示するフロアの総数を設定する。
- ・ 総フロア数の[設定]をクリックし、総フロア数設定画面を開く。
 - ・ 総フロア数をキーボードから入力もしくは上下のボタンをクリックして設定する。

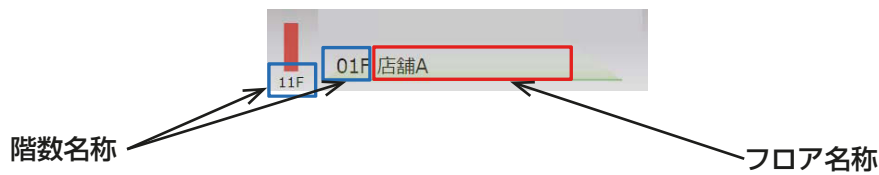


お知らせ

- ・ 総フロア数を「0」に設定した場合は、すべてのグループがフロア未登録グループになります。
 - ・ フロア数は最大99フロアまで設定できます。統合管理ブラウザでは10フロア単位に分割されて表示されます。
4. 「管理対象集中コントローラ」で統合管理ブラウザで管理する対象の集中コントローラを設定する。
「5-3-1. 接続構成設定」で設定された集中コントローラ、拡張コントローラが表示されます。
「管理する」の左横の□を☑にすることで統合管理ブラウザの管理対象の集中コントローラとなります。
AE-200Jが1台目で☑が灰色であっても、初期設定ツールでの設定および送信が必要です。

お知らせ

- ・ 管理対象集中コントローラを☑「管理する」として設定送信することで、管理対象集中コントローラで統合管理ブラウザを利用できるようになります。
5. 「フロア名称」でフロアレイアウトに表示される階数名称とフロア名称を設定する。
階数名称は半角英数字3文字まで入力できます。
フロア名称は全角／半角20文字まで入力できます。



6. 「平面図」でフロアレイアウトイメージを読み込み、設定する。
- ・ 「読み込み」をクリックし、読み込むファイルを選択します。
 - ・ 読み込んだフロア平面図を削除する場合は、「クリア」をクリックします。

お知らせ

- ・ フロアレイアウトイメージは以下のファイルサイズ、形式以外は読み込めません。

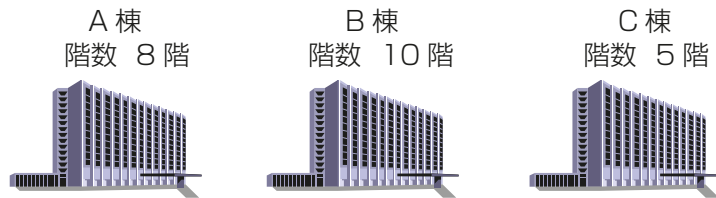
平面図サイズ	450 (縦) × 630 (横) ～ 900 (縦) × 1890 (横) ドット
ファイル形式	gif
ファイル容量	600KB 以下 (フロア単位ごと)

7. 設定完了後、[確定]をクリックする。

お知らせ

- ・ 階数名称の設定を工夫することで複数棟を管理する場合に応用することができます。

例) A～C棟までの3棟分の建物を管理したい場合
フロア設定を以下のように設定します。



設定内容

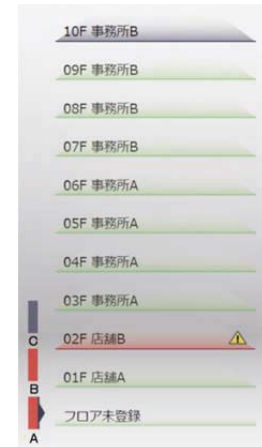
総フロア数：25

階数名称の設定：No.1=A, No.11=B, No.21=C

フロア名称：No.1～No.8 = 1F ****～8F *****

No.11～No.20=1F ****～10F *****

No.21～No.25=1F ****～5F *****



5-5-4. 統合管理 Web 用フロアレイアウト設定

統合管理ブラウザのフロアレイアウト上に表示する、空調機のアイコンを配置します。

お知らせ

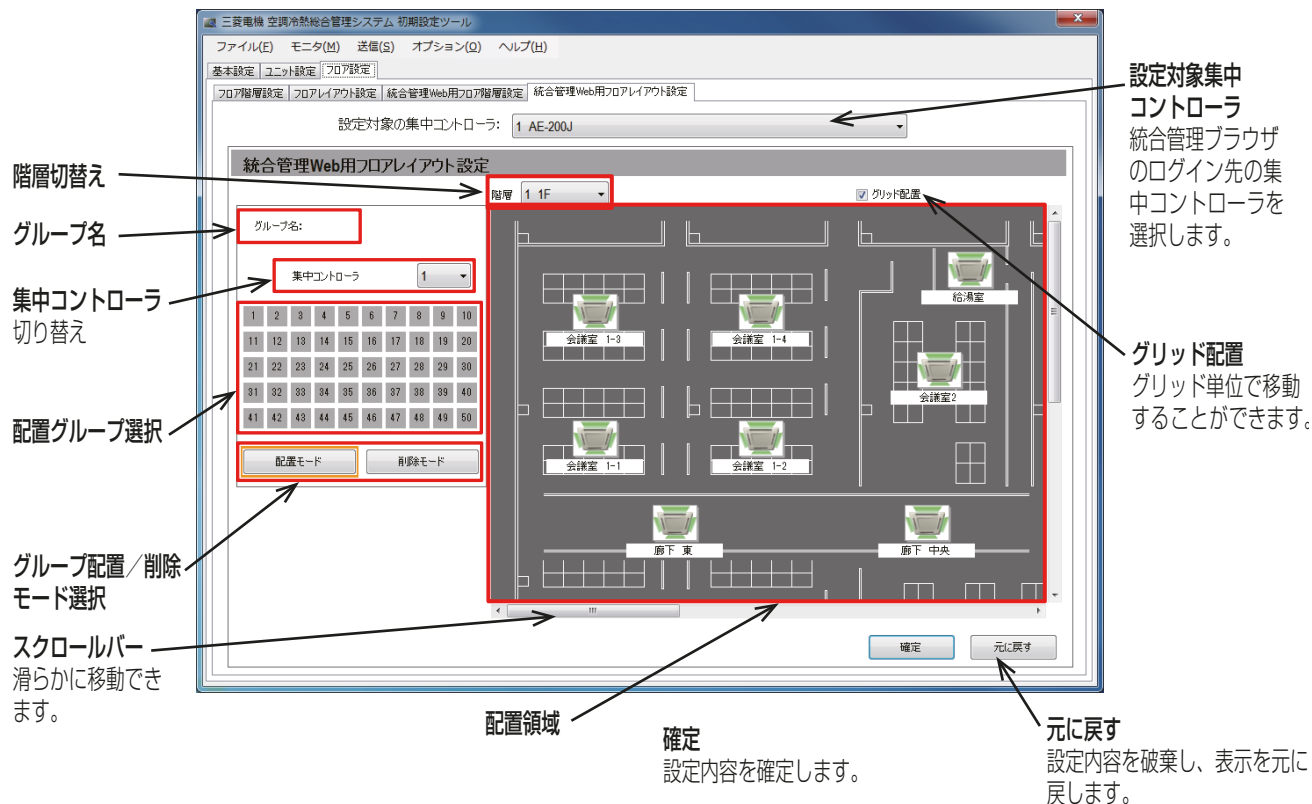
- 「統合管理 Web 用フロア階層設定」の「管理対象集中コントローラ」で選択した集中コントローラに登録された空調機グループを配置することができます。



手順

1. [フロア設定] – [統合管理 Web 用フロアレイアウト設定] をクリックする。

統合管理 Web 用フロアレイアウト設定画面が表示されます。



2. [設定対象の集中コントローラ] を選択する。

お知らせ

- 「5-5-3. 統合管理 Web 用フロア階層設定」で設定した設定対象の集中コントローラを選択してください。

3. 「階層切替え」で空調機グループを配置するフロア階層を選択する。
「5-5-3. 統合管理 Web 用フロア階層設定」で設定したフロアレイアウト図が表示されます。
4. 「集中コントローラ切替え」で配置する空調機グループの集中コントローラ番号を選択する。
5. 「配置グループ選択」で配置する空調機グループを選択する。
6. 「配置領域」のフロアレイアウト図上に空調機アイコンを配置する。
7. 設定完了後、**[確定]**をクリックする。

お知らせ

- ・ 1つのフロアレイアウト図に空調機アイコンは180グループまで配置可能です。
- ・ フロアレイアウト図が登録されていない場合、白いフロアが表示されます。
- ・ 統合管理ブラウザにログインしている状態でフロアレイアウトの設定を変更した場合、一旦ログアウトした後、再度ログインが必要です。

5-5-5. 便利な使い方

(1) AE-200Jの液晶画面と統合管理ブラウザのフロアレイアウトを一致させる

統合管理ブラウザ上で、液晶画面と同等のフロアレイアウトを利用する設定を行います。

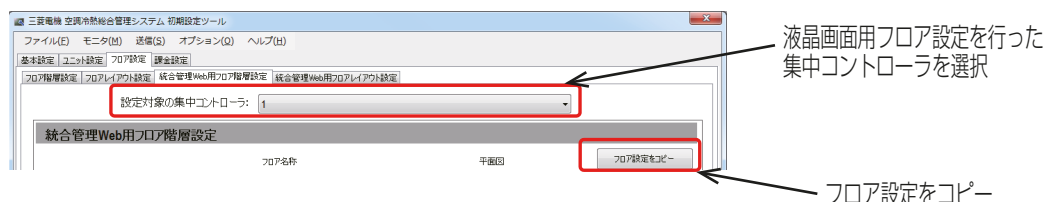


お知らせ

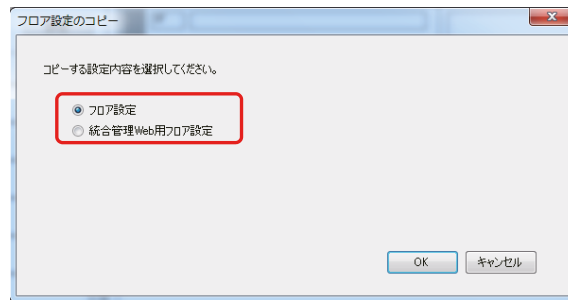
- ・ 液晶画面上では、フロアレイアウト図が分割されて表示されますが、統合管理ブラウザ上では分割されずにフロアレイアウト全体が表示されます。

手順

1. 液晶画面用のフロア設定を行う。
設定対象集中コントローラに対して、「5-5-1. フロア階層設定」、「5-5-2. フロアレイアウト設定」を設定します。
2. 統合管理ブラウザのフロア設定を行う。
[フロア設定]-[統合管理 Web 用フロア階層設定]をクリックし、[設定対象の集中コントローラ]に手順1で設定した集中コントローラを選択します。



3. [フロア設定をコピー]をクリックし、[液晶用フロア設定]を選択する。



4. [OK]をクリックする。

「手順 1」で設定した集中コントローラの「5-5-1. フロア階層設定」、「5-5-2. フロアレイアウト設定」の設定内容が「5-5-3. 統合管理 Web 用フロア階層設定」、「5-5-4. 統合管理 Web 用フロアレイアウト設定」にコピーされます。

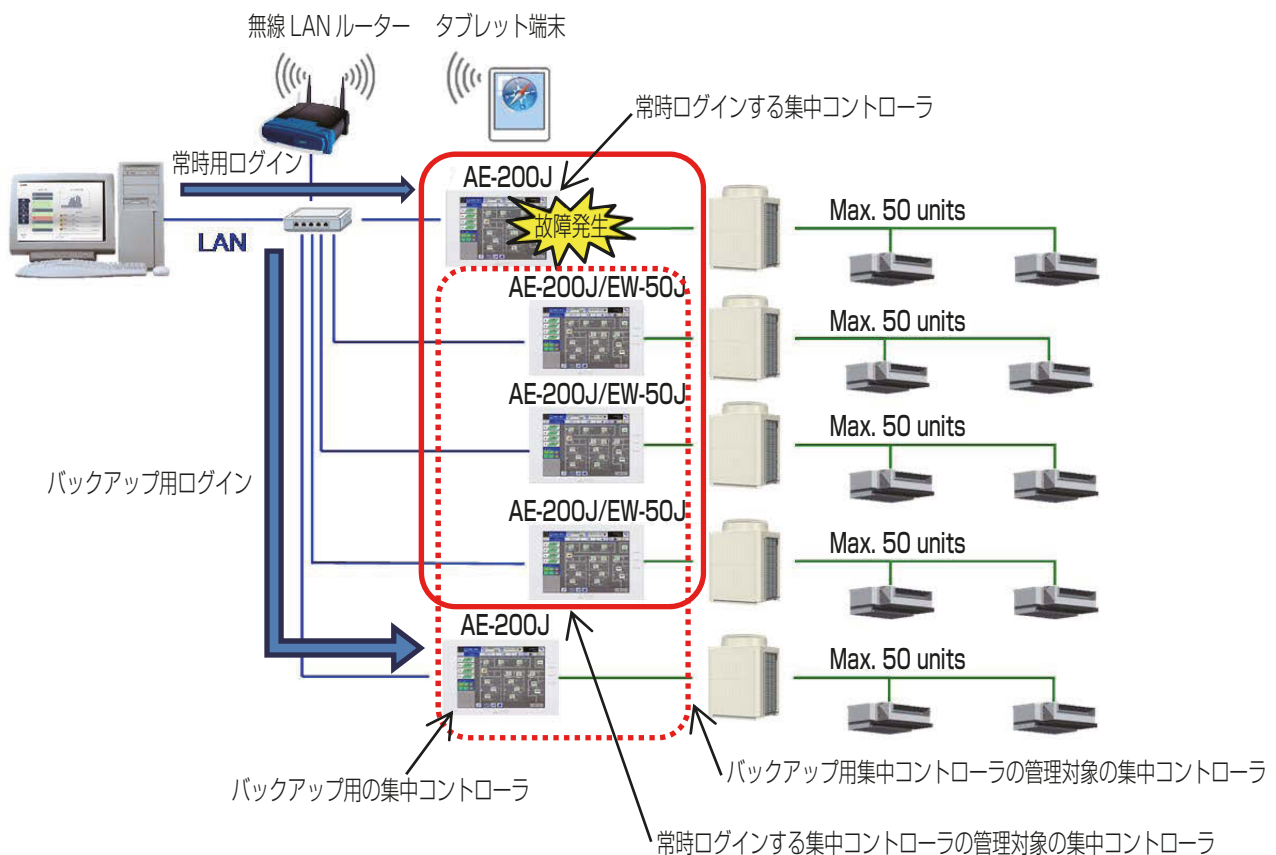
お知らせ

- フロアのレイアウト設定が縦 2 × 横 3 以外であっても、コピーした Web の平面図サイズが 900 (縦) × 1890 (横) となります。縦 2 × 横 3 以外のレイアウトを扱いの場合、不要な部分を切り取った平面図を Web 用に差し替えることをおすすめします。
- 統合管理ブラウザにログインしている状態でフロアレイアウトの設定を変更した場合、一旦ログアウトした後、再度ログインが必要です。

(2) バックアップ用のログイン先集中コントローラ作成

統合管理ブラウザのログイン先を複数設けることができます。

ログイン先の集中コントローラのフロア設定をコピーし、バックアップ用の集中コントローラを用意しておくことによって、ログイン先の集中コントローラが故障した場合に、バックアップ用の集中コントローラにログインすることで、統合管理ブラウザを継続して利用することができます。

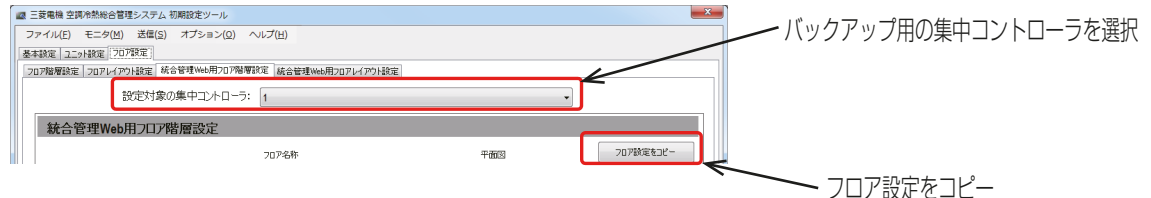


お知らせ

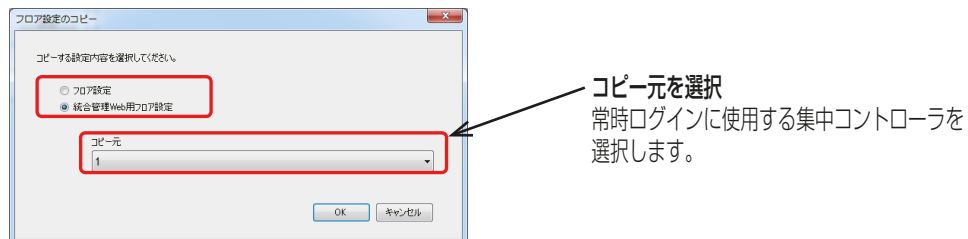
- 故障した集中コントローラが管理する空調機グループは監視／操作の対象外となります。故障した場合は、速やかに新品へ交換し、設定を行ってください。

手順

1. 「5-3-1. 接続構成設定」にて、バックアップ用の集中コントローラのIPアドレスを追加し、バックアップ用の集中コントローラの管理対象集中コントローラをその配下としてIPアドレスを追加して確認してください。
2. 常時ログインに使用する集中コントローラの設定を行う。
統合管理ブラウザのログイン先の設定対象集中コントローラに対して、「5-5-3. 統合管理Web用フロア階層設定」、「5-5-4. 統合管理Web用フロアレイアウト設定」を設定します。
3. [フロア設定]-[統合管理Web用フロア階層設定]をクリックし、[設定対象の集中コントローラ]にバックアップ用の集中コントローラを選択する。



4. [フロア設定をコピー]をクリックし、[統合管理Web用フロア設定]を選択、「手順1」で設定した集中コントローラ（コピー元）を選択する。



5. [OK]をクリックする。
「手順1」で設定した集中コントローラの「5-5-3. 統合管理Web用フロア階層設定」、「5-5-4. 統合管理Web用フロアレイアウト設定」の設定内容がバックアップ用の集中コントローラにコピーされます。

5-6. 課金設定

初期設定ツールによる課金設定を行います。課金設定については、AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書（電力按分課金支援機能編）を参照してください。

5-7. 連動制御設定

複数のユニット間で連動して動作させる、連動制御を設定します。

お知らせ

- ・ 連動制御機能を使用するには、別途連動制御ライセンスが必要です。**[オプション機能のライセンス登録]**画面で、必要なライセンスが正しく登録されていることを確認してください。(詳細については、「3-6. ライセンス登録」を参照してください。)
- ・ 「外部入力の設定」が**[緊急停止モード(レベル入力)]**または**[緊急停止 復元モード(レベル入力)]**(4-1-5 [5]章参照)に設定されていて、連動先のAE-200J/AE-50J/EW-50Jの外部入力接点がONの状態では、発停の連動制御は実行されません。
(詳細については、「5-3-2. 基本システム設定」を参照してください。)
- ・ 連動元機器または連動先機器として選択しているグループを、グループ設定画面で変更または削除する場合は、そのグループの連動制御設定を削除してから必要に応じて再設定してください。

No.1～No.200の最大200件の連動制御設定がAE-200J/AE-50J/EW-50Jごとに設定できます。(AE-200J 1台、拡張コントローラーAE-50J/EW-50J 3台の構成では、最大800件の連動制御設定ができます。)連動制御では、3～5秒ごとにNo.1からNo.200の順に状態変化を判定し、連動条件が満たされた場合に、連動先機器に連動動作を指令します。

各連動制御設定の連動条件(連動元種別、連動条件、および連動元機器)と連動動作(連動先機種、連動動作、および連動先機器)を設定することにより、連動先機器と連動元機器を連動制御させることができます。

お知らせ

以下に同意し、連動制御機能を使用してください。

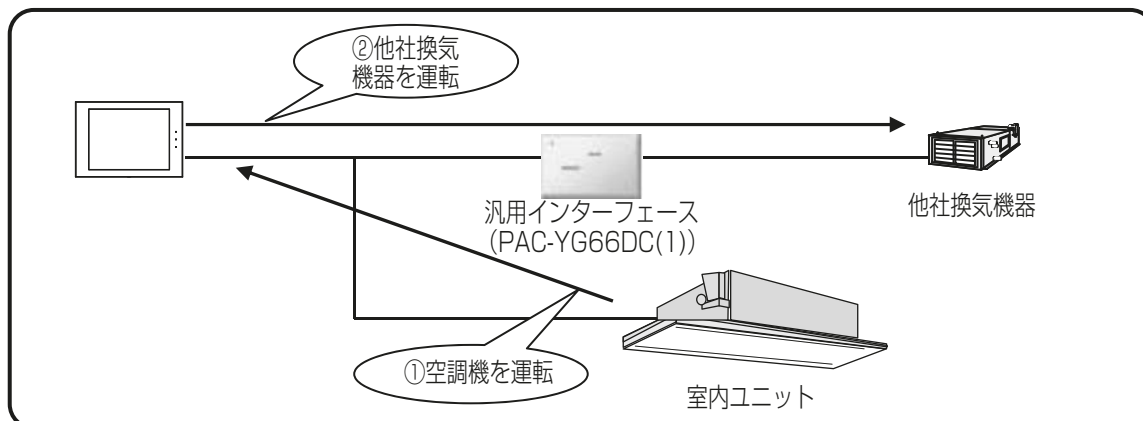
1. この機能を防災または保安の目的に使用しないでください。使用する場合は、バックアップ装置を準備してください。(特に、人命に関わるような用途には使用しないでください。)
2. 連動先動作の設定で連動動作設定の際は、連動先機器でサポートされない連動動作を設定しないでください。機器の故障になることがあります。
3. AE-200Jで設定した連動制御と拡張コントローラーAE-50J/EW-50Jで設定した連動制御は両方動作します。
AE-200Jの連動制御設定が拡張コントローラーAE-50J/EW-50Jの連動制御設定と競合しないように、拡張コントローラーをまたがない設定は拡張コントローラーAE-50J/EW-50J側で設定してください。
4. 各連動制御設定の完了後、試運転を行い、設定と運転が適切であることを確認してください。
5. 以下の例で示すような連動制御設定をしないでください。「運転」と「停止」を永遠に繰り返すことにより、機器損傷の原因になります。

例1：グループ1が「運転」したらグループ1を「停止」する。

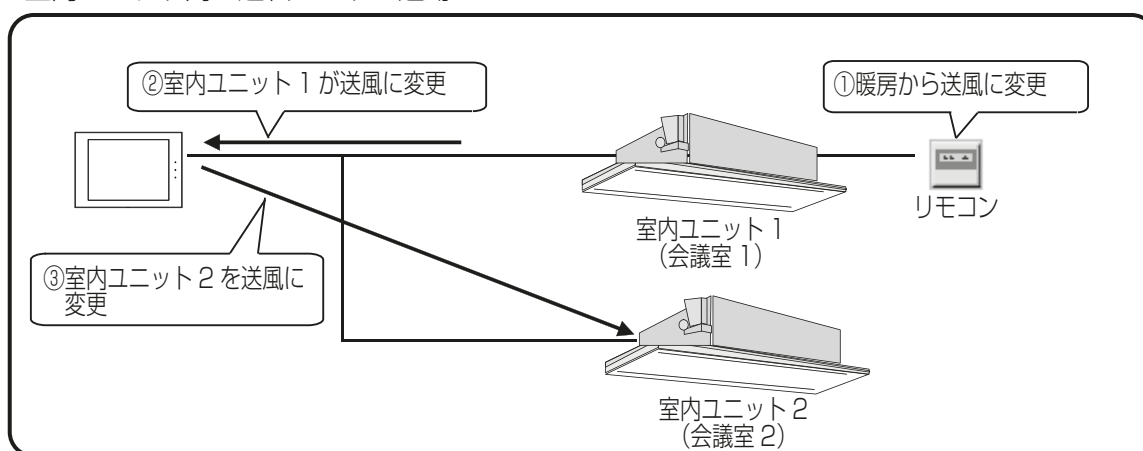
例2：グループ1が「停止」したらグループ1を「運転」する。

連動運転の例を8つ以下に示します。

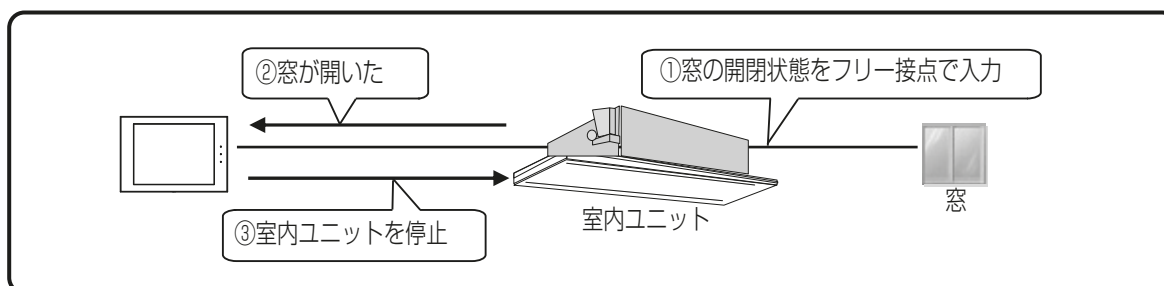
例1：汎用インターフェースを介したカードキーと室内ユニットの連動



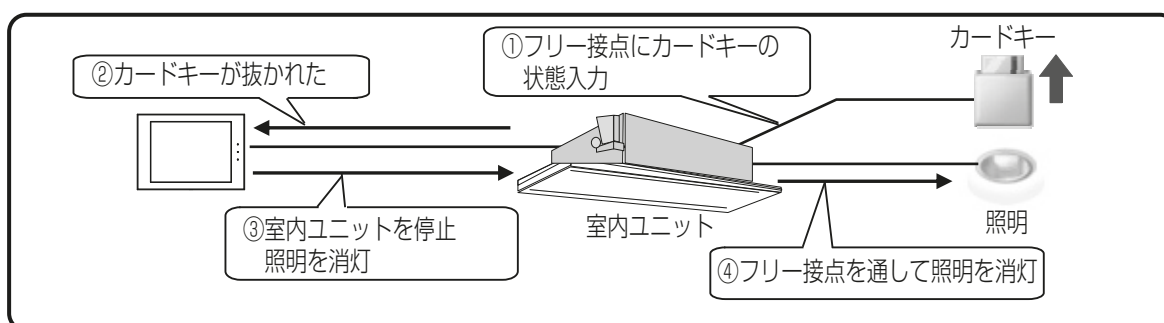
例2：室内ユニット間の運転モードの連動



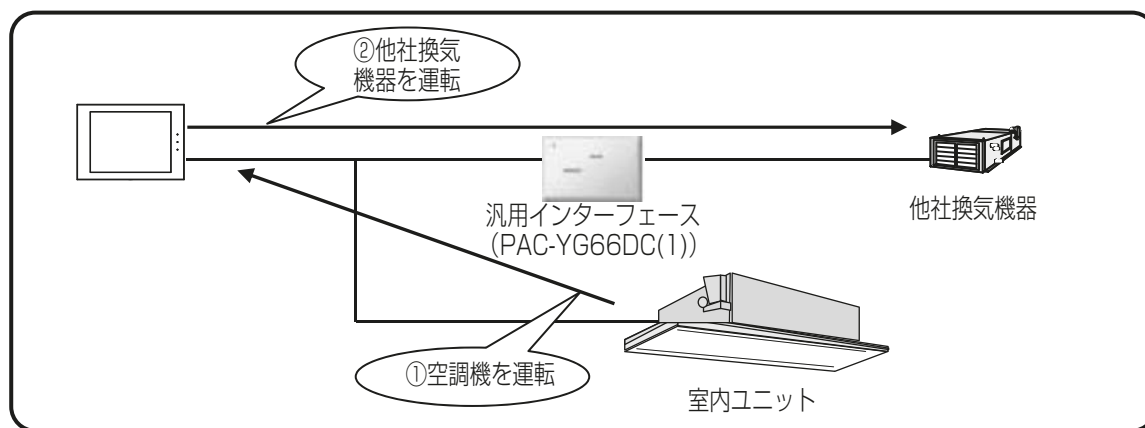
例3：室内ユニットのフリー接点を利用した窓と室内ユニットの連動



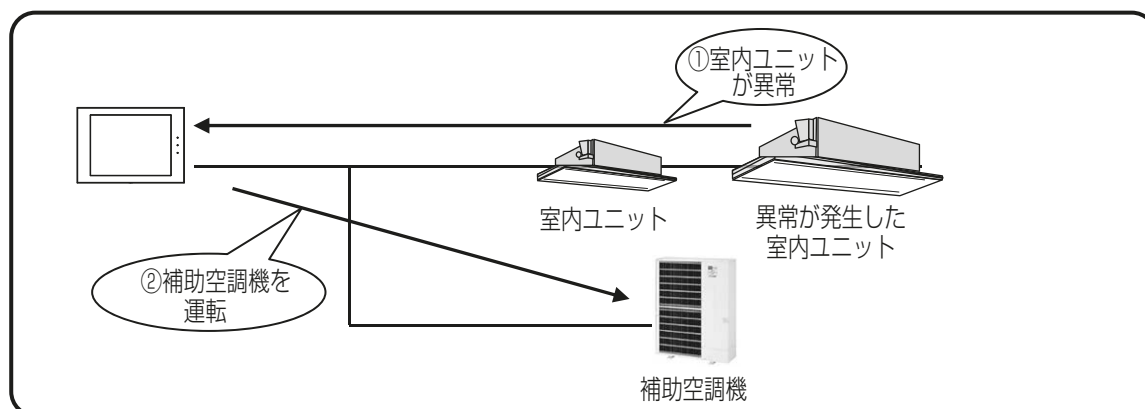
例4：室内ユニットのフリー接点を利用したカードキー、室内ユニット、および照明の連動



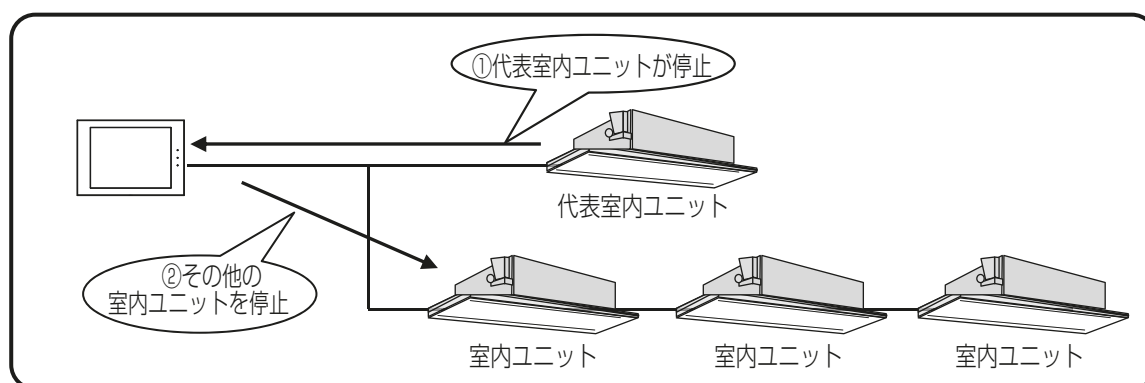
例 5：他社換気機器との連動



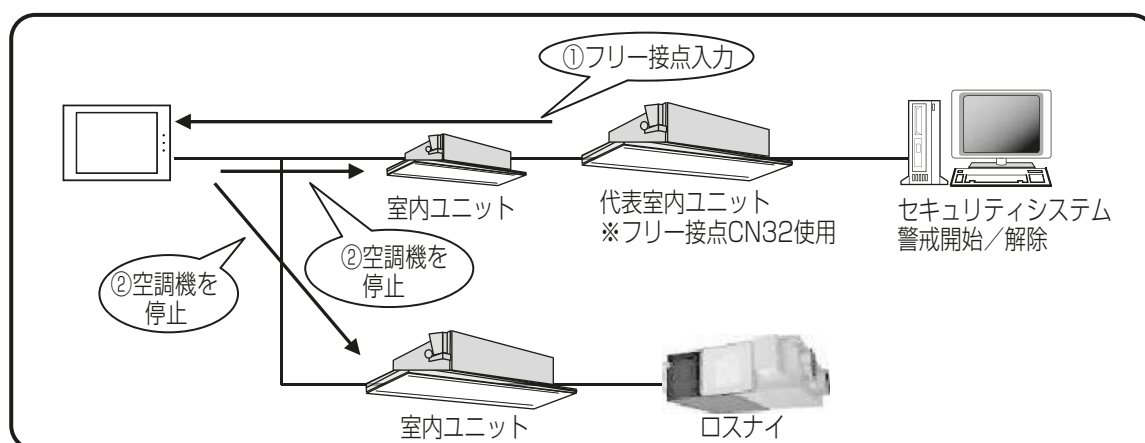
例 6：空調機間連動



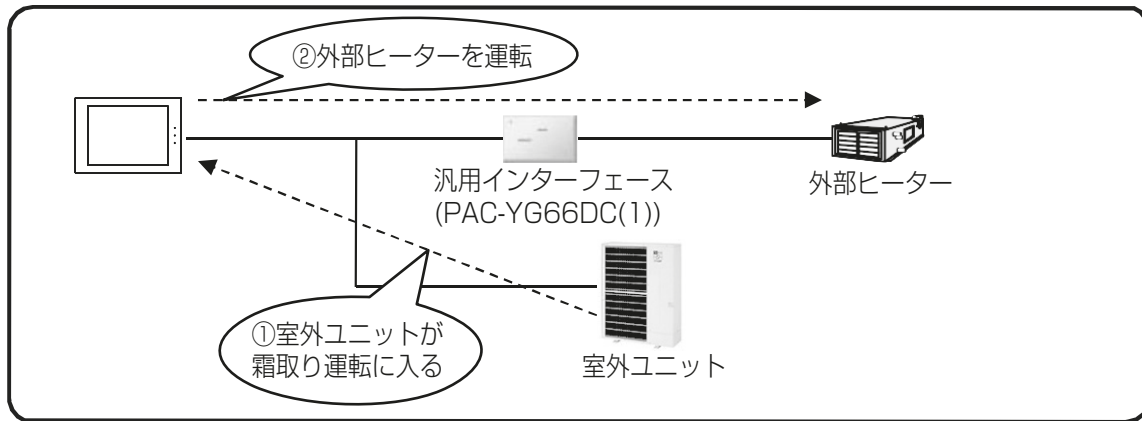
例 7：空調機間連動



例 8：警備連動



例9：霜取運転中の快適性向上



拡張コントローラーをまたがる連動制御を行う場合、AE-200Jに対して設定してください。
 拡張コントローラーをまたがない連動制御を行う場合、拡張コントローラーに対して設定してください。

[連動制御設定] — [連動制御設定] をクリックして連動制御設定画面を開きます。

設定対象集中コントローラ
 接続構成設定された集中コントローラのうち連動制御設定を行う対象を選択します。

制御を実行する／停止する
 連動制御を実行するかしないかを選択します。

有効／無効
 各連動制御設定の有効／無効を選択します。

行選択
 設定する連動制御設定を選択します。

編集ボタン

The screenshot shows the '連動制御設定' (Interlocking Control Setting) window. It includes a table for setting interlocking conditions. The table has columns for '有効/無効' (Valid/Invalid), '連動元機器' (Interlocking Source Equipment), '連動条件' (Interlocking Condition), '連動先機器' (Interlocking Destination Equipment), and '連動動作' (Interlocking Action). The table contains several rows of settings. Annotations point to various elements: '設定対象集中コントローラ' points to the dropdown menu; '制御を実行する／停止する' points to the '実行する' (Execute) radio button; '有効／無効' points to the '有効' (Valid) checkbox; '行選択' points to the row selection buttons; '編集ボタン' points to the '編集' (Edit) button; '設定' points to the '設定' (Set) button; '元に戻す' points to the '元に戻す' (Reset) button; '確定' points to the '確定' (Confirm) button; '連動元機器' points to the '連動元機器' column; '連動条件' points to the '連動条件' column; '連動先機器' points to the '連動先機器' column; '連動動作' points to the '連動動作' column; '編集ボタン' points to the '編集' button; '設定' points to the '設定' button; '元に戻す' points to the '元に戻す' button; '確定' points to the '確定' button.

有効/無効	連動元機器	連動条件	連動先機器	連動動作
<input checked="" type="checkbox"/>	グループ1 エントランス ロビー南側	すべて指定のモード 冷房	グループ2 グループ4 ロビー中央 ロビー北側	運転、冷房、27℃、風向スイング、風速自動
<input checked="" type="checkbox"/>	グループ1 エントランス	すべて運転	グループ2 グループ4 ロビー南側 ロビー中央 ロビー北側	運転
<input checked="" type="checkbox"/>	グループ1 エントランス グループ2 グループ3 グループ4 グループ5 待合室1	1グループ以上異常	アドレス1-1	ON
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

確定
 設定内容を確定します。

元に戻す
 設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

[1] 設定する連動制御の選択

手順

1. 設定する行を選択して、行選択枠を表示する。
2. [設定] を選択して、連動制御詳細設定画面を表示する。

[2] 連動制御の有効化／無効化

有効／無効のチェックを変更して、各連動制御を[有効] (チェックあり) または[無効] (チェックなし) にします。
[無効] に設定した連動制御は実行されません。

[3] すべての連動制御の一時的な無効化

[停止する] を選択すると、すべての連動制御が無効になります。[実行する] を選択すると、連動制御が再開します。

[4] 連動制御設定の編集

編集ボタンを使用して、連動制御設定を行単位で編集します。

ボタン名	機能
全削除	すべての連動制御設定を削除します。
コピー	コピー元の行を選択して[コピー]を選択し、コピー先の行で[貼り付け]を選択することで行の設定を他の行にコピーできます。
貼り付け	
挿入	選択した行の直前に空白行を挿入し、以降の行を1行繰り下げます。 最終行に連動制御設定が存在する場合は挿入できません。
削除	選択した行の連動制御設定を削除します。 削除するときに、以降の行を1行繰り上げるか、繰り上げないかを指定できます。

連動制御詳細設定画面で連動制御の設定を行います。

The screenshot shows the '連動設定' (Linkage Setting) dialog box. It is divided into two main sections: '連動元種別' (Linkage Source Type) on the left and '連動先機種' (Linkage Destination Model) on the right. The left section includes a dropdown for '連動元種別' (currently 'グループ(運転モード)'), a section for '連動条件' (Linkage Conditions) with '連動条件1' (currently 'すべて指定のモード') and '連動条件2' (currently 'モードの選択'), and a '機器選択' (Device Selection) area with a list of devices (グループ1, グループ2, エントランス, ロビー-南側). The right section includes a dropdown for '連動先機種' (currently 'グループ'), a '連動動作' (Linkage Action) section with '運転/停止' (currently '運転'), '運転モード' (currently '冷房'), and '設定温度' (currently '27 °C'), and a '機器選択' (Device Selection) area with a list of devices (グループ3, グループ4, ロビー-中央, ロビー-北側). At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. Arrows point from labels to these elements: '連動元種別' points to the left dropdown; '連動条件1' points to the first condition dropdown; '連動条件2' points to the second condition dropdown; '連動元機器の選択' points to the left device selection list; '連動先機種' points to the right dropdown; '連動動作' points to the right action section; '連動先機器の選択' points to the right device selection list; 'OK' points to the OK button; and 'キャンセル' points to the Cancel button.

連動元種別

連動条件1

連動条件2

連動元機器の選択
連動元機器を選択する画面を表示します。

連動先機種

連動動作

連動先機器の選択
連動先機器を選択する画面を表示します。

OK
設定内容を確定します。

キャンセル
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

(1) 連動条件の設定

手順

1. 連動元種別および連動条件の設定

下表を参照して、連動元種別と連動条件 1 および 2 を選択する。

連動元種別	連動元機器 アイコン	連動条件 1	連動条件 2
グループ (運転／停止)		すべて運転 すべて停止 1 グループ以上運転 1 グループ以上停止	-
グループ (運転モード)		すべて指定のモード すべて指定のモード以外 1 グループ以上指定のモード 1 グループ以上指定のモード以外	※1 空調機グループ： 冷房、ドライ、送風、暖房、自動 換気機器グループ (ロスナイ、加熱 加湿付ロスナイ)： 普通換気、熱交換換気、自動
グループ (異常／復旧)		すべて異常 すべて復旧 1 台以上異常 1 台以上復旧	-
フリー接点 (ON／OFF)		すべて ON すべて OFF 1 点以上 ON 1 点以上 OFF	-
霜取り運転 (ON／OFF)		すべて ON すべて OFF 1 台以上 ON 1 台以上 OFF	-

※1 連動元機器で使用できない運転モードを設定した場合、連動条件は成立しません。

お知らせ

- 「連動元種別」を [グループ (運転／停止)]、連動条件 1 を [すべて運転] に設定した場合、連動元機器の状態が [すべて停止]、[1 グループ以上運転]、または [1 グループ以上停止] から [すべて運転] に変化したときに、連動動作を連動先機器に指令します。
- 室内ユニットのフリー接点を利用した汎用機器の監視・制御は、ソフトウェアバージョン 33 以降の R410A および R407C 互換室内ユニットのディップスイッチ SW が必要です。詳細については室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。
- 連動元機種種の [グループ (運転／停止)]、[グループ (異常／復旧)] 選択時、連動元機器として、空調機、ロスナイ、汎用インターフェース (PAC-YG66DC (1)) のグループが選択できます。
- グループ (運転モード) 選択時、汎用インターフェース (PAC-YG66DC (1)) のグループは連動元機器に設定できません。
- 「外部入力の設定」が [緊急停止モード (レベル入力)] または [緊急停止 復元モード (レベル入力)] (4-1-5 [5] 章参照) に設定されていて、連動先の AE-200J/AE-50J/EW-50J の外部入力接点が ON の状態では、発停の連動制御は実行されません。

2. 連動元機器の選択

[連動元機器の選択] をクリックする。

連動元機器を選択する画面を表示します。

選択した連動元種別により、表示される画面が異なります。

お知らせ

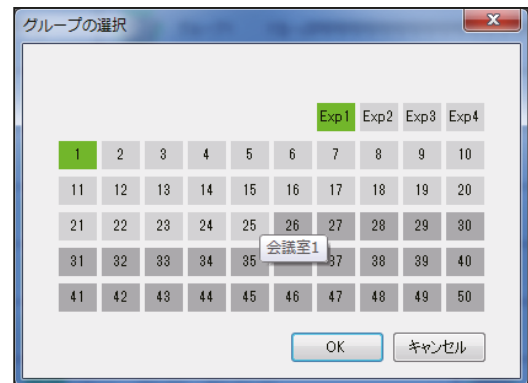
- ・設定対象が AE-200J の場合のみ、拡張コントローラーをまたがる連動元機器を選択可能です。
- (1) 「連動元種別」に [グループ (運転／停止)]、[グループ (運転モード)]、または [グループ (異常／復旧)] を選択した場合

[連動元グループの選択] 画面が現れます。

連動元に登録するグループ番号を選択し、選択状態 (黄緑色) にします。

選択を解除したい場合は、再度クリックすることで非選択状態 (薄灰色) に戻ります。

[選択解除] をクリックすることにより、選択されているグループがすべて非選択状態になります。

**お知らせ**

- ・「連動元種別」を [グループ (運転／停止)] または [グループ (異常／復旧)] に設定した場合は、空調機グループ、ロスナイグループ、および汎用機器 (汎用インターフェース PAC-YG66DC(1) を介して接続) グループが選択できます。
連動元種別を [グループ (運転モード)] に設定した場合は、空調機グループとロスナイグループが選択できます。
- ・異なる種類のグループ (空調機グループ、ロスナイグループ、または汎用機器 (汎用インターフェース PAC-YG66DC(1) を介して接続) グループ) は、同時に選択できません。

(2) 「連動元種別」に [フリー接点 (ON／OFF)] を選択した場合

[連動元ユニットアドレスの選択] 画面が現れます。

連動元に登録する汎用機器が接続されている室内ユニットのアドレスを選択し、選択状態 (赤枠) にします。

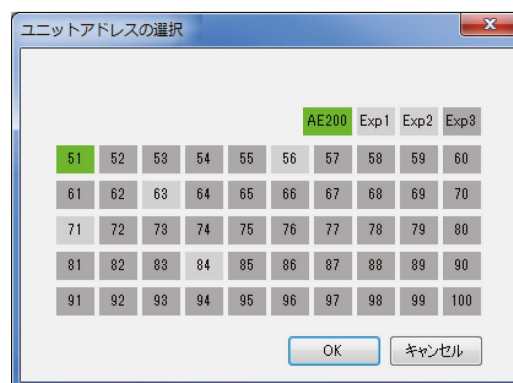
次に、各室内ユニットについて接点番号を選択し、選択状態 (黄緑色) にします。



(3) 「連動元種別」に[霜取り運転 (ON / OFF)]を選択した場合

[連動元ユニットアドレスの選択画面]が表示されます。

連動元に登録する室外ユニットが接続されているアドレスを選択し、選択状態(黄緑色)にします。
選択を解除したい場合は、再度クリックすることで非選択状態(薄灰色)に戻ります。



(2) 連動動作の設定

手順

1. 連動先機種および連動動作の設定

下表を参照して、連動先機種を選択し、連動動作を設定する。

連動先機種	連動先機器 アイコン	連動動作	
		設定項目	設定オプション
グループ ※1		運転／停止	運転、停止 ※2
		運転モード ※3	空調機グループ： 冷房、ドライ、送風、暖房、自動 換気機器（ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ）： 普通換気、熱交換換気、自動
		設定温度 ※3	指定温度
		風向 ※3	斜め3、斜め2、斜め1、斜め0、水平、スイング、自動
		風速 ※3	微弱、弱、中2、中1、強、自動
		リモコン操作禁止設定 (運転／停止)	許可、禁止
		リモコン操作禁止設定 (運転モード)	許可、禁止
		リモコン操作禁止設定 (設定温度)	許可、禁止
フリー接点		ON / OFF	ON、OFF

※1 DT-R、ブラインクーラおよびホットウォーターヒートポンプは連動制御できません。

※2 連動先の機器が24時間換気機能があるロスナイグループ、または加熱加湿付ロスナイグループの場合、24時間換気運転の設定はできません。なお、停止を設定すると、連動制御で24時間換気運転が停止します。

※3 接続された室内ユニットの機種により、使用できない設定があります。
連動動作設定の際は、連動先の機器が利用できる設定を行ってください。

お知らせ

- 連動元機種 of [グループ (運転／停止)]、[グループ (異常／復旧)] 選択時、連動元機器として、空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、汎用インターフェース (PAC-YG66DC (1)) のグループが選択できます。

- ・グループ（運転モード）選択時、汎用インターフェース（PAC-YG66DC（1））のグループは連動元機器に設定できません。

選択した連動先機種により、表示される連動動作の設定画面が異なります。

(A) 「連動先機種」に **[グループ]** を選択した場合

「連動動作」欄の **[設定]** をクリックし、**[連動先動作の設定]** 画面を表示します。

連動条件が満たされたときに指令する連動動作を設定します。

お知らせ

- ・「運転モード」が未選択状態では、設定温度を設定することはできません。
- ・連動先機器で使用できない運転モードが選択された場合、その機器に対しては連動制御は実行されません。
- ・「設定温度」は空調機の機種によっては設定できない温度範囲でも設定できる場合がありますが、空調機の故障を防ぐため、設定温度を通常動作温度範囲内の温度に設定してください。
- ・自動モードの設定温度を設定するときは、デュアルオートモード対応ユニットに対しては「設定温度」で2種類の設定温度（冷房と暖房）を設定し、デュアルオートモード非対応ユニットに対しては「設定温度（1 値機種）」で1種類の設定温度を設定してください。
- ・「風向」のスイングと自動、「風速」の自動については、連動先機器で使用できない場合は、出力されません。風向と風速は、接続された空調機の機種によって設定段数が異なる場合は、設定可能な範囲にて出力されることがあります。
- ・連動条件が満たされた場合、連動動作を連動先機器に指令するのにある程度の時間がかかります。このため、通常3～5秒ごとに実行される状態変化判定に遅延が発生することがあります。

(B) 「連動先機種」に **[フリー接点]** を選択した場合

連動動作の **[ON]** または **[OFF]** を選択して、連動先機器を運転／停止します。

2. 連動先機器の選択

[連動先機器の選択] をクリックする。

連動先機器を選択する画面を表示します。

選択した連動先機種により、表示される画面が異なります。

お知らせ

- 設定対象が AE-200J の場合のみ、拡張コントローラーをまたがる連動先機器を選択可能です。

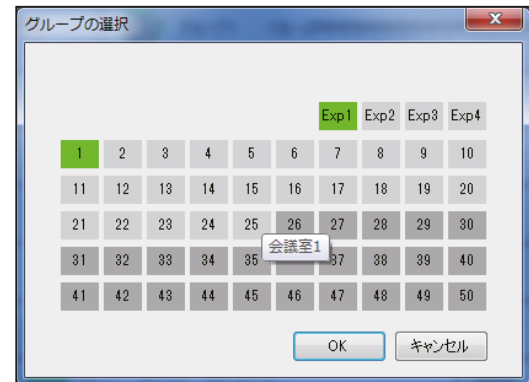
(A) 「連動先機種」に [グループ] を選択した場合

[連動先グループの選択] 画面が現れます。

連動先に登録するグループ番号を選択し、選択状態 (黄緑色) にします。

選択を解除したい場合は、再度クリックすることで非選択状態 (薄灰色) に戻ります。

[選択解除] をクリックすることにより、選択されているグループがすべて非選択状態になります。

**お知らせ**

- 「連動先機種」を [グループ] に設定した場合は、空調機グループ、ロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、および汎用機器 (汎用インターフェース PAC-YG66DC(1) を介して接続) グループが選択できます。
- 異なる種類のグループ (空調機グループ、ロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、または汎用機器 (汎用インターフェース PAC-YG66DC(1) を介して接続) グループ) は、同時に選択できません。

(B) 「連動先機種」に [フリー接点] を選択した場合

[連動先ユニットアドレスの選択] 画面が現れます。

連動先に登録する汎用機器が接続されている室内ユニットのアドレスを選択し、選択状態 (赤枠) にします。

次に、各室内ユニットについて接点番号を選択し、選択状態 (黄緑色) にします。



(3) 連動制御詳細設定の確定

手順

1. [OK] をクリックする。

連動制御詳細設定を確定します。

5-8. 省エネ機能設定

5-8-1. 高顕熱制御設定

高顕熱制御とは、圧縮機入力を低減することで運転効率を向上させる室外ユニットの機能です。

(工場出荷時は、無効に設定されています。)

冷房運転時、従来は蒸発温度を一定に制御しているのに対して、高顕熱制御では制御レベルを【低】(省エネ効果小)と【高】(省エネ効果大)と【自動】(室外ユニットの判断で【低】と【高】を切り替え)から選択し、負荷に応じて蒸発温度を上昇させて、圧縮機の負荷を低減させます。

初期設定ツールから室外ユニットの高顕熱制御機能の有効/無効と制御レベル、制御に用いる温度情報と湿度情報の値と取得元ユニットのアドレスを設定します。

【省エネ機能設定】－【高顕熱制御設定】をクリックして高顕熱制御設定画面を開きます。

お知らせ

- 本機能は、高顕熱制御ライセンスの登録が必要ですが、ライセンス未登録の場合は設定のみ保存ができません。
ライセンス登録後は機能が利用可能になります。
- AE-200J に AE-50J/EW-50J を接続する場合、接続するすべての AE-200J/AE-50J/EW-50J でライセンス登録が必要です。
- 室外ユニットが高顕熱制御に対応している場合に利用できます。
- 制御温度差、制御湿度差、ME リモコン目標湿度、温度情報取得元アドレス、湿度情報取得元アドレスを設定する場合、形名の末尾が G5 以降の室外ユニットが必要です。
- 制御湿度差を設定する場合、加熱加湿付ロスナイまたは ME リモコン (PAR-F30ME1) が必要です。
- ME リモコン目標湿度を設定する場合、ME リモコン (PAR-F30ME1) が必要です。
- 温度情報取得元アドレス、湿度情報取得元アドレスを設定する場合、グループ設定、冷媒系設定を実施する必要があります。

設定対象の
集中
コントローラ

対象
アドレスの
設定方法

室外ユニット

有効/無効

制御レベル

制御温度差

制御湿度差

室外ユニット	有効/無効	制御レベル	設定値	対象アドレス
51	無効	自動	温度 制御温度差 1.5℃ 湿度 制御湿度差 5% MEリモコン目標湿度 50%	冷媒系内対象アドレス: 1 2 3 冷媒系内除外アドレス: 5 6 7 冷媒系外対象アドレス: 11 12
59	有効	高	温度 制御温度差 2.0℃ 湿度 制御湿度差 9% MEリモコン目標湿度 65%	冷媒系内対象アドレス: 9 10 11 12 冷媒系内除外アドレス: 13 14 15 冷媒系外対象アドレス: 201

一括設定
ボタン

設定
ボタン

温度情報
取得元
アドレス

湿度情報
取得元
アドレス

MEリモコン
目標湿度

確定

元に戻す

項目	内容						
設定対象の集中コントローラ	接続構成設定された集中コントローラのうちライセンス登録を行う対象を選択します。						
対象アドレスの設定方法	<p>温度情報取得元アドレスと湿度情報取得元アドレスの設定方法を選択します。</p> <table> <tr> <th>項目</th><th>内容</th></tr> <tr> <td>ユニットの設定に従う</td><td>室外ユニットが保持する温度情報取得元アドレスと湿度情報取得元アドレスを元に高顕熱制御を実施します。</td></tr> <tr> <td>アドレス指定</td><td>初期設定ツールから設定した温度情報取得元アドレスと湿度情報取得元アドレスを元に高顕熱制御を実施します。</td></tr> </table> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 集中コントローラにモニタを実施した後、設定内容が【アドレス指定】に変更します。 	項目	内容	ユニットの設定に従う	室外ユニットが保持する温度情報取得元アドレスと湿度情報取得元アドレスを元に高顕熱制御を実施します。	アドレス指定	初期設定ツールから設定した温度情報取得元アドレスと湿度情報取得元アドレスを元に高顕熱制御を実施します。
項目	内容						
ユニットの設定に従う	室外ユニットが保持する温度情報取得元アドレスと湿度情報取得元アドレスを元に高顕熱制御を実施します。						
アドレス指定	初期設定ツールから設定した温度情報取得元アドレスと湿度情報取得元アドレスを元に高顕熱制御を実施します。						
室外ユニット	<p>室外ユニットのM-NETアドレスを表示します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷媒系設定で設定した室外ユニットのみ表示されます。 						
有効 / 無効	高顕熱制御の有効 / 無効に関する設定内容を表示します。						
制御レベル	高顕熱制御の制御レベルに関する設定内容を表示します。						
制御温度差	高顕熱制御に用いる制御温度差（設定温度と吸込温度の差）の設定値を表示します。						
制御湿度差	<p>高顕熱制御に用いる制御湿度差（目標湿度と湿度センサの値との差）の設定値を表示します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 温度26℃の場合の相対湿度（%）の湿度差です。 						
ME リモコン目標湿度	<p>高顕熱制御に用いる ME リモコン目標湿度の設定値を表示します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ME リモコン目標湿度は、温度26℃の場合の相対湿度（%）です。 						
温度情報取得元アドレス	<p>温度情報の取得元ユニットと取得除外ユニットをM-NETアドレスで表示します。</p> <table> <tr> <th>項目</th><th>内容</th></tr> <tr> <td>冷媒系内対象アドレス</td><td>室外ユニットと同一冷媒系統内の室内ユニットグループのうち、温度情報を取得する室内ユニットのM-NETアドレス</td></tr> <tr> <td>冷媒系外対象アドレス</td><td>室外ユニットと別の冷媒系統の室内ユニットグループのうち、温度情報を取得する室内ユニットのM-NETアドレス</td></tr> </table> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象アドレスの設定方法を「アドレス指定」に設定した場合、M-NETアドレスが表示されます。 	項目	内容	冷媒系内対象アドレス	室外ユニットと同一冷媒系統内の室内ユニットグループのうち、温度情報を取得する室内ユニットのM-NETアドレス	冷媒系外対象アドレス	室外ユニットと別の冷媒系統の室内ユニットグループのうち、温度情報を取得する室内ユニットのM-NETアドレス
項目	内容						
冷媒系内対象アドレス	室外ユニットと同一冷媒系統内の室内ユニットグループのうち、温度情報を取得する室内ユニットのM-NETアドレス						
冷媒系外対象アドレス	室外ユニットと別の冷媒系統の室内ユニットグループのうち、温度情報を取得する室内ユニットのM-NETアドレス						

湿度情報取得元アドレス	湿度情報の取得元ユニットと取得除外ユニットをM-NETアドレスで表示します。	
	項目	内容
	冷媒系内対象アドレス	室外ユニットと同一冷媒系統内の加熱加湿付ロスナイグループのうち、湿度情報を取得する加熱加湿付ロスナイのM-NETアドレス
	冷媒系外対象アドレス	室外ユニットと別の冷媒系統の加熱加湿付ロスナイグループのうち、湿度情報を取得する加熱加湿付ロスナイのM-NETアドレス または、MEリモコン(PAR-F30ME1)のM-NETアドレス
	お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 対象アドレスの設定方法を「アドレス指定」に設定した場合、M-NETアドレスが表示されます。 	
設定ボタン	クリックして、室外ユニットの制御内容を設定する画面を表示します。	
一括設定ボタン	クリックして、室外ユニットの制御内容を一括で設定する画面を表示します。	
確定	設定内容を確定します。	
元に戻す	設定内容を破棄し、表示を元に戻します。	

[1] 事前準備

高顕熱制御の設定を実施する前に、冷媒系設定画面で室外ユニットを登録する必要があります。
詳細は、「5-4-2. 冷媒系設定」を参照ください。

[2] 高顕熱制御の設定

高顕熱制御の設定を実施します。

手順

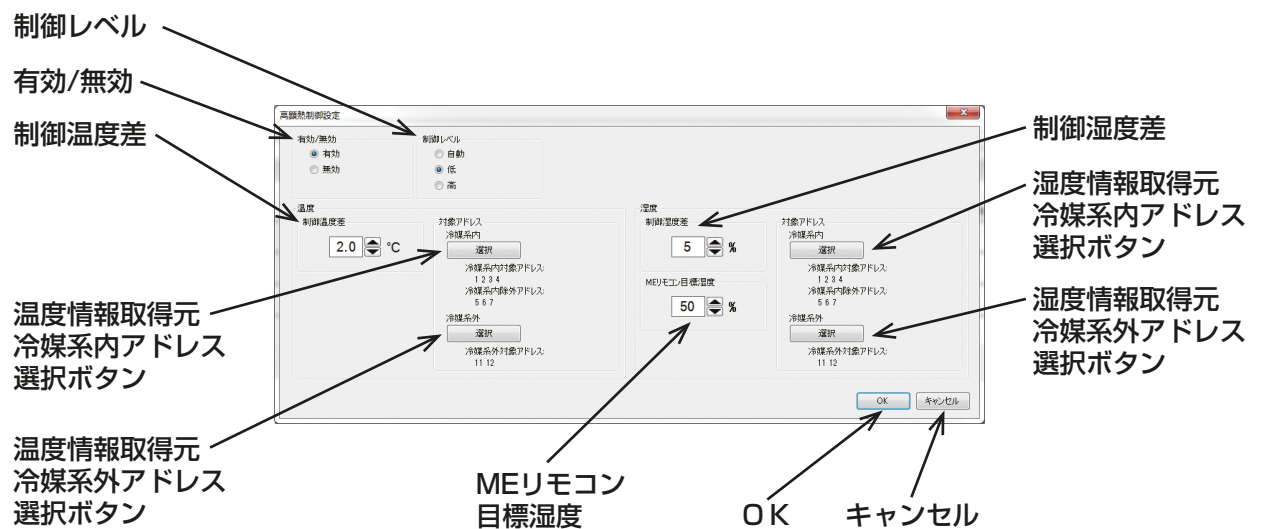
1. [省エネ機能設定] - [高顕熱制御設定] をクリックする。
高顕熱制御機能設定可能な室外ユニットが一覧表示されます。
2. 「対象アドレスの設定方法」で[ユニットの設定に従う]または[アドレス指定]のいずれかを設定する。
3. 設定する室外ユニットの[設定]をクリックする。
高顕熱制御設定ダイアログが表示されます。



対象アドレスの設定方法



設定



4. 「有効/無効」で**[有効]**または**[無効]**のいずれかを選択する。

設定項目	詳細
有効	高顕熱制御を有効にします。
無効	高顕熱制御を無効にします。

5. 「制御レベル」で**[自動]**、**[低]**、**[高]**のいずれかを選択する。

設定項目	詳細
自動	室外ユニットの判断で [低] と [高] を切り替えます。
低	省エネ効果の低い制御設定になります。
高	省エネ効果の高い制御設定になります。

6. 「制御温度差」を上下のボタンをクリックし 1.0～3.0℃の範囲で設定する。

7. 温度情報取得元冷媒系外アドレスの**[選択]**をクリックする。
温度情報取得元用冷媒系外ユニット設定ダイアログが表示されます。

お知らせ

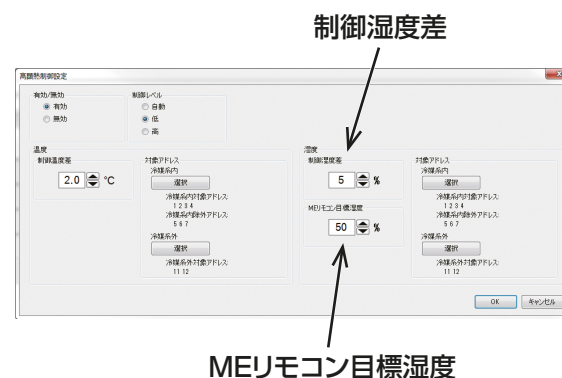
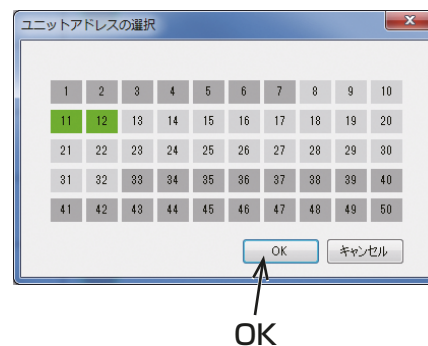
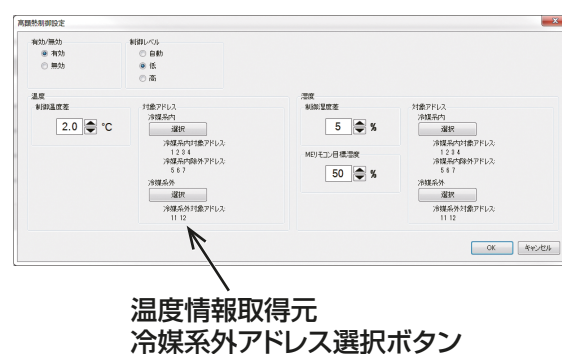
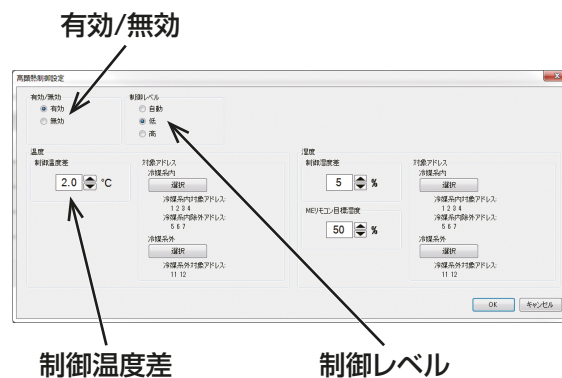
- ・ 室外ユニットと別の冷媒系の室内ユニットを、温度情報取得元として設定する場合のみ、実施してください。

8. アドレス選択部をクリックし、温度情報の取得元アドレス（黄緑色）を設定する。
温度情報を取得する室内ユニットのM-NETアドレスを選択し、選択状態（黄緑色）にします。
選択を解除したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（薄灰色）に戻ります。
設定完了後、**[OK]**をクリックする。

お知らせ

- ・ 非選択状態（薄灰色）の室内ユニットが取得した温度情報は高顕熱制御に使用しません。

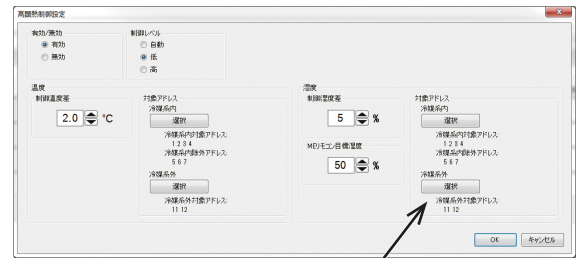
9. 「制御湿度差」を上下のボタンをクリックし 5～15%の範囲で設定する。
10. 「MEリモコン目標湿度」を上下のボタンをクリックし 50～65%の範囲で設定する。



11. 湿度情報取得元冷媒系外アドレスの【選択】をクリックする。
湿度情報取得元用冷媒系外ユニット設定ダイアログが表示されます。

お知らせ

- ・ 室外ユニットと別の冷媒系の室内ユニットやMEリモコン (PAR-F30ME1) を、湿度情報取得元として設定する場合のみ、実施してください。

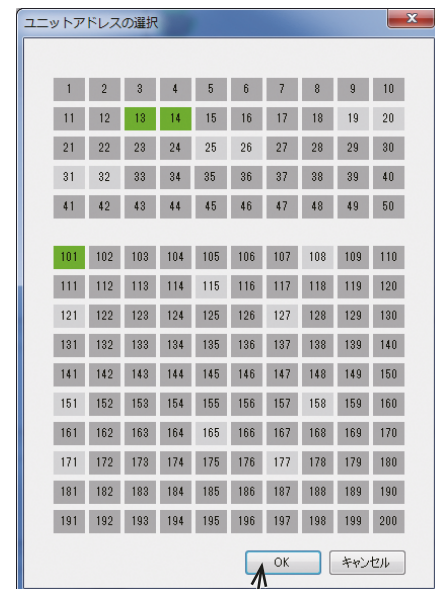


湿度情報取得元
冷媒系外アドレス選択ボタン

12. アドレス選択部をクリックし、湿度情報の取得元アドレス (黄緑色) を設定する。
湿度情報を取得する室内ユニットまたはMEリモコン (PAR-F30ME1) のM-NETアドレスを選択し、選択状態 (黄緑色) にします。
選択を解除したい場合は、再度クリックすることで非選択状態 (薄灰色) に戻ります。
設定完了後、【OK】をクリックする。

お知らせ

- ・ 非選択状態 (薄灰色) の室外ユニットまたはMEリモコン (PAR-F30ME1) が取得した湿度情報は高顕熱制御に使用しません。



OK

13. 設定完了後、【OK】をクリックする。



OK

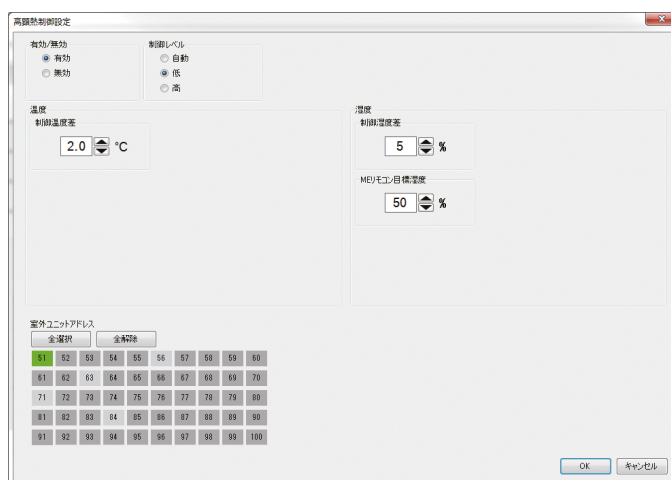
14. 設定完了後、【確定】をクリックする。



確定

お知らせ

- ・[無効]では高顕熱制御を行いません。
- ・[低]⇒[高]の順に省エネ効果が増します。
- ・[自動]では室外ユニットの判断で[低]と[高]を切り替えます。
- ・[一括設定]をクリックすることで、すべての室外ユニットに対して一度に設定を行うことができます。



5-9. 機能設定

5-9-1. エネルギー管理設定

エネルギー管理設定画面では、統合管理ブラウザの[エネルギー管理]メニュー下の画面に表示されるエネルギー制御関連項目の設定を行います。例えば、外気温度を測定する温度センサ、室内ユニット消費電力のトレンドグラフを表示するデータの取得に使用する按分元電力量計、室外ユニットの消費電力量を室内ユニットごとの按分に使用するモードなどです。

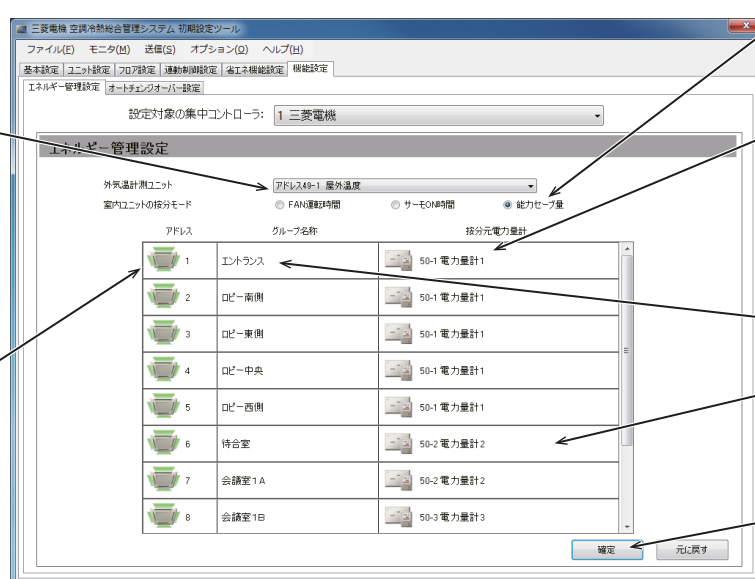
[機能設定]－[エネルギー管理設定]をクリックしてエネルギー管理設定画面を開きます。

お知らせ

- ・AE-200J 按分を行っている場合は、課金按分の設定で按分されますので、この設定は無効となります。

外気温計測ユニット
外気温度を測定する温度
センサを選択します。

室内ユニットアドレス



室内ユニットの按分モード

室内ユニットの按分元
電力量計

グループ名称

按分元電力量計

確定
設定を確定します。

手順

1. 「外気温計測ユニット」で、外気温度を計測する温度センサを選択する。
プルダウンメニューには、環境用計測コントローラに接続された温度センサが表示されます。
※ 外気温連動設定と共通の設定です。

2. 「室内ユニットの按分モード」で、統合管理ブラウザの「エネルギー管理」メニュー下の画面に表示される消費電力の按分に用いる室内ユニットの運転時間を計算する方法を選択する。

[FAN運転時間]を選択した場合は室内ユニットのFANの運転時間から、[サーモON時間]を選択した場合は室内ユニットのサーモON時間から、[能力セーブ量]を選択した場合は室内ユニットの省エネ量から消費電力を按分します。

設定は、システム要件に適したものを選択してください。[能力セーブ量]を選択することを推奨します。

お知らせ

- FAN運転時間は、室内ユニットの積算運転時間です。
- サーモON時間は、室内ユニットに冷媒を流している時間です。
- 能力セーブ量は、室外ユニットの能力の使用量（時間換算）です。
消費電力量の算出は、室外ユニットの電力量に対して行い、室内ユニットの消費電力は考慮されません。

3. 「按分元電力量計」で、グループごとの室内ユニットの消費電力測定に使用する電力量計を選択する。
プルダウンメニューには、計量用計測コントローラの場合は「アドレス+計量用計測コントローラのアドレス+「-」+電力量計番号+電力量計名称」、計量用パルス入力の場合は「電力量計番号+電力量計名称」が表示されます。

お知らせ

- グループ名称の長さによっては、グループ名称をすべて表示できない場合があります。
- グループ名称が登録されていない場合は、「グループ+グループ番号」が表示されます。
- 「計測設定」画面で計測単位が「kWh」で設定されている電力量計のみ選択可能です。

4. 設定完了後、[確定]をクリックする。

5-9-2. オートチェンジオーバー

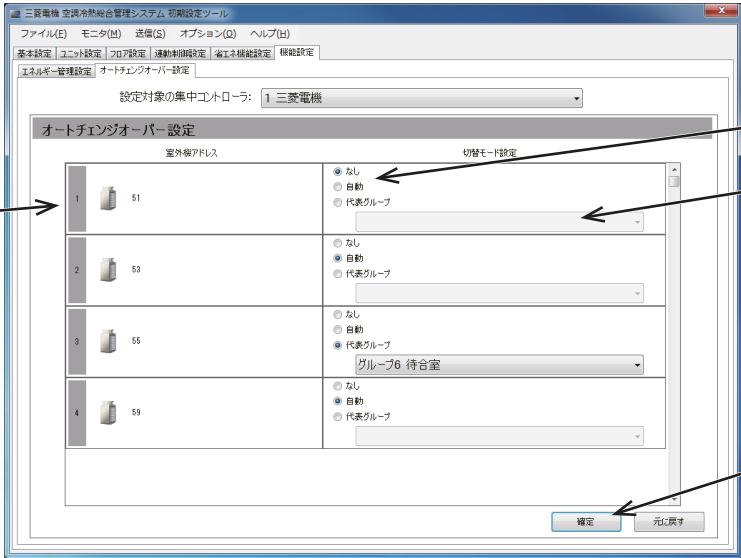
オートチェンジオーバー機能は、同一の室外ユニットに接続された室内ユニットの運転モード（冷房と暖房）を、室温と設定温度に基づいて自動で切り換えます。[機能設定]－[オートチェンジオーバー]をクリックしてオートチェンジオーバー設定画面を開きます。

オートチェンジオーバー機能は、自動モードのないYシリーズの室外ユニットで利用できます。朝のうちは暖房を入れ、午後に一斉に冷房に切り換えたい場合などに本機能をご利用ください。すべての室内ユニットの運転モードが自動で切り換えられるため、リモコンから手動で運転モードを切り換える必要はありません。

お知らせ

- 切換モードを[自動]に設定した場合は、各室内ユニットの能力値を考慮した多数決方式で、[代表グループ]に設定した場合は、選択したグループの状態によって、15分に1回、冷房または暖房を判断し、運転モードを切り換えます。
- 運転モードに自動モードを含むR2シリーズの場合は、オートチェンジオーバー機能の代わりに自動モードを使用して、運転モードを自動で切り換えてください。
- オートチェンジオーバー機能の設定をする前に、あらかじめグループ設定と冷媒系設定を実施してください。（詳細は「5-4-1. グループ設定」、「5-4-2. 冷媒系設定」参照）

対象室外ユニット
室外ユニットのM-NET
アドレスが表示されます。



切換モード

グループ
室外ユニットに接続されて
いるグループの名称が表示
されます。
[代表グループ]モードを選
択した場合は、この中から代
表グループを選択します。

確定
設定を AE-200J/AE-50J/
EW-50J に保存します。

手順

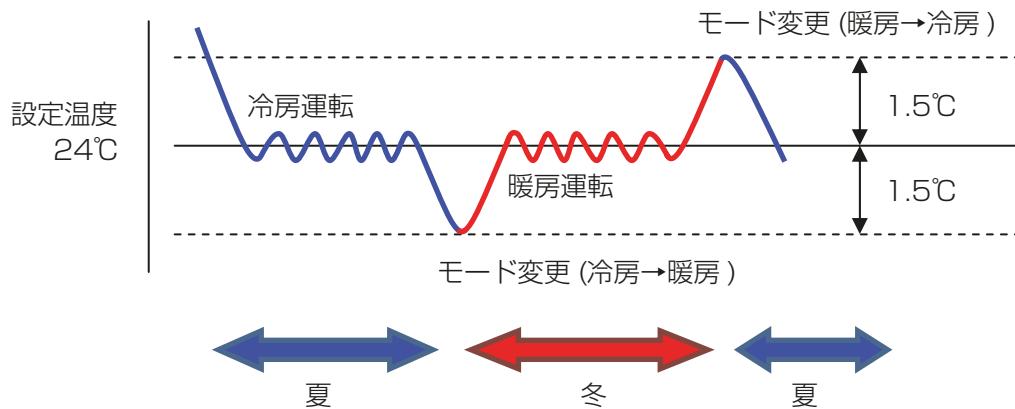
1. 下表を参照して、切換モード[なし]、[自動]、または[代表グループ]を選択する。
[代表グループ]を選択した場合は、さらに右側のグループの中から代表となるグループを選択します。

切換モード	内容
なし	オートチェンジオーバー機能は使用されません。
自動	室外ユニットに接続された全ての室内グループの設定温度と室温の差、および室内グループに含まれる各室内ユニットの能力値を考慮して運転モード（冷房・暖房）を切り換えます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">• 停止しているグループ、送風・自動モードで運転しているグループは運転モードを切り換えません。
代表グループ	代表グループの設定温度と室温の差で運転モード（冷房・暖房）を切り換えます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">• 代表グループの空調機が停止している場合、および運転モードが送風・自動モードの場合は、代表グループモードではなく、自動切換モードにて制御します。

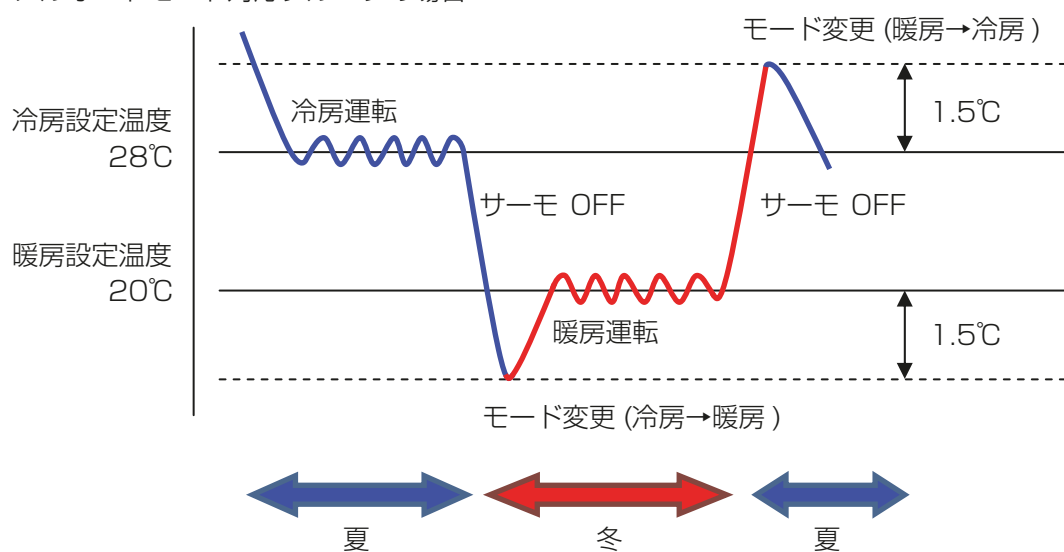
2. 設定完了後、**[確定]**をクリックする。

デュアルオートモード対応有無により、オートチェンジオーバーの動作が変わります。

1) デュアルオートモード非対応グループの場合



2) デュアルオートモード対応グループの場合

**お知らせ**

- 冷房設定温度 < 暖房設定温度とならないように、冷房設定温度と暖房設定温度を設定してください。
- デュアルオートモード対応グループの場合、冷房設定温度と暖房設定温度に大きな差があると、運転モードの切り替わりが遅れることがあります。冷房設定温度と暖房設定温度を可能であれば同じ温度に設定することを推奨します。

6. 統合管理ブラウザの設定方法

6-1. 機能設定

メニューの[設定]－[機能設定]をクリックすると機能に関する設定を行うことができます。



機能 設定	メール設定	異常メール通報やメール通信の設定ができます。
	ピークカット設定	ピークカット方式やデマンドレベルごとの制御内容を設定できます。
	ET 制御	負荷に応じて蒸発温度を上昇させて運転効率を向上させる、ET 制御機能を室外ユニットごとに設定できます。
	アドバンスト パワーセーブ設定	室外ユニットごとに室外ユニットの使用電力量上限をセーブする設定ができます。
	サーモ OFF 時送風設定	室内ユニットごとにサーモ OFF 時の送風設定ができます。
	室外機スケジュール	室外機スケジュール 1 画面で室外ユニットの省エネ制御に関するスケジュールを設定します。 また、室外機スケジュール 2 画面で室外ユニットの霜取り運転やナイトモードに関するスケジュールを設定します。
	設定温度範囲制限	手元リモコンまたは一般ユーザー用 Web ブラウザの設定温度の範囲を制限する設定ができます。
	ナイトモード スケジュール	室外ユニットを特定の時間、低騒音運転に切り替える設定ができます。
	外気温連動制御設定	設定温度と外気温の温度差に連動して設定温度を自動調節する設定ができます。
	セットバック制御設定	夜間、室温が一定の温度範囲から外れた場合に自動的に冷房または暖房を行う設定ができます。

6-1-1. メール設定

異常メール通報機能、メール通信機能、低温異常メール機能または低温定期メール機能を使用するためには、メール設定が必要です。異常メール通報機能は、特定のメールアドレスに異常情報を送信する機能です。メール通信機能は、メンテナンスツールをインストールしたPCの特定メールアドレスにユニットのメンテナンスデータを送信する機能です。低温異常メール機能と低温定期メール機能の詳細については取扱説明書（低温MELTOUCH機能編）を参照してください。

画面左部にあるメニューの[設定]－[機能設定]－[メール設定]をクリックしてメール設定画面を開きます。各種メール設定を行い、[OK]をクリックして、設定をAE-200J/AE-50J/EW-50Jに保存します。

[1] AE-200J/AE-50J/EW-50Jのメール設定

インターネットプロバイダーまたはシステム管理者から入手したメール情報を入力します。使用する機能によって設定項目が異なります。次ページの表を参照してください。

お知らせ

- インターネットプロバイダー経由でメールを送信する場合は、インターネットプロバイダーとの契約が必要です。
- ユーザーIDは、半角30文字以内としてください。

設定が必要な項目 (AE-200Jのメール設定)

項目	SMTP 認証なし	SMTP 認証あり
メールアドレス	○	○
ユーザーID	-	○
パスワード	-	○
受信メールチェック間隔	-	-

(○) 設定が必要、(-) 設定が不要

[2] メールサーバ情報

インターネットプロバイダーまたはシステム管理者から入手したメールサーバ情報を入力します。使用する機能によって設定項目が異なります。下表を参照してください。

「送信メールサーバ (SMTP)」および「受信メールサーバ (POP3)」には、IP アドレスまたはホスト名 (サーバ名) のいずれかを入力できます。

お知らせ

- ・ 送信メールサーバ (SMTP) のポート番号には0～65535の値を設定できます。(工場出荷時：25)
- ・ ポート番号を「587」に設定した場合、「SMTP 認証が必要」にチェックを入れてください。
- ・ ポート番号を「465」に設定した場合、暗号化方法は「SSL/TLS」を選択してください。

設定が必要な項目 (メールサーバ情報)

項目	SMTP 認証なし	SMTP 認証あり
送信メールサーバ (SMTP) ※3	○ IP アドレスまたはホスト名	○ ホスト名
送信メールサーバポート	○	○
暗号化方法 ※2	「接続の保護なし」または「SSL/TLS」	
SMTP 認証が必要	-	○
受信メールサーバ (POP3)	-	-
優先 DNS サーバ	(○) ※1	○
代替 DNS サーバ	(○) ※1	○

(○) 設定が必要、(-) 設定が不要

※1 「送信メールサーバ (SMTP)」または「受信メールサーバ (POP3)」にホスト名を入力した場合のみ必要。

※2 暗号化を使用しない場合は「接続の保護なし」、暗号化する場合は「SSL/TLS」を選択してください(工場出荷時：「接続の保護なし」)。ただし、TLS1.1 以上と STARTTLS には対応していません。

※3 送信メールサーバは信頼できるサーバのIP アドレスもしくはホスト名を設定してください。

[3] 異常メール設定

手順

1. 「メールタイトル」に、異常メール通報機能に使用するメールタイトルを最大40文字で入力する。

お知らせ

- ・「メールタイトル」には次の文字は使用できません < > & " '
 - また、半角カタカナと全角特殊文字は文字化けするため、使用しないでください。

2. 「異常種別」で、[ユニット異常]、[ユニット異常猶予]、[通信異常]、[汎用機器]、および[ユーザー設定 1]～[ユーザー設定 6]から選択し、「メールアドレス」には、異常メール通報の受信者のメールアドレスを入力する。

3. 「異常種別」で[ユーザー設定 1]～[ユーザー設定 6]を選択する。

[ユーザー設定] ボタンが現れます。
 特定の異常の発生時だけ異常メールを送信するには、[ユーザー設定] をクリックして、ユーザー設定画面を表示します。
 通知する異常コードを入力します。

各ユーザー設定について最大20個の異常コードが設定できます。「1302」や「6607」などの特定異常コードに加えて、アスタリスクを用いた「10**」や「12**」などのコードも使用できます。例えば「10**」を入力した場合、異常メールは、「1000」～「1099」の異常の発生時に送信されます。この画面で異常コードを設定した場合は、受信者のメールアドレスが登録されていることを確認してください。

4. 「異常種別」で[汎用機器]を選択する。

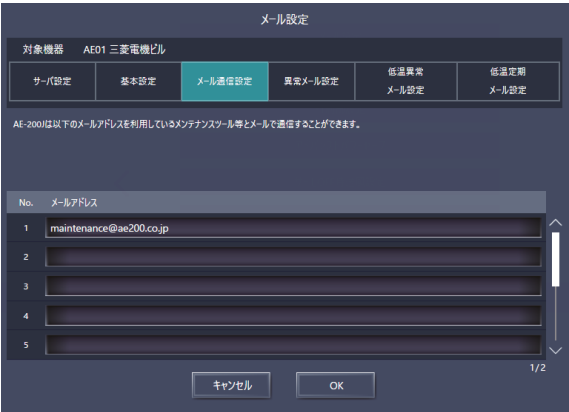
[PLC 接続設定] ボタンが現れます。
 汎用制御 PLC に接続した汎用機器の異常発生時に異常メールを送信するには、[PLC 接続設定] をクリックして、PLC 接続設定画面を表示します。汎用制御 PLC の IP アドレスを入力します。

各 IP アドレスに対応する行番号が PLC 番号として異常メールが送信されます。(例えば、2 行目の PLC に接続された汎用機器 20 で異常が発生した場合は、異常メールの「異常発生元」に「PLC2-20」が表示されます。)

お知らせ

- ・ 汎用制御 PLC に接続された汎用機器を監視するには TG-2000 が必要です。

[4] メール通信設定



メール通信機能を使用するには、「メール通信設定」でユニットのメンテナンスデータを受信するパソコンのアドレスを入力します。最大 10 個のメールアドレスが設定できます。

[5] メールフォーマット

異常メール通報は、下記のフォーマットで送信されます。

物件名: 三菱電機株式会社 (000001)
発生日時: 2015/03/04 16:32:12
異常発生元: 065
異常コード: 1302
状態: 発生

メールタイトル	「[3] 異常メール設定」参照で設定されたメールタイトルが表示されます。
物件名	「5-3-2. 基本システム設定 [1] 本体の設定」参照で設定された AE-200J/AE-50J/EW-50J ユニット名称および識別番号が表示されます。
発生日時	「5-3-2. 基本システム設定 [7] 表示の設定」参照で設定された形式で異常発生日時が表示されます。
異常発生元	<div><ul style="list-style-type: none">・ 空調機または汎用機器で異常が発生した場合は、異常発生元のユニットの M-NET アドレスが表示されます。・ 汎用制御 PLC に接続された汎用機器で異常が発生した場合は、PLC 番号 * (1 ～ 20) と汎用機器の接続番号 (1 ～ 32) が表示されます。・ 汎用制御 PLC で通信異常が発生した場合は、PLC 番号 * (1 ～ 20) が表示されます。<p>※ PLC 番号は、[PLC 接続設定] 画面上の行番号を示します。 「[3] 異常メール設定」参照</p><div>お知らせ</div><ul style="list-style-type: none">・ 汎用インターフェースを介して接続された汎用機器で異常が発生した場合は、汎用インターフェースの M-NET アドレスが表示されます。(汎用インターフェースに接続されたいずれかの汎用機器で異常が発生したことが通報されます。)</div>
異常コード	<div>4 桁の異常コードが表示されます。<ul style="list-style-type: none">・ 空調機で異常が発生した場合は、異常コードについて各ユニットのサービスマニュアルを参照してください。・ 汎用機器で異常が発生した場合は、「0091」(汎用機器異常) が表示されます。・ 汎用制御 PLC で通信異常が発生した場合は、「0003」(PLC LAN 通信異常) または「0007」(PLC プログラム停止) が表示されます。</div>
状態	「発生」または「復旧」が表示されます。

[6] 異常メール試運転方法

手順

1. 通信異常等の異常を発生させる。
2. 統合管理ブラウザの[メンテナンス]-[異常メール送信履歴]から“メール送信結果”を確認する。
3. “送信結果OK”の場合、試運転は完了です。送信先のメールアドレスに異常メールが届いているかを確認してください。
4. “送信結果NG”（異常発生から約30分後に表示）の場合、下記を確認してください。
 - ① ネットワークに問題ないか確認してください。
 - ・ インターネット接続
お使いのパソコンからインターネットに接続できるかご確認ください。
 - ・ 送信メールサーバ/受信メールサーバの稼働状況
サーバ障害が起きていないかどうか、ご利用中のプロバイダー等やシステム管理者にご確認してください。
 - ② メール設定に間違いがないか確認してください。
 - ・ サーバー設定
送信メールサーバ(SMTP)、送信メールサーバポート、暗号化方法、DNSサーバを確認する。
 - ・ 基本設定
メールアドレス、ユーザーID、パスワードの確認
 - ・ 異常メール設定
送信先メールアドレスの設定確認

6-1-2. ピークカット設定(省エネ制御)

選択されたピークカット方式に従い、デマンドレベルや電力量値を取得して制御レベルを決定し、室外ユニットと室内ユニットをその制御レベルに対応する最大能力以内で運転し、省エネ制御を行います。

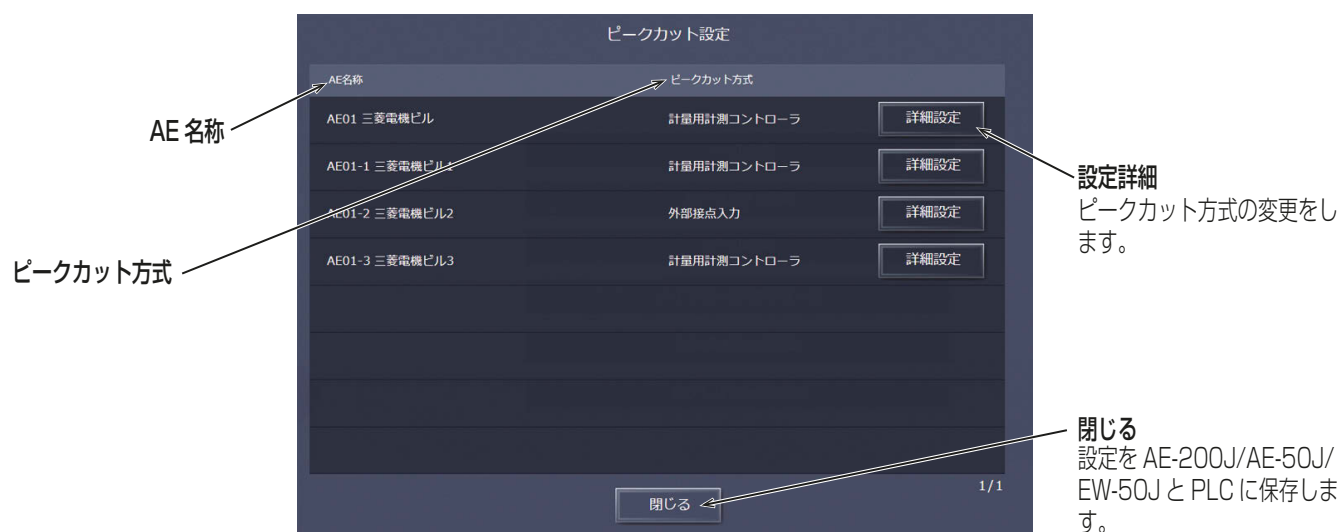
画面左部にあるメニューの[設定]－[機能設定]－[ピークカット設定]で[詳細設定]をクリックしてピークカット設定画面を開きます。設定内容入力後、[OK]をクリックして、設定をAE-200J/AE-50J/EW-50Jに保存します。

お願い

- 設定完了後、関連機器が正しく接続されピークカット制御可能となっていることを、試運転にて確認してください。
- ピークカット機能を使用するには、別途省エネピークカット制御ライセンスが必要です。「ライセンス登録」画面で、必要なライセンスが正しく登録されていることを確認してください。(詳細については、「3-6. ライセンス登録」参照)
- 常に同一の省エネ制御を行う場合は、省エネ制御ライセンスを登録し、室外ユニット、室内ユニットの制御方法のうち、レベル0の内容を設定します。
- 室内機の省エネ制御は、ブロック単位で行います。ブロック設定をしてください。
- ピークカット方式を[BACnet]に設定した場合、別途BACnet®設定ツールでピークカット設定を実施してください。
詳しくは、AE-200J/AE-50J/EW-50J取扱説明書(BACnet®設定ツール編)を参照してください。
- BACnet®を利用する場合、別途BACnet®接続ライセンスが必要です。

お知らせ


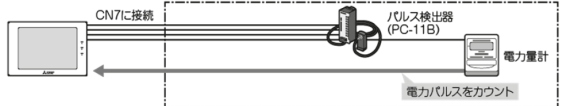
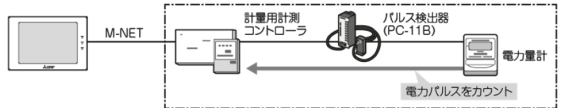
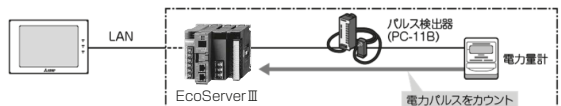
- 汎用インターフェース(PAC-YG66DC(1))にピークカット制御は行えません。



お知らせ

- 故障や伝送線の断線等により、実際の使用電力が設定したデマンド値を超過した場合、当社は一切の責任を負いません。

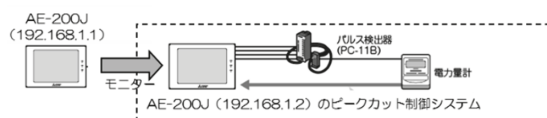
ピークカット制御の実行には、AE-200J/AE-50J/EW-50J に電力量計のパルス、もしくはデマンドレベルを入力する必要があります。各方式の必要部材を以下にまとめます。

No.	ピークカット制御方式	必要部材	備考
1	外部接点入力方式	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ制御（ピークカット）ライセンス 外部入力アダプタ デマンドコントローラ 	デマンドコントローラからの制御レベル信号を、直接 AE-200J/AE-50J/EW-50J に入力する方式。
2	計量用計測 コントローラ方式 (計量用パルス入力)	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ制御（ピークカット）ライセンス パルス検出器 	計量用パルス入力（電力パルス）を直接 AE-200J/AE-50J/EW-50J に入力）を使用して、AE-200J/AE-50J/EW-50J が制御レベルを予測する方式。
3	計量用計測 コントローラ方式 (計量用計測 コントローラ入力)	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ制御（ピークカット）ライセンス 計量 MC パルス検出器 	電力パルスを計量 MC に入力し、AE-200J/AE-50J/EW-50J が制御レベルを予測する方式。
4	EcoServer III 接続方式	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ制御（ピークカット）ライセンス EcoServer III パルス検出器 	電力パルスを EcoServer III に入力し、EcoServer III が予測した制御レベルを LAN 経由で AE-200J/AE-50J/EW-50J に入力する方式。EcoServer III で 10 台の AE-200J/AE-50J/EW-50J と接続できます。

お知らせ

- 他の AE-200J/AE-50J/EW-50J のピークカット制御レベルを参照する方式です。

他の AE



- ※1 LAN 接続している AE-200J/AE-50J/EW-50J のうち、No.1 ～ 4 のいずれかのピークカット方式を使っている AE-200J/AE-50J/EW-50J が 1 台以上ある場合に限り採用できる方式です。
- ※2 他の AE-200J/AE-50J/EW-50J のピークカット制御レベルを参照(モニター)時間に最大 1 分の遅れが出るため、ピークカット制御のタイミングが遅くなる点をご理解のうえ、導入してください。

[1] ピークカット方式

(1) [デマンド入力PLC] を選択した場合

手順

1. 「IP アドレス」に、デマンド入力 PLC の IP アドレスを入力する。
2. デマンド入力 PLC を初めて使用する場合は、**[初期化]** をクリックする。
内部メモリを初期化します。

お願い

- ・ 初期化によってすべての運用データが消去されるため、運用開始後は初期化しないでください。

3. 「制御対象 AE」に、デマンドレベル信号が送信される AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを入力する。
最大 10 個の IP アドレスが登録できます。

4. 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を 3～9 に設定する。
制御レベルが 0 の場合に、設定温度と室温との温度差が指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。

お知らせ

- ・ レベル 1～4 は温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

(2) [電力量カウントPLC] を選択した場合

対象機器 AE01 三菱電機ビル

ピークカット方式 電力量カウントPLC

ピークカット制御設定 室外ユニット制御設定 室内ユニット制御設定

IPアドレス 192 168 1 151 初期化

入力ボード 1-0 パルス単位 1.0 kWh / パルス

制御レベル	最小値	最大値	設定温度と室内温度の差
4	500 kW	-	3.0°C この差以上になると、レベル0では室内機の制御は行われません
3	450 kW	500 kW	
2	400 kW	450 kW	
1	350 kW	400 kW	
0	0 kW	350 kW	

キャンセル OK

手順

1. 「IPアドレス」に、電力量カウントPLCのIPアドレスを入力する。
2. 電力量カウントPLCを初めて使用する場合は、[初期化]をクリックする。
内部メモリを初期化します。

お願い

- ・ 初期化によってすべての運用データが消去されるため、運用開始後は初期化しないでください。

3. 「入力ボード」に、電力量計を接続した入力ボード番号および端子番号を選択する。
例えば、電力量計を入力ボード1の端子2に接続した場合は、1-2を選択します。

お知らせ

- ・ 入力ボード番号は1または2から、端子番号は0～Fから選択してください。

4. 「パルス単位」に、電力量計が出力するパルス値を入力する。
使用する電力量計に応じて設定してください。

お願い

- ・ パルス単位は使用する電力量計に合わせて設定してください。また、正常に設定されたことを確認するため、毎時00分、30分の複数回、実際の電力量計のメーター値を確認した後、30分間の電力量計のメーター値の増加量と、ピークカット制御の平均電力が一致していることを確認してください。
(ピークカット制御平均電力は統合管理ブラウザのピークカット制御グラフおよび、CSVファイルで確認できます。)

5. 「制御レベル」では、各制御レベルに電力の利用範囲を割り当てる。
制御レベル4については、最大需要電力(30分間に超えてはいけない平均電力値)より10～15%低い値を入力します。制御レベル3～1については、前の制御レベルの設定値から約10%低い値を入力します。

お知らせ

- ・ 電力使用機器のシステム構成や建物の室内環境により、適正値は異なります。建物の環境に応じて決定してください。

6. 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を3～9に設定する。
制御レベルが0の場合に、設定温度と室温との温度差がここで指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。

お知らせ

- ・ レベル1～4は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

(3) [計量用計測コントローラ] を選択した場合

制御レベル	最小値	最大値	設定温度と室内温度の差
4	200 kW	-	3.0°C この値以上になると、レベル0では室内機の制御は行われません
3	180 kW	200 kW	
2	160 kW	180 kW	
1	140 kW	160 kW	
0	0 kW	140 kW	

手順

1. 「電力量計」で、AE-200J/AE-50J/EW-50Jに接続したピークカット用の計量用パルス入力または計量用計測コントローラを選択する。

お知らせ

- ・「計測設定」画面で登録した電力量計のみ選択できます。計量計の登録方法については、「5-4-6. 計量MC設定」を参照してください。
- ・電力量計の名称は以下で表示されます。
計量用パルス入力方式：「計量計＋AE番号※1＋“－”＋CH番号＋スペース＋計量計名称」
例：ピークカット用電力量計がAE-200JのCN7のCH3に接続されて、名称を“ピークカット用”と設定している場合
⇒計量計01－3 ピークカット用
計量用計測コントローラ方式：「アドレス＋AE番号※1＋“－”＋計量コントローラのアドレス＋“－”＋CH番号＋スペース＋計量計名称」
例：ピークカット用電力量計が計量用計測コントローラ（アドレス10）のCH2に接続されていて、名称を未設定の場合
⇒アドレス01-010-2
※1 AE番号については、AE-200J/AE-50J/EW-50J取扱説明書（統合管理ブラウザ操作編）「1章 4. 名称表示について」を参照してください。

2. 「制御レベル」では、電力利用範囲を各制御レベル（デマンドレベル）に割り当てる。
例えば制御レベル4については、最大需要電力（30分間に超えてはいけない平均電力値）より10～15%低い値を入力します。制御レベル3～1については、前の制御レベルの設定値から約10%低い値を入力します。

お知らせ

- ・電力使用機器のシステム構成や建物の室内環境により、適正値は異なります。建物の環境に応じて決定してください。

3. 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を3～9℃に設定する。
制御レベルが0の場合に、設定温度と室温との温度差が指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。

お知らせ

- ・レベル1～4は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。
- ・計量用計測コントローラをAE-200Jのみに接続し、AE-50J/EW-50JがAE-200Jの制御レベルをモニタする場合、AE-50J/EW-50Jには「他のAE」を設定してください。

(4) [他のAE] を選択した場合

対象機器 AE01 三菱電機ビル

ピークカット方式 他のAE

ピークカット制御設定 室外ユニット制御設定 室内ユニット制御設定

IPアドレス 192 . 168 . 1 . 2

設定温度と室内温度の差

3.0°C

この差以上になると、レベル0では室内機の制御は行われません

キャンセル OK

手順

1. 「IP アドレス」に、ピークカット機能に使用する「電力量計」・「その電力量計を接続した計量用計測コントローラ」または「デマンドコントローラ」を接続した AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを入力する。
2. 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を 3～9℃ に設定する。
制御レベルが 0 の場合に、設定温度と室温との温度差がここで指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。

お知らせ

- 制御レベルは電力量計のパルス信号または計量用計測コントローラまたは外部接点入力を接続した AE-200J/AE-50J/EW-50J から 1 分間隔で取得されるため、制御レベルの変化は即時には反映されません。
- 電力量計のパルス信号または計量用計測コントローラまたは外部接点入力を接続した AE-200J/AE-50J/EW-50J に最大 10 台の AE-200J/AE-50J/EW-50J が接続できます。
AE-200J/AE-50J/EW-50J が 11 台以上ある場合は、電力量計のパルス信号、計量用計測コントローラまたは外部接点入力を接続する AE-200J/AE-50J/EW-50J を増やしてください。
- レベル 1～4 は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

(5) [外部接点入力] を選択した場合

外部接点入力は、AE-200J、AE-50J/EW-50J のどちらでも接続でき、全システムに対して制御を行う室外ユニットと室内機のブロックを選択できます。

手順

1. 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を 3～9℃ に設定する。
制御レベルが 0 の場合に、設定温度と室温との温度差がここで指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。

お知らせ

- ・レベル 1～4 は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。
- ・外部接点入力を AE-200J のみに接続し、AE-50J/EW-50J が AE-200J の制御レベルをモニタする場合、AE-50J/EW-50J には「他の AE」を設定してください。

(6) [BACnet] を選択した場合

手順

1. 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を 3～9℃ に設定する。
制御レベルが 0 の場合に、設定温度と室温との温度差がここで指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。

お知らせ

- レベル 1 ～ 4 は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。
- ピークカット方式を **[BACnet]** に設定した場合、別途 BACnet® 設定ツールでピークカット設定を実施してください。
詳しくは、AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書（BACnet® 設定ツール編）を参照してください。
- BACnet® で監視していない機器もピークカット制御の対象となります。ピークカット制御の対象外としたい機器は別の子機に接続してください。

(7) [その他のシステム] を選択した場合 (E-Energy/Eco Server Ⅲ 接続など)

対象機器 AE01 三菱電機ビル

ピークカット方式 その他のシステム

ピークカット制御設定 室外ユニット制御設定 室内ユニット制御設定

設定温度と室内温度の差

3.0℃

この値以上になると、レベル0では室内機の制御は行われません

キャンセル OK

手順

1. 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を 3 ～ 9℃ に設定する。
制御レベルが 0 の場合に、設定温度と室温との温度差がここで指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。

お知らせ

- レベル 1 ～ 4 は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

[2] 室外ユニット制御設定

「室外ユニット制御設定」では、各省エネレベルでの室外ユニットへの省エネ制御を設定します。

お知らせ

- マルチ機種の室外ユニットの場合は、M-NET アドレスが表示されます。Mr.スリム機種の場合は、M-NET アドレスとグループ名が表示されます。
- Mr.スリム機種の室外ユニットについては、インバーター機種だけがピークカット制御を実行できます。一定速機種のピークカット制御設定はできません。

対象機器
AE01 三菱電機ビル

ピークカット方式
その他のシステム

ピークカット制御設定

室外ユニット制御設定

室内ユニット制御設定

最大運転能力/制御時間

アドレス	制御レベル0	制御レベル1	制御レベル2	制御レベル3	制御レベル4	
01-051	100%/3分	80%/9分	70%/9分	60%/15分	50%/30分	一括設定
01-053	80%/3分	70%/9分	70%/9分	60%/9分	60%/30分	設定変更
01-071	80%/6分	70%/15分	70%/15分	60%/30分	60%/30分	設定変更
01-075	90%/6分	80%/9分	70%/9分	70%/15分	70%/30分	設定変更

一括設定
室外ユニットを一括で設定します。

設定変更

キャンセル

OK

設定変更

OK

または

一括設定

キャンセル

室外ユニット : 01-081

最大運転能力/制御時間設定

制御レベル	最大運転能力	制御時間
4	100% 90% 80% 70% 60% 50%	3分 6分 9分 15分 30分
3	100% 90% 80% 70% 60% 50%	3分 6分 9分 15分 30分
2	100% 90% 80% 70% 60% 50%	3分 6分 9分 15分 30分
1	100% 90% 80% 70% 60% 50%	3分 6分 9分 15分 30分
0	100% 90% 80% 70% 60% 50%	3分 6分 9分 15分 30分

最大運転能力
室外ユニット運転能力の上限を選択します。

制御時間
制御する時間を選択します。

室外ユニット

一括設定の場合、「一括」設定変更の場合、「室外ユニット名」が表示されます。

キャンセル

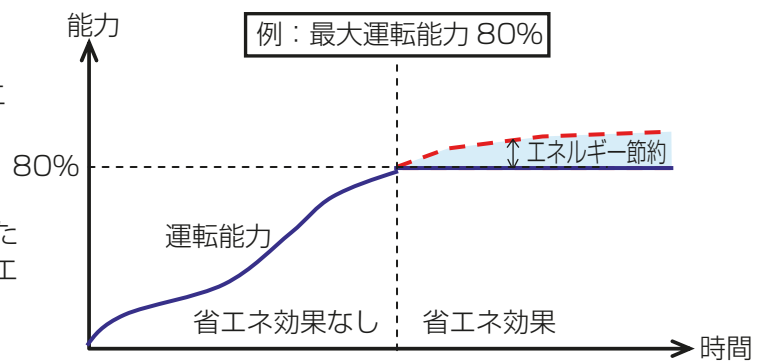
OK

手順

1. 各制御レベルの最大運転能力を選択する。
 室外ユニットは通常、能力100%で運転しており、最大運転能力値が小さいほど、省エネ運転となります。

お願い

- 室外ユニットの負荷が低く、指定された能力値以下で運転している場合は、省エネ効果が出ません。
- 下記の機種では室外ユニットへの能力セーブ制御を行わないように[100%]に設定してください。
 - 蓄熱機種
 - PUSY-J***
 - PUSY-P***-M-E(2006年以前発売)
- 最大運転能力50%に対応したAE-200J/AE-50J/EW-50Jは、Ver. 7.23以降です。



2. 各レベルでの制御時間を設定する。
 室外ユニットへの能力セーブ制御の場合、短い時間での制御では効果が出にくくなりますので、30分または15分での制御を推奨します。
 30分以外の時間を設定した場合は、接続されている室外ユニットの中で、極力制御時間が重ならないよう、ローテーション制御を行います。
3. すべての室外ユニットに対して一度に設定を行う場合は、[一括設定]をチェックする。

[3] 室内ユニット制御設定

各省エネレベルでの室内ユニットへの省エネ制御を設定します。
設定は操作ブロック単位となります。操作ブロック設定を行っていない場合は、5-4-4 章を参照して操作ブロックを設定してください。

対象機器AE01 三菱電機ビル
ピークカット方式その他のシステム

ピークカット制御設定

室外ユニット制御設定

室内ユニット制御設定

制御内容/制御時間

一括設定

ブロック	制御レベル0	制御レベル1	制御レベル2	制御レベル3	制御レベル4	
01-1	±2°C/9分	送風/9分	送風/15分	停止/15分	停止/30分	設定変更
01-2	±2°C/6分	±2°C/9分	送風/9分	送風/15分	送風/30分	設定変更
01-3	なし/9分	±2°C/15分	±2°C/30分	±2°C/30分	±2°C/30分	設定変更
01-4	なし/3分	なし/3分	なし/3分	なし/3分	なし/3分	設定変更
01-21	なし/3分	±2°C/6分	±2°C/9分	±2°C/9分	±2°C/15分	設定変更

1/2

一括操作
室内ユニットを一括で設定します。

設定変更

設定変更

OK

または

一括設定

または

キャンセル

室内ユニット一括設定の場合、「一括」設定変更の場合、「室内ユニット名」が表示されます。

室内ユニット : 1F North

制御レベル

制御内容

制御時間

4	なし	±2°C	送風	停止	3分	6分	9分	15分	30分
3	なし	±2°C	送風	停止	3分	6分	9分	15分	30分
2	なし	±2°C	送風	停止	3分	6分	9分	15分	30分
1	なし	±2°C	送風	停止	3分	6分	9分	15分	30分
0	なし	±2°C	送風	停止	3分	6分	9分	15分	30分

キャンセル

OK

制御内容
室内ユニットの制御を選択します。

制御時間
制御する時間を選択します。

WT07626X17

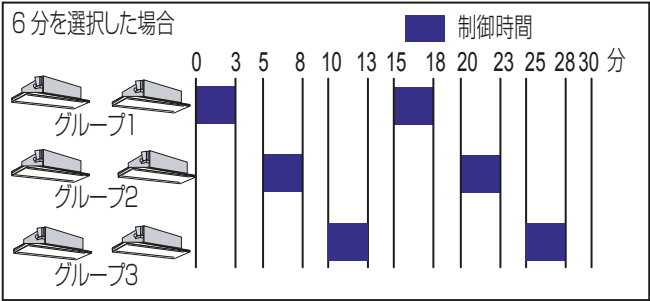
228

手順

1. **[設定変更]** をクリックして、各レベルでの制御方法を設定する。
すべてのブロックに対して一度に設定を行う場合は、**[一括設定]** をクリックします。
次に、下表を参照して、各制御レベルの制御方法を選択します。

制御方法	制御内容
なし	制御は実行されません。
± 2° C 制御	制御中は、冷房またはドライモードの設定温度は +2° C 補正がかかり、暖房モードの設定温度は -2° C 補正がかかります。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">送風または自動モード中は、制御は実行されません。設定温度は、設定温度制限設定内で調節されます。 詳細については、6-1-7 章を参照してください。
送風制御	制御中は、フリープラン室内ユニットと A 制御機種（スリム機種）の室内ユニットはサーモ OFF 状態になり、フリープラン以前の機種は送風モードになります。（ユニットがサーモ OFF 状態の際、リモコンの画面上の運転モードは変化しません。） ※ 暖房運転中にピークカット制御を行う場合、暖房準備中が継続する可能性があります。
停止制御	制御中は、ユニットは停止します。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">暖房運転中にピークカット制御を行う場合、暖房準備中が継続する可能性があります。制御方法を [停止]、制御時間を [30] 分に設定した場合、ピークカット制御中のグループに対しての運転操作は、どのコントローラからも行えません。

2. 各レベルでの制御時間を設定する。
各制御時間は 3 分を 1 つの制御単位とし、6 分を選択すると 3 分の制御が 30 分中、2 回実行されます。
また、30 分以外を設定した場合は、登録されている操作ブロックの中で、極力制御時間が重ならないよう、ローテーション制御を行います。



6-1-3. ET 制御設定

ET 制御設定を利用したい場合は、画面左部にあるメニューの【設定】－【機能設定】－【ET 制御設定】をクリックして ET 制御設定画面を開き、室外ユニットごとに設定を行います。ソフトウェアバージョンが Ver.7.40～7.91 の場合、工場出荷時「有効」設定です。また、Ver.7.92 以降は工場出荷時「無効」設定です。

ET 制御 (Evaporating Temperature 制御) は、圧縮機入力を低減することにより運転効率を向上させ省エネ運転をする室外ユニットの機能です。冷房運転時、従来は蒸発温度を一定に制御しているのに対して、ET 制御で負荷に応じて蒸発温度を上昇させて、圧縮機の負荷を低減させます。

お知らせ

- ET 制御機能は、E 制御ライセンスの登録が必要ですが、E 制御ライセンス未登録の場合、設定のみ保存ができます。(Ver.7.4 以降は標準機能となり、ライセンス不要です。)
- 本設定は全てのユニットが正常に運転している状態で設定してください。室外ユニットの接続異常が発生している場合、ET 制御の対象ユニットが正常に表示されない場合があります。
- すべての AE-200J/AE-50J/EW-50J でライセンス登録が必要です。
- 室外ユニットが ET 制御に対応している場合に利用できます。
- 形名の末尾が G5, G6 の空冷式室外ユニットで使用する場合、室外ユニットのソフトウェアアップデートが必要となる場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

対象機器

対象の集中コントローラを選択します。
ALL の場合、統合管理ブラウザで管理する集中コントローラ全てとなります。

アドレス

室外ユニットアドレスが表示されます。

有効 / 無効

室外ユニットごと、有効／無効を選択します。

一括設定

全室外ユニットを一括して設定します。

OK

AE-200J/AE-50J/EW-50J および室外ユニットへ設定内容を保存します。

手順

1. 室外ユニットごとに、「ET 制御設定」で、【有効】、【無効】を選択する。
ソフトウェアバージョンが Ver.7.40～7.91 の場合、工場出荷時「有効」設定です。また、Ver.7.92 以降は工場出荷時「無効」設定です。
2. 設定内容入力後、【OK】をクリックする。
AE-200J/AE-50J/EW-50J に設定内容を保存します。

お知らせ

- 全ての室外ユニットを一括して設定したい場合は、【一括設定】ボタンをクリックし、有効／無効を選択します。

6-1-4. アドバンストパワーセーブ設定

アドバンストパワーセーブ機能は、室外ユニットの使用電力量に制限をかける機能です。(工場出荷時は、無効に設定されています。) 室外ユニットの常時運転時の使用電力量に制限をかけることで、省エネ効果が得られます。

アドバンストパワーセーブ設定を利用したい場合は、**[機能設定] - [アドバンストパワーセーブ]** をクリックしてアドバンストパワーセーブ設定画面を開き、室外ユニットごとに設定を行います。(工場出荷時は、有効・制御レベル：なしに設定されています。)

お知らせ

- ・ アドバンストパワーセーブ機能は、E制御ライセンスが必要ですが、E制御ライセンス未登録の場合は設定のみ保存ができます。ライセンス登録後は機能が利用可能になります。(Ver.7.4以降は標準機能となり、ライセンス不要です。)
- ・ 本設定は全てのユニットが正常に運転している状態で設定してください。室外ユニットの接続異常が発生している場合、アドバンストパワーセーブの対象ユニットが正常に表示されない場合があります。
- ・ AE-200JにAE-50J/EW-50Jを接続する場合、接続するすべてのAE-200J/AE-50J/EW-50Jでライセンス登録が必要です。

対象機器

対象の集中コントローラを選択します。
ALL の場合、統合管理ブラウザで管理する集中コントローラ全てとなります。

アドレス

室外ユニットアドレスが表示されます。

有効/無効

室外ユニットごと、有効/無効を選択します。

制御レベル設定

制御レベルを選択します。

一括設定

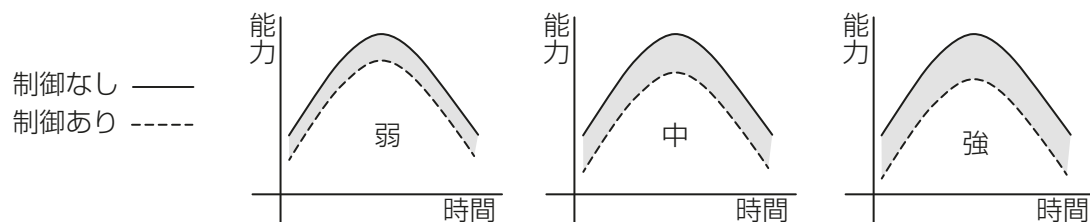
全室外ユニットを一括して設定します。

OK

AE-200J/AE-50J/EW-50J および室外ユニットへ設定内容を保存します。

手順

1. 室外ユニットごとに、アドバンストパワーセーブ設定で、**[有効]**、**[無効]** を選択する。
2. 室外ユニットごとに、制御レベル設定で、制御レベルを**[なし]****[弱]****[中]****[強]** から選択する。
[なし] は、制御を行いません。
[弱][中][強] の順に省エネ効果が増します。



3. 設定完了後、**[確定]** をクリックする。
AE-200J/AE-50J/EW-50J に設定内容を保存します。

お知らせ

- ・ 全ての室外ユニットを一括して設定したい場合は、**[一括設定]** ボタンをクリックし、設定内容を入力します。

6-1-5. サーモ OFF 時送風設定

サーモ OFF 機能は、室内ユニットのサーモ OFF 時にファンの送風運転を制御することで消費電力を低減させ省エネ運転をすることができます。

サーモ OFF 時送風設定を利用したい場合は、画面左部にあるメニューの[設定]－[機能設定]－[サーモ OFF 時送風設定]をクリックしてサーモ OFF 時送風設定画面を開き、室内ユニットごとに設定を行います。

お知らせ

- ・サーモ OFF 時送風機能は、E 制御ライセンスの登録が必要です。(Ver.7.4 以降は標準機能のため、ライセンス不要です。) 未登録の場合、設定変更できません。
- ・形名の末尾が G1 以降の室内ユニット接続時に設定可能です。
- ・本機能を利用時は、室温検知センサを外付けの温度センサ (PAC-SE40TS-W) やリモコンセンサに切り換える必要があります。
- ・サーモ OFF 時送風機能中は空調機のアイコンに省エネ制御中のマークは表示されません。
- ・本設定は全てのユニットが正常に運転している状態で設定してください。室内ユニットの接続異常が発生している場合、サーモ OFF 時送風機能の対象ユニットが正常に表示されない場合があります。
- ・AE-200J に AE-50J/EW-50J を接続する場合、接続するすべての AE-200J/AE-50J/EW-50J でライセンス登録が必要です。

対象機器
対象の集中コントローラを選択します。ALL の場合、統合管理ブラウザで管理する集中コントローラ全てとなります。

アドレス
室内ユニットアドレスが表示されます。

冷房時設定
冷房時の動作を選択します。

暖房時設定
暖房時の動作を設定します。

一括設定
全室内ユニットを一括して設定します。

OK
AE-200J/AE-50J/EW-50J および室内ユニットへ設定内容を保存します。

手順

1. 室内ユニットごとに、「冷房時」設定で、冷房時にサーモ OFF したときの送風を、[リモコン設定風速][停止]から選択する。

お知らせ

- ・[リモコン設定風速]とは、AE-200J/AE-50J/EW-50J またはリモコンで最後に設定された風速で動作する設定です。

2. 室内ユニットごとに、「暖房時」設定で、暖房時にサーモ OFF したときの送風を、[リモコン設定風速][弱風][微風][停止]から選択する。

お知らせ

- ・機種により、微風・弱風を設定できない場合があります。

3. 設定内容入力後、[OK]をクリックする。
AE-200J/AE-50J/EW-50J に設定内容を保存します。

お知らせ

- ・全てのグループを一括して設定したい場合は、[一括設定]ボタンをクリックし、設定内容を入力します。

6-1-6. 室外機スケジュール

室外機スケジュールには、室外機スケジュール1と室外機スケジュール2の2種類あり、それぞれで[週間スケジュール設定1～5]、[当日スケジュール設定]があります。また、1日に12回の運転スケジュールを設定できます。



室外機スケジュール

室外ユニットの運転状態を任意の時間に変更するスケジュール機能が利用可能です。
室外機スケジュール1と室外機スケジュール2の2種類設定可能です。

室外機スケジュール1と室外機スケジュール2の操作可能な制御は下記の通りです。

スケジュール	制御名称
室外機スケジュール1	能力上限セーブ制御
	ET制御
	アドバンストパワーセーブ
	高顕熱制御
室外機スケジュール2	ナイトモード(低騒音運転)
	霜取り運転

お知らせ

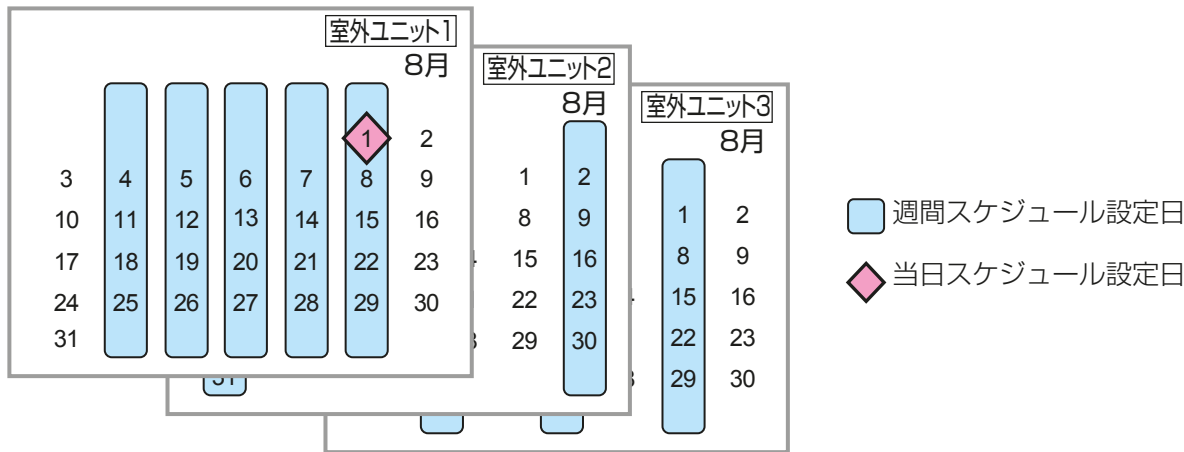
- スケジュールに対応した室外ユニットは、形名の末尾がG5以降の室外ユニットまたはH2以降のシティ(ズバ暖)マルチSです。
- 能力上限セーブ制御は、ピークカット制御(詳細は、6-1-2章参照)の「最大運転能力」と同一です。制御時間が重なった場合は、設定値のうち、低い値で制御が行われます。
- ナイトモード(低騒音運転)は、室外機スケジュール2によるナイトモード(詳細は、6-1-6章参照)とナイトモード(低騒音運転)スケジュール(詳細は、6-1-8章参照)のいずれかが「有効」設定である場合に実行されます。
また、いずれかの「無効」設定が実行された場合にナイトモードが解除されます。
日によって異なるスケジュールで制御したいまたは、制御レベルを設定したい場合は、室外機スケジュール2のナイトモード設定、それ以外の場合は、ナイトモードスケジュール(低騒音運転)を使用してください。
- ライセンス登録状態により、操作可能な制御は異なります。詳細は、下記を確認してください。

登録ライセンス	操作可能制御
省エネ制御(ピークカット)ライセンスまたは、省エネ制御ライセンス	能力上限セーブ制御
高顕熱制御ライセンス	高顕熱制御

ただし、高顕熱制御は室外ユニットが高顕熱対応している場合のみとなります。

- スケジュールの期間が重なる場合、優先順位は、当日、週間1～5の順番で優先度の高いスケジュールが実行されます。
- スケジュールは室外ユニットごとに設定可能です。
- スケジュール設定はPCの日時を基準に設定するため、PCと集中コントローラの時刻は一致させてから設定を行ってください。
スケジュールの実行は集中コントローラが持つ時刻で実行されます。
一致させる方法は、「3-4. 時刻設定」を参照してください。

[1] スケジュール機能の設定例



[2] 室外機スケジュール画面

[室外機スケジュール] をクリックすると、室外機スケジュール画面が表示されます。

室外機スケジュール1画面

表示機器
表示する室外
ユニットを絞り
込むことができ
ます。

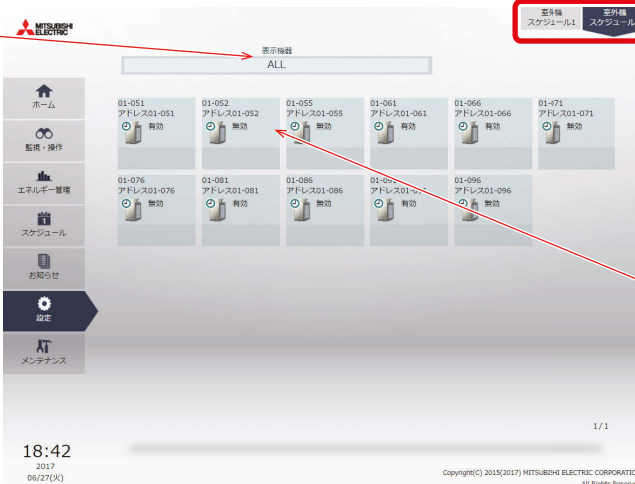


室外機スケジュール
室外機スケジュール
1と2と切り替えます。

室外ユニット
アドレス
01-052
アドレス01-052
最大運転能力
操作値
60%
高
高頭熱制御状態













室外機スケジュール2画面

表示機器
表示する室外
ユニットを絞り
込むことができ
ます。



室外機スケジュール
室外機スケジュール
1と2と切り替えます。

室外ユニット
アドレス
01-052
アドレス01-052
無効
ナイトモード
操作状態

項目	内容				
室外ユニットアイコン	室外ユニットの異常有無の状態を表します。 <table><tr><td>異常なし（正常）</td><td>異常あり</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	異常なし（正常）	異常あり		
	異常なし（正常）	異常あり			
					
	また、現在表示している日のスケジュール有無を表します。 <table><tr><td>スケジュールなし</td><td>スケジュールあり</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	スケジュールなし	スケジュールあり		
	スケジュールなし	スケジュールあり			
					
<div>お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none">・ スケジュールありのアイコンは、当日に運転するスケジュールが存在する場合にのみ表示されます。・ 異常ありのアイコンが表示されている場合は他のアイコンは表示されません。・ 室外機スケジュール1に設定がある場合でも、室外機スケジュール2の画面では、スケジュールアイコンは表示されません。・ 室外機スケジュール2に設定がある場合でも、室外機スケジュール1の画面では、スケジュールアイコンは表示されません。					
室外ユニットアドレス	「アドレス」+アドレス番号が表示されます。				
最大運転能力操作値	<p>最大運転能力の操作値を表示します。 室外機スケジュール1による能力上限セーブ制御とピークカット制御（詳細は、「6-1-2. ピークカット設定（省エネ制御）」参照）で設定された最大運転能力値のうち、低い操作値が表示されます。</p> <div>お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none">・ 操作値100%が表示されている場合、制御が実行されていません。・ 室外ユニットの接点が入っている場合、室外ユニットの設定値が優先されるため、表示されている指令値では動作しません。（詳細は、室外ユニットの「設計工事マニュアル」参照）・ 最大運転能力操作値は室外機スケジュール1の画面のみ表示されます。				
ナイトモード操作状態	<p>ナイトモードの操作状態を「有効」「無効」で表示します。 室外機スケジュール2によるナイトモードとナイトモード（詳細は、「6-1-8. ナイトモード（低騒音運転）スケジュール」参照）で設定されたナイトモード設定でいずれかの設定が「有効」である場合、「有効」が表示されます。「無効」は双方で「無効」となっている場合に表示されます。</p> <div>お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none">・ ナイトモードの制御レベルは表示されません。・ ナイトモード操作状態は室外機スケジュール2の画面のみ表示されます。				
高顕熱制御状態	<p>高顕熱制御の制御状態を表示します。表示される状態は下記の通りです。 低：制御レベル「低」で制御実行中です。 高：制御レベル「高」で制御実行中です。</p> <div>お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none">・ 室外機スケジュール1の画面で高顕熱制御が実行中のみ表示されます。・ 制御レベルが「自動」の場合、室外ユニットで判定を行うため、「低」もしくは「高」のいずれかの制御状態が表示されます。「自動」は表示されません。				

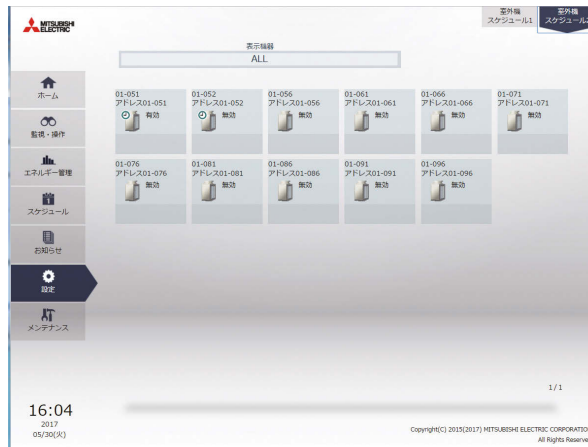
[3] 週間スケジュール設定

週間スケジュール設定では、5種類のスケジュールに対して、曜日ごとにスケジュールを設定できます。

1) スケジュール設定対象の選択

室外機スケジュール1画面または室外機スケジュール2画面で、対象の室外ユニットアイコンを選択し（複数選択不可）、**[スケジュール設定]**をクリックすると、その室外ユニットのスケジュール設定画面が表示されます。

室外機スケジュール画面



手順

1. スケジュールを設定したい室外ユニットのアイコンを選択し、タスクバーの**[スケジュール設定]**をクリックする。
設定対象が選択されます。



スケジュール設定

2. 設定方法選択画面が表示されるので、下記(1)または(2)を操作する。

(1) スケジュールを新規作成または編集する場合

[スケジュール内容編集]を選択し、**[OK]**をクリックする。

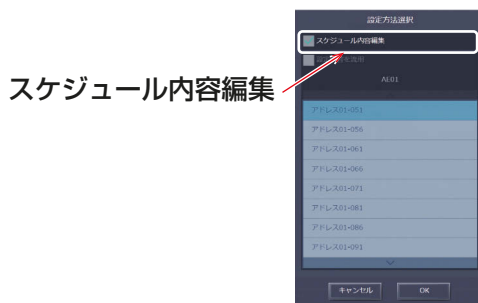
(2) 別の室外ユニットの設定を流用する場合

[設定内容を流用]を選択し、流用元のグループを選択して**[OK]**をクリックする。

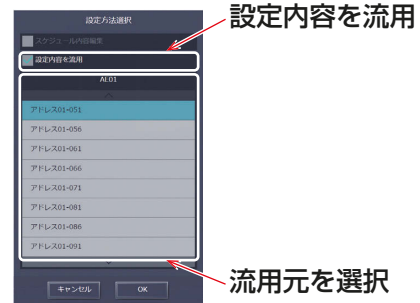
選択したグループに設定されているスケジュールの内容が設定対象グループのスケジュール設定画面に反映されます。

(1) スケジュールを新規作成または編集する場合

(2) 別の室外ユニットの設定を流用する場合



スケジュール内容編集



設定内容を流用

流用元を選択

お知らせ

- ・ 流用元にスケジュール設定がされていないときは、スケジュール内容は未設定の状態ですケジュール設定画面が表示されます。

お願い

- ・ 室外機スケジュール2の霜取り運転は、室内ユニットアドレスを設定するため、室外ユニット間で流用はできません。室外ユニットごとに設定してください。

2) スケジュールの対象期間を設定する（週間スケジュール期間設定）

1 年を最大5つの期間に分け、5種類の週間スケジュールを設定することができます。

お知らせ

- ・ スケジュールの対象期間は室内ユニットスケジュール設定と共通の設定となります。
- ・ スケジュールの対象期間は、集中コントローラごと（AE-200J/AE-50J/EW-50J）に設定されます。統合管理ブラウザでスケジュールの対象期間を設定した場合、管理対象の集中コントローラすべてに同一の設定内容が送信されます。

手順

1. スケジュール設定画面（月または週表示）で、[週間スケジュール設定]をクリックする。
2. 週間スケジュール設定画面で、対象の[期間]をクリックする。
3. 週間スケジュール期間設定画面で、各週間スケジュールを有効とする期間を入力する。

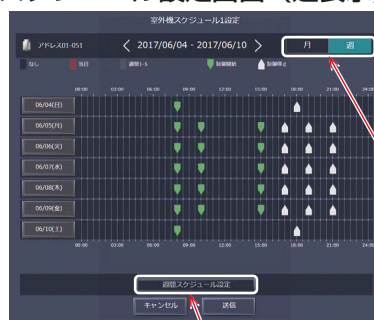
スケジュール設定画面（月表示）



週間スケジュール設定

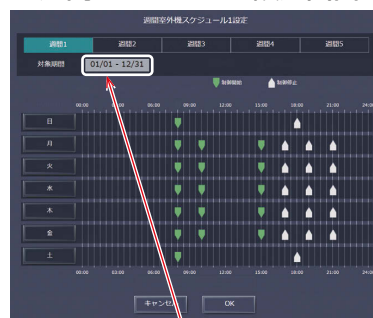


スケジュール設定画面（週表示）



週間スケジュール設定

週間スケジュール設定画面



対象の期間


表示切替
月表示と週表示を
切替えます。

週間スケジュール期間設定画面



期間設定無効状態

お知らせ

- ・ 週間スケジュール期間設定画面でチェックボックスにチェック [] を入れると、チェックされた週間スケジュールの期間設定は無効となります。
- ・ 初期設定にて、「スケジュール 季節設定」が [無効] に設定されている場合は、週間スケジュール期間設定は使用できません。初期設定については「5-3-2. 基本システム設定」を参照してください。
- ・ 接続されている全ての集中コントローラの「スケジュール 季節設定」は [有効] または [無効] で設定を統一してください。

3) 曜日を選択する

設定した週間スケジュール期間（週間 1～5）に対して、曜日ごとにスケジュールを設定します。

手順

1. 週間スケジュール設定画面で、設定する週間スケジュール期間設定（週間 1～5）を選択する。
2. スケジュールを設定する曜日をクリックする。
選択された週間スケジュールと曜日のスケジュール編集画面が表示されます。

週間スケジュール設定画面

曜日選択
スケジュール設定する曜日を選択します。

週間スケジュール期間
週間スケジュールを設定する週間スケジュール期間を選択します。

スケジュール編集画面（週間）

曜日
曜日設定対象の曜日

スケジュール内容
スケジュール簡易表示
スケジュール内容が簡易表示されます。

スケジュール簡易表示
曜日ごとのスケジュール内容が簡易表示されます。

4) スケジュール内容を設定・変更する

手順

1. スケジュールを新規に設定する場合は **[追加]** をクリック、設定されているスケジュールを変更する場合は、**[変更]** をクリックする。
スケジュール運転設定画面が表示されます。

スケジュール編集画面（週間）

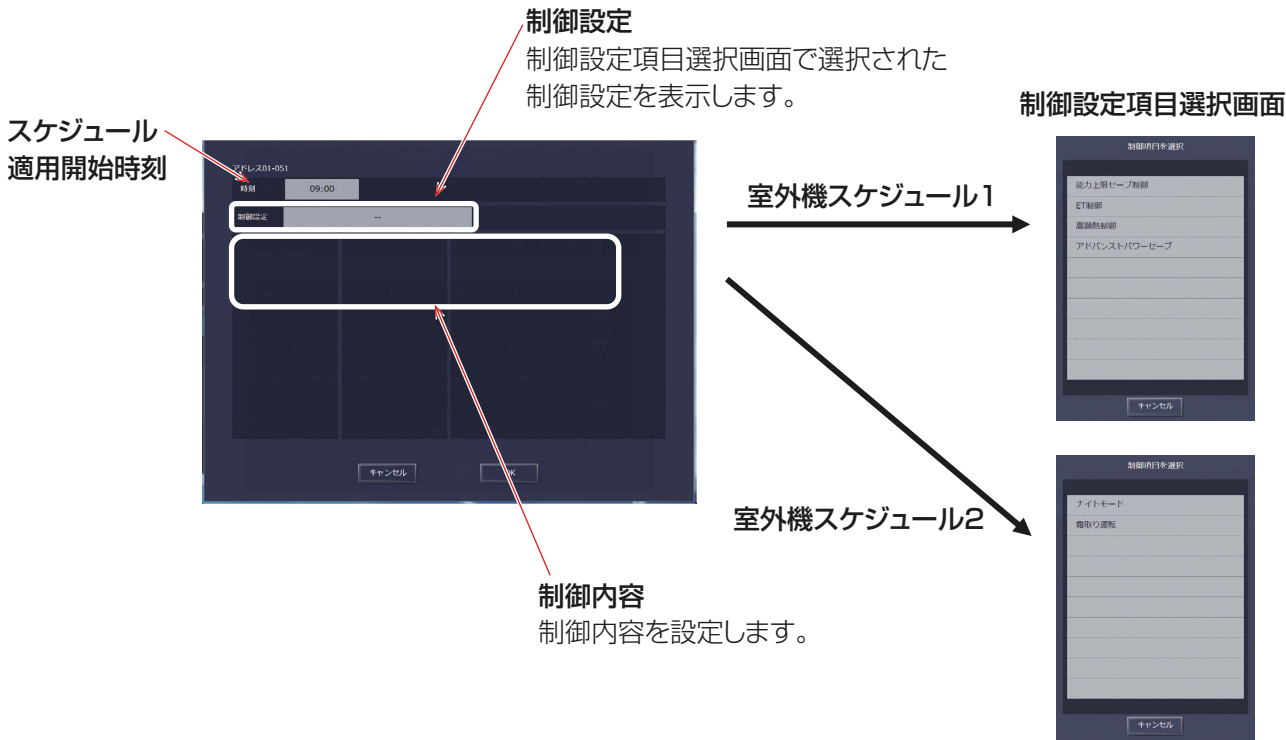
変更
設定されているスケジュール内容を変更します。

追加
スケジュールを新規に追加します。

変更
設定されているスケジュール内容を変更します。

追加
スケジュールを新規に追加します。

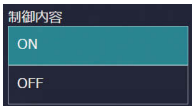

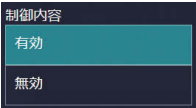
2. スケジュール適用開始時刻、および制御設定、制御内容を設定し、[OK] をクリックする。

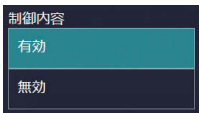
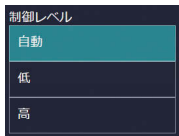
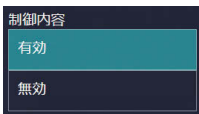
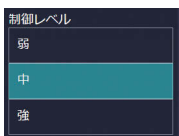


お知らせ

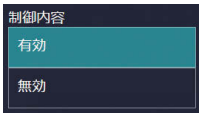
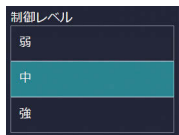
- ・ 制御の詳細は、室外ユニットの技術資料を参照してください。


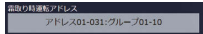
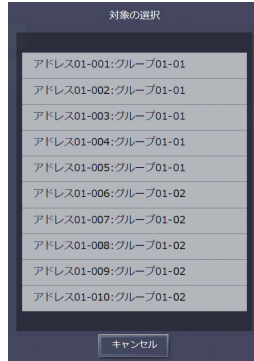
■ 室外機スケジュール 1

制御設定項目	制御内容	内容
能力上限セーブ制御	ON/OFF 	能力上限セーブ制御のON/OFFを切り替えます。 ON設定の場合、室外ユニットが最大運転能力以上の能力で運転しないように抑制します。 OFF設定の場合、最大運転能力を抑制しません。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">・ 室外ユニットの接点が入っている場合、接点の設定が優先されるため、本画面で設定した値では動作しません。・ 接点入力が解除された場合は、本画面での操作値に戻るまで最大10分かかることがあります。
	最大運転能力 	最大運転能力を50%～90%（10%刻み）で設定できます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">・ ON/OFF設定がONの場合にのみ設定可能です。・ ON/OFF設定がOFFの場合、100%固定です。・ 室外ユニットの接点が入っている場合、室外ユニットに設定された値が優先されるため、本画面で設定した値では動作しません。（設定の詳細は、室外ユニットの「設計工事マニュアル」参照）
ET制御	有効/無効 	ET制御の有効/無効を切り替えできます。 有効設定の場合、室外ユニットが開始条件を判定し、条件を満たすと制御が実行されます。無効設定の場合、実行されません。 お知らせ <ul style="list-style-type: none">・ 制御開始は室外ユニットで判定するので、有効設定の場合すべてに、実行されるわけではありません。

制御設定項目	制御内容	内容
高顕熱制御	有効 / 無効 	高顕熱制御の有効 / 無効を切り替えできます。 有効設定の場合、室外ユニットが開始条件を判定し、条件を満たすと制御レベルに合った制御が実行されます。無効設定の場合、実行されません。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 制御開始は室外ユニットで判定するので、有効設定の場合すべてに、実行されるわけではありません。
	制御レベル 	制御レベルを自動 / 低 / 高で設定できます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 有効 / 無効が無効設定の場合、制御レベルは操作できません。
アドバンスト パワーセーブ	有効 / 無効 	アドバンストパワーセーブの有効 / 無効を切り替えできます。 有効設定の場合、室外ユニットが開始条件を判定し、条件を満たすと制御レベルに合った制御が実行されます。無効設定の場合、実行されません。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 制御開始は室外ユニットで判定するので、有効設定の場合すべてに、実行されるわけではありません。
	制御レベル 	制御レベルを弱 / 中 / 強で設定できます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 有効 / 無効が無効設定の場合、制御レベルは操作できません。

■ 室外機スケジュール2

制御設定項目	制御内容	内容
ナイトモード 制御	有効 / 無効 	ナイトモードの有効 / 無効を切り替えできます。 有効設定の場合、制御レベルで制御を実行します。 無効設定の場合、ナイトモード制御は実行されません。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 室外ユニットの接点が入っている場合、接点の設定が優先されるため、本画面で設定した値では動作しません。 接点入力解除された場合は、本画面での操作状態に戻るまで最大20分かかることがあります。
	制御レベル 	制御レベルを弱 / 中 / 強で設定できます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 有効 / 無効が無効設定の場合、制御レベルは操作できません。 室外ユニットの接点が入っている場合、室外ユニットに設定された制御レベルが優先されるため、本画面で設定した制御レベルでは動作しません。(設定の詳細は、室外ユニットの「設計工事マニュアル」参照) お願い <ul style="list-style-type: none"> 能力重視の制御レベルは操作できません。能力重視の制御レベルを設定したい場合は、室外ユニットの設定を変更してください。(設定の詳細は、室外ユニットの「設計工事マニュアル」参照)

制御設定項目	制御内容	内容
霜取り運転	ON 	<p>制御時刻に設定を送信し、室外ユニットで開始条件を満たすと霜取り運転が開始されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室外ユニットが停止状態である場合にのみ、制御が実行されます。
	霜取り時運転アドレス 	<p>室外ユニット停止時における霜取り運転では、一時的に室内ユニットを暖房運転にする必要があるため、運転させる室内ユニットアドレスを指定します。</p> <p>霜取り時運転アドレスの指定画面は下記の通りです。</p>  <p>霜取り時運転アドレス指定画面</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室外ユニットに接続された室内ユニットのアドレスの内、グループの親機のみ選択可能となります。 ・ 室外ユニットに接続された室内ユニットの中にグループの親機が存在しない場合は、霜取り時運転アドレス指定画面には遷移できません。 <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択された室内ユニットは、霜取り運転終了後に運転モードが「暖房」となります。霜取り運転後に室内ユニットを運転する場合、動作させたい運転モードになっているか確認してください。また、室内ユニットのスケジュールを設定している場合、霜取り運転後のスケジュール設定が、動作させたい運転モード設定になっているか確認してください。 ・ 霜取り運転の間隔は、最低でも1時間空けて設定してください。

- 日曜から土曜までの1週間のスケジュール設定で、制御ごとに「有効（またはON）」と「無効（またはOFF）」の数が等しくなっていることを確認し、**[OK]**をクリックする。



お知らせ

- ・ 室外機スケジュール2の霜取り運転は、ONのみの設定であるため、数を確認する必要はありません。

お願い

- ・ 「有効（またはON）」と「無効（またはOFF）」の数の確認は、制御の設定解除漏れを防止するためです。終日の制御設定を変更したい場合は、個別の設定画面（詳細は、「6-1-8. ナイトモード（低騒音運転）スケジュール」を参照）で設定してください。

5) スケジュール設定内容を保存する

手順

- スケジュール内容を設定した後、スケジュール設定画面で**[送信]**をクリックする。
スケジュール設定を集中コントローラに送信・保存します。
前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、**[キャンセル]**をクリックすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

スケジュール設定画面



キャンセル

設定内容をキャンセルして
スケジュール設定画面を閉じます。

送信

設定内容を保存します。

お知らせ

- ・ **[送信]**をクリックするとスケジュール設定が集中コントローラ（AE-200J/AE-50J/EW-50J）に送信されます。スケジュールの設定数により、送信が完了するまで、数分間時間がかかることがあります。

お願い

- 能力上限セーブ制御、ナイトモード制御については、制御中は警告メッセージが表示され、全ての設定を削除できません。
- 能力上限セーブ制御、ET制御、高頭熱制御、アドバンストパワーセーブ、ナイトモード制御のスケジュールを全て削除する場合、「無効（もしくはOFF）」スケジュールを実行したことを確認し、削除してください。「無効（もしくはOFF）」のスケジュールを実行していない場合、各種制御が継続します。制御を解除する場合、室外機スケジュール1の当日スケジュール設定画面、または各種制御の設定画面にて「無効(もしくはOFF)」に設定してください。「無効（もしくはOFF）」のスケジュールが実行されたことは、以下の画面にて確認してください。

能力上限セーブ制御：

室外機スケジュール1の一覧画面で最大運転能力操作値が100%となっていることを確認してください。ただし、ピークカット制御が実行されている場合、最大運転能力操作値はピークカット制御による値となるため、ピークカット制御が実行されていないうえで、100%になることを確認してください。



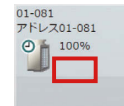
ET制御：

ET制御設定画面で「無効」となっていることを確認してください。

(ET制御設定画面の詳細は「6-1-3. ET制御設定」を参照してください。)

高頭熱制御：

室室外機スケジュール1画面で高頭熱制御状態が何も表示されていないことを確認してください。「高」または「低」と表示されている場合は制御中となります。

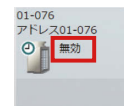


アドバンストパワーセーブ：

アドバンストパワーセーブ設定画面で「無効」となっていることを確認してください。(アドバンストパワーセーブ設定画面の詳細は「6-1-4. アドバンストパワーセーブ設定」を参照してください。)

ナイトモード制御：

室外機スケジュール2画面でナイトモード操作状態が「無効」となっていることを確認してください。ただし、ナイトモードスケジュールが実行されている場合、ナイトモード操作状態は「有効」となるため、ナイトモードスケジュールで「無効」設定の上で、当該時間経過後「無効」になることを確認してください。



- 季節スケジュールを利用している場合で、日をまたいで制御を実施するときは、以下のような設定例で運用してください。
「22:00：制御有効、23:59：制御無効、24:00：制御有効、07:00：制御無効」

[4] 当日スケジュール設定

当日スケジュールでは、週間スケジュールを変更せずに、当日のみ有効なスケジュールを設定することができます。

お知らせ

- ・当日スケジュール設定を行うと、当日スケジュールを削除して週間スケジュールに変更することができません。

1) 設定対象を選択する

手順

1. フロアレイアウト画面またはグループ表示画面でスケジュールを設定する対象を選択する。
「6-1-6. 室外機スケジュール [3] 1) スケジュール設定対象の選択」参照

2) スケジュール内容を設定・変更する

手順

1. スケジュール設定画面（月または週表示）で、本日の日付を選択する。
本日の日付は青色で囲われて表示されます。
2. 「当日スケジュール設定」を選択する。
3. スケジュール編集画面でスケジュール内容を設定する。
「6-1-6. 室外機スケジュール [3] 4) スケジュール内容を設定・変更する」参照

お知らせ

- ・当日スケジュールが設定されるとスケジュール設定画面の本日の日付に「**当日**」と表示されます。
- ・当日スケジュールの場合は、1日の中のスケジュール設定で、制御ごとに「有効（またはON）」と「無効（またはOFF）」の数が等しくなっていることを確認してください。

スケジュール設定画面（月表示）



当日
当日の日付をクリックします。

パターン選択画面



表示切替
月表示と週表示を切替えます。

スケジュール編集画面



当日スケジュール設定

[5] スケジュール設定内容を流用・コピーする

1) 他の室外ユニットの設定状態をコピーする

室外ユニット間でスケジュール設定内容をコピーすることができます。

手順

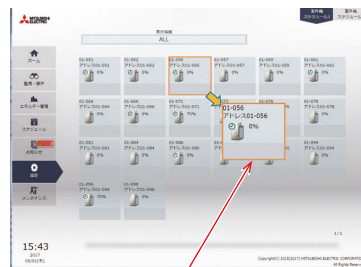
1. 室外機スケジュール1画面または室外機スケジュール2画面で、コピー元となる室外ユニットを選択し、タスクバーの[設定内容コピー]をクリックする。
2. 選択した空調機グループのスケジュール設定がコピーされ、アイコンが橙色の枠で囲まれる。
3. コピー先となる室外ユニットを選択し、[コピー内容反映]をクリックする。
反映される内容は、[設定内容コピー]下部に表示される室外ユニットに設定されているスケジュール内容となります。

手順1



設定内容コピー
選択した室外ユニットアイコンのスケジュール内容がコピーされる。

手順2



コピー元
スケジュール内容をコピーする室外ユニットを選択する。

コピー状態
アイコンが橙色の枠で囲まれる。

手順3



コピーされている室外ユニット名

コピー先
コピー先の室外ユニットアイコンをクリックする。

コピー内容反映
コピーされたスケジュール内容が反映される。

お願い

- ・ 室外機スケジュール2の霜取り運転は、室内ユニットアドレスを設定するため、室外ユニット間で流用はできません。室外ユニットごとに設定してください。
- ・ 室外機スケジュール2のナイトモード制御が「有効」の室外機に対して、ナイトモード制御が設定されていないスケジュールをコピーする場合、エラーメッセージが表示され、コピーはできません。コピーする場合、ナイトモード制御「無効」のスケジュールを実行したことを確認し、コピーしてください。
- ・ 室外機スケジュール1の能力上限セーブ制御が「ON」の室外機に対して、能力上限セーブ制御が設定されていないスケジュールをコピーする場合、エラーメッセージが表示され、コピーはできません。コピーする場合、能力上限セーブ制御「OFF」のスケジュールを実行したことを確認して、コピーしてください。

2) 他の曜日を流用して設定する

週間スケジュールの曜日ごとのスケジュール設定をする際に他の曜日を流用して設定することができます。

手順

1. スケジュール編集画面で、[他の曜日を流用]をクリックする。
2. 流用元選択画面にて、流用元の曜日を選択する。
スケジュール編集画面に流用元のスケジュール内容が反映されます。
3. 必要に応じてスケジュール内容の追加、変更を行う。

スケジュール編集（週間スケジュール設定）

スケジュール編集（週間スケジュール設定）



6-1-7. 設定温度範囲制限

手元リモコンまたは一般ユーザー用統合管理ブラウザの設定温度の範囲を制限することができます。冷房、暖房、および自動モードの設定温度の上／下限を制限することで、省エネ効果が期待できます。

画面左部にあるメニューの[設定]－[機能設定]－[設定温度範囲制限]をクリックして設定温度範囲制限設定画面を開きます。

お知らせ

- 設定温度の操作範囲制限は下記リモコンに対して利用可能です。※1
 - ME リモコン (PAR-F27ME)
 - ME リモコン (PAR-F28ME、PAR-F29ME、PAR-F29ME1、PAR-F30ME、PAR-F30ME1、PAR-F40ME)
 - MA スムースリモコン (PAR-22MA、PAR-24MA、PAR-26MA、PAR-26MA1、PAR-26MA2) ※2
 - MA スマートリモコン (PAR-30MA～PAR-38MA、PAR-40MA～PAR-43MA、PAR-31MA-SE、PAR-35MA-SE) ※2
 - MA デラックスリモコン (PAC-YT35ST、PAC-YT37ST) ※2
 - MA コンパクトリモコン (PAC-YT52CR、PAC-SF01CR) ※2
- ※1 設定可能な運転モードは機種により異なります。
 ※2 機種により本機能が利用できない場合があります。
- ：冷房下限値、暖房上限値
 ：冷房上下限、暖房上下限、自動上下限
 ：冷房上下限、暖房上下限、自動上下限
 ：冷房上下限、暖房上下限、自動上下限
 ：冷房上下限、暖房上下限、自動上下限
 ：冷房上下限、暖房上下限、自動上下限

- リモコンと室内ユニットの機種により、設定温度範囲制限設定が有効でない場合があります。
- A 制御スリム、ルームエアコンとハウジングエアコンは、設定温度範囲制限設定を利用できません。
A 制御スリムは、2018年以降のユニットと最新のアダプタ (PAC-SK16MF) の組み合わせから設定温度範囲制限設定が利用可能ですが、手元リモコンで操作してから数秒後に制限がかかります。
- 設定温度範囲制限設定は、一般ユーザー用統合管理ブラウザでは有効ですが、管理者用統合管理ブラウザでは有効ではありません。管理者用統合管理ブラウザでは、本設定にかかわらず、ユニットの動作可能温度範囲内の任意の温度に設定できます。
- 自動モードの設定温度制限の範囲は、デュアルオートモードに対応した空調機グループについては設定できません。通常冷房および暖房モードの設定温度範囲が、デュアルオートモードの冷房と暖房の設定温度範囲に使用されます。

対象機器

対象の集中コントローラを選択します。
ALL の場合、統合管理ブラウザで管理する集中コントローラ全てとなります。

グループ番号とグループ名

設定温度範囲制限

対象機器: ALL 表示ブロック: ALL

グループ番号	アイコン	グループ名称	冷房 下限/上限	暖房 下限/上限	自動 下限/上限	
01-1		エレベータホール	21.0/30.0°C	19.0/28.0°C	21.0/28.0°C	一括設定 設定変更
01-2		会議室A	22.0/28.0°C	19.0/27.0°C	23.0/26.0°C	設定変更
01-3		会議室B	23.0/29.0°C	21.0/27.0°C	22.0/27.0°C	設定変更
01-4		会議室C	23.0/27.0°C	20.0/25.0°C	23.0/25.0°C	設定変更
01-21		会議室D	23.0/28.0°C	21.0/27.0°C	23.0/26.0°C	設定変更

1/1

キャンセル OK

一括設定

全グループを一括で設定します。

設定変更**OK**

設定を AE-200J/AE-50J/
EW-50J に保存します。

手順

1. 上方または下方スクロールして、対象のグループを表示する。
2. [設定変更] をクリックする。
設定画面を表示します。
すべてのグループに対して一度に設定を行う場合は、[一括設定] をチェックします。
冷房、暖房、および自動モードの設定温度範囲を設定し、[OK] ボタンをクリックして、前の画面に戻ります。

お知らせ

- ・ドライモードの設定温度範囲は、冷房モードと同じになります。

3. [OK] をクリックする。
設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

設定温度範囲制限設定

対象機器 グループ01-1

冷房モード		暖房モード		自動モード	
22.0	24.0 °C	17.0	19.0 °C	20.0	24.0 °C

キャンセル OK

6-1-8. ナイトモード(低騒音運転) スケジュール

室外ユニットを特定の時間、低騒音運転に切り換えることができます。夜間のみ室外ユニットの運転を低騒音化したい場合などにご利用ください。

画面左部にあるメニューの[設定]－[機能設定]－[ナイトモードスケジュール]をクリックしてナイトモードスケジュール設定画面を開きます。

お知らせ

- すべてのユニットが正常に運転している状態で設定してください。室内または室外ユニットで接続異常が発生している場合、対象室外ユニットが正しく表示されないことがあります。
- ナイトモード運転により低減される騒音値は、室外ユニットの機種により異なります。
- 時間帯設定は日をまたいだ設定も可能です。(例：22:00～6:00)
- ナイトモードスケジュールと室外機スケジュール2のナイトモード制御の併用は禁止です。

毎日同じ時刻で使用したい場合は、ナイトモードスケジュール、日によって異なるスケジュールで制御したい場合または、制御レベルを設定したい場合は、室外機スケジュール2のナイトモード制御をご使用ください。

対象機器
対象の集中コントローラを選択します。
ALL の場合、統合管理ブラウザで管理する集中コントローラ全てとなります。

開始時刻

終了時刻

ナイトモードスケジュール

OK
設定を AE-200J/AE-50J/
EW-50J に保存します。

手順

1. 「開始時刻」および「終了時刻」で、ナイトモード運転を実行する開始および終了時刻を指定する。

お知らせ

- 開始時刻と終了時刻が同じ場合、常時ナイトモード運転を行います。

2. 室外ユニットごとにナイトモードスケジュールの ON/OFF を選択します。

3. [OK] をクリックする。

設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

お知らせ

- 本スケジュールは毎日設定した時刻帯で動作します。日によって異なるスケジュールで制御したい場合は、「4-3-2. 室外機スケジュール2」のナイトモードスケジュールを使用してください。

6-1-9. 外気温連動制御

設定温度と外気温の温度差に連動して、設定温度を自動調節することができます。建物入口の空調機にこの制御設定を行うことで、急激な温度変化による身体への負担を軽減することができます。

画面左部にあるメニューの[設定]－[機能設定]－[外気温連動制御]をクリックし対象の選択にて、対象の集中コントローラを選択し、外気温連動制御設定画面を開きます。

お知らせ

- ・ 外気温度は環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC(1)) を接続し、温度センサにて計測してください。
- ・ 外気温連動制御は空調機グループのみ有効です。
- ・ AE-200J/AE-50J/EW-50Jごとに環境用計測コントローラと温度センサを接続してください。

外気温計測ユニット
外気温度を計測する温度センサを選択します。

グループ番号とグループ名称

グループ番号	グループ名称	設定温度の変化幅				
01-1	グループ01-1	なし	±1°C	±2°C	±3°C	±4°C
01-21	グループ01-21	なし	±1°C	±2°C	±3°C	±4°C
01-25	グループ01-25	なし	±1°C	±2°C	±3°C	±4°C

設定温度の変化幅
外気温に連動して最大何°Cまで設定温度を変化させるかを選択します。

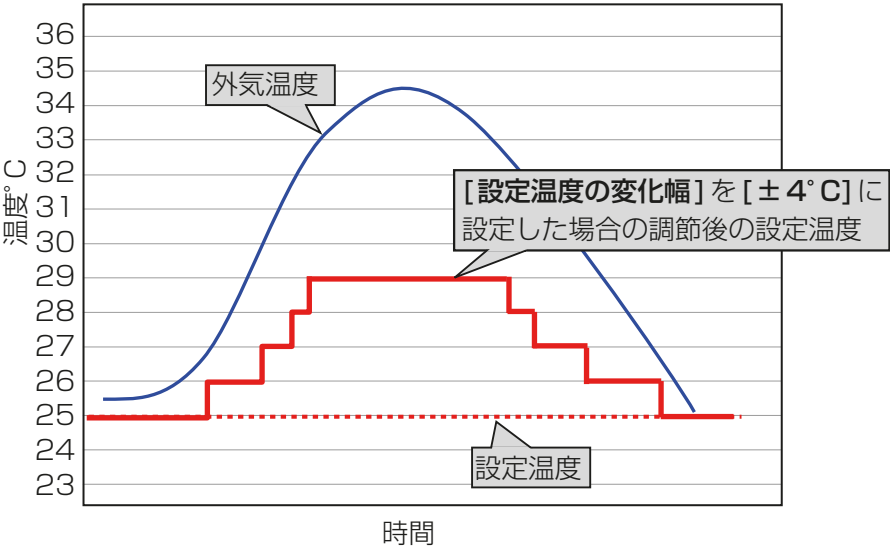
OK
設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

手順

1. 「外気温計測ユニット」で、外気温度を計測する温度センサを選択する。
プルダウンメニューに、環境用計測コントローラに接続した温度センサの名称が表示されます。
2. 「設定温度の変化幅」で、各グループに外気温度に連動して、最大何°Cまで設定温度を変化させるかを選択する。
例えば、[±4°C]を選択し、冷房またはドライモードで設定温度が24°Cの場合、設定温度と室外温度の温度差に基づいて最高28°Cまで設定温度が変化します。[±2°C]を選択した場合は、最高26°Cまで設定温度が変化します。
3. [OK] をクリックする。
設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

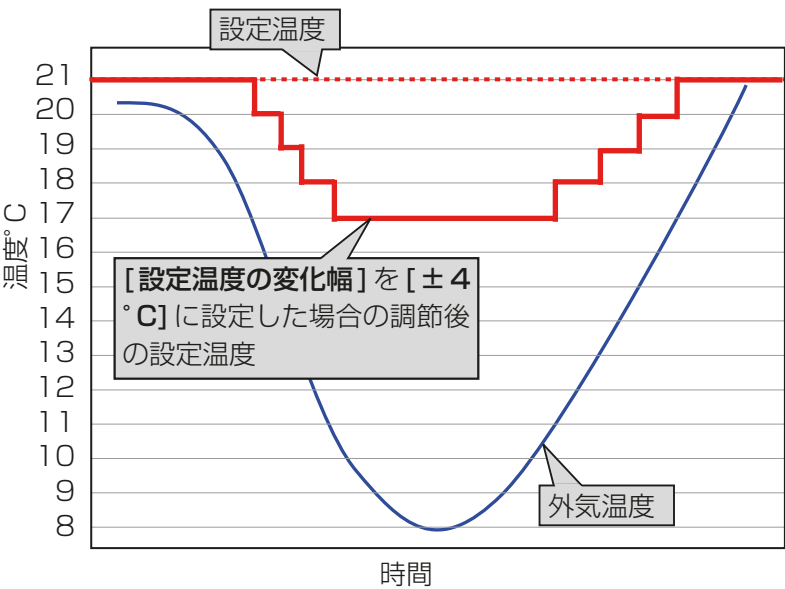
外気温連動制御機能が作動している場合、設定温度は下記の通りに調節されます。

「冷房」および「ドライ」モードの場合



外気温条件	調節後の設定温度
外気温 \geq 設定温度+1.5°C	設定温度+1°C
外気温 \geq 設定温度+4.5°C	設定温度+2°C
外気温 \geq 設定温度+6.5°C	設定温度+3°C
外気温 \geq 設定温度+7.5°C	設定温度+4°C

「暖房」モードの場合



外気温条件	調節後の設定温度
外気温 \leq 設定温度-4.0°C	設定温度-1°C
外気温 \leq 設定温度-6.0°C	設定温度-2°C
外気温 \leq 設定温度-8.0°C	設定温度-3°C
外気温 \leq 設定温度-10.0°C	設定温度-4°C

6-1-10. ナイトセットバック制御

ナイトセットバック制御機能は、夜間、室温が一定の温度範囲から外れた場合に、自動的に暖房または冷房を行い、室内の露付きや過度の温度上昇を防止します。画面左部にあるメニューの[設定]－[機能設定]－[セットバック制御]をクリックし対象の選択にて、対象の集中コントローラを選択し、ナイトセットバック制御設定画面を開きます。

本制御では、ナイトセットバック対象グループが「停止」かつ「下限温度を超過」した場合に暖房運転を開始します。また、「停止」かつ「上限温度を超過」した場合に冷房運転を開始します。なお、ナイトセットバック制御中に手元リモコンで「運転/停止」「運転モード」「設定温度」を変更した場合は、その状態を維持し、ナイトセットバック制御前の状態には戻しません。

お知らせ

- 対象のグループが停止、かつ室温が指定の上下限温度を超過した場合に、冷房/暖房運転を開始します。
- 空調機の吸込み温度センサで室温を計測している場合、空調機停止中は内部に空气がこもり、実際の室温と相違がでる場合があります。この場合は、外付けの温度センサ (PAC-SE40TS-W) やリモコンセンサに切り換えて室温を計測してください。

ナイトセットバック制御
利用有無

グループ番号と
グループ名称

ナイトセットバック制御
時間帯

設定温度範囲

貼り付け

コピー

設定変更

OK
設定をAE-200J/AE-50J/
EW-50Jに保存します。

手順

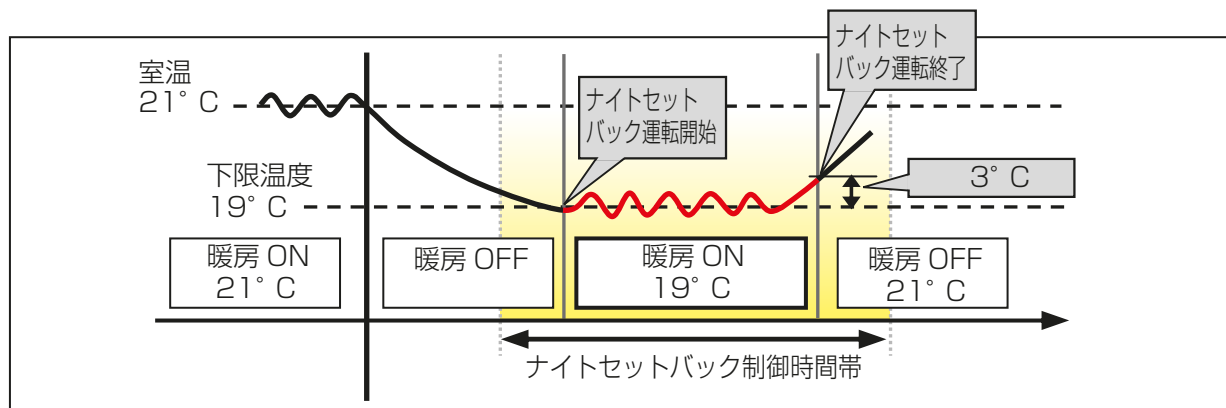
1. [利用する] を選択し、ナイトセットバック制御を有効とする時間帯を設定する。

お知らせ

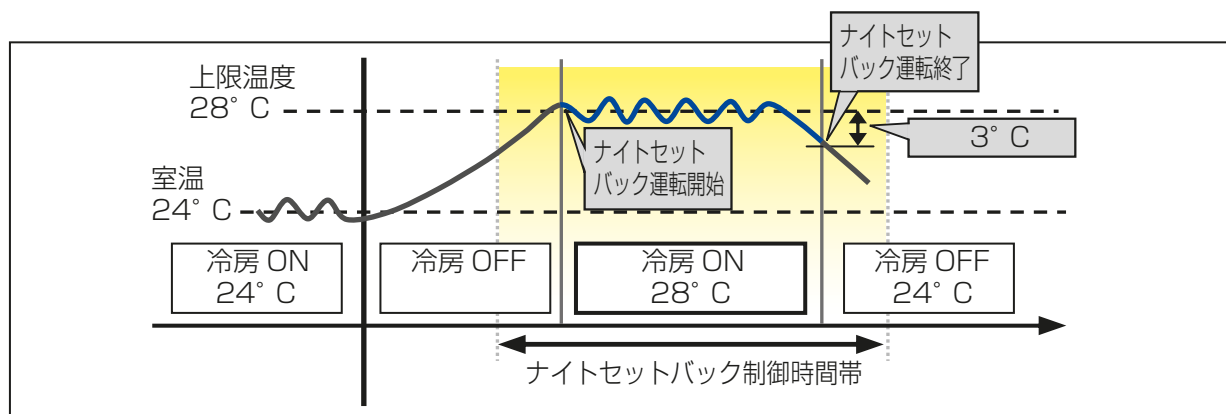
- [00:00 - 00:00] を設定した場合、ナイトセットバック制御は常時 (24 時間) 有効となります。
2. 設定温度範囲の [設定変更] をクリックし、各グループに上限・下限温度を設定する。
例えば、「ナイトセットバック制御時間帯」を [01:00 - 05:00]、「制御温度範囲」を [12°C - --°C] に設定した場合、1:00～5:00の間に室温が12°Cを下回ると、自動的に暖房運転を開始します。制御終了時間の5:00になると、元の設定温度に戻して運転を停止します。

お知らせ

- 暖房運転の空調機は、ナイトセットバック制御時間帯が終了、または室温が下限温度から 3°C 以上上がると停止し、設定温度は元に戻ります。同様に、冷房運転の空調機は、ナイトセットバック制御時間帯が終了、または室温が上限温度から 3°C 以上下がると停止し、設定温度は元に戻ります。



下限温度超過時（暖房制御）



上限温度超過時（冷房制御）

3. ある操作グループの設定を、他の操作グループへコピーしたい場合は、[コピー]をクリックして選択状態（黄緑色）とし、対象の操作グループの行で[貼り付け]をクリックする。
4. [OK]をクリックする。
設定をAE-200J/AE-50J/EW-50Jに保存します。

6-2. 換気設定

メニューの[設定]－[換気設定]をクリックすると換気に関する設定を行うことができます。

換気設定	24 時間換気	ロスナイの 24 時間換気の設定ができます。
	ナイトパージ	外気温度の低い夜間に外気を取り入れるナイトパージの設定ができます。

6-2-1. 24 時間換気設定

24 時間換気設定を利用したい場合は、画面左部にあるメニューの[設定]－[換気設定]－[24 時間換気設定]をクリックして 24 時間換気設定画面を開きます。

お知らせ

- ・ 24 時間換気機能があるロスナイグループおよび加熱加湿付ロスナイグループのみ表示されます。
- ・ 外部入力によるレベル運転中は、24 時間換気運転しません。
- ・ 24 時間換気を有効から無効にする場合は、24 時間換気のスケジュールを削除してから設定を変更してください。
- ・ 24 時間換気を無効にすると、ロスナイおよび加熱加湿付ロスナイの運転が停止します。通常の運転動作をさせるには、ロスナイおよび加熱加湿付ロスナイの操作設定画面で行ってください。

グループ番号・グループ名
グループ番号・グループ名が表示されます。

24時間換気設定

対象機器 ALL

グループ番号	グループ名称	有効/無効	一括設定
01-21	1F 換気機器	有効	無効
01-41	2F 換気機器	有効	無効
01-46	3F 換気機器	有効	無効

1/1

キャンセル OK

24時間換気設定
24時間換気設定の有効／無効を設定します。

一括設定
全グループを一括して設定します。

OK
AE-200J/AE-50J/
EW-50Jに設定内容を保存します。

手順

1. 24 時間換気設定で、[有効]、[無効]を選択する。

お知らせ

- ・ 全てのグループを一括して設定したい場合は、[一括設定]をクリックし、有効／無効を選択します。

2. 全ての設定が完了したら、[OK]をクリックする。

AE-200J/AE-50J/EW-50Jに設定内容を保存します。

お知らせ

- ・ 24 時間換気を有効にした場合、ユニットの 24 時間換気運転が有効になり、AE-200J/AE-50J/EW-50J の操作画面で [24 時間換気] ボタンが表示されます。
- ・ 手元リモコンから設定変更された場合、AE-200J/AE-50J/EW-50J の設定も変更されます。

お願い

- ・ ロスナイが運転時に設定を無効にしないでください。
無効に設定したグループは、設定保存時にロスナイおよび加熱加湿付ロスナイは停止します。

6-2-2. ナイトパージ設定

ナイトパージを利用したい場合は、画面左部にあるメニューの【設定】－【換気設定】－【ナイトパージ設定】をクリックしてナイトパージ設定画面を開き、各種ナイトパージ設定を行います。

この設定を行うことで、外気温度の低い夜間に外気を取り入れ、室内の空気を排出することで翌日の冷房の立ち上がり時の冷房負荷を軽減することができます。

お知らせ

- ・ ナイトパージ機能があるロスナイグループおよび加熱加湿付ロスナイグループのみ表示されます。
- ・ ナイトパージ運転中は、普通換気で運転します。
- ・ 外部入力によるレベル運転中は、ナイトパージ運転しません。
- ・ ナイトパージ時間帯にスケジュールが設定されている場合、スケジュールが優先されます。

対象機器
対象の集中コントローラを選択します。
ALL の場合、統合管理ブラウザで管理する集中コントローラ全てとなります。

ナイトパージ設定
有効／無効が表示されます。

グループ番号・グループ名
グループ番号・グループ名が表示されます。

設定内容表示
設定内容を表示します。

一括設定
全グループを一括して設定します。

設定変更

OK
AE-200J/AE-50J/EW-50J およびロスナイおよび加熱加湿付ロスナイへ設定内容を保存します。

お知らせ

- ・ 全てのグループを一括して設定したい場合は、【一括設定】をクリックし、設定内容を入力します。

手順

1. 【設定変更】をクリックする。

内容を設定する画面が表示されます。

有効/無効
有効／無効を設定します。

実施曜日
実施曜日を設定します。

開始／終了時刻
開始時刻・終了時刻を設定します。

初期風量
初期風量を設定します。

外気温度閾値
外気温度閾値が表示されます。

室内外温度差
室内外温度差を設定します。

2. ナイトパージ設定の[有効]、[無効]を選択する。
3. ナイトパージを実施する曜日を選択する。
開始時刻の曜日を実施曜日としてください。例えば、開始時刻を 23:00、終了時刻を 6:00 とした場合、実施曜日を「月」とすると月曜日の 23:00 に開始し、火曜日の 6:00 に終了します。
4. ナイトパージの開始時刻／終了時刻を設定する。
5. 外気温度閾値を設定する。
外気温度閾値の設定温度範囲は、「15～30℃」です。
6. 室内外温度差を設定する。
室内外温度差の設定温度範囲は、「0～7℃」です。
7. ナイトパージ運転中の初期風量を設定する。

お知らせ

- ・ 自動あり機種でも自動は表示されません。

8. [OK] をクリックする。
元の画面に戻ります。

9. 設定内容入力後、[OK] をクリックする。
AE-200J/AE-50J/EW-50J に設定内容を保存します。

お知らせ

- ・ 手元リモコンから設定変更された場合、AE-200J/AE-50J/EW-50J の設定も変更されます。

お願い

- ・ ロスナイおよび加熱加湿付ロスナイが運転時に設定を無効にしないでください。
無効に設定したグループは、設定保存時にロスナイおよび加熱加湿付ロスナイはナイトパージ運転を終了します。

前ページの画面例でのナイトパージ開始の条件は、以下の通りです。

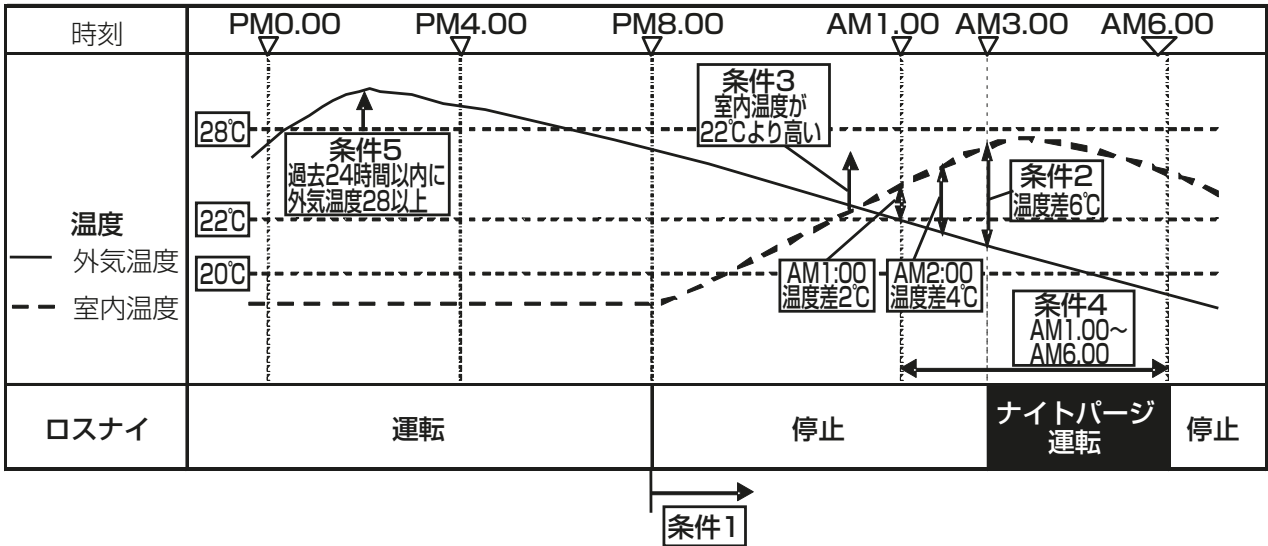
条件 1：停止中または 24 時間換気中

条件 2：（室内温度－室外温度）が室内外温度差 5℃（設定値）より大きい場合

条件 3：現在の室内温度が 22℃ より高い場合（AE-200J/AE-50J/EW-50J からは設定できません。）

条件 4：現在時刻が開始時刻 AM1:00 から終了時刻 AM6:00 までの間

条件 5：過去 24 時間以内にロスナイおよび加熱加湿付ロスナイが外気温度閾値 28℃（設定値）以上を検知



7. メンテナンス

設定データのバックアップ/読み込みについて説明します。

設定データのバックアップはAE-200Jの液晶画面からUSBメモリにバックアップを行う方法、各AE-200J/AE-50J/EW-50Jの統合管理ブラウザからバックアップする方法があります。

液晶画面からUSBにバックアップした設定データと、統合管理ブラウザからバックアップした設定データには互換性があります。

7-1. AE-200J液晶画面からの設定データバックアップ

AE-200Jの液晶画面から設定データをUSBメモリにバックアップします。

AE-200Jと、拡張コントローラの分をまとめてバックアップできます。

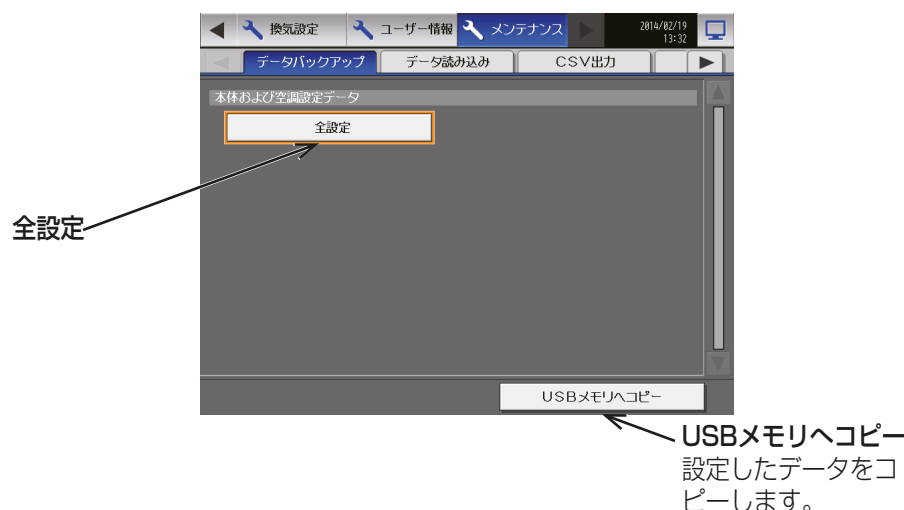
7-1-1. データバックアップ

AE-200J/AE-50J/EW-50Jの設定情報をUSBメモリーに出力してバックアップを保存することができます。また、故障交換時や設定データを過去の状態に戻したいときにそれらのデータをAE-200J/AE-50J/EW-50Jへ読み込むことができます。

メニューの[メンテナンス]－[データバックアップ]をタッチしてデータバックアップ画面を開きます。

お知らせ

- AE-200Jでバックアップした場合は、AE-50J/EW-50Jのデータもバックアップされます。
- IPアドレスはバックアップされませんので、メモをしてください。
- ライセンスはバックアップできません。



手順

1. カバーを外し、USBポートにUSBメモリーを差す。

2. [全設定]をタッチし、[USBメモリへコピー]をタッチする。

USBメモリのルートフォルダに¥“製造番号”¥SettingData¥AE※¹のフォルダが作成され、その中にAE-200J/AE-50J/EW-50Jの設定情報ファイルが保存されます。(既にフォルダがある場合はそのまま利用します)

※1 AE-50J/EW-50J接続時は“AE1,” “AE2,” “AE3,” または“AE4”

<例>

USBメモリのルートフォルダ (G:¥)

└─ 12345-123..... AE-200Jの製造番号

└─ SettingData

└─ AE..... AE-200J 設定ファイル

└─ AE1..... AE-50J または EW-50J No. 1 設定ファイル

└─ AE2..... AE-50J または EW-50J No. 2 設定ファイル

└─ AE3..... AE-50J または EW-50J No. 3 設定ファイル

└─ AE4..... AE-50J または EW-50J No. 4 設定ファイル

お知らせ

- 設定データの作成には、数分かかります。

お願い

- USBメモリへ書き込んでいる間は、USBメモリを抜き差ししないでください。
- USBメモリを短い時間で抜き差しした場合、本体がUSBメモリを認識しなくなる場合があります。その場合、本体をリセットする必要があります。

7-1-2. データ読み込み

メニューの[メンテナンス]－[データ読み込み]をタッチしてデータ読み込み画面を開きます。



手順

1. USBメモリのルートフォルダに[SetupData_"IP address"¥AE*1]フォルダを作成する。(AE-200J/AE-50J 共通)
2. フォルダの中に読み込む設定情報ファイルを保存する。

※1 AE-200JでAE-50J/EW-50J接続時は“AE1,” “AE2,” “AE3,” または“AE4”
<例>

USBメモリのルートフォルダ (G:¥)

└─ SetupData_"IP address"

```

├─ AE ..... AE-200J 設定ファイル
├─ AE1 ..... AE-50J または EW-50J  No. 1 設定ファイル
├─ AE2 ..... AE-50J または EW-50J  No. 2 設定ファイル
├─ AE3 ..... AE-50J または EW-50J  No. 3 設定ファイル
└─ AE4 ..... AE-50J または EW-50J  No. 4 設定ファイル

```

お知らせ

- AE-200Jからバックアップしたファイル以外のファイルは読み込みません。AE-50JからバックアップしたファイルはAE-50Jから読み込んでください。
- 統合管理ブラウザからバックアップしたファイルは読み込み可能です。
- "IP address"はAE-200JのIPアドレスが「192.168.1.12」の場合、「192_168_1_12」となります。(「.」(ピリオド)を「_」(アンダーバー)に置き換えてください。)

お願い

- ファイル名はバックアップ時に出力されたファイル名から変更しないでください。フォルダ名、ファイル名が違う場合は読み込みません。

3. カバーを外し、USBポートにUSBメモリを挿す。
4. [全設定]をタッチし、[USBメモリから読み込み]をタッチする。

お知らせ

- 設定データの読み込みには、数分かかります。

お願い

- USBメモリから読み込んでいる間は、USBメモリを抜き差ししないでください。
- 読み込みが失敗する場合、フォルダ名、ファイル名を確認してください。フォルダ名のIPアドレス部分は「.」(ピリオド)を「_」(アンダーバー)に置き換えて指定する必要があります。
- 読み込みが失敗する場合、USBメモリが挿さっているかを確認してください。
- USBメモリを短い時間で抜き差しした場合、本体がUSBメモリを認識しなくなる場合があります。その場合、本体をリセットする必要があります。

7-2. 統合管理ブラウザのからの設定データバックアップ

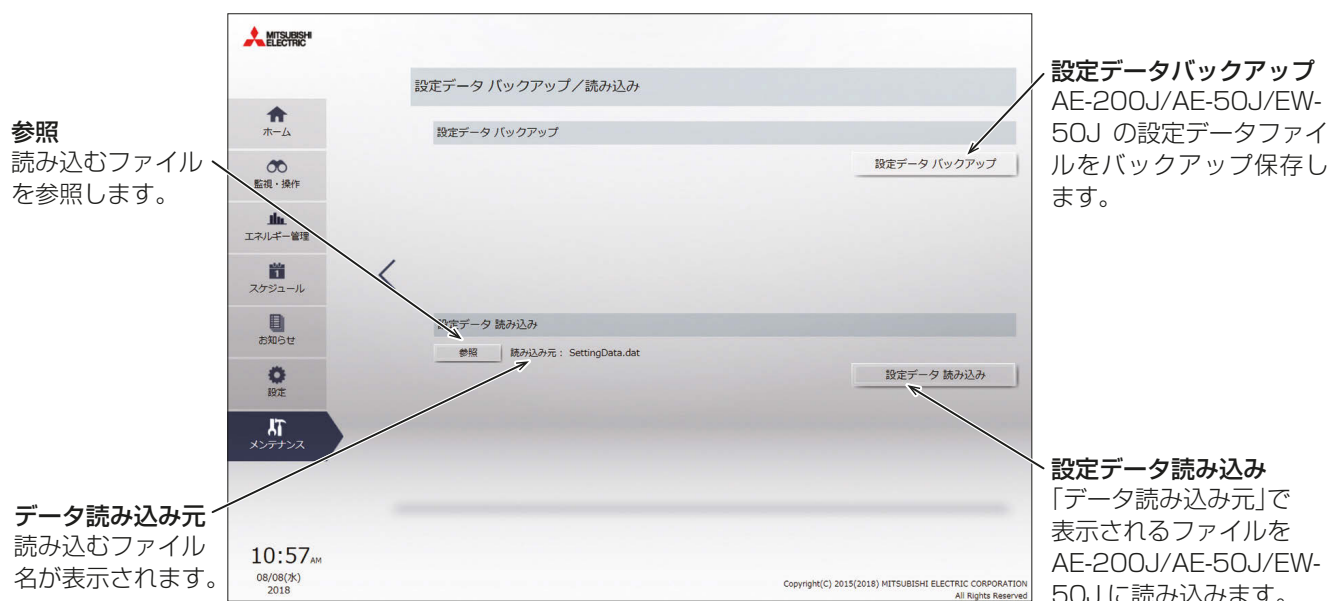
AE-200J/AE-50J/EW-50Jの統合管理ブラウザから設定データをハードディスクやUSBメモリにバックアップします。

AE-200J/AE-50J/EW-50Jが複数存在する場合は、個別にバックアップする必要があります。

画面左部にあるメニューの[メンテナンス]－[ユーティリティ]－[設定データ バックアップ/読み込み]をクリックして設定データバックアップ/読み込み画面を開きます。

お知らせ

- ・設定データバックアップ/読み込み機能は、管理者ユーザーのみ利用可能です。テナント管理者ユーザー、一般ユーザーは利用できません。



[1] 設定データのバックアップ

手順

1. [設定データバックアップ]をクリックする。

設定データを作成した後、ファイルダウンロードダイアログが表示され、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの設定データファイルをバックアップ保存することができます。

お知らせ

- ・設定データの作成には、数分かかります。
- ・設定データのファイル名は「SettingData.dat」です。



[2] 設定データの読み込み

手順

1. 設定データバックアップ/読み込み画面で、[参照] ボタンをクリックする。
2. 読み込むファイルを選択し、[開く] をクリックする。
3. [設定データ読み込み] をクリックする。設定データを AE-200J/AE-50J/EW-50J に読み込みます。

お知らせ

- ・ 設定データの読み込みには、数分かかります。



設定データの読み込みが終了すると、AE-200J/AE-50J/EW-50Jが再起動します。



8. トラブルシューティング

以下の内容について確認し、対処してください。

No.	現象	要因の確認	処置方法
1	AE-200J 本体画面の 【状態リスト】 － 【異常発生中】 に異常表示されている。	AE-200J/AE-50J/EW-50J のバージョンが一致していない。	<ul style="list-style-type: none"> AE-200J と AE-50J および EW-50J のバージョンを確認してください。 「5-3-2. 基本システム設定」を参照ください。
2	または、 【各種履歴】 － 【ユニット異常】 に異常履歴されている。	<ul style="list-style-type: none"> 空調機の運転量をカウントアップしているのに、計量計の計量値が3～7日以上カウントアップしない状況が継続した場合。 ※ 発報までの期間をなし、3～7日から設定できます。なしに設定している場合は異常を検出できません。 	<ul style="list-style-type: none"> 【監視/操作】－【計測】画面で計測状態が正常にカウントアップされているかを確認してください。 パルス値が大きい電力量計の場合、配線接続などが正常でも表示することがあります。 電力量計と計量用計測コントローラ間の配線接続不良。 (計量用計測コントローラ使用の場合) 電力量計と AE-50J/EW-50J 内蔵の計量用パルス入力間の配線接続不良。 (AE-50J/EW-50J の計量計パルス入力使用の場合) 計量用計測コントローラと AE-50J/EW-50J の通信異常。
3	AE-200J 本体画面の 【状態リスト】 － 【異常発生中】 に異常表示されている。 または、 【各種履歴】 － 【ユニット異常】 に異常履歴されている。	『通信異常 応答なしエラー (6920)』 AE-50J/EW-50J の間の通信が正常にできていない。	<ul style="list-style-type: none"> 接続先 IP アドレスが正しく入力されているかを確認してください。 AE-200J、AE-50J/EW-50J 間の接続を確認してください。
4	AE-50J の本体画面の 【状態リスト】 － 【異常発生中】 に異常表示されている。	『通信異常 応答なしエラー (6920)』 1) AE-200J との間の通信が正常にできていない。 2) 過去に接続していた AE-200J との通信異常を検知している。 3) AE-200J の IP アドレスを変更した。 4) 2) ～3) をしたことがある AE-50J/EW-50J を Ver.7.3 以降にアップデートした。	1) AE-200J、AE-50J 間の接続を確認してください。 2) ～4) AE-200J の初期設定画面で 【初期設定】 － 【ネットワーク設定】 を選択し、AE-50J/EW-50J の通信異常検知設定を行ってください。 詳細は、「4-1-5. ネットワーク設定 [7] 通信異常検知設定」を参照してください。

8. トラブルシューティング

No.	現象		要因の確認	処置方法
5	初期設定ツールの設定送信でメッセージが表示される。	メッセージ 「本ツールの対応バージョンより古いバージョンの集中コントローラが存在します。これらの集中コントローラに対しては、対応していない設定が送信されません。送信結果を確認してください。」	新しい初期設定ツールから古いAE-200J/AE-50J/EW-50Jに対して設定送信した。	新しいバージョンで追加された機能の設定が行われませんでした。 AE-200J/AE-50J/EW-50Jをアップデートしてください。 初期設定ツールとAE-200J/AE-50J/EW-50Jのバージョン組み合わせは2-1章を参照してください。 アップデートは3-5章を参照してください。
6	初期設定ツールのモニタの設定送信でメッセージが表示される。	メッセージ 「以下の集中コントローラの機器構成が実機と一致しません。」	1) 接続構成設定の集中コントローラの種類が実機と異なる。 2) 接続構成設定の拡張コントローラの構成が実機と異なる。	要因 1-1) 液晶画面のユニット設定の「AE-200 M-NET」「AE-200 按分」を確認してください。 要因 1-2) 接続構成設定を実機に合わせて修正してください。 要因 2) 液晶画面のネットワーク設定で拡張コントローラを設定してください。
7	液晶画面からUSBメモリに初期設定データの出力ができない。		1) USBメモリが正しくセットできていない。 2) USBメモリに空き容量がない。 3) USBメモリがAE-200J/AE-50Jに対応していない。 4) USBメモリを短い時間で抜き差しを行った。 5) USBメモリが書き込み禁止になっている。	要因 1)～3)を確認してください。 要因 1)USBメモリが奥まで差されているかを確認してください。 要因 2)USBメモリに空き容量があるかを確認し、必要に応じて空き容量を確保してください。(最大64MBytes) 要因 3)2-2章を参照し、記載しているUSBメモリを使用してください。 異常が発生した後、別のUSBメモリに変えても正常に書き込めないような場合は、AE-200J/AE-50Jを再起動(電源切→入)してから最初に異常発生したもの以外のUSBメモリで改めて確認してください。 要因 4)AE-200J/AE-50Jを再起動(電源切→入)してください。 要因 5)USBメモリの書き込み禁止スイッチを解除してください。 詳細はUSBメモリの取扱説明書を参照してください。

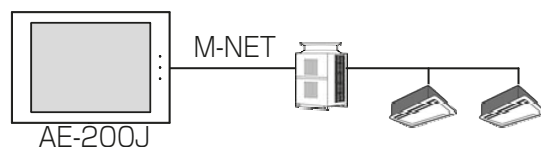
No.	現象	要因の確認	処置方法
8	液晶画面でUSBメモリから初期設定データが読み込めない。	1) USBメモリが正しくセットできていない。 2) USBメモリの読み込みフォルダが間違えている。 3) AE-200J/AE-50J が対応しているUSBメモリを使用していない。	要因1)～3)を確認してください。 要因1)USBメモリが正しくセットされているかを確認してください。 要因2) 初期設定データを入れたフォルダ名「SetupData_ [IPアドレス]」(大文字・小文字も) が正しいか確認してください。詳細は7-1章参照 要因3) 現象7の要因3を参照
9	液晶画面で初期設定画面にログインしたが、設定ボタンが押した状態になっていて、操作できない。	1) 管理者ユーザでログインしているので、設定の権限がない。	要因1) 保守ユーザのログイン名・パスワードを入力してログインしてください。管理者ユーザでログインして設定を行いたい場合は、設定の権限を保守ユーザに変更してもらってください。
10	バージョンアップすると「省エネ制御中」アイコンが表示されるようになった。	1) ET制御設定にて当該ユニットが有効になっている。	要因1) 当該ユニットのET制御設定を無効に設定してください。AE-200 Ver.7.40～7.91の場合、ET制御はデフォルト有効となるため、不要の場合は無効に設定してください。
11	アップデート実施後、AE-200J/AE-50J/EW-50Jが起動しない。 AE-200Jの場合は、液晶画面にロゴが表示され、消えるを繰り返す。 STATUS LEDが青色点滅→ピンク色点滅→消灯を繰り返す。	1) アップデートが失敗している。	AE-200J/AE-50J/EW-50JのAC電源を遮断／再投入し、現象が解消されるかを確認してください。 要因1) 現象が解消されない場合はAE-200J/AE-50J/EW-50Jの不良です。AE-200J/AE-50J/EW-50Jを交換してください。
12	初期設定ツールを使用中、ウイルス対策ソフトがウイルス・マルウェアを検知する。	1) ウィルス対策ソフトによるウイルス・マルウェア誤検知。	要因1) ウィルス対策ソフトの例外設定(ウイルス対策ソフトの監視対象から除外する機能)に初期設定ツールのフォルダ(C:\Program Files\MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION ¥AE-200 初期設定ツール)を指定ください。例外設定の方法につきましては、ウイルス対策ソフトのマニュアルをご確認ください。

No.	現象	要因の確認	処置方法
13	統合管理ブラウザの【お知らせ】に「集中コントローラ通信異常」が表示される。	1) AE-200Jに接続されているAE-50J/EW-50JのIPアドレスが誤っている。 2) AE-200Jに接続されているAE-50J/EW-50Jの証明書がブラウザに登録されていない。	要因 1) AE-200J本体のネットワーク設定画面もしくは初期設定ツールから正しいIPアドレスを登録してください。 IPアドレスの登録方法は3-3-1章を参照してください。 要因 2) 使用するPC / タブレット端末 / スマートフォンに証明書を登録してください。 登録方法はAE-200J_AE-50J_EW-50J_取扱説明書_統合管理ブラウザ操作編の「HTTPS (SSL) 接続する」を参照してください。
14	フロア平面図のファイルの読み込みに失敗する。	1) 液晶画面からUSBメモリで読み込む場合 ①フロア平面図のファイルの形式やサイズによるもの。 ②USBメモリによるもの。 2) 初期設定ツールからファイルを読み込む場合 ①フロア平面図のファイルの形式やサイズによるもの。	要因 1) ①読み込むファイルが「4-1-10. フロアレイアウト [2] ファイルの制約事項 (75 ページ)」を満たしているか確認してください。 ②正常に動作することが確認されているUSBメモリを使用してください。 なお、正常に動作するUSBメモリの一覧は「2-2. 一般市販部品 (15 ページ)」を確認してください。 要因 2) ①読み込むファイルが「5-5-1. フロア階層設定 [1] ファイルの制約事項 (181 ページ)」を満たしているか確認してください。
15	液晶画面のフロア平面図の色が読み込んだファイル画像と異なる。	読み込んだファイル画像に液晶画面で使用できない色が含まれている。	「4-1-10. フロアレイアウト (72 ページ)」のカラーテーブルに従って、読み込むファイル画像の色を選んでください。
16	液晶画面のネットワーク設定でメッセージ「AE-50/EW-50が通信異常のため、送信できませんでした。」が表示される。	1) 接続先IPアドレスとAE-50J/EW-50JのIPアドレスが一致していない。 2) AE-200JとAE-50J/EW-50Jのソフトウェアバージョンが一致していない。	要因 1) AE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレスを確認して接続先IPアドレスと一致させてください。 要因 2) AE-200J/AE-50J 据付工事説明書またはEW-50J 据付工事説明書を参照してソフトウェアアップロードを実施してください。
17	遠隔側PCからAE-200J/AE-50J/EW-50Jにアクセスできない。(pingにも応答しない)	遠隔側のIPアドレス(ネットワークアドレス)とAE-200J/AE-50J/EW-50JのLAN2 (BACnet 専用) のIPアドレス(ネットワークアドレス)が同じである。	初期設定ツールでAE-200J/AE-50J/EW-50JのLAN2のIPアドレスを変更してください。もしくは遠隔側のIPアドレス(ネットワークアドレス)を変更してください。 3-3章(1)のお知らせを参照してください。

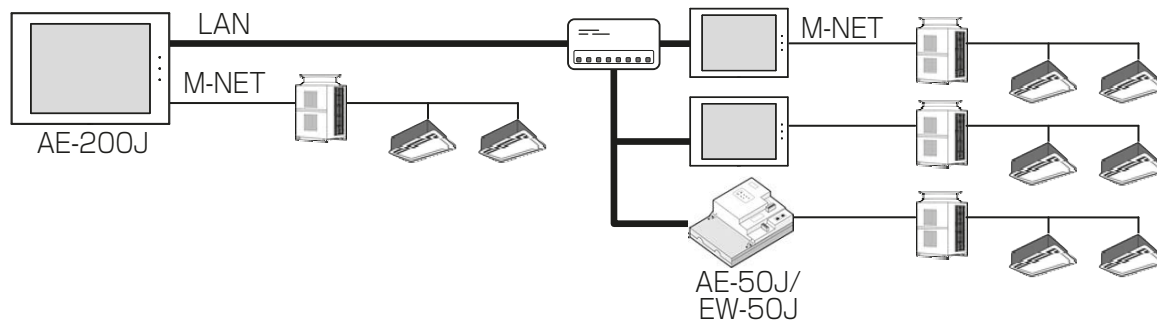
9. 用語説明

本書で用いる用語について説明します。

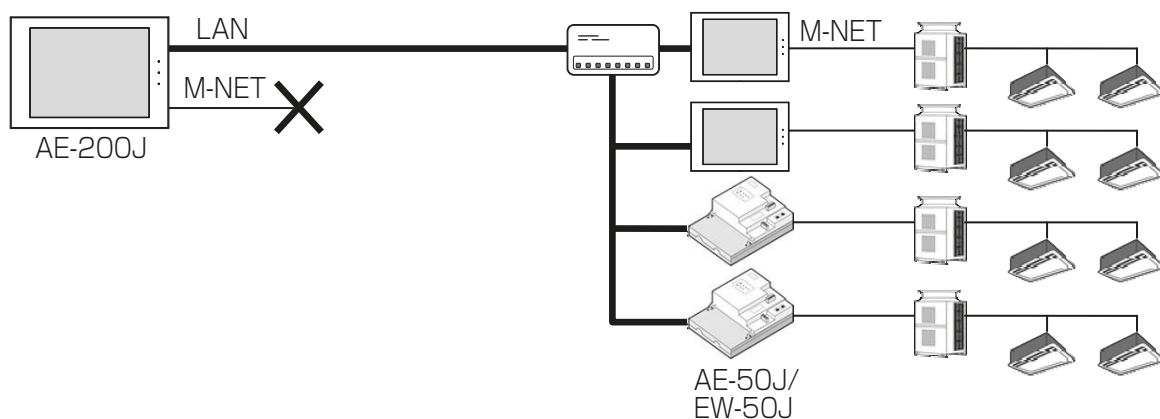
- AE-200Jのシステム
AE-200J 1 台に対し、0～4 台の拡張コントローラ AE-50J/EW-50J を接続した構成を指します。
システム構成は次のパターンがあります。
- AE-200J (単独)
拡張コントローラを使用しないシステムです。
電力按分課金支援機能を使用せず、管理台数が 50 台以下、液晶画面から操作を行いたい場合は本構成となります。



- AE-200J
拡張コントローラを 1～3 台使用するシステムです。
電力按分課金支援機能を使用せず、管理台数が 50 台以上の場合は本構成となります。



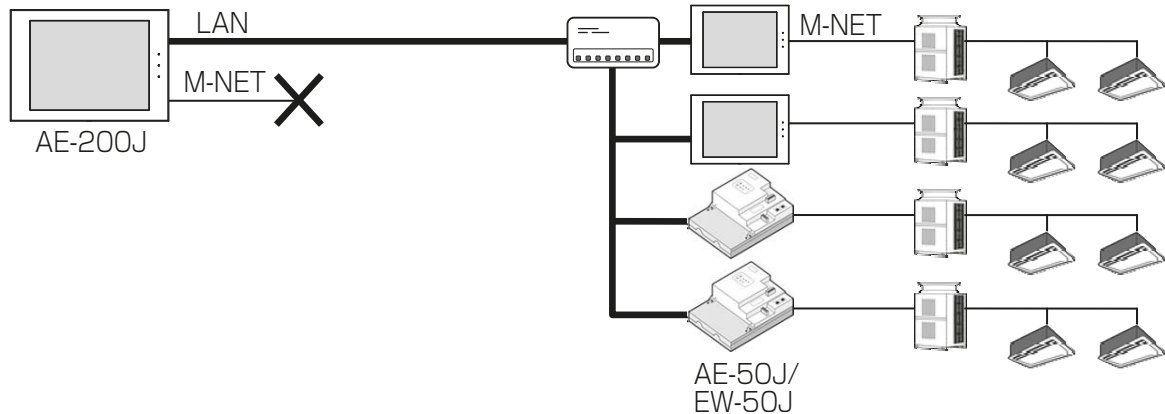
- AE-200J (M-NETなし)
拡張コントローラを 1～4 台使用するシステムです。
電力按分課金支援機能を使用せず、管理台数が 50 台以上、管理人室が室内ユニットから遠く AE-200J から室内ユニットへの給電が届かない場合は本構成となります。



- AE-200J (課金)

拡張コントローラを1～4台使用するシステムです。

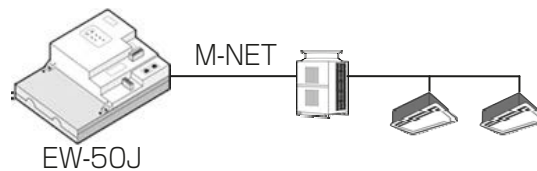
電力按分課金支援機能を使用する場合は本構成となります。



- EW-50Jのシステム

EW-50J 1 台の構成を指します。

電力按分課金支援機能を使用せず、管理台数が50台以下、液晶画面を利用せず統合管理ブラウザから操作する場合は本構成となります。



- BACnet® 設定ツール

BACnet® 設定ツールはパソコンで BACnet 機能の設定を行います。

1 つの AE-200J/AE-50J/EW-50J に対し設定できます。

BACnet® 設定ツールは取扱説明書「BACnet® 設定ツール編」を参照ください。

※ BACnet® は米国暖房冷凍空調学会 (ASHRAE) の登録商標です。

- グループ

グループは操作の最小単位です。手元リモコンと同じ操作対象となります。

1～16 台のユニットをまとめて操作できます。

- ブロック (操作ブロック)

ブロックは複数のグループをまとめたものです。

区画や部屋などの単位でブロックを作成し、一括で監視・操作できます。

1～50 のグループをまとめて操作できます。ただし、AE-200J/AE-50J/EW-50J をまたいだブロックは設定できません。

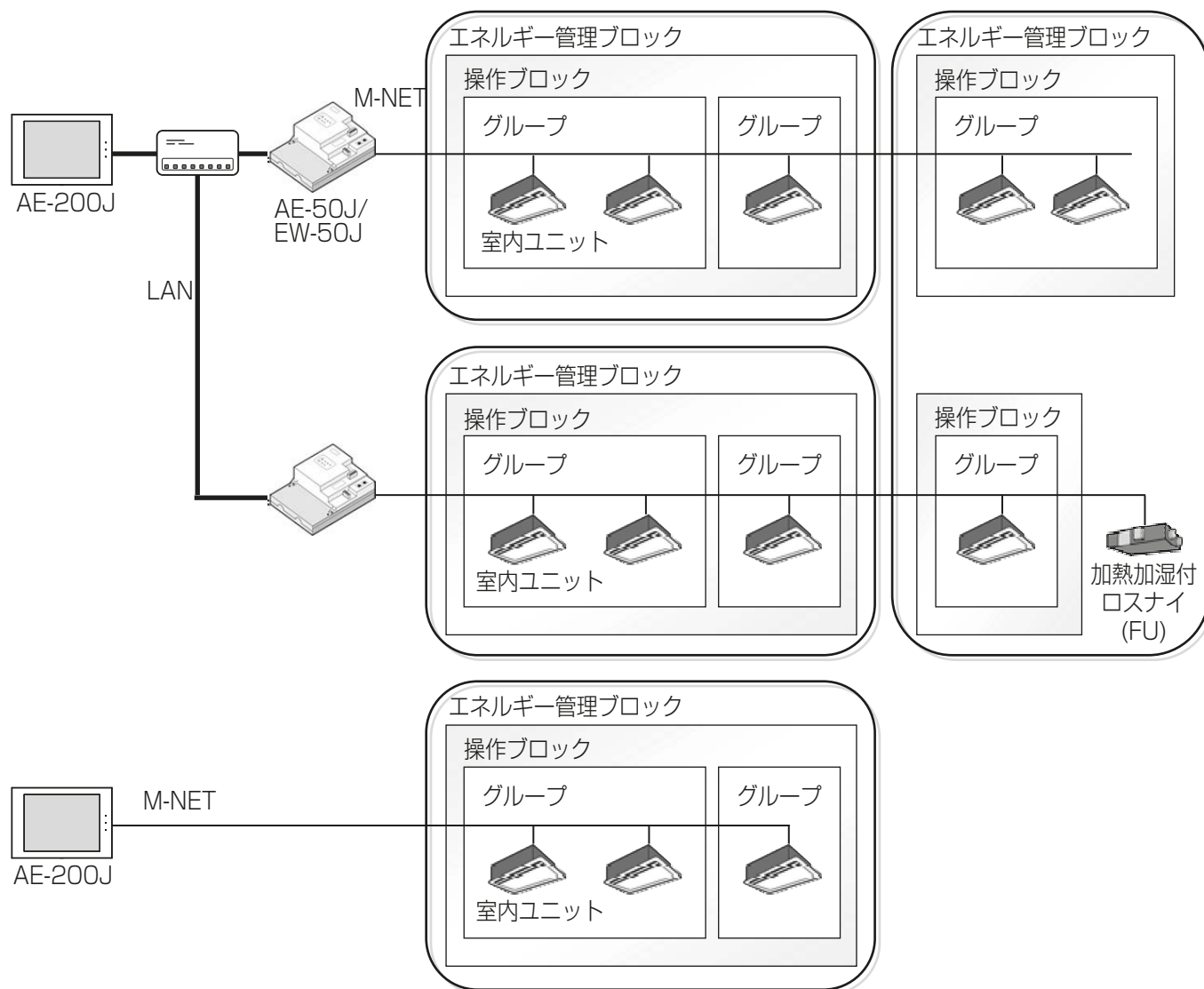
- エネルギー管理ブロック

エネルギー管理ブロックは複数の操作ブロックとFU属性の加熱加湿付ロスナイをまとめたものです。

AE-50J/EW-50Jをまたいで管理したり、電力按分課金支援機能での電力量と料金の計算結果を表示、出力する単位になります。

テナントや階などの単位でエネルギー管理ブロックを作成し、一括で監視・操作・電力量/料金の管理ができます。

1～200の操作ブロックをまとめて操作できます。ただし、AE-200J/EW-50Jシステムをまたいだエネルギー管理ブロックは設定できません。



- 上位システムコントローラと下位システムコントローラ

各グループは、上位システムコントローラまたは下位システムコントローラによって管理できます。

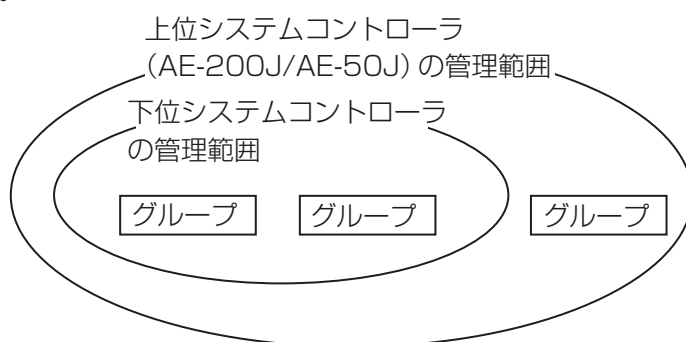
AE-200J/AE-50Jは、常に上位システムコントローラとして使用してください。下位システムコントローラとして使用することはできません。

- 上位システムコントローラ

他のシステムコントローラとその管理範囲すべてを包含して管理するシステムコントローラを上位システムコントローラといいます。システム内にシステムコントローラが1台しかない場合、そのコントローラは上位システムコントローラになります。初期設定ができるのは、上位システムコントローラからのみです。

- 下位システムコントローラ

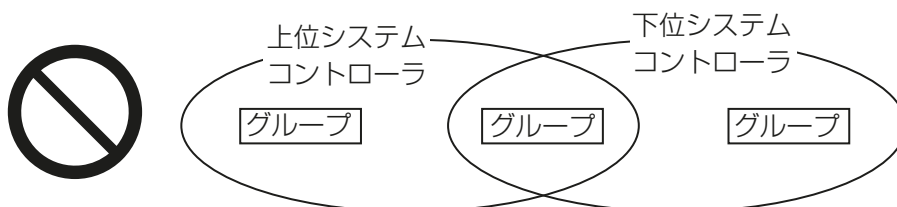
上位システムコントローラに管理されるシステムコントローラを下位システムコントローラといいます。



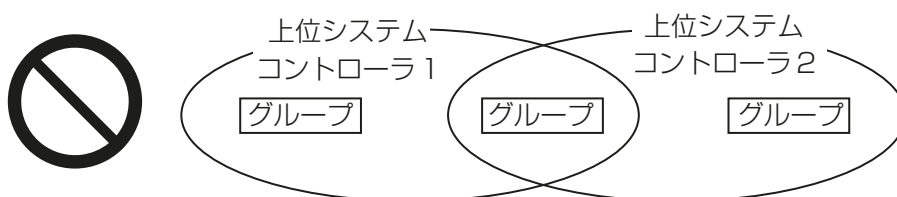
お知らせ

- 次の例のような形態にシステムを構成することはできません。

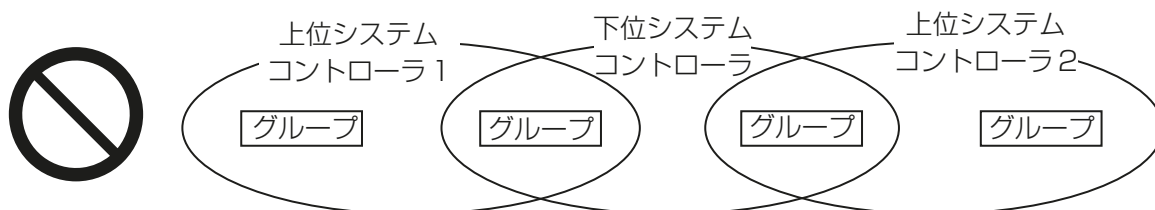
- 上位システムコントローラの管理下でないグループは、下位システムコントローラから管理することはできません。



- 2台以上の上位システムコントローラから同じグループを管理することはできません。



- 2台以上の上位システムコントローラから下位システムコントローラを管理することはできません。



- ・ライセンス

AE-200J/AE-50J/EW-50Jは使用する機能によってライセンスが必要となります。

必要なライセンスは使用する機能によって異なります。ライセンスの種類や購入については販売店にお問い合わせください。

ライセンスの登録方法は3-6章を参照してください。

9-1. 異常コード一覧

AE-200J、AE-50J(EW-50J)で検出する異常コードとその意味を示します。

その他の関連機器については、「9-1-3. その他関連機器 異常コード」を参照してください。

それ以外の異常コードについては、異常発生アドレスの各機器の説明書を参照してください。

異常が発生した場合は、異常コードをメモして販売店にお問い合わせください。

9-1-1. M-NET 異常コード(通信系)

6600	通信異常	アドレス二重定義エラー
6601	通信異常	極性未設定エラー
6602	通信異常	伝送プロセッサ ハードウェアエラー
6603	通信異常	伝送路BUSYエラー
6604	通信異常	ACK(O6H)無し(通信回路異常)
6605	通信異常	応答フレーム無し
6606	通信異常	伝送プロセッサとの通信異常
6607	通信異常	ACK無返送エラー
6608	通信異常	応答フレーム無返送エラー

9-1-2. AE-200J、AE-50J(EW-50J) 異常コード

0092	バージョン組合せ異常
0093	システム構成変更警告
0094	電力按分課金支援ライセンスなし
0095	計量計故障の可能性警告
0096	空調料金ファイル自動出力異常
0097	按分計算データ収集異常
6920	通信異常 応答なしエラー
6922	通信異常 受信フレームID エラー
7106	システム異常 属性設定エラー
7901	システム異常 接続台数オーバーエラー
7902	システム異常 接続ロックエラー
7903	システム異常 ユニット情報エラー
7904	システム異常 システム設定エラー
7905	システム異常 バージョンエラー／組合せ異常

9-1-3. その他関連機器 異常コード

0100	機器異常一括
01*0	*系統機器異常(PAC-YG66DC) *は、チャンネル(ch)番号(1～6)となります。
01**	**系統機器異常(AHC/HC) **は、チャンネル(ch)番号(01～19)となります。

汎用インターフェース(PAC-YG66DC(1)) 本体では、機器異常は異常コードではなく、各系統の異常状態表示LEDが点灯します。

添付. 追加機能について

Version	追加項目		概要	参照
Ver7.2	液晶画面	ピークカット設定 ^{*1}	ピークカット方式を設定できます。	4-2-1.「省エネ制御、ピークカット制御の設定」
		ピークカット空調 ^{*1}	室内ユニット、室外ユニットのピークカット制御内容を設定できます。 ・ 室外ユニットの能力セーブ量で、50%を選択できます。	
		高顕熱制御設定 ^{*2}	高顕熱制御ライセンスを登録することで、高顕熱制御の設定ができます。	4-2-3.「高顕熱制御設定」
Ver7.3	液晶画面	ネットワーク設定	拡張コントローラ AE-50J/EW-50J で通信異常検知の表示ができます。	4-1-5.「ネットワーク設定」
		エネルギー管理ブロック	AE-200J/AE-50J/EW-50J をまたがったブロックをまとめることができます。	4-1-9.「EM ブロック設定」
		フロアレイアウト	フロアレイアウトの画面で補助線の表示と、アイコンの移動幅を設定できます。	4-1-10.「フロアレイアウト」
		換気設定	加熱加湿付ロスナイに 24 時間換気設定およびナイトパーズ設定ができます。	4-4.「換気設定」
	初期設定ツール (Ver.1.1)	フロア設定	AE-200J/AE-50J のフロアレイアウト設定および統合管理ブラウザのフロアレイアウト設定ができます。	5-5.「フロア設定」
	初期設定用 Web ブラウザ	換気設定	加熱加湿付ロスナイに 24 時間換気設定およびナイトパーズ設定ができます。	—
Ver7.4	液晶画面	空調機設定	フロア画面での室内温度または設定温度の表示 / 非表示が設定できます。	4-1-4.「ユニット情報の設定」
	初期設定ツール (Ver.1.2)	表示の設定	フロア画面での室内温度または設定温度の表示 / 非表示が設定できます。	5-3-2.「基本システム設定」
		操作ブロック設定	操作ブロックをグループ設定と同一に設定する場合、コピーで設定ができます。	5-4-4.「操作ブロック設定」
		エネルギー管理ブロック設定	エネルギー管理ブロックを操作グループと同一に設定する場合、コピーで設定ができます。	5-4-5.「エネルギー管理ブロック設定」
	初期設定用 Web ブラウザ	表示の設定	フロア画面での空調温度または設定温度の表示 / 非表示が設定できます。	—
Ver7.5	液晶画面	空調機設定	フロア画面で室内温度と設定温度を両方表示する設定ができます。	4-1-4.「ユニット情報の設定」
	初期設定ツール (Ver.1.3)	表示の設定	フロア画面で室内温度と設定温度を両方表示する設定ができます。	5-3-2.「基本システム設定」
		連動制御設定 ^{*3}	拡張コントローラをまたぐ連動制御の設定ができます。	5-7.「連動制御設定」
	初期設定用 Web ブラウザ	表示の設定	フロアまたはブロック画面で室内温度と設定温度を両方表示する設定ができます。	—
		連動制御設定 ^{*3}	設定機能を削除しました。	—

Version	追加項目		概要	参照
Ver7.6	液晶画面	室外機 スケジュール1	下記制御を週間スケジュール、当日スケジュールで設定できます。 ・ ピークカット制御 ・ ET 制御 ・ アドバンストパワーセーブ ・ 高顕熱制御	4-2-5.「室外機スケジュール1」
		室外機 スケジュール2	下記制御を週間スケジュール、当日スケジュールで設定できます。 ・ ナイトモード (低騒音運転) ・ 霜取り運転	4-3-2.「室外機スケジュール2」
		連動制御設定	室外ユニットの霜取運転時の連動制御設定ができます。	5-7.「連動制御設定」
		高顕熱機能	高顕熱運転が動作するために使用する温度情報と湿度情報の取得元ユニットと閾値を設定できます。	4-2-3.「高顕熱制御設定」
		外部入力	下記制御を外部入力設定で設定できます。 ・ 緊急停止 復元モード/警報出力解除	4-1-5.「ネットワーク設定」
	初期設定ツール (Ver.1.4)	ライセンス登録	初期設定ツールから個別ライセンス登録、一括ライセンス登録ができます。	3-6.「ライセンス登録」
		グループ設定	初期設定ツールで加熱加湿付ロスナイを空調機を分けて登録できます。	5-4-1.「グループ設定」
		連動制御設定	室外ユニットの霜取運転時の連動制御設定ができます。	5-7.「連動制御設定」
		高顕熱機能	初期設定ツールから高顕熱機能に関する設定ができます。	—
		外部入力	下記制御を外部入力設定で設定できます。 ・ 緊急停止 復元モード/警報出力解除	5-3-2.「基本システム設定」
	初期設定用 Web ブラウザ	外部入力	下記制御を外部入力設定で設定できます。 ・ 緊急停止 復元モード/警報出力解除	—
Ver.7.68	液晶画面	ピークカット設定※1	BACnet® によるピークカット方式を設定できます。	4-2-1.「省エネ制御、ピークカット制御の設定」
	初期設定用 Web ブラウザ	ピークカット設定※1	BACnet® によるピークカット方式を設定できます。	—
Ver.7.7	初期設定ツール (Ver.1.6)	IP アドレス設定	AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレス設定ができます。	5-3-2.「基本システム設定」
		エネルギー管理設定	エネルギー管理設定ができます。	5-9-1.「エネルギー管理設定」
		オートチェンジ オーバー設定	オートチェンジオーバーの設定ができます。	5-9-2.「オートチェンジオーバー」

Version		追加項目	概要	参照
Ver.7.7	統合管理 ブラウザ	メール設定	異常メール通報やメール通信の設定ができます。	6-1-1.「メール設定」
		省エネ・ピークカット設定	ピークカット方式やデマンドレベルごとの制御内容を設定できます。	6-1-2.「ピークカット設定 (省エネ制御)」
		ET 制御設定	負荷に応じて蒸発温度を上昇させて運転効率を向上させる、ET 制御機能を室外ユニットごとに設定できます。	6-1-3.「ET 制御設定」
		アドバンストパワーセーブ設定	室外ユニットごとに室外ユニットの使用電力量上限をセーブする設定ができます。	6-1-4.「アドバンストパワーセーブ設定」
		サーモ OFF 時送風設定	室内ユニットごとにサーモ OFF 時の送風設定ができます。	6-1-5.「サーモ OFF 時送風設定」
		室外機スケジュール	室外ユニットの省エネ制御に関するスケジュールと、霜取り運転/ナイトモードに関するスケジュールを設定できます。	6-1-6.「室外機スケジュール」
		設定温度範囲制限	手元リモコンまたは一般ユーザー用 Web ブラウザの設定温度の範囲を制限する設定ができます。	6-1-7.「設定温度範囲制限」
		ナイトモードスケジュール	室外ユニットを特定の時間、低騒音運転に切り替える設定ができます。	6-1-8.「ナイトモード (低騒音運転) スケジュール」
		外気温連動制御設定	設定温度と外気温の温度差に連動して設定温度を自動調節する設定ができます。	6-1-9.「外気温連動制御」
		セットバック制御設定	夜間、室温が一定の温度範囲から外れた場合に自動的に冷房または暖房を行う設定ができます。	6-1-10.「ナイトセットバック制御」
		24 時間換気	ロスナイの 24 時間換気の設定ができます。	6-2-1.「24 時間換気設定」
		ナイトパージ	外気温の低い夜間に外気を取り入れるナイトパージの設定ができます。	6-2-2.「ナイトパージ設定」
Ver.7.8	初期設定用 Web ブラウザ	全項目	削除	—
Ver.7.9	初期設定ツール (Ver.1.9)	環境 MC 設定	温度・湿度の上下限警報メール設定ができます。	5-4-7.「環境 MC 設定」
Ver.7.92	統合管理ブラウザ	ET 制御	ET 制御設定の初期値を変更。	6-1-3.「ET 制御設定」
Ver.7.93	統合管理ブラウザ	メール設定	メール送信の暗号化方法に SSL/TLS を追加。	6-1-1.「メール設定」
Ver.7.97	初期設定ツール (Ver.2.0)	個別送信 (個別設定送信、差分送信)	集中コントローラに設定変更した設定項目のみを送信することができます。	5-2-3.「ツールバーの操作一覧」

Version	追加項目		概要	参照
Ver.7.98	初期設定ツール (Ver.2.01)	Windows® 11 対応	Windows® 11 搭載のPCを使用できます。	2-2.「一般市販部品」
	初期設定ツール (Ver.2.01)	.NET Framework 4.8 対応	.NET Framework 4.8をサポートします。	2-2.「一般市販部品」
	統合管理ブラウザ	統合管理ブラウザログイン画面	統合管理ブラウザのログイン画面に形名、製造番号、ソフトウェアバージョンを表示。	3-2.「統合管理ブラウザへのログイン」

※1 省エネ制御（ピークカット）ライセンス登録時のみ、機能が有効です。

※2 高頭熱制御ライセンス登録時のみ、機能が有効です。

※3 連動制御ライセンス登録時のみ、機能が有効です。

付録. 空調発停試運転

- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 販売店（工事店）が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店（工事店）から説明を受けてください。
- 据付工事が完了後、次の事項をお客様自身でも確認してください。

集中コントローラの設置後、試運転を行う際に使用することができる空調発停試運転チェックシートを出力することができます。

初期設定ツールの【オプション】－【空調発停試運転チェックシート出力】より、各 AE-200J システムごとに出力してください。

お知らせ

- 空調発停試運転チェックシートは、空調機および DT-R およびブラインクーラが対象です。低温機器や除湿機には対応していません。
- 初期設定ツールのパソコンと集中コントローラを LAN 接続していると、ライセンス登録状況をチェックシートに出力することができます。

[1] 接続集中コントローラ

本シートは AE-200J システムに 1 シートとなります。

空調発停試運転チェックシート

物件名

出力日時: 2016/01/01 12:00

初期設定ツール
SW Ver
1.20

(1)

(2)

集中コントローラ No.	集中コントローラ	IPアドレス	名称	識別番号	製造番号	SW Ver	電力据付現金支援		省エネ制御		省エネ制御 (ピークカット)	
1	AE-200	192.168.1.1	AE-200	000001	00000-001	7.40	利用可能	無効	利用不可	0	利用可能	無効
1-1	拡張コントローラ	192.168.1.211	AE-60-1	000002	00000-002	7.40	利用可能	無効	利用不可	0	利用可能	無効
1-2	拡張コントローラ	192.168.1.212	AE-60-2	000003	00000-003	7.40	利用可能	無効	利用不可	0	利用可能	無効
1-3	拡張コントローラ	192.168.1.213	AE-60-3	000004	00000-004	7.40	利用可能	無効	利用不可	0	利用可能	無効

現場名

担当者

作業日

承認者

(2)

メンテナンスツール		汎用制御PLC		オプション機能利用状況		E制御		室温MELTOUCH		高層熱制御		BACnet接続	
利用不可	0	利用不可	0	利用不可	0	利用可能	無効	利用不可	0	利用不可	0	利用不可	0
利用不可	0	利用不可	0	利用不可	0	利用可能	無効	利用不可	0	利用不可	0	利用不可	0
利用不可	0	利用不可	0	利用不可	0	利用可能	無効	利用不可	0	利用不可	0	利用不可	0
利用不可	0	利用不可	0	利用不可	0	利用可能	無効	利用不可	0	利用不可	0	利用不可	0

(2)

Web統合管理		DT-R接続	
利用可能	無効	利用不可	0
利用可能	無効	利用不可	0
利用可能	無効	利用不可	0
利用可能	無効	利用不可	0

(1) 接続構成の確認

IPアドレスやS/Wバージョンが正しいことを確認します。

(2) ライセンスの確認

ライセンスに登録漏れがないことを確認します。

お知らせ

- ・ライセンス登録状況を確認する場合、初期設定ツールのパソコンと集中コントローラをLAN接続している状態でチェックシートを出力してください。

[2] ユニット集中コントローラ

本シートはAE-200J/AE-50J/EW-50Jごとに1シートとなります。

空調発停試験チェックシート

機種名

出力日時: 2016/01/01 12:00

(4) フロア情報		(1) ユニット情報								グループ情報	
フロアNo.	フロア名称	集中コントローラNo.	室外機アドレス	室外機形名	室内機アドレス	室内機形名	種別	リモコンアドレス	起動ロスタイムアドレス	No.	名称
1	会議室フロア1	1-1	81	PUHY-GP224DMG3	1	PUFY-EP45EMG3	空調機	101	-	1	1F会議室東
1	会議室フロア1	1-1	81	PUHY-GP224DMG3	2	PUFY-EP45EMG3	空調機	102	-	2	1F会議室西
2	会議室フロア2	1-1	82	PUHY-GP224DMG3	3	PUFY-EP45EMG3	空調機	103	-	3	2F会議室東
2	会議室フロア2	1-1	82	PUHY-GP224DMG3	4	PUFY-EP45EMG3	空調機	104	-	4	2F会議室中央
2	会議室フロア2	1-1	82	PUHY-GP224DMG3	5	PUFY-EP45EMG3	空調機	105	-	5	2F会議室西
1	会議室フロア1	1-1	-	-	6	LGH-N25RVO2D	ロスナイ	106	-	6	共用部

実施日

担当者

(2) 操作ブロック情報		(3) エネルギー管理ブロック情報		(5) 集中コントローラ→空調機動作確認		(6) 先リモコン→集中コントローラ動作確認	
No.	名称	No.	名称	グループ単位	異常表示確認	グループ単位	異常表示確認
1	1F会議室	1	1F会議室				
1	1F会議室	1	1F会議室				
2	2F会議室	2	2F会議室				
2	2F会議室	2	2F会議室				
2	2F会議室	2	2F会議室				
-	-	-	-				

(1) グループ構成の確認

ユニットのグループ登録・ユニット情報が正しいことを確認します。

(2) 操作ブロック構成の確認

ユニットの操作ブロック構成が正しいことを確認します。

(3) エネルギー管理ブロック (EM ブロック) 構成の確認

ユニットのエネルギー管理ブロック (EM ブロック) 構成が正しいことを確認します。

(4) フロア構成の確認

ユニットのフロア構成が正しいことを確認します。

(5) 集中コントローラと空調機間の動作確認

ユニットを発停したり、異常を発生させたりして、集中コントローラと空調機の動作状態を確認し、誤設定・誤接続がないことを確認します。

(6) 集中コントローラと手元リモコン間の動作確認

ユニットを発停したり、異常を発生させたりして、集中コントローラと手元リモコンの表示を確認し、誤設定・誤接続がないことを確認します。

[3] 汎用機器

本シートはAE-200Jシステムに1シートとなります。

空調発停試運転チェックシート

物件名

出力日時: 2016/01/01 12:00

(4)

(1)

(2)

フロア情報		ユニット情報			機能設定		グループ情報		操作ブロック情報	
フロアNo.	フロア名称	集中コントローラNo.	アドレス	Ch.	操作設定	表示設定	No.	名称	No.	名称
1	会議室フロア1	1-1	41	1	操作禁止 (監視のみ)	操作出力状態	41	カードキー	-	-
2	会議室フロア2	1-1	41	2	操作禁止 (監視のみ)	操作出力状態	42	カードキー	-	-

実施日

担当者

(3)

(5)

エネルギー管理ブロック情報		確認項目	
No.	名称	運転表示確認	異常表示確認
-	-		
-	-		

(1) グループ構成の確認

汎用機器接点のグループ登録・ユニット情報が正しいことを確認します。

(2) 操作ブロック構成の確認

汎用機器接点の操作ブロック構成が正しいことを確認します。

(3) エネルギー管理ブロック (EM ブロック) 構成の確認

汎用機器接点のエネルギー管理ブロック (EM ブロック) 構成が正しいことを確認します。

(4) フロア構成の確認

汎用機器接点のフロア構成が正しいことを確認します。

(5) 集中コントローラと空調機間の動作確認

汎用機器接点を発停したり、異常を発生させたりして、集中コントローラと汎用機器の動作状態を確認し、誤設定・誤接続がないことを確認します。

[4] 計量 MC

本シートは AE-200J システムに 1 シートとなります。

空調発停試運転チェックシート

図1: 計量 MC の構成図

図2: 計量 MC の構成図

ユニット情報			計量設定			確認項目
No.	アドレス	Ch.	名称	ユニット種類	パルス単位	単位
1-1	48	1	室外機用電力計	室外機	1	kWh
1-1	49	2	室内機用電力計	室内機	1	kWh

(1) 計量計の確認

計量計の種類・設定が正しいことを確認します。

(2) 計量計の動作確認

計量計をカウントアップさせて、集中コントローラと計量計との間に誤設定・誤接続がないことを確認します。

[5] 環境 MC

本シートは AE-200J システムに 1 シートとなります。

空調発停試運転チェックシート

図1: 環境 MC の構成図

図2: 環境 MC の構成図

ユニット情報			計量設定			警報設定			確認項目	
No.	アドレス	Ch.	名称	センサ種類	計量範囲下限	計量範囲上限	増減値	上限検知	下限検知	警報検知
1-1	50	1	室外機用温度計	温度センサ	-100.0	100.0	0.0			
1-1	50	2	室内機用温度計	温度センサ	0.0	100.0	0.0			

(1) センサの確認

センサの種類・設定が正しいことを確認します。

(2) センサの動作確認

センサを動作させて、集中コントローラとセンサとの間に誤設定・誤接続がないことを確認します。

商標、登録商標について



SD および SDHC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。



Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

- BACnet[®] は、米国暖房冷凍空調学会 (ASHRAE) の登録商標です。
- Microsoft は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Oracle および Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorer の正式名称は、Microsoft[®] Internet Explorer Internet browser です。
- Microsoft Office Excel は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] Operating System です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

MEMO

愛情点検

●長年ご使用の空調冷熱総合管理システムの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別紙）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2022年8月作成

WT07626X17